

現場説明書

工事名 国立青少年教育振興機構

国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟改修機械設備工事

国立青少年教育振興機構財務部施設管理課			
課長	課長補佐	施設管理課	担当

- 1 工事名 国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟改修機械設備工事
- 2 工事場所 東京都渋谷区代々木神園町3-1 (国立オリンピック記念青少年総合センター構内)
- 3 完成期限 令和5年3月31日 (金曜日)

4 一般事項

現場説明書の適用方法

- (1) ・印で始まる事項については、○印を付した事項のみ適用する。
- (2) 文中及び表中の各欄に数字、文字、記号等を記入する事項については記入してある事項のみ適用する。
- (3) ——印又は×印で抹消した事項は全て適用しない。

5 施工に関する事項

(1) 工事用地

範囲は監督職員と協議の上決定し、使用にあたっては「工事用地使用許可願」を監督職員に提出して、発注者等の承諾を得ること。ただし、工事用地の借料は無償とする。

(2) 仮設物の設置等

① 仮設建物等

仮設建物等を設置するときは、「仮設物設置許可願」を監督職員に提出して発注者等の承諾を得ること。

② 障害物の撤去又は移設

障害物の撤去又は移設をするときは、監督職員の指示により行うこと。

③ 仮囲い等

仮囲い等を設けるときは、別図の位置に、図示の種類によること。

④ 監督職員事務所

・設ける (号) ○設けない

号	1	2	3	4	5	6
規模 (m ²)	10内外	20内外	35内外	65内外	100内外	

⑤ 仮設物の維持管理等

仮設物は、施工、監督及び検査に便利かつ安全な材料構造でかつ関係法規に準拠して設置するものとし、常に維持保全に注意すること。

⑥ 墜落制止用器具の着用について

労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)による墜落制止用器具(フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等)とする。

⑦ その他

- a) 工事期間中、近隣住民等第三者には、十分注意を払うこと。
- b) 既存施設や道路等を汚損もしくは破損したときは、速やかに監督職員と協議の上原状に復するものとする。
- c) 撤去工事における騒音、塵埃等には十分注意し、必要に応じて養生等の処置を講ずること。
- d) 工事車両等の運行にあたっては、安全対策について、監督職員と十分協議の上事故防止に努める。

(3) 工事用電力等

- ① 工事用電力、電話、給水、排水等は受注者において手続きの上設置し、その費用及び使用料は受注者の負担とする。
- ② 工事用電力
 - ・ 電力会社と協議の上引き込む
 - 構内より分岐できる
- ③ 工事用電話
 - ・ 構外より引込む。
 - 携帯電話にて対応する
- ④ 工事用給水
 - ・ 構外より引込む。 ○ 構内より分岐できる。 ・ さく井する。 ・
- ⑤ 工事用電力、電話、給水の引き込み位置は別図により、排水は別図又は監督職員の指示による。
- ⑥ 工事に際して、学内の上水道、下水道施設を使用するときは「上(下)水道使用願」を監督職員に提出して、発注者等の承諾を得ること。
- ⑦ その他
工事用電力、工事用給水を構内より分岐する場合は、受注者の負担において電力量計、量水器を設置し、料金は国立オリンピック記念青少年総合センターへ納入する。

(4) 工事写真等

① 工事写真等

工事写真等は、文部科学省が定めた「工事写真撮影要領」により撮影し、次表のものを提出すること。

区 分	大 き さ	種 類	組
敷地状況写真	サービス判	カラー	1組
工 事 写 真	サービス判	カ ラ ー	1組
完 成 写 真	サービス判	カラー	1組

~~※ 完成写真はファイルし、表紙に工事名、工期を記入し、撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付すること。~~

② その他

質疑回答書、現場説明書、特記仕様書及び設計図（発注図）のA3版2つ折り製本を3部提出すること。

(5) その他

鍵は、各組（一組は同一鍵3本）毎に鍵札（アクリル製）を付け、キープラン及び鍵リストを添えて鍵箱（鍵掛け付き）に納めて提出すること。

6 契約に関する事項

(1) 独立行政法人国立青少年教育振興機構工事請負契約基準（以下、「基準」という。）の運用

① 基準第3の規定による、

工事費内訳明細書 { ○ 提出する。
・ 提出しない。

工 程 表

- 提出する。
- ・ 提出しない。

- ② ~~基準第25第1項の規定により請負代金額の変更を請求する場合は、発注者又は受注者から請求のあった日から起算して、残工事の工期が2月以上ある場合とする。~~
- ③ ~~基準第25第2項の残工事代金額を算出する根拠となる残工事量を確認する場合において、工事の工程が受注者の責により遅延していると認められる場合は遅延していると認められる工事量を残工事量に含めないものとする。~~
- ④ 基準第29第4項にいう「請負代金額」とは、損害を負担する時点における請負代金額をいう。
- ⑤ 天災、その他不可抗力による1回の損害合計額が前項にいう請負代金額の1000分の5の額（この額が20万円を越えるときは20万円）に満たないものは損害合計額とみなさないものとする。
- (2) 契約の保証について
- 落札者は、工事請負契約書案の提出とともに、次の①から⑦のいずれかの書類を提出しなければならない。
- ① 契約保証金として納付するものが、現金の場合は、保管金領収証書及び契約保証金納付書
- ア 保管金領収証書は、三菱UFJ銀行渋谷支店 に契約保証金の金額に相当する金額の現金を払い込んで交付を受けること。
- イ 保管金領収証書の宛名の欄には、独立行政法人国立青少年教育振興機構 出納責任者 山川 寿典と記載するように申し込むこと。
- ウ 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。
- エ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、契約保証金は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- オ 受注者は、工事完成後、請負代金額の支払請求書の提出とともに保管金払渡請求書を提出すること。
- ② 契約保証金の納付に代わる担保が、国債（国債に関する法律の規定により登録された国債を除く）、政府の保証のある債券、銀行、株式会社商工組合中央金庫、農林中央金庫又は全国を地区とする信用金庫連合会の発行する債券、日本国有鉄道改革法（昭和61年法律第87号）附則第2項の規定による廃止前の日本国有鉄道法（昭和23年法律第256号）第1条の規定により設立された日本国有鉄道及び日本電信電話株式会社等に関する法律（昭和59年法律第85号）附則第4条第1項の規定による解散前の日本電信電話公社が発行した債券で政府の保証のある債券以外のもの、地方債及び独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める社債の場合は、政府保管有価証券払込済通知書及び契約保証金納付書
- ア 政府保管有価証券払込済通知書は、三菱UFJ銀行渋谷支店 に契約保証金の金額に相当する金額の当該有価証券を払い込んで、交付を受けること。
- イ 政府保管有価証券払込済通知書の宛名の欄には、独立行政法人国立青少年教育振興機構 出納責任者 山川 寿典と記載するように申し込むこと。
- ウ 請負金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。
- エ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、保管有価証券は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

- オ 受注者は、工事完成後、請負代金額の支払請求書の提出とともに政府保管有価証券払渡請求書を提出すること。
- ③ 契約保証金の納付に代わる担保が、銀行又は独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める金融機関が振り出し又は支払を保証した小切手、銀行又は独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める金融機関が引き受け又は保証若しくは裏書をした手形である場合は、当該有価証券及び契約保証金納付書
- ア 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。
- イ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、当該有価証券は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- ウ 受注者は、工事完成後、請負代金額の支払請求書の提出とともに政府保管有価証券払渡請求書を提出すること。
- ④ 契約保証金の納付に代わる担保が、銀行又は独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める金融機関に対する定期預金債権の場合は、当該債権に係る証書及び当該債権に係る債務者である銀行又は独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める金融機関の承諾を証する確定日付のある書面及び契約保証金納付書
- ア 当該債権に質権を設定し提出すること。
- イ 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。
- ウ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、当該債権は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- エ 受注者は、工事完成後、**独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和**から当該債権に係る証書及び当該債権に係る債務者である銀行又は独立行政法人国立青少年教育振興機構が確実と認める金融機関の承諾を証する確定日付のある書面の返還を受けるものとする。
- ⑤ 債務不履行による損害金の支払を保証する金融機関等の保証に係る保証書及び契約保証金納付書
- ア 債務不履行による損害金の支払の保証ができる者は、出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律（昭和29年法律第195号）第3条に規定する金融機関である銀行、信託会社、保険会社、信用金庫、信用金庫連合会、労働金庫、労働金庫連合会、農林中央金庫、株式会社商工組合中央金庫、株式会社日本政策投資銀行並びに信用協同組合及び農業協同組合、水産業協同組合その他の貯金の受入れを行う組合（以下「銀行等」という。）又は公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社（以下「金融機関等」と総称する。）とする。
- イ 保証書の宛名の欄には、**独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和**と記載するように申し込むこと。
- ウ 保証債務の内容は、工事請負契約書に基づく債務の不履行による損害金の支払いであること。
- エ 保証書上の保証に係る工事の工事名の欄には、工事請負契約書に記載される工事名が記載されるように申し込むこと。
- オ 保証金額は、契約保証金の金額以上とすること。
- カ 保証期間は、工期を含むものとする。
- キ 保証債務履行請求の有効期間は、保証期間経過後6カ月以上確保されるものとする。
- ク 請負代金額の変更又は工期の変更等により保証金額又は保証期間を変更する場合等の

取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。

ケ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、金融機関等から支払われた保証金は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が保証金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

コ 受注者は、銀行等が保証した場合にあっては、工事完成後、**独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和**から保証書（変更契約書を含む。）の返還を受け、銀行等に返還すること。

⑥ 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約に係る証券

ア 履行保証保険とは、保険会社が債務不履行時に保険金を支払うことを約する保険である。

イ 履行保証保険は、定額てん補方式を申し込むこと。

ウ 保険証券の宛名の欄には、**独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和**と記載するように申し込むこと。

エ 証券上の契約の内容としての工事名の欄には、工事請負契約書に記載される工事名が記載されるように申し込むこと。

オ 保険金額は、請負代金額の10分の1の金額以上とする。

カ 保険期間は、工期を含むものとする。

キ 請負代金額の変更により保険金額を変更する場合の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。

ク 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、保険会社から支払われた保険金は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が保険金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

⑦ 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証に係る証券

ア 公共工事履行保証証券とは、保険会社が保証金額を限度として債務の履行を保証する保証である。

イ 公共工事履行保証証券の宛名の欄には、**独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和**と記載するように申し込むこと。

ウ 証券上の主契約の内容としての工事名の欄には、工事請負契約書に記載される工事名が記載されるように申し込むこと。

エ 保証金額は、請負代金額の10分の1の金額以上とする。

オ 保証期間は、工期を含むものとする。

カ 請負代金額の変更又は工期の変更等により保証金額又は保証期間を変更する場合等の取扱いについては、独立行政法人国立青少年教育振興機構の指示に従うこと。

キ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、保険会社から支払われた保証金は、独立行政法人国立青少年教育振興機構契約事務取扱規則により独立行政法人国立青少年教育振興機構に帰属する。なお、違約金の金額が保証金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

(3) 工事請負代金債権の債権譲渡

この工事の受注者は、下請セーフティーネット債務保証事業又は地域建築業経営強化融資制度のいずれかに係る融資を受けることを目的として、工事請負代金債権の債権譲渡を申し出ることができるものとする。

(4) 下請契約の締結

受注者は、下請負人を使用する場合は、「建設工事標準下請契約約款」（昭和52年4月26日中央建設業審議会決定）に準拠した適切な下請契約を締結すること。また、「建設業法令遵守ガイドライン（第5版）-元請負人と下請負人の関係に係る留意点-」（平成29年3月国土交通省土地・建設産業局建設業課）により適切な取引をすること。

(5) 建設産業における生産システム合理化指針の遵守等について

工事の適正かつ円滑な施工を確保するため、「建設産業における生産システム合理化指針について」（平成3年2月5日付け建設省経構発第2号の3建設省建設経済局長通知）において明確にされている総合・専門工事業者の役割に応じた責任を的確に果たすとともに、適正な契約の締結、適正な施工体制の確立、建設労働者の雇用条件等の改善等に努めること。また、下請代金の支払については発注者から受取った前払金の下請建設業者に対する均てん、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等その適正化について特段の配慮をすること。

(6) 監督職員の権限

基準第9第2項第1号から第3号に示す範囲とする。

(7) 請負代金の支払

請負代金（前払金及び~~中間前払金~~を含む）は、受注者からの適法な支払請求書に応じて独立行政法人国立青少年教育振興機構財務部財務課から2回以内に支払うものとする。

(8) 請負代金の前払い

公共工事の前払金保証事業会社と保険契約を締結し、当該保証証書を添えて工事請負代金額の「10分の4」以内の額の前払金を請求することが出来る。~~また、前払金の支払を受けた後、公共工事の前払金保証事業会社と保険契約を締結し、当該保証証書を添えて工事請負代金額の「10分の2」以内の額の中間前払金を請求することができる。~~

(9) 工事関係保険の締結

この工事の受注者は、速やかに、次の付保条件により、組立保険契約（共済その他これに準じる機能を有するものを含む。）締結すること。

① 保険対象

工事請負契約の対象となっている工事全体とすること。

② 保険契約者

受注者とすること。

③ 被保険者

発注者並びに受注者及びそのすべての下請負人（リース仮設材を使用する場合には、リース業者を含む。）とすること。

④ 保険金額

請負代金額と同額とすること。ただし、支給材料又は貸与品の価額が算入されていないときはその新調達価額を加算し、保険の目的に含まれない工事の費用（解体撤去工事費、用地費、補償費等をいう。）が算入されているときはその金額を控除すること。

⑤ 保険金支払額の控除額（免責額）

請負代金額の1000分の5の額（この額が20万円を超えるときは20万円）未満とすること。

⑥ 保険金請求者

受注者とすること。

⑦ 保険期間

工事着手の日から工事目的物の完成引渡しの日までの期間とすること。

⑧ 特約条項

ア 同一発注者による同一工事場内における分離発注工事の隣接工区受注者相互間の求償権不行使特約を付帯すること。

~~イ 水災危険担保特約を付帯すること。~~

ウ 次の付保条件により、損害賠償責任担保特約を付帯（請負業者賠償責任保険その他これに準じる機能を有するものを付保することを含む。）すること。

（ア）対人賠償保険金額は、1名につき1億円以上かつ1事故につき10億円以上とすること。

（イ）対物賠償保険金額は、1事故につき1億円以上とすること。

（ウ）発注者受注者相互間の交差責任担保特約を付帯すること。

（エ）分離発注工事の隣接工区に対する賠償責任担保特約を付帯すること。

⑨ その他

ア ここで示す付保条件は、工事関係保険として最低限必要と思われる付保条件であり、受注者が受注者の判断でこれ以上の付保条件で工事関係保険を付保することを妨げるものでない。ただし、当該付保条件についても発注者が指示したものとみなす。

~~イ 建物の建築工事の受注者は、分離発注される当該建物の付帯設備工事の受注者と協議の上、建築工事の受注者が保険契約者となり、付帯設備工事の受注者を被保険者に加え、一括して建設工事保険契約を締結することも可能である。~~

ウ 受注者が工事関係保険契約を締結したときは、遅滞なく、その保険証券を発注者に提示すること。ただし、総括契約方式による付保の場合は、保険会社の引受証明を発注者に提示すること。

エ 工事関係保険契約締結後に設計変更等により工事期間又は請負代金額に変更を生じた場合などには、速やかに、付保条件について変更の手続をとること。

7 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

- (1) 独立行政法人国立青少年教育振興機構が発注する建設工事（以下「発注工事」という）において、暴力団員、暴力団員準構成員又は暴力団関係業者（以下「暴力団員等」という）による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合には、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) (1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
- (3) 発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

8 その他

(1) 工事実績情報サービス（CORINS）への登録

この工事の受注者は、工事契約内容及び施工内容について契約締結後10日以内に、登録内容に変更があったときは登録内容に変更が生じた日から10日以内に、完成引渡しについて完成引渡し後10日以内にそれぞれの情報を財団法人日本建設情報総合センターの工事実績情報サービス（CORINS）への登録すること。

(2) 公共事業労務費調査への協力

毎年定期的実施される公共事業労務費調査への協力を依頼することがあるので、労働基準法第108条による賃金台帳を整備しておくこと。

なお、賃金台帳の整備にあたっては、全国建設業協会刊「建設現場の賃金管理の手引き」によること。

(3) 建設業退職金共済制度について

- ① 建設業退職金共済組合に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。
- ② 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。
- ③ 掛金収納書（発注者用）を工事請負契約締結後原則1ヶ月以内（電子申請方式による場合にあっては、工事請負契約締結後原則40日以内）に、発注者に提出すること。

~~(4) 工事成績評定について~~

~~この工事は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年法律第127号）及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」（令和元年10月18日閣議決定）に基づき、文部科学省が定めた工事成績評定要領（平成20年1月17日付け19文科施第370号）による工事成績評定の対象工事である。~~

~~(5) ワンデーレスポンスの実施について~~

~~本工事はワンデーレスポンスの実施対象工事である。~~

- ④ ~~ワンデーレスポンスとは、発注者からの質問、協議に対して、発注者は、基本的に「その日のうちに」回答するよう対応することである。なお、即日回答が困難な場合に、いつま~~

~~でに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうちに」することを含むものとする。~~

~~② 受注者は、実施工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行うこと。~~

~~③ 受注者は、工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。~~

(6) 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員と協議の上定める。

② 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

(7) 現場代理人の工事現場における常駐の緩和について

① 基準第10第3項に規定する現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないとは、以下のものとする。

ア 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間。）。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員と協議の上、定める。

イ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続き、後片付け等のみが残っている期間。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、発注者に通知した日とする。

ウ 工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。

エ 工事現場において作業等が行われていない期間。

② 基準第10第3項に規定する発注者との連絡体制が確保されるとは、発注者又は監督職員と携帯電話等で常に連絡が取られること、かつ、発注者又は監督職員が求めたときは、工事現場に速やかに向かう等の対応が取られることとする。

③ その他請負契約の締結後、監督職員と協議の上、現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間を定める。

(8) 建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者及び監理技術者補佐の工事における取扱いについて

本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を認めない。

~~① 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特定監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下のア～エの要件を全て満たさなければならない。~~

~~ア 建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。~~

~~イ 監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定品目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。~~

~~ウ 監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。~~

~~エ 同一の特定監理技術者が配置できる工事の数は、本工事を含ま同時に2件までとする。（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される~~

~~場合に限る)については、これら複数の工事を一の工事とみなす)~~

- ~~オ 特例監理技術者が兼務できる工事は〇〇地域内(例:〇〇市、〇〇市及び〇〇町)の工事でなければならない。~~
- ~~カ 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立合等の職務を適正に遂行しなければならない。~~
- ~~キ 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。~~
- ~~ク 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。~~

~~② 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する事となる場合、前項ア～クの事項について確認できる書類を提出すること。~~

~~③ 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORINS)への登録を行うこと。~~

~~(9) 特別重点調査を受けた者との契約について~~

~~「低入札価格調査対象工事に係る特別重点調査の試行について」(平成21年3月31日大臣官房文教施設企画部長通知)に基づく特別重点調査を受けた者との契約については、その契約の保証については請負代金の10分の3以上とし、前払金の割合については、請負代金額の10分の2以内とする。ただし、工事が進捗した場合の中間前払金及び部分払の請求を妨げるものではない。~~

(10) 引渡し後点検について

受注者は、完成引渡し後1年経過を目途に、施設の不具合の有無等について点検を行うものとする。

(11) 設計図書の取扱い

本工事の設計図書の取扱いは以下によるものとする。

- ① 図書の取扱い、保管は、善良なる管理者の注意義務を負うことに同意すること。
- ② 目的以外の使用は禁止とすること。
- ③ 図書を複写する場合、その部数は必要最低限とし、複写した図書は用済み後責任を持って確実に処分すること。

(12) デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入及び工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事で受注者がデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得た上でデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事(以下、「対象工事」という。)とすることができる。対象工事では、以下の①から③の全てを実施することとする。

なお、本項に規定していない事項は「工事写真撮影要領(文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部参事官)」に準ずる。

① 必要な機器・ソフトウェア等の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「使用機器」という。)については、「工事写真撮影要領(文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部参事官)」の「2.1.2 形状、寸法、仕様等の確認方法2.」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認機能(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL

「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、対象工事での使用機器について提示するものとする。

② デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、「工事写真

撮影要領（文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部参事官）」の「2.1.2形状、寸法、仕様等の確認方法 2.」による。

なお、対象工事において、「小黑板情報電子化」と「小黑板を被写体に添えての撮影（従来の方法）」を併用することは差し支えない（例えば、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、使用機器の利用が困難な工種が想定される）。

③ 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、②に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」という。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者はURL（http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事

図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)
M-01	図面リスト	—	M-61	空気調和設備 2階小練習室平面・断面詳細図(改修)	1/100	M-101	空気調和設備 機器表(1)(撤去)	—	M-164	空気調和設備 熱源機械室配管平面詳細図(2)(撤去)	1/200
M-02	案内図・配置図	1/1000	M-62	空気調和設備 3階小練習室平面・断面詳細図(改修)	1/100	M-102	空気調和設備 機器表(2)(撤去)	—	M-165	空気調和設備 冷凍機室配管平面詳細図(1)(撤去)	1/200
特-01	特記仕様書(1)	—	M-63	空気調和設備 部分断面詳細図(1)(改修)	1/200	M-103	空気調和設備 機器表(3)(撤去)	—	M-166	空気調和設備 冷凍機室配管平面詳細図(2)(撤去)	1/200
特-02	特記仕様書(2)	—	M-64	空気調和設備 部分断面詳細図(2)(改修)	1/200	M-104	空気調和設備 機器表(4)(撤去)	—	M-167	空気調和設備 空調機械室B1-1受水精室配管平面詳細図(撤去)	1/100
特-03	工事区分表	—	M-65	空気調和設備 ボイラー室配管平面詳細図(1)(改修)	1/200	M-105	空気調和設備 機器表(5)(撤去)	—	M-168	空気調和設備 空調機械室B1-2配管平面詳細図(撤去)	1/100
M-03	空気調和設備 機器表(1)(改修)	—	M-66	空気調和設備 ボイラー室配管平面詳細図(2)(改修)	1/200	M-106	空気調和設備 機器表(6)(撤去)	—	M-169	空気調和設備 空調機械室2-1配管平面詳細図(撤去)	1/100
M-04	空気調和設備 機器表(2)(改修)	—	M-67	空気調和設備 冷凍機室配管平面詳細図(1)(改修)	1/100	M-107	空気調和設備 機器表(7)(撤去)	—	M-170	空気調和設備 空調機械室2-2配管平面詳細図(撤去)	1/100
M-05	空気調和設備 機器表(3)(改修)	—	M-68	空気調和設備 冷凍機室配管平面詳細図(2)(改修)	1/100	M-108	空気調和設備 機器表(8)(撤去)	—	M-171	空気調和設備 空調機械室3-1配管平面詳細図(撤去)	1/100
M-06	空気調和設備 機器表(4)(改修)	—	M-69	空気調和設備 空調機械室B1-1受水精室配管平面詳細図(改修)	1/100	M-109	空気調和設備 機器表(9)(撤去)	—	M-172	空気調和設備 空調機械室3-2、4-1配管平面詳細図(撤去)	1/100
M-07	空気調和設備 機器表(5)(改修)	—	M-70	空気調和設備 空調機械室B1-2配管平面詳細図(改修)	1/100	M-110	空気調和設備 機器表(10)(撤去)	—	M-173	空気調和設備 冷却塔置場平面・断面詳細図(撤去)	1/100
M-08	空気調和設備 機器表(6)(改修)	—	M-71	空気調和設備 空調機械室2-1配管平面詳細図(改修)	1/100	M-111	空気調和設備 機器表(11)(撤去)	—	M-174	自動制御設備 計装図(1)(撤去)	—
M-09	空気調和設備 機器表(7)(改修)	—	M-72	空気調和設備 空調機械室2-2配管平面詳細図(改修)	1/100	M-112	空気調和設備 機器表(12)(撤去)	—	M-175	自動制御設備 計装図(2)(撤去)	—
M-10	空気調和設備 機器表(8)(改修)	—	M-73	空気調和設備 空調機械室3-1配管平面詳細図(改修)	1/100	M-113	空気調和設備 機器表(13)(撤去)	—	M-176	自動制御設備 計装図(3)(撤去)	—
M-11	空気調和設備 機器表(9)(改修)	—	M-74	空気調和設備 空調機械室3-2、4-1配管平面詳細図(改修)	1/100	M-114	空気調和設備 機器表(14)(撤去)	—	M-177	自動制御設備 計装図(4)(撤去)	—
M-12	空気調和設備 機器表(10)(改修)	—	M-75	空気調和設備 冷却塔置場平面・断面詳細図(改修)	1/100	M-115	空気調和設備 機器表(15)(撤去)	—	M-178	自動制御設備 計装図(5)(撤去)	—
M-13	空気調和設備 機器表(11)(改修)	—	M-76	自動制御設備 計装図(1)(改修)	—	M-116	空気調和設備 機器表(16)(撤去)	—	M-179	自動制御設備 計装図(6)(撤去)	—
M-14	空気調和設備 機器表(12)(改修)	—	M-77	自動制御設備 計装図(2)(改修)	—	M-117	空気調和設備 機器表(17)(撤去)	—	M-180	自動制御設備 計装図(7)(撤去)	—
M-15	空気調和設備 機器表(13)(改修)	—	M-78	自動制御設備 計装図(3)(改修)	—	M-118	空気調和設備 機器表(18)(撤去)	—	M-181	自動制御設備 計装図(8)(撤去)	—
M-16	空気調和設備 機器表(14)(改修)	—	M-79	自動制御設備 計装図(4)(改修)	—	M-119	空気調和設備 機器表(19)(撤去)	—	M-182	自動制御設備 計装図(9)(撤去)	—
M-17	空気調和設備 機器表(15)(改修)	—	M-80	自動制御設備 計装図(5)(改修)	—	M-120	空気調和設備 制気口BOXリスト(1)(撤去)	—	M-183	自動制御設備 計装図(10)(撤去)	—
M-18	空気調和設備 機器表(16)(改修)	—	M-81	自動制御設備 計装図(6)(改修)	—	M-121	空気調和設備 制気口BOXリスト(2)(撤去)	—	M-184	自動制御設備 中央監視システム図(撤去)	—
M-19	空気調和設備 機器表(17)(改修)	—	M-82	自動制御設備 計装図(7)(改修)	—	M-122	空気調和設備 ダクト系統図(1)(撤去)	—	M-185	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(1)(撤去)	—
M-20	空気調和設備 機器表(18)(改修)	—	M-83	自動制御設備 計装図(8)(改修)	—	M-123	空気調和設備 ダクト系統図(2)(撤去)	—	M-186	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(2)(撤去)	—
M-21	空気調和設備 機器表(19)(改修)	—	M-84	自動制御設備 計装図(9)(改修)	—	M-124	空気調和設備 地下1階空調換気ダクト平面図(1)(撤去)	1/400	M-187	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(3)(撤去)	—
M-22	空気調和設備 制気口BOXリスト(1)(改修)	—	M-85	自動制御設備 計装図(10)(改修)	—	M-125	空気調和設備 地下1階空調換気ダクト平面図(2)(撤去)	1/400	M-188	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(4)(撤去)	—
M-23	空気調和設備 制気口BOXリスト(2)(改修)	—	M-86	自動制御設備 計装図(11)(改修)	—	M-126	空気調和設備 1階空調換気ダクト平面図(撤去)	1/400	M-189	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(4)(撤去)	—
M-24	空気調和設備 ダクト系統図(1)(改修)	—	M-87	自動制御設備 計装図(12)(改修)	—	M-127	空気調和設備 2階空調換気ダクト平面図(撤去)	1/400	M-190	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(6)(撤去)	—
M-25	空気調和設備 ダクト系統図(2)(改修)	—	M-88	自動制御設備 中央監視システム図(改修)	—	M-128	空気調和設備 3階空調換気ダクト平面図(撤去)	1/400	M-191	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(7)(撤去)	—
M-26	空気調和設備 地下1階空調換気ダクト平面図(1)(改修)	1/400	M-89	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(1)(改修)	—	M-129	空気調和設備 4階R階空調換気ダクト平面図(撤去)	1/400	M-192	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(8)(撤去)	—
M-27	空気調和設備 地下1階空調換気ダクト平面図(2)(改修)	1/400	M-90	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(2)(改修)	—	M-130	空気調和設備 配管系統図(1)(撤去)	—	M-193	自動制御設備 地階平面図(1)(撤去)	1/400
M-28	空気調和設備 1階空調換気ダクト平面図(改修)	1/400	M-91	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(3)(改修)	—	M-131	空気調和設備 配管系統図(2)(撤去)	—	M-194	自動制御設備 地階平面図(2)(撤去)	1/400
M-29	空気調和設備 2階空調換気ダクト平面図(改修)	1/400	M-92	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(4)(改修)	—	M-132	空気調和設備 配管系統図(3)(撤去)	—	M-195	自動制御設備 1階平面図(撤去)	1/400
M-30	空気調和設備 3階空調換気ダクト平面図(改修)	1/400	M-93	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(4)(改修)	—	M-133	空気調和設備 地下1階配管平面図(1)(撤去)	1/400	M-196	自動制御設備 2階平面図(撤去)	1/400
M-31	空気調和設備 4階R階空調換気ダクト平面図(改修)	1/400	M-94	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(6)(改修)	—	M-134	空気調和設備 地下1階配管平面図(2)(撤去)	1/400	M-197	自動制御設備 3階平面図(撤去)	1/400
M-32	空気調和設備 配管系統図(1)(改修)	—	M-95	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(7)(改修)	—	M-135	空気調和設備 1階配管平面図(撤去)	1/400	M-198	自動制御設備 4階平面図(撤去)	1/400
M-33	空気調和設備 配管系統図(2)(改修)	—	M-96	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(8)(改修)	—	M-136	空気調和設備 2階配管平面図(撤去)	1/400	M-199	自動制御設備 配線明細表1(撤去)	—
M-34	空気調和設備 配管系統図(3)(改修)	—	M-97	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(9)(改修)	—	M-137	空気調和設備 3階配管平面図(撤去)	1/400	P-101	給排水衛生設備 器具表(1)(撤去)	—
M-35	空気調和設備 地下1階配管平面図(1)(改修)	1/400	M-98	自動制御設備 地階平面図(1)(改修)	1/400	M-138	空気調和設備 4階R階配管平面図(撤去)	1/400	P-102	給排水衛生設備 器具表(2)(撤去)	—
M-36	空気調和設備 地下1階配管平面図(2)(改修)	1/400	M-99	自動制御設備 地階平面図(2)(改修)	1/400	M-139	空気調和設備 屋根伏配管平面図(撤去)	1/400	P-103	給排水衛生設備 系統図(撤去)	—
M-37	空気調和設備 1階配管平面図(改修)	1/400	M-100	自動制御設備 1階平面図(改修)	1/400	M-140	空気調和設備 熱源機械室ダクト平面詳細図(撤去)	1/200	P-104	給排水衛生設備 ビット内配管平面図(撤去)	1/400
M-38	空気調和設備 2階配管平面図(改修)	1/400	M-101	自動制御設備 2階平面図(改修)	1/400	M-141	空気調和設備 熱源機械室ダクト断面詳細図(撤去)	1/100	P-105	給排水衛生設備 地下1階配管平面図(1)(撤去)	1/400
M-39	空気調和設備 3階配管平面図(改修)	1/400	M-102	自動制御設備 3階平面図(改修)	1/400	M-142	空気調和設備 冷凍機室ダクト平面詳細図(撤去)	1/200	P-106	給排水衛生設備 地下1階配管平面図(2)(撤去)	1/400
M-40	空気調和設備 屋根伏配管平面図(改修)	1/400	M-103	自動制御設備 4階平面図(改修)	1/400	M-143	空気調和設備 冷凍機室断面詳細図(撤去)	1/100	P-107	給排水衛生設備 1階配管平面図(撤去)	1/400
M-42	空気調和設備 熱源機械室ダクト平面詳細図(改修)	1/200	M-104	自動制御設備 配線明細表1(改修)	—	M-144	空気調和設備 空調機械室B1-1受水精室ダクト平面・断面詳細図(撤去)	1/100	P-108	給排水衛生設備 2階配管平面図(撤去)	1/400
M-43	空気調和設備 熱源機械室ダクト断面詳細図(改修)	1/100	P-01	給排水衛生設備 器具表(改修)	—	M-145	空気調和設備 空調機械室B1-2ダクト平面・断面詳細図(撤去)	1/100	P-109	給排水衛生設備 3階配管平面図(撤去)	1/400
M-44	空気調和設備 冷凍機室ダクト平面詳細図(改修)	1/200	P-02	給排水衛生設備 系統図(改修)	—	M-146	空気調和設備 空調機械室2-1ダクト平面詳細図(撤去)	1/100	P-110	給排水衛生設備 4階R階配管平面図(撤去)	1/400
M-45	空気調和設備 冷凍機室断面詳細図(改修)	1/100	P-03	給排水衛生設備 ビット内配管平面図(改修)	1/400	M-147	空気調和設備 空調機械室2-1ダクト断面詳細図(撤去)	1/100	P-111	給排水衛生設備 屋根伏配管平面図(撤去)	1/400
M-46	空気調和設備 空調機械室B1-1受水精室ダクト平面・断面詳細図(改修)	1/100	P-04	給排水衛生設備 地下1階配管平面図(1)(改修)	1/400	M-148	空気調和設備 空調機械室2-2ダクト断面詳細図(撤去)	1/100			
M-47	空気調和設備 空調機械室B1-2ダクト平面・断面詳細図(改修)	1/100	P-05	給排水衛生設備 地下1階配管平面図(2)(改修)	1/400	M-149	空気調和設備 空調機械室2-2ダクト断面詳細図(撤去)	1/100			
M-48	空気調和設備 空調機械室2-1ダクト平面詳細図(改修)	1/100	P-06	給排水衛生設備 1階配管平面図(改修)	1/400	M-150	空気調和設備 空調機械室3-1ダクト平面・断面詳細図(撤去)	1/100			
M-49	空気調和設備 空調機械室2-1ダクト断面詳細図(改修)	1/100	P-07	給排水衛生設備 2階配管平面図(改修)	1/400	M-151	空気調和設備 空調機械室3-2、4-1ダクト平面・断面詳細図(撤去)	1/100			
M-50	空気調和設備 空調機械室2-2ダクト断面詳細図(改修)	1/100	P-08	給排水衛生設備 3階配管平面図(改修)	1/400	M-152	空気調和設備 厨房ダクト平面・断面詳細図(撤去)	1/100			
M-51	空気調和設備 空調機械室2-2ダクト断面詳細図(改修)	1/100	P-09	給排水衛生設備 4階R階配管平面図(改修)	1/400	M-153	空気調和設備 中ホール平面詳細図(撤去)	1/200			
M-52	空気調和設備 空調機械室3-1ダクト平面・断面詳細図(改修)	1/100	P-10	給排水衛生設備 屋根伏配管平面図(改修)	1/400	M-154	空気調和設備 中ホール断面詳細図(撤去)	1/100			
M-53	空気調和設備 空調機械室3-2、4-1ダクト平面・断面詳細図(改修)	1/200	P-11	給排水衛生設備 B1F便所(B1-1)事務室廻り詳細図(改修)	1/100	M-155	空気調和設備 小ホール平面詳細図(撤去)	1/200			
M-54	空気調和設備 厨房ダクト平面・断面詳細図(改修)	1/100	P-12	給排水衛生設備 B1F身障者便所、中央監視室、楽屋、便所(B1-1)廻り詳細図(改修)	1/100	M-156	空気調和設備 小ホール断面詳細図(撤去)	1/200			
M-55	空気調和設備 中ホール平面詳細図(改修)	1/200	P-13	給排水衛生設備 1F便所(1-1)(1-2)廻り詳細図(改修)	1/100	M-157	空気調和設備 大練習室1階小道具室平面・断面詳細図(撤去)	1/200			
M-56	空気調和設備 中ホール断面詳細図(改修)	1/100	P-14	給排水衛生設備 1F楽屋、便所(1-3)(1-4)廻り詳細図(改修)	1/100	M-158	空気調和設備 中練習室平面断面詳細図(撤去)	1/200			
M-57	空気調和設備 小ホール平面詳細図(改修)	1/200	P-15	給排水衛生設備 1F工芸室廻り詳細図(改修)	1/100	M-159	空気調和設備 2階小練習室平面・断面詳細図(撤去)	1/200			
M-58	空気調和設備 小ホール断面詳細図(改修)	1/200	P-16	給排水衛生設備 2F便所(2-1)廻り詳細図(改修)	1/100	M-160	空気調和設備 3階小練習室平面・断面詳細図(撤去)	1/200			
M-59	空気調和設備 大練習室1階小道具室平面・断面詳細図(改修)	1/200	P-17	給排水衛生設備 2F便所(2-2)、美術室廻り詳細図(改修)	1/100	M-161	空気調和設備 部分断面詳細図(1)(撤去)	1/100			
M-60	空気調和設備 中練習室平面断面詳細図(改修)	1/200	P-18	給排水衛生設備 3・4F便所(3-1)(4-1)廻り詳細図(改修)	1/100	M-162	空気調和設備 部分断面詳細図(2)(撤去)	1/100			
			P-19	給排水衛生設備 2F厨房廻り詳細図(改修)	1/100	M-163	空気調和設備 熱源機械室配管平面詳細図(1)(撤去)	1/200			

【本図面は概要図です】
全ての図面は、持参頂く未使用CD-Rと引換えにて、PDFデータコピー済CD-Rをご提示致します。
ケースは持参願います。

【数量書】
図面と一緒に提供します。

【引換開始日時】
10月6日 13:00より

【引換場所】
**国立青少年教育振興機構
 国立オリンピック記念青少年総合センター
 センター棟1階施設管理室**

特記事項	課長	課長補佐	係長	係長
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善工事			

国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事

I 工事概要

東京都渋谷区代々木神園町3番1号
(国立オリンピック記念青少年総合センター構内)

2. 完成期限 令和 5 年 3 月 31 日 (金曜日)

3. 建物概要

建物名称	カルチャー棟		
工種	棟樑替		
構造	RC一部S及びSRC造		
階数	地下1階地上4階 PH階		
建築基準法による	建築面積 (㎡)	6,812.25	
	延べ面積 (㎡)	17,189.89	
消防法施行令別表第一の区分	(15)		
改修面積 (㎡)	図示		
建物使用の有無	有		

4. 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	建物別及び屋外		
	カルチャー棟		屋外
●空調和設備	一式		
●換気設備	一式		
○排煙設備			
●自動制御設備	一式		
●衛生器具設備	一式		
●給水設備	一式		
●排水設備	一式		
○給湯設備			
○消火設備			
○ガス設備			
○雨水利用設備			
●撤去工事	一式		

5. 指定部分 ●無 ○有 対象部分 (年 月 日)

6. 概成工期 ●無 ○有 令和 年 月 日 (曜日)

(第1編1.1.2) [第1編1.1.2]

7. 設備概要 (●印の付いたものを適用する)

方式及び種別	設 備 概 要
空調方式	●空調和機(ダクト・ファンコイルユニット併用)●空冷ヒートポンプエアコン(電気式)
換気方式	●天井換気扇 ●空調和機
給水方式	●加圧給水方式
排水方式	●建物内分流式(実験排水系統、高温水系統、汚水・雑排水系統)
給湯方式	○ガス湯沸器(シャワー系統)
消火設備	○屋内消火栓設備、連結送水管設備
ガスの種類	○都市ガス13A

II 工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 独立行政法人国立青少年教育振興機構発注工事請負契約規則第二章第19条の工事請負契約基準、現場説明書、図面106枚及び本特記仕様書2枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)
 - 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。)
 - 文部科学省機械設備工事標準図(特記基準)(平成31年版)(以下「文科標準図」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)
 - 文部科学省電気設備工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。)
 - 工事写真撮影要領(令和元年7月)
- (2) 建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。なお、建築工事の特記仕様書は()図、電気設備工事の特記仕様書は()図による。

2. 特記仕様

- (1) 本特記仕様書の表記
- 1) 項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。
 - 2) 項目に記載の(第 編 . . .)内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。
 - 3) 項目に記載の[第 編 . . .]内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。
 - 4) 項目に記載の<第 編 . . . >内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。

一般共通事項

章	項目	特記事項	
●	●適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ●風圧力 風速 (Vo= 34 m/s) 地表面粗度区分 (Ⅲ) ●積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 (二十四) この工事現場に、下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。	
	●電気保安技術者 (第1編1.3.2)		
	[第1編1.3.2]		
		項目名	電気保安技術者
		1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	●
		2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
		3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	●
		4. 旧電気工事技術者検定期による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	●
		5. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	●
		6. 第1種電気工事士の資格を有する者	○
	7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○	
	8. 第2種電気工事士の資格を有する者	○	
	9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者	○	
	工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づき有資格者を定め、監督職員に報告する。		
●	●施工条件 (第1編1.3.3)		
[第1編1.3.3]			
●	●環境への配慮 (第1編1.4.1)		
[第1編1.4.1]			
●	●機材の品質等 (第1編1.4.2)		
[第1編1.4.2]			
○	○機材の検査等 (第1編1.4.5~6)		
[第1編1.4.5~6]			
●	●施工調査 (第1編1.5.1~3)		
[第1編1.5.1~3]			

●技能士

- (第1編1.5.2)
- [第1編1.6.2]

- 施工の検査等
検査に伴う試験・立会い等
(第1編1.5.4~6)
[第1編1.6.5~7]

○技術検査

- (第1編1.6.2)
- [第1編1.7.2]

●完成時の提出図書

- (第1編1.7.1~2)
- [第1編1.8.1~3]

●安全に関する資料

- (第1編1.7.3)
- [第1編1.8.4]

●他工事又は他工種との取り合い

●電動機

- (第2編1.2.1)
- [第2編1.2.1]

●電源周波数

- 50Hz ○60Hz

●容量等の表示

●総合試運転調整

- (第2編1.3.1~3)
- [第2編1.3.1~3]

●足場その他

- (第2編4.1.1)
- [第1編2.1.1]

○埋め戻し土・盛土

- (第2編4.2.1)
- [第2編7.1.1]

○建設発生土の処理方法

- (第2編4.2.1)
- [第2編7.1.1]

○地中埋設標等

- (第2編2.7.1~3)

下記の職種及び作業に適用する。

●配管(配管工事) ○建築板金(ダクト製作及び取付)
○熱絶縁施工(保温工事) ○冷凍空調和機器施工

下記の施工部分は、監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。

施工部分	検査	立会	試験	備考
	○	○	○	
	○	○	○	
	○	○	○	

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名称	体裁等	部数
●完成図	原因、縮小原図	-
●完成図	見開きA3版複製本	2
※完成図	黒厚表紙金文字入り製本	2
●施工図	原因	-
●施工図	見開きA3版複製本	2
※機器完成図	黒厚表紙金文字入り製本	2
※各種試験成績書	黒厚表紙金文字入り製本	2
※諸手続き書類(写)	黒厚表紙金文字入り製本	2
※保全指導書	黒厚表紙金文字入り製本	2
●工事写真帳	電子媒体・紙媒体(ファイル綴じ)	1

CADデータ (●要 ○不要) ※JWW.DXF.オリジナルの3形式とする。
※印は一冊にまとめてよい。
本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。
●上記完成図書一式

貸与する設計図のCADデータ著作社名： ファイル形式：
貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成の為に以外に使用しないこと。
提出方法：

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。

●50Hz ○60Hz

(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

●本工事 ○別途
調整項目(測定箇所等は監督職員の指示による。)
●風量調整 ●水量調整 ●室内外空気温湿度の測定
●室内気流及びじんあいの測定 ●騒音の測定 ○飲料水の水質の測定
○雑用水の水質の測定 ○

●別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
●本工事で設置する。(図参照)
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
○内部足場(○種○種) ○外部足場(○種○種)
●搬入経路・ELV内、及び既設RC壁・床等の孔明けの際は、ビニールシート又はプラベニア等で適切な養生を行い、周囲を汚損しないよう配慮すること。又、清掃は毎日の作業終了後必ず行うこと。

○根切り土の良質土 ○山砂の類
以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。
○
○
○

○構内敷きならしとする。 ○構外に搬出し、適切に処分する。

(1) 地中埋設標 ○要(図示による) ○不要
(2) 埋設表示テープ ○要(排水管を除く) ○不要

●耐震措置

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版(独立行政法人建築研究所監修)による。

(1) 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数 A_A 及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

	機器種別	設計用標準水平震度	
		○特定の施設	●一般の施設
上層階 屋上及び 塔屋	機器	2.0	1.5
	防振支持の機器	2.0	2.0
	水槽類	2.0	1.5
中間階	機器	1.5	1.0
	防振支持の機器	1.5	1.5
	水槽類	1.5	1.0
地階・1階	機器	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.0	1.0
	水槽類	1.5	1.0

・上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないものの水槽類にはオイルタンクを含む。
・重要機器は次による。
・消火等の防災機能を果たす設備機器

(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。
(3) 吊りボルト等で吊り下げる機器は1m以上となる場合、全て振れ止めを行うこと。

(1) ステンレス鋼管の接合は、下記による。
●呼び径60Su以下 (●SAS322を満足した継手 ○)
(2) 溶接部の非破壊検査 ○不要 ○要
(3) 耐火二層管は各階立管に1箇所、伸縮継手を設置すること。

●配管 (第2編2章)
[第2編第2章]
<第2編1.1.1>
<第2編2.1.1>

●絶縁継手 (第2編2.2.12)
[第2編2.1.1]

●試験 (第2編2.9.1~5)
[第2編2.7.1~5]

●保温 (第2編3.1.1~6)
[第2編3.1.1~3]

●塗装 (第2編3.2.1)
[第2編3.2.1]

●電線類 (第2編4.7.1)

●電線の色別 (第2編2.1.3)
(第3編1.1.4)
[第2編2.1.4]

●既存躯体への穿孔 (第2編5.2.1)

配線及び主回路の導体の色別は、次による。
(第2編2.1.3)
○配線及び主回路の導体の色別は、下記による。

電気方式	第1相	第2相	第3相	中性相
高圧 三相3線式	赤	白	青	
低圧 三相4線式	赤	接地側 白	黒	
	赤	青	黒	白
	赤(青)	接地側 白		
単相2線式	赤	青		
単相3線式	赤	青	白	
直流2線式	青	白		

(1) 分岐回路の色別 分岐前の色別による。
(2) 発電回路の第2相 接地側の電線の色は黄色とする(無停電回路含む)
(3) 分岐回路の2次側 規定しない。
(4) 漏電遮断器回路の接地 専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。

共通事項 配線(1)~(4)による。
左右・上下及び遠近の別は、正面から見た状態
イ) 上下の別は、上からとし、直流2線式は、下からとする。
ウ) 遠近の別は、近いほうからとし、直流2線式は、遠いほうからとする。

備考 (a) 配電盤類については、次による。
(1) 左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに等する側から見た状態とし、分電盤類による。
(2) 三相回路又は単相3線式回路より分岐する回路は分岐前の色別による。
(3) 三相交流の相は、第1相、第2相、第3相の順に相回転するものとする。
(b) 屋外架設配線の色別は、本表によらなくてよい。
(c) 接地線の色別は、監督職員の承認を受けること。
穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。
●はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。
○定査式埋設物調査 ●放射線透過検査
円形開口を新設する際には以下に留意すること。
(1) 開口際の壁筋は最小かぶり30mmを確保すること。
(2) 壁開口の位置は可能な限り、扉の上部かつ構内に設けること。扉と開口のあきは可能な限り確保し、切断しない配筋を最低2本は残すこと。

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					特記仕様書 (1)
					縮尺 - (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				特-01
業務名	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

<p>● 空気調和設備</p> <p>● 設計温湿度 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">外 気</td> <td colspan="4">屋 内</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">一般系統</td> <td colspan="4">一般系統</td> </tr> <tr> <td></td> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>34.8℃</td> <td>58.0%</td> <td>28.0℃</td> <td>成行</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-1.8℃</td> <td>41.7%</td> <td>22.0℃</td> <td>成行</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </p> <p>● 銅板製煙道 (第3編1.1.3) [第3編1.1.1]</p> <p>● ダクト (第3編1.14.1) ~3) [第3編1.2.1]</p> <p>● チャンバー (第3編1.14.4) [第3編1.2.1]</p> <p>● ダンパー (第3編1.15.6) ~14) [第3編1.3.1]</p> <p>● 配管材料 (第2編2.1.1) ~2) [第2編2.1.1] <第2編2.1.1></p> <p>● 弁類 (第2編2.2.1) ~6) [第2編2.1.1]</p> <p>○ 油面制御装置 (第2編2.3.5)</p> <p>● 保温及び消音内貼 (第2編3.1.1) ~2) [第2編3.1.1] [第2編3.1.3]</p>		外 気		屋 内					一般系統		一般系統					温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	夏季	34.8℃	58.0%	28.0℃	成行					冬季	-1.8℃	41.7%	22.0℃	成行					<p>○ 排烟設備</p> <p>○ ダクト (第3編1.14.1) [第3編1.2.1]</p> <p>○ 排烟口の形式</p> <p>○ 排烟口開放及び復帰方式</p> <p>○ 排烟風量測定</p> <p>● システム構成その他</p> <p>● 電気計装用配線 (第4編1.5.1) [第4編1.2.1]</p> <p>● 自動制御設備</p> <p>● 衛生器具設備</p> <p>● 給水設備</p>	<p>○ 亜鉛鉄板 ○ 普通鋼板 (厚 1.6mm)</p> <p>○ パネル形 (○天井取付 ○壁取付) ○スリット形 (○天井取付 ○壁取付) ○ダンパー形 (○天井内取付 ○)</p> <p>○ 電気式 (遠隔操作 ○要 ○不要)</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 2016年版 (一財)日本建築設備・昇降機センター)の排烟風量の検査方法に準じる。</p> <p>別図による。</p> <p>屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。天井内隠への配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。配線及びケーブルについてはエコマテリアル仕様とする。公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事) (統一基準)による。</p> <p>○ 個別感知フラッシュ方式 () ● 図示による。</p> <p>○ A C電源 ○ 自己発電 ○ ● 図示による。</p> <p>○ 図示による。</p> <p>● 自動洗浄装置及びその組み込み小機器</p> <p>● 自動水栓の電源種別 (第5編1.1.7) [第5編1.1.1]</p> <p>○ 衛生器具ユニット (第5編1.1.3) [第5編1.1.1]</p> <p>● 配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</p> <p>○ 量水器 (第2編2.2.16) [第2編2.1.1]</p> <p>○ 量水器樹 (第5編1.8.4) [第5編1.1.1]</p> <p>● 弁類 (第2編2.2.1) ~6) [第2編2.2.1]</p> <p>○ 水栓柱 (第2編2.2.23) [第2編2.1.1]</p> <p>○ 管の地中埋設深さ (第2編2.7.2) [第2編2.5.2]</p> <p>○ 建築物導入部</p> <p>○ 引込納付金等</p> <p>● 給水装置</p>	<p>● 配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</p> <p>● 弁類 (第2編2.2.1) ~6) [第2編2.2.1]</p> <p>● 保温 (第2編3.1.5) [第2編3.1.3]</p> <p>○ 配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</p> <p>○ 屋内消火栓種別 (第5編1.5.2) [第5編1.2.1]</p> <p>○ 屋内消火栓開閉弁 (第5編1.5.2) [第5編1.2.1]</p> <p>○ 地中埋設配管の接合</p> <p>○ 保温 (第2編3.1.5) [第2編3.1.3]</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 (第5編1.5.6) [第5編1.2.2]</p> <p>○ 連結送水管設備 (第5編1.5.9)</p> <p>○ 配管材料 (第6編2.1.1) [第6編2.1.1] (第6編3.1.1)</p> <p>○ メーター (第6編2.1.7) [第6編2.1.1]</p> <p>○ ガス漏れ警報器 (第6編2.1.3) [第6編2.1.1]</p> <p>○ 医療ガス設備工事</p> <p>○ 一般事項 (第11編1.1.1) ~3) ○ 機 材 (第11編2.1.1) ~3) ○ 施 工 (第11編2.2.1) ~2.3.1)</p>	<p>○ 排水設備</p> <p>○ 台所流し等の排水管</p> <p>○ 満水試験継手</p> <p>○ 放流納付金等</p> <p>● 給湯設備</p> <p>○ 消火設備</p> <p>○ ガス設備</p> <p>○ 撤去工事</p>	<p>配管材料は (● 下記による。 ○ 図示による。)</p> <p>(1) 屋内 汚水管 ● 排水用塩ビライニング鋼管 雑排水管 ● 配管用炭素鋼鋼管 (白) 透気管 ● 配管用炭素鋼鋼管 (白) ホップアップ管 ○ 第一樹まで ○ 樹間 ○</p> <p>○ 図示による。</p> <p>図示の位置に取り付ける。</p> <p>○ 要 (本工事 () ○ 別途) ○ 不要</p> <p>配管材料は (● 下記による。 ○ 図示による。)</p> <p>● ステンレス鋼管 (メカニカル継手)</p> <p>● 図示による。(特記なき場合の耐圧は、5K とする。) ● ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。</p> <p>配管材料は (● 下記による。 ○ 図示による。)</p> <p>(1) 屋内消火栓 一般 ○ 地中 ○ (2) 連結送水管 一般 ○ 地中 ○ (3)</p> <p>○ 広範囲型2号消火栓 ○ 易操作性1号消火栓 ○ 1号消火栓 ○ 2号消火栓</p> <p>○ 10K</p> <p>外面被覆鋼管の呼び径100A以下はねじ接合とする。</p> <p>○ 屋外露出部分 ○ 有 (○ ● 2・(ハ)・Ⅶ ○) ○ 無</p> <p>別図による。</p> <p>別図による。</p> <p>別図による。</p> <p>配管材料は (○ 下記による。 ○ 図示による。)</p> <p>○ 都市ガス 一般ガス導管事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス</p> <p>○ 親メーター (○実測式 ○バルブ式) (○貸与品 ○既設品) ○ 子メーター (○実測式 ○バルブ式) (○買取り ○)</p> <p>○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○無 ○有)</p> <p>1) ガスの種別は、下記による。 ○ 酸素 ○ 亜酸化窒素 (笑気) ○ 治療用空気 ○ 二酸化炭素 ○ 吸引 (○水封式 ○油回転式) ○ 麻酔ガス排除 (排ガス) ○ 圧縮空気 (○治療用 ○手術機器駆動用) ○ 手術器械駆動用窒素</p>	<p>○ 特殊ガス等設備工事</p> <p>○ 一般事項 <第5編1.1.1 ~2></p> <p>○ 機 材 <第5編2.1.1 ~2.4.3></p> <p>○ 施 工 <第8編3.1.1 ~3.2.8></p> <p>○ システム構成その他</p> <p>○ 配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</p> <p>○ 量水器 (第2編2.2.16) [第2編2.1.1]</p> <p>○ 弁類 (第5編1.8.1) [第5編1.1.1]</p> <p>○ 事前調査 (第7編1.2.1)</p> <p>○ 掘削 (第7編2.1.1) (第7編3.1.1)</p> <p>○ 試験 (第7編3.1.4)</p> <p>● 撤去工事</p> <p>● 撤去内容 [第1編4.1.1] ~4.2.4)</p> <p>● 発生材の処理等 [第1編5.1.1] ~2)</p>	<p>1) ガスの種別は、下記による。 ○ 窒素ガス (○高純度 ○一般) ○ ヘリウムガス (○高純度 ○一般) ○ 水素ガス (○高純度 ○一般) ○ 酸素ガス (一般) ○ アルゴンガス (○高純度 ○一般) ○ 炭酸ガス (一般) ○ 圧縮空気 (○高純度 ○一般) ○ 圧縮空気 (空気圧縮機)</p> <p>別図による</p> <p>配管材料は (○ 下記による。 ○ 図示による。)</p> <p>(1) 一般配管 ○ (2) 集水管 ○</p> <p>○ 現地表示式 (直読式) ○ 遠隔表示式 (バルブ式)</p> <p>○ 図面に特記なき場合の耐圧は、5K とする。</p> <p>下記の項目について事前調査を行う。</p> <p>○ 掘削工法は下記による。 ○ パーカッション式 ○ ロータリー式 ○ ダウンザホールハンマ式 ○ 回転振動式 ○ ロータリーパーカッション式</p> <p>地中熱交換器挿入完了後の水圧試験は下記による。</p> <p>● 改修後に使用しない既設開口孔埋め・補修は本工事とし、タッチアップ等の仕上げは別途建築工事とする。 ● アスベスト撤去処分は関係法令等に基づき適切に処理すること。 ● アスベストの事前調査及び届出等は全て本工事にて行うこと。 ● 図示による。</p> <p>発生材の処理は、下記による</p> <p>(1) 引渡しを要するもの</p> <p>1) 品 名 金属くず、陶磁器くず、廃プラスチック類</p> <p>2) 引渡し先 任意による (産業廃棄物運搬許可免許を有すること)</p> <p>3) 集積場所 任意による (材質により中間処分、最終処分が可能であること)</p> <p>4) 集積方法 任意による</p> <p>(2) 特別管理産業廃棄物</p> <p>1) 品 名</p> <p>2) 処理方法</p> <p>(3) 現場において再利用するもの</p> <p>1) 品 名</p> <p>2) 使用場所</p> <p>(4) 再生資源化するもの</p> <p>1) 品 名</p> <p>(5) その他の発生材</p> <p>1) 品 名 : 全発生材 2) 処理方法 : 関係法令に従い適切に処理</p>
		外 気		屋 内																																												
	一般系統		一般系統																																													
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																								
夏季	34.8℃	58.0%	28.0℃	成行																																												
冬季	-1.8℃	41.7%	22.0℃	成行																																												
特記事項	<p>課 長</p> <p>課長補佐</p> <p>係 長</p> <p>担 当</p> <p>国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事</p> <p>特記仕様書 (2)</p> <p>縮尺 - (A3)</p> <p>独立行政法人 国立青少年教育振興機構</p> <p>業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務 (設備)</p> <p>株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬</p>				<p>特-02</p>																																											

工事区分表

- 印の付いたものを適用する。
- が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

区 分		建	電	機	土	備 考
項 目	名 称	築	気	械	木	
コンクリート穴あけ	梁、壁木製型枠入	●				墨出し、補修共
〃	壁スリーブ入れ	●	●	●		ポイド等
〃	床スラブ木製型枠入	●				墨出し、補修除く
〃	床スラブスリーブ入れ	●	●	●		ポイド等
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	●				
配管ダクト類の防水		●				
貫通部補修		●				
ALCパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部	●				
PC版の穴あけ	スリーブ入れ	●				
同上補修		●	●	●		モルタル充てん等
インサート	PC版	●				
インサート	コンクリート床	●	●	●		
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	●				ボード切込、墨出し共
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気設備関係開口部	●				照明器具等
〃	機械設備関係開口部	●	●			空調吹出口
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	●				照明器具、空調吹出口、給排気、ガラリ等
開口補強を必要としない		●	●	●		ボード切込、墨出し共
ボード等の切開		●				
特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工		●				石、金属パネル等
盤等重量物の下地補強	露出形器具取付用	●				
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	●				墨出し共
防火区画貫通部補修		●	●	●		モルタル充てん等
機器・配管取付後の壁、床等の補修		●	●	●		
流し台、ミニキッチン	ステンレス製（含む排水金具）	●				水切り板、同穴あけ共
本体、水切						
同上用配管接続	給排水用			●		
流し台	陶器製			●		
洗面器等取付化粧板		●				
ルーフトレン		●				
堅樋	防露工事共	●				第1樹までの配管
雨水排水管	第1樹から排水幹線までの配管			●		第1樹を含む
〃	幹線の配管			●		
生活排水、実験排水管	建物及び第1樹までの配管			●		第1樹までの配管
〃	第1樹から排水幹線までの配管			●		第1樹を含む
〃	幹線の配管			●		
大型機械基礎		●				
同上基礎上鉄骨架台		●				
機器用アンカーボルト	ボイラ等機械設備関係機器			●		墨出し、型枠入れ共
〃	自家発電機等電気設備関係機器	●				墨出し、型枠入れ共
一般機器類の基礎	仕上げ共					図示による
屋外自立盤の基礎	仕上げ共					図示による
屋外貯油槽	地下式			●		
共同溝	歩床コンクリート	●				
建物、共同溝接続トレンチ		●				
同上接続部止水板						図示による
各種槽類	コンクリート製	●				
〃	SUS、FRP、鋼製			●		
〃	屋外大型のもの基礎	●				
〃	屋上設置のもの基礎	●				
換気扇取付	ダクトのあるもの			●		天井扇等
〃	壁、サッシ等への取付（材共）			●		フード取付共
同上用スイッチ				●		ボックス共
同上用電源配線				●		
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製	●				
全熱交換器				●		付属SWは電気工事へ支給
同上用スイッチ				●	●	70A/17 SWの配線・取付は機械工事
外壁取付ガラリ	給排気用	●				
内壁取付ガラリ		●				遮光ガラリ共
ガラリへの給排気ダクト接続				●		
煙感知器連動防火戸		●				
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共			●		
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共			●		
排煙防火ダンパー	リレー取付まで①			●		
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②	●				
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③	●				
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共	●				

区 分		建	電	機	土	備 考
項 目	名 称	築	気	械	木	
道路側溝用排水	L型・U型と管敷設	●				
制御盤	制御盤以降の配管、配線共		●			
同上用電源配線	1次側接続まで		●			接地共
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤			●		
屋内消火栓起動リレー				●		
同上表示灯及び起動装置				●	●	
自動火災報知器				●		
連結送水口	座板共			●		
独立煙突		●				
同上煙道	鋼板製			●		
同上雷保護設備				●		
配管配線用ビット		●				
盤、配管、ダクト、配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等	●				
コンクリートシャフト		●				
点検口						
天井フック		●				
機械室、電気室の防音遮音処理		●				
特殊サイズ鏡		●				
化粧洗面器、鏡	化粧カウンターは除く			●		
雷保護設備				●		
保守管理用タラップ、はしご		●				トレンチ、床下部、屋上
室内テレビ用吊金物		●				プロジェクター用吊金物含む
テレビアンテナ	取付共			●		
同上用基礎		●				
グリストラップ及びガソリトラップ	コンクリート製	●		●		
電動シャッターの配管配線	二次側、操作盤、押釦取付共	●		●		
同上用電源配線	一次側接続まで			●		
自動扉の配管配線	二次側	●				
同上用電源配線	一次側接続まで			●		
電気錠操作盤	読取装置共					物品による
同上配管配線				●		
電気錠	配管配線、接続ボックスまで					物品による
同上配管配線	操作盤～接続ボックスまで			●		
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む	●	●			
同上用電源配線	一次側接続まで			●		
同上用信号線	各メーターから装置まで			●	●	
ユニットバス本体	据付共	●				
同上用電源配線	一次側接続まで。SWの取付配線共			●		
同上用配管	接続まで			●	●	
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	現場製作	●				
同上用電源配線	一次側接続まで			●		
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共			●		
同上用配管	接続まで			●	●	
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	プレハブ型	●		●		
同上用電源配線	一次側接続まで			●		
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共			●	●	
同上用配管	接続まで			●	●	
芝生、種子吹付け		●				
法枠、モルタル吹付け		●				
コンクリート擁壁		●				
植栽						

区 分		建	電	機	エ	備 考
項 目	名 称	築	気	械	スカ	
昇降機関連	昇降機設備本体					●
	同上用機械室		●			
	同上用監視盤					●
	同上換気扇取付					●
	機械室換気扇取付	サーモ、スイッチ共				●
	各種信号用制御線	停電用、火災用等			●	
	三方枠周囲の壁仕上				●	
	各層出入口用開口	敷居取付持出し共			●	
	昇降路内中間ビーム設置					●
	ビット内防水				●	
	動力、照明要電源、接地引き込み				●	
	コンセント設置	ビット内、機械室内			●	
	インターホン配線	シャフト外、監視盤～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共			●	
	非常放送用スピーカー				●	● EV総込のみEV
	同上用配線	シャフト外、AMP～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共			●	●
監視カメラ				●	● EV総込のみEV	
同上用配線	シャフト外、監視制御装置～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共			●	●	
点検用タラップ	ビット内				●	

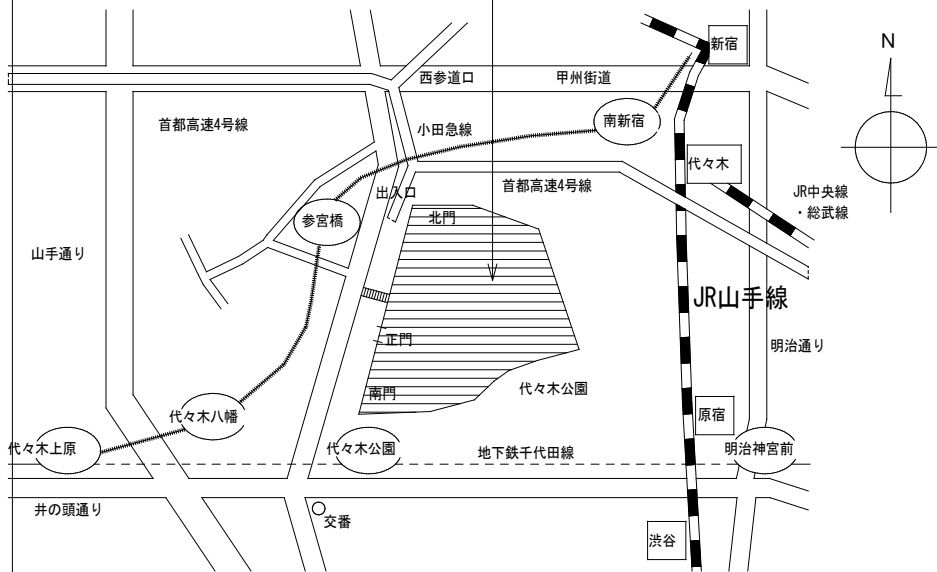
区 分		建	電	機	エ	備 考
項 目	名 称	築	気	械	スカ	
エスカレーター設備	搬入口、据え付け用穴明け、同復旧					
	フレーム受け用枠					
	吊込穴、フック、復旧工事					
	転落防止柵、網、仕切り板					
	三角ガード					
	天井目地、床、回り仕上げ					
	スプリンクラー等					
	防火シャッター					
	床部照明工事					
	下部機械室耐火構造及び防水工事					
	機械室受電盤までの動力線、電灯線、接地線の配管配線					
	点検用電源の機械室までの引き込み配管配線					
	シャッター及びエスカレーター電気インターロック用接点の供給及び配管配線工事（必要な場合）					
	監視盤との信号用配管配線工事					

区 分		建	電	機	ク	備 考
項 目	名 称	築	気	械	レー	
クレーン設備	走行レール、ストッパー					
	クレーン点検台及びはしご					
	走行用給電装置					
	電気工事（電源盤以降2次側）					

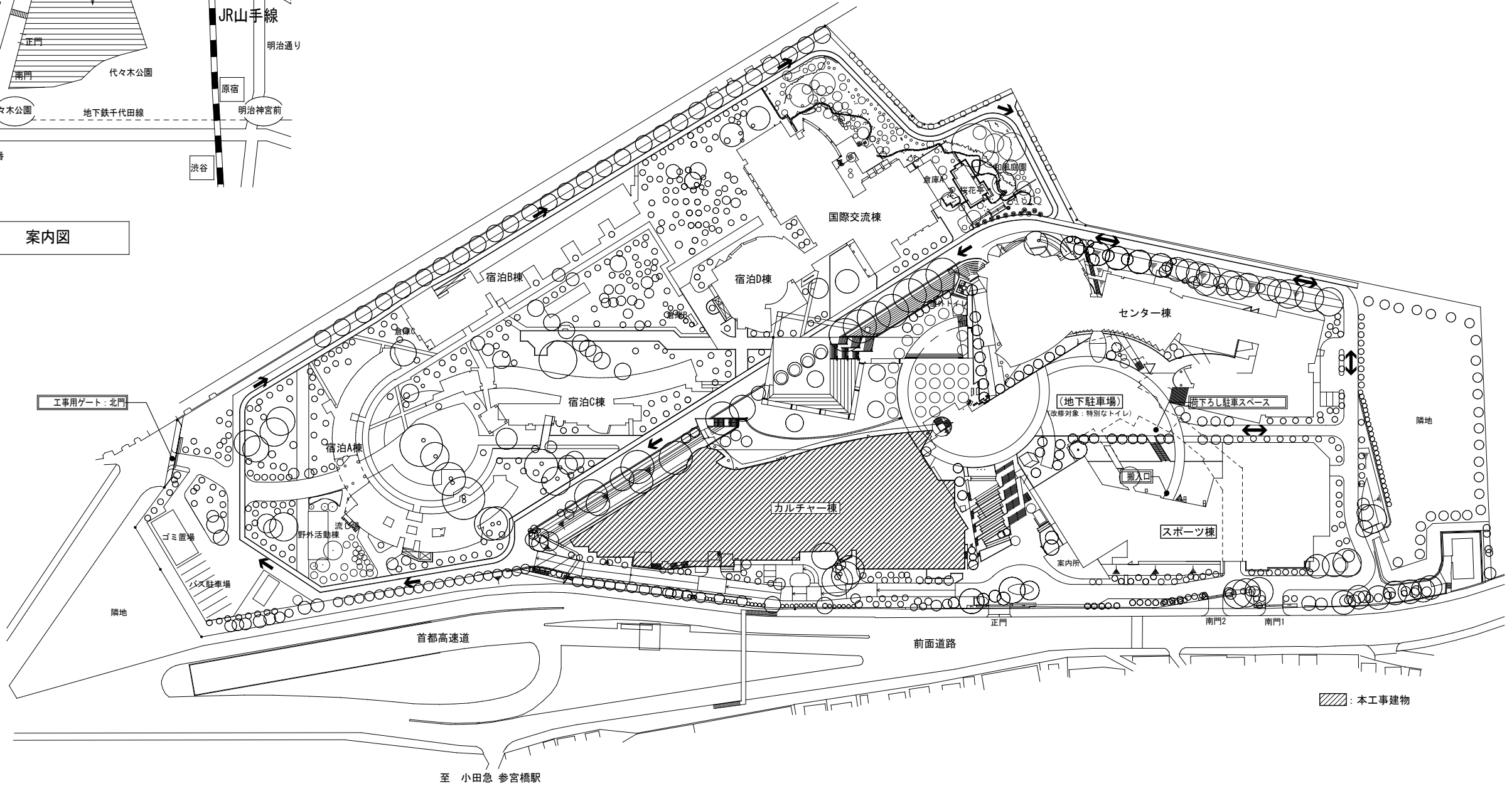
特記事項

課 長	課長補佐	係 長	担 当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				工事区分表 縮尺 REF!
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				特-03
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

(工事場所) 国立オリンピック記念青少年総合センター構内
 地名地番: 東京都渋谷区代々木神園町345番1他
 住居表示: 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

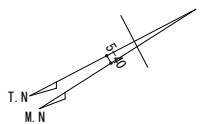


案内図



国立オリンピック記念青少年総合センター 全体配置図

- 【凡 例】
 [] : 仮設計画内容を示す
 → : 工事車両動線 (一方通行) ↔ : 工事車両動線 (対面通行)
- 【特記事項】
 1. 工事用ゲートは北門とする。 ※パネルキャスターゲート (W5.4m×H2m) はセンター棟改修工事の施工者が設置する
 2. 構内は搬出入の車両のみ入構可とする。(但し、構内有料駐車場は台数制限にて調整可) 当該棟搬入口付近より搬入を計画する。搬入利用時間は早朝～8:30までを基本とする
 3. 本工事は2区順次工事とするため、工事進行に伴い適宜調整を行う他、棟内運用状況、本棟別工事、及び他棟工事の状況より柔軟な対応があることを前提とする
 4. 外部足場 (任意仮設) は入札前に建物形状・地盤形状を現地確認の上、安全性に十分留意した計画を行うこと。また、足場には利用者及び職員が近づかないよう、仮囲いを設置すること
 【区分け】
 1. 1工区を地階とする。 2工区を1階とする。



特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				案内図・配置図
				縮尺 1:1000 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-02
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

機器番号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置場所	動力				非常電源	備考
			φ-V	kW	起動			手元	速方	運転	故障		
RA-H-1 (対象外)	吸収冷凍機	型式: 冷水式チラー 冷凍能力: 1.231Kw (350USRT) 冷水量: 3,530L/min (7.0°C-12.0°C) 冷却水量: 5,950L/min (32.0°C-37.5°C) 蒸気消費量: 1,540Kg/h (8.0Kg/cm ²) 高圧再生器 10.0Kg/cm ² 耐圧仕様 補助動力: 冷媒ポンプ 0.4Kw 溶液ポンプ 3.2Kw 損失水頭: 冷水 65KPa 耐水圧: 冷水 8.0Kg/cm ² 冷却水 101KPa 冷却水 10.0Kg/cm ²	3-200	10.5KVA	L-S	2	B1F 冷凍機室		○	○	○		基礎は標準とする。冷温水、冷却水ポンプ発停時の遅延タイマーを設ける。速方発停、監視用の端子を設ける。 運転時表示用端子付
RA-H-2													
RA-H-3	吸収冷凍機	型式: 二重効用吸収冷凍機 冷凍能力: 352KW (100USRT) 冷水量: 1,010L/min (7.0°C-12.0°C) 冷却水量: 1,700L/min (32.0°C-37.5°C) 蒸気消費量: 440Kg/h (8.0Kg/cm ²) 高圧再生器 10.0kg/cm ² 耐圧仕様 補助動力: 冷媒ポンプ 0.15Kw 溶液ポンプ 2.2Kw 損失水頭: 冷水 39KPa 耐水圧: 冷水 8.0Kg/cm ² 冷却水 57KPa 冷却水 10.0Kg/cm ²	3-200	8.0KVA	L-S	1	B1F 冷凍機室		○	○	○		基礎は標準とする。冷温水、冷却水ポンプ発停時の遅延タイマーを設ける。速方発停、監視用の端子を設ける。
BS-1	蒸気ボイラー	型式: 潜熱回収形小型貫流ボイラー 換算蒸気量 2,500 kg/h 実蒸気量 2,100 kg/h 燃料消費量 都市ガス13A(中庄B) 136Nm ³ /h 最高使用圧力 0.98 MPa 常用使用圧力 0.735 MPa 燃焼方式 比例燃焼(ターンダウン比1:10) 伝熱面積 9.86 m ² 付属品 燃焼器、制御盤、超低NOX仕様 台数削減装置(4台同時動作) 他標準付属品一式	3-200	14.2		5	B1F 熱源機械室2	○	○	○			
BS-2	蒸気ボイラー	型式: 潜熱回収形小型貫流ボイラー 換算蒸気量 3,000 kg/h 実蒸気量 2,700 kg/h 燃料消費量 都市ガス13A(中庄B) 136Nm ³ /h 最高使用圧力 0.98 MPa 常用使用圧力 0.735 MPa 燃焼方式 比例燃焼(ターンダウン比1:10) 伝熱面積 9.86 m ² 付属品 燃焼器、制御盤、超低NOX仕様 既設台数削減装置へ追加 他標準付属品一式	3-200	15.7		2	B1F 熱源機械室2	○	○	○			
TS-1	薬注装置	型式: ダイアフラム式自動薬液注入装置 吐出量 30cc/min X1.47MPa タンク PVC製、25L 付属品 吸入防止弁付注入弁 φ6プレートホース 5m φ5ビニールホース 1m 他標準付属品一式	1-200	0.02		5	B1F 熱源機械室2						複合清圧剤(10kg分納入)

機器番号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置場所	動力				非常電源	備考
			φ-V	kW	起動			手元	速方	運転	故障		
TS-2	薬注装置	型式: ダイアフラム式自動薬液注入装置 吐出量 30cc/min X1.47MPa タンク PVC製、25L 付属品 吸入防止弁付注入弁 φ6プレートホース 5m φ5ビニールホース 1m 他標準付属品一式	1-200	0.02		2	B1F 熱源機械室2						複合清圧剤(10kg分納入)
CT-H-1 (対象外)	冷却塔	型式: 角型クロスフロー開放式(冷水式チラー用) 低騒音 冷却能力: 2,265Kw 冷却水量: 5,950L/min (32.0°C-37.5°C) 外気条件: 27.0°CWB 送風機: 3-200 7.5x2 L-S 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率95.18%、吐出ダクト(2m) アンカーボルトはSUS製とする。又組立ボルト、ナット類はSUS又は溶融亜鉛メッキとする。 内部配管型 設計震度1.5G、騒音値69dB(A)				2	3F 屋上		○	○	○		騒音値は「日本冷却塔工業会」による。 塔体高さが1.5m以上の場合は トラップを設ける
CT-H-2													
CT-H-3	冷却塔	型式: 角型クロスフロー開放式(二重効用吸収冷凍機用) 低騒音 冷却能力: 648Kw (白濁防止型) 冷却水量: 1,700L/min (32.0°C-37.5°C) 外気条件: 27.0°CWB 送風機: 3-200 5.5 L-S 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率96.73%、吐出ダクト(2m) アンカーボルトはSUS製とする。又組立ボルト、ナット類はSUS又は溶融亜鉛メッキとする。 内部配管型 設計震度1.5G、騒音値66dB(A)				1	3F 屋上		○	○	○		騒音値は「日本冷却塔工業会」による。 塔体高さが1.5m以上の場合は トラップを設ける
PCD-H-1 (対象外)	冷却水ポンプ	型式: 片吸込渦巻ポンプ(高圧込用: 7.0Kg/cm ² 、背圧力4.9Kg/cm ²) 200x150φx5,950L/min x 392KPa 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率90%、圧力計x2				2	B1F 冷凍機室	○	○	○			
PCD-H-2			3-400	75.0	A-Δ								
PCD-H-3	冷却水ポンプ	型式: 片吸込渦巻ポンプ(高圧込用: 7.0Kg/cm ² 、背圧力4.9Kg/cm ²) 150x125φx1,700L/min x 343KPa 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率90%、圧力計x2				1	B1F 冷凍機室	○	○	○			
PC-H-1.2	冷水一次ポンプ	型式: 片吸込渦巻ポンプ(背圧力1.0Kg/cm ²) 150x125φx3,530L/min x 196KPa 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率90%、圧力計x1				2	B1F 冷凍機室	○	○	○			
PC-H-3	冷水一次ポンプ	型式: 片吸込渦巻ポンプ(背圧力1.0Kg/cm ²) 100x80φx1,010L/min x 147KPa 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率90%、圧力計x1				1	B1F 冷凍機室	○	○	○			
PH-H-1.2.3	温水一次ポンプ	型式: 片吸込渦巻ポンプ(背圧力1.0Kg/cm ²) 125x100φx2,310L/min x 147KPa 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率90%、圧力計x1				3	B1F 冷凍機室	○	○	○			
PC-H-4.5.6	冷水二次ポンプ	型式: 片吸込渦巻ポンプ(背圧力2.3Kg/cm ²) 100x80φx750L/min x 294KPa				3	B1F 冷凍機室	○	○	○			(INV制御)

※ BS-H-1.2(既設ボイラー)の移設工事は別途とする。
(移設工事とは、ボイラー取り外し、構内運搬および機器搬入付けを示す)

注1) □ 新設範囲を示す。

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空気調和設備 機器表(1) (改修)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-03
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

機器番号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置場所	動力				非常	備考
			φ-V	kW	起動			手元	遠方	運転	故障		
PH-H-4.5.6	湯水二次ポンプ	型式:片吸込渦巻ポンプ(背圧力:2.3Kg/cm ²) 80x65φx350L/minx245KPa 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率90%、圧力計x1	3-400	7.5	△	3	B1F 冷凍機室		○	○	○		(INV制御)
PCH-H-1.2.3	冷温水二次ポンプ	型式:片吸込渦巻ポンプ(背圧力:2.3Kg/cm ²) 150x125φx2.620L/minx343KPa 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率90%、圧力計x1	3-400	30.0	△	3	B1F 冷凍機室		○	○	○		(INV制御)
PSD-H-1-5	ボイラー給水ポンプ	型式:多段渦巻ポンプ(耐温:95℃、主軸:SUS304、横型) 65φx240L/minx1.225KPa 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率90%	3-200	15.0	△	5	B1F 熱源機室		○	○	○		(1台予備)
PU-H-1	給水ポンプユニット	型式:圧力タンク付給水ポンプユニット(自動交互運転、定圧給水) 32φx50x90L/minx392KPa x2 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率90% 形跡盤共(製造者標準品)、ELB、運転表示、故障表示用端子付	3-200	1.5x2	L-S	1組	B1F 熱源機室		○	○	○		同時運転有
PU-H-2	給水ポンプユニット (蒸気発生器用)	型式:受水槽付給水ポンプ(定圧給水) 32φx30L/minx176KPa 付属品: 受水槽:300L(FRP製)	3-200	0.75	L-S	1	B1F 熱源機室		○	○	○		
PWD-H-1	ボイラードレン用排水ポンプ	型式:雑排水用水中ポンプ(自動交互運転、耐温:60℃) 65φx200L/minx147KPa 付属品: 巻取装置付、ケーブル:10m	3-200	2.2x2	L-S	1組	B1F 熱源機室下部		○	○	○		
PDF-H-1	ドレンフィルターポンプ	型式:片吸込渦巻ポンプ(背圧力:1.0Kg/cm ²) 50x40φx300L/minx294KPa 付属品: スプリング防振架台 絶縁効率90%、圧力計x1	3-200	3.7	L-S	1	B1F 熱源機室		○	○	○		(INV制御)
HE-H-1.2.3	熱交換器	型式: U字管式円筒多管形蒸気-水熱交換器 交換熱量: 756.9Kw 温水量: 2.170L/min(55.0℃-50.0℃) 最高使用水頭: 3.0Kg f/cm ² G 損失水頭: 29.4KPa 蒸気消費量: 1.500Kg/h(2.0Kg f/cm ²) 水室部: 亜鉛アルミニウム合金溶射				3	B1F 冷凍機室						
THW-H-1	遠水タンク	型式: ステンレス鋼板製 材質: SUS444 パネルタンク 有効容量: 57,500L 外形寸法: 6,000x4,000x3,000H 板厚: 天板:1.5t、側板:2.0t、底板:2.0t 付属品: タラップ、ガラスゲージ式 設計震度: 0.6G、架台:1.5m				1	B1F 熱源機室						
TE-H-1	膨張タンク	型式: 開放式鋼板製 冷水用 (TE-100形) 材質: SUS304 容量: 100L 外形寸法: 500x500x500H 架台: 1,000H (L-50x50x6) 付属品: タラップ、設計震度: 1.5G ステンレス溶接部は酸洗い、不動態化処理				1	4F空調機室RF						

機器番号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置場所	動力				非常	備考
			φ-V	kW	起動			手元	遠方	運転	故障		
TE-H-2	膨張タンク	型式: 開放式鋼板製 湯水用 (TE-100形) 材質: SUS304 容量: 1,500L (有効:1,080L) 外形寸法: 1,200x1,200x1,500H 架台: 1,000H (コ125x65x6、L-50x50x6) 板厚: 天板:2.0t、側板:2.0t、底板:2.0t 付属品: タラップ、設計震度: 1.5G ステンレス溶接部は酸洗い、不動態化処理				1	4F空調機室RF						

注1) 新設範囲を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調和設備 機器表(2) (改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 - (A3)
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				M-O 4
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬				

機器番号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置場所	動力				非常	備考	
			φ-V	kW	起動			手元	遠方	運転	故障			電源
ACU-H-1	空調和機	型式: 機型エアハンドリングユニット (B1F大練習室・大練習室前ホール)	送風機: 19,500CMHx機外980Pa	3-200	15.0	△	B1F空調機械室	○	○	○		※1	中間時は全外気運転可能とする 騒音値: 80dB(A)以下	
		外気量: 3,960CMH 冷房能力: 148.6Kw 暖房能力: 32.6Kw 冷水コイル: 430L/min (8列コイル) 温水コイル: 100L/min (4列コイル) コイル空気出入口条件: (夏) 入口: 27.5°CDB 20.3°CWB 出口: 14.6°CDB 13.9°CWB (冬) 入口: 17.7°CDB 11.1°CWB 出口: 22.4°CDB 13.1°CWB 加湿器: 蒸気加湿 1.0Kg/cm ² 有効加湿量 25.7Kg/h												
AFB-H-1	エアフィルター	型式: 折り込み型中性能フィルター (NBS: 90%以上) プレフィルター付ユニットタイプ、初期抵抗: 137Pa以下 フィルター枚数: 中性能: 8枚 プレ: 8枚				1							※2	
ACU-H-2	外気調和機	型式: 立型エアハンドリングユニット (美煙・アーチストラウジ)	送風機: 2,700CMHx機外740Pa	3-200	1.5	L-S	B1F空調機械室	○	○	○		※1 (INV制御)	騒音値: 75dB(A)以下	
		冷房能力: 36.4Kw 暖房能力: 20.3Kw 冷温水コイル: 110L/min (8列コイル) コイル空気出入口条件: (夏) 入口: 33.3°CDB 26.7°CWB 出口: 16.5°CDB 15.3°CWB (冬) 入口: 0.8°CDB -3.0°CWB 出口: 22.0°CDB 8.5°CWB 加湿器: 蒸気加湿 1.0Kg/cm ² 有効加湿量 15.9Kg/h												
AFB-H-2	エアフィルター	型式: 折り込み型中性能フィルター (NBS: 90%以上) プレフィルター付ユニットタイプ、初期抵抗: 137Pa以下 フィルター枚数: 中性能: 2枚 プレ: 2枚				1							※2	
ACU-H-3	外気調和機	型式: 立型エアハンドリングユニット (工芸室・談話ホール・小練習1~3)	送風機: 3,200CMHx機外830Pa	3-200	2.2	L-S	B1F空調機械室	○	○	○		※1 (INV制御)	騒音値: 70dB(A)以下	
		冷房能力: 43.1Kw 暖房能力: 24.1Kw 冷温水コイル: 130L/min (8列コイル) コイル空気出入口条件: (夏) 入口: 33.3°CDB 26.7°CWB 出口: 16.5°CDB 15.3°CWB (冬) 入口: 0.8°CDB -3.0°CWB 出口: 22.0°CDB 8.5°CWB 加湿器: 蒸気加湿 1.0Kg/cm ² 有効加湿量 18.9Kg/h												
AFB-H-3	エアフィルター	型式: 折り込み型中性能フィルター (NBS: 90%以上) プレフィルター付ユニットタイプ、初期抵抗: 137Pa以下 フィルター枚数: 中性能: 2枚 プレ: 2枚				1							※2	

※1 空調和機共通事項
1) 冷水入口温度: 7.0°C、温水入口温度: 55.0°C
2) 風量調整機構は手動とする。
3) コイル透過風速は2.5m/s以下とする。
4) 基礎は防振基礎とする。
5) 機内圧力は196Pa以下とする(エアフィルター側は、機外に含む)
6) コイル出口側に空気抜き弁20Aを設ける。
7) 加湿状態検出ランプは付属とする。
8) 差圧計は付属とする。

9) トレンジ/接続アダプターの材質は鋼板としても良い。
10) 蒸気増圧フィルターケーシング共(フィルター別建)

機器番号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置場所	動力				非常	備考	
			φ-V	kW	起動			手元	遠方	運転	故障			電源
ACU-H-4	外気調和機	型式: 立型エアハンドリングユニット (小ホール楽屋)	送風機: 1,700CMHx機外590Pa	3-200	0.75	L-S	B1F空調機械室	○	○	○		※1 (INV制御)	騒音値: 70dB(A)以下	
		冷房能力: 23.0Kw 暖房能力: 12.8Kw 冷温水コイル: 70L/min (8列コイル) コイル空気出入口条件: (夏) 入口: 33.3°CDB 26.7°CWB 出口: 16.5°CDB 15.3°CWB (冬) 入口: 0.8°CDB -3.0°CWB 出口: 22.0°CDB 8.5°CWB 加湿器: 蒸気加湿 1.0Kg/cm ² 有効加湿量 10.0Kg/h												
AFB-H-4	エアフィルター	型式: 折り込み型中性能フィルター (NBS: 90%以上) プレフィルター付ユニットタイプ、初期抵抗: 137Pa以下 フィルター枚数: 中性能: 1枚 プレ: 1枚				1							※2	
ACU-H-5	外気調和機	型式: 機型エアハンドリングユニット (小練習4~9)	送風機: 3,840CMHx機外690Pa	3-200	2.2	L-S	2F空調機械室	○	○	○		※1 (INV制御)	騒音値: 70dB(A)以下	
		冷房能力: 51.9Kw 暖房能力: 28.8Kw 冷温水コイル: 150L/min (8列コイル) コイル空気出入口条件: (夏) 入口: 33.3°CDB 26.7°CWB 出口: 16.5°CDB 15.3°CWB (冬) 入口: 0.8°CDB -3.0°CWB 出口: 22.0°CDB 8.5°CWB 加湿器: 蒸気加湿 1.0Kg/cm ² 有効加湿量 22.6Kg/h												
AFB-H-5	エアフィルター	型式: 折り込み型中性能フィルター (NBS: 90%以上) プレフィルター付ユニットタイプ、初期抵抗: 137Pa以下 フィルター枚数: 中性能: 2枚 プレ: 2枚				1							※2	
ACU-H-6	外気調和機	型式: 機型エアハンドリングユニット (美術室・和室)	送風機: 2,700CMHx機外590Pa	3-200	1.5	L-S	2F空調機械室	○	○	○		※1 (INV制御)	騒音値: 70dB(A)以下	
		冷房能力: 36.4Kw 暖房能力: 20.3Kw 冷温水コイル: 110L/min (8列コイル) コイル空気出入口条件: (夏) 入口: 33.3°CDB 26.7°CWB 出口: 16.5°CDB 15.3°CWB (冬) 入口: 0.8°CDB -3.0°CWB 出口: 22.0°CDB 8.5°CWB 加湿器: 蒸気加湿 1.0Kg/cm ² 有効加湿量 15.9Kg/h												
AFB-H-6	エアフィルター	型式: 折り込み型中性能フィルター (NBS: 90%以上) プレフィルター付ユニットタイプ、初期抵抗: 137Pa以下 フィルター枚数: 中性能: 2枚 プレ: 2枚				1	2F空調機械室						※2	

※2 エアフィルター共通事項
1) 建材の予備は100%とする。
2) 基礎は標準基礎とする。
3) プレフィルターは製造者標準品とする。
4) フィルターケーシング共とする。(AFUのみ)
5) 差圧計付とする。
6) 最小断面平均面風速は2.5m/s以下とする。
7) 中性能フィルター寸法: 610x610x300t (枠付とする)
8) プレフィルター寸法: 610x610x25t (枠付とする)

注1) 新設範囲を示す。

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調和設備 機器表 (4) (改修)
					縮尺 - (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-06
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

機器番号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置場所	動力					備考
			φ-V	kW	起動			手元	遠方	運転	故障	電源	
ACU-H-19	外気調和機 (厨房)	型式: 機型エアハンドリングユニット 送風機: 9,000CMH×機外440Pa 冷房能力: 92.3Kw 暖房能力: 61.3Kw 冷温水コイル: 270L/min (6列コイル) コイル空気出入口条件: (夏) 入口: 33.3°CDB 26.5°CWB 出口: 19.9°CDB 18.7°CWB (冬) 入口: 0.8°CDB -3.0°CWB 出口: 20.0°CDB 7.5°CWB	3-200	3.7	L-S	1	3F空調機械室		○	○	○		※1
AFB-H-19	エアフィルター	型式: 折り込み型中性性能フィルター (NBS:90%以上) プレフィルター付ユニットタイプ、初期抵抗:137Pa以下 フィルター枚数: 中性能:4枚 プレ:4枚				1	3F空調機械室						※2
ACU-H-20	外気調和機 (小練習11~15)	型式: 立型エアハンドリングユニット 送風機: 3,000CMH×機外780Pa 冷房能力: 40.5Kw 暖房能力: 22.6Kw 冷温水コイル: 120L/min (10列コイル) コイル空気出入口条件: (夏) 入口: 33.3°CDB 26.7°CWB 出口: 16.5°CDB 15.3°CWB (冬) 入口: 0.8°CDB -3.0°CWB 出口: 22.0°CDB 8.5°CWB 加湿器: 蒸気加湿 1.0Kg/cm ² 有効加湿量 17.7Kg/h	3-200	1.5	L-S	1	3F空調機械室		○	○	○		※1 騒音値:70dB(A)以下
AFB-H-20	エアフィルター	型式: 折り込み型中性性能フィルター (NBS:90%以上) プレフィルター付ユニットタイプ、初期抵抗:137Pa以下 フィルター枚数: 中性能:2枚 プレ:2枚				1	3F空調機械室						※2
ACU-H-21	外気調和機 (小練習16~18、10)	型式: 機型エアハンドリングユニット 送風機: 3,200CMH×機外740Pa 冷房能力: 43.1Kw 暖房能力: 24.1Kw 冷温水コイル: 130L/min (8列コイル) コイル空気出入口条件: (夏) 入口: 33.3°CDB 26.7°CWB 出口: 16.5°CDB 15.3°CWB (冬) 入口: 0.8°CDB -3.0°CWB 出口: 22.0°CDB 8.5°CWB 加湿器: 蒸気加湿 1.0Kg/cm ² 有効加湿量 17.5Kg/h	3-200	1.5	L-S	1	3F空調機械室		○	○	○		※1(INV制御) 騒音値:70dB(A)以下
AFB-H-21	エアフィルター	型式: 折り込み型中性性能フィルター (NBS:90%以上) プレフィルター付ユニットタイプ、初期抵抗:137Pa以下 フィルター枚数: 中性能:2枚 プレ:2枚				1	2F空調機械室						※2

- ※1 空気調和機共通事項
1) 冷水入口温度:7.0°C、温水入口温度:55.0°C
2) 風量調整機構は手動とする。
3) コイル通過風速は2.5m/s以下とする。
4) 基礎は防振基礎とする。
5) 騒音低減は19.6Pa以下とする(エアフィルター損失は、機外に含む)
6) コイル出口側、空気吹き弁20Aを設ける。
7) 加湿状態検出ランプは付属とする。
8) 差圧計は付属とする。
- 9) ドレン/巾槽接続アダプターの材質は銅製としても良い
10) 混気箱+フィルター+ケーシング共(フィルター別注)

機器番号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置場所	動力					備考
			φ-V	kW	起動			手元	遠方	運転	故障	電源	
ACU-H-22	空気調和機 (中練習)	型式: 機型エアハンドリングユニット 送風機: 25,200CMH×機外830Pa 外気量: 6,230CMH 冷房能力: 162.6Kw 暖房能力: 92.0Kw 冷水コイル: 470L/min (8列コイル) 温水コイル: 270L/min (4列コイル) 再熱有 コイル空気出入口条件: (夏) 入口: 26.6°CDB 19.2°CWB 出口: 14.0°CDB 12.8°CWB (冬) 入口: 15.7°CDB 9.3°CWB 出口: 26.0°CDB 13.9°CWB 加湿器: 蒸気加湿 1.0Kg/cm ² 有効加湿量 45.4Kg/h	3-200	15.0	L-Δ	1	4F空調機械室		○	○	○		※1(INV制御) 騒音値:75dB(A)以下
AFB-H-22	エアフィルター	型式: 折り込み型中性性能フィルター (NBS:90%以上) プレフィルター付ユニットタイプ、初期抵抗:137Pa以下 フィルター枚数: 中性能:10枚 プレ:10枚				1	4F空調機械室						※2
AFU-H-23	エアフィルター (FS-H-11用)	型式: パネル再生式 (プレフィルター) 天井型 風量: 2,950CMH 面風速:2.2m/s フィルター寸法: 610x610x25t 枚数:1枚 初期抵抗: 55Pa ケーシング取付枠共 ケーシング寸法: 690x700x150L				1	B1F電気室						※2
AFU-H-24	エアフィルター (FS-H-13、14用)	型式: パネル再生式 (プレフィルター) 風量: 3,3170CMH 面風速:2.2m/s フィルター寸法: 500x500x25t 枚数:17枚 初期抵抗: 49Pa ケーシング取付枠共 ケーシング寸法: 3,730x1,725x405L				1	B1F熱源機械室						※2
AFU-H-25	欠番												
AFU-H-26	エアフィルター (FS-H-16用)	型式: パネル再生式 (プレフィルター) 天井型 風量: 1,700CMH 面風速:1.9m/s フィルター寸法: 500x500x25t 枚数:1枚 初期抵抗: 40Pa ケーシング取付枠共 ケーシング寸法: 580x590x150L				1	B1F電気室						※2
AFU-H-27-1	エアフィルター (FS-H-18用)	型式: パネル再生式 (プレフィルター) 風量: 3,500CMH 面風速:1.9m/s フィルター寸法: 500x500x25t 枚数:2枚 初期抵抗: 40Pa ケーシング取付枠共 ケーシング寸法: 1,080x590x150L				1	3F空調機械室						※2
AFU-H-27-2	エアフィルター (FS-H-18用)	型式: パネル再生式 (プレフィルター) 風量: 7,000CMH 面風速:2.0m/s フィルター寸法: 500x500x25t 枚数:4枚 初期抵抗: 43Pa ケーシング取付枠共 ケーシング寸法: 1,080x1,100x150L				1	3F空調機械室						※2
AFU-H-28	エアフィルター (FS-H-21用)	型式: パネル再生式 (プレフィルター) 風量: 600CMH 面風速:0.7m/s フィルター寸法: 500x500x25t 枚数:1枚 初期抵抗: 10Pa ケーシング取付枠共 ケーシング寸法: 580x590x150L				1	3F電気室3-1						※2

- ※2 エアフィルター共通事項
1) 建物の予備は100%とする。
2) 基礎は標準基礎とする。
3) プレフィルターは製造者標準品とする。
4) フィルターケーシング共とする。(AFUのみ)
5) 差圧計付とする。
6) 最小断面平均風速は2.5m/s以下とする。
7) 中性能フィルター寸法: 610x610x300t (枠付とする)
8) プレフィルター寸法: 610x610x25t (枠付とする)

注1) □ 新設範囲を示す。

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空気調和設備 機器表 (7) (改修)
					縮尺 - (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-09
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

機器番号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置場所	動力				備考
			φ-V	kW	起動			手元	遠方	運転	故障	
HEU-H-1	全熱交換ユニット	型式: 天井埋込ダクトタイプ 240 CMH x 8 mmH20 エアフィルター標準品、コントロールスイッチ共	1-100	0.11	L-S	4	B1F 休憩室1-4	○				※9
HEU-H-2	全熱交換ユニット	型式: 天井埋込ダクトタイプ 120 CMH x 8 mmH20 エアフィルター標準品、コントロールスイッチ共	1-100	0.095	L-S	8	B1F 休憩室5-8 B1F 事務室1.2 B1F 控室1.2	○				※9
HEU-H-3	全熱交換ユニット	型式: 天井埋込ダクトタイプ 210 CMH x 8 mmH20 エアフィルター標準品、コントロールスイッチ共	1-100	0.11	L-S	3	B1F 事務室3-5	○				※9
HEU-H-4	全熱交換ユニット	型式: 天井埋込ダクトタイプ 240 CMH x 8 mmH20 エアフィルター標準品、コントロールスイッチ共	1-100	0.11	L-S	1	B1F 中央監査室	○				※9
HEU-H-5	全熱交換ユニット	型式: 天井埋込ダクトタイプ 330 CMH x 8 mmH20 エアフィルター標準品、コントロールスイッチ共 加湿器組込型(1.1kg・h)	1-100	0.185	L-S	1	B1F 来賓室	○				※9
HER-H-1	全熱交換器 (この機器は参考とし、別途とする)	型式: 回転式全熱交換機 給気量: 9,000 CMH x 265 Pa (機内) 排気量: 9,000 CMH x 265 Pa (機内) 熱交換効率: 74% 以上 フィルター: 給気側 中性能フィルター AFI 85% プレフィルター付 排気側 ユニット型 AFI 85% 機内バイパス型: バイパス風量 11,000 CMH バイパスMD付 制御盤共	3-200	2.2	L-S	1	2F 空調機械室 (小ホール)	○	○	○		騒音値 85dB(A)以下
HER-H-2	全熱交換器 (この機器は参考とし、別途とする)	型式: 回転式全熱交換機 給気量: 24,000 CMH x 314 Pa (機内) 排気量: 24,000 CMH x 314 Pa (機内) 熱交換効率: 71% 以上 フィルター: 給気側 中性能フィルター AFI 85% プレフィルター付 排気側 ユニット型 AFI 85% 機内バイパス型: バイパス風量 24,000 CMH バイパスMD付 制御盤共	3-200	7.5	L-S	1	2F 空調機械室 (中ホール)	○	○	○		騒音値 90dB(A)以下
HP-H-1	電気集塵器	型式: 天井埋込カセット型 送風量: 24,000 CMH 集塵率: 80% (0.3μm DOP法) 附属品: 風量切替スイッチ	1-100	0.2	L-S	1	1F 中ホールボワイエ 1F 小ホールボワイエ 2F 談話ホール 3F 談話ホール	○				

- ※9 全熱交換ユニット・全熱交換器共通事項
1) エンタルピ交換効率は70%以上とする。
2) フィルターの予備は100%とする。但し全熱交換器ユニットは、55%以上とする。
3) 配線は付属品とし、運転表示ラップ付とする。
4) 天井埋込ダクトタイプ(500m³/n未満)、カセット形、換気扇等は製造者の標準品とする。
4) 天井埋込ダクトタイプ(500m³/n未満)、及びカセット形は接地端子ロック式プラグ及びコード1m付とする。

機器番号	機器名称	機器仕様	動力			台数	設置場所	動力				備考
			φ-V	kW	起動			手元	遠方	運転	故障	
FSM-H-1	排煙ファン (1F 小ホール廊下) (B1F ホール廊下)	片吸込連心送風機 (リミットロード) 床置き型 #5 x 26,400 CMH x 1666 Pa	3-200	22.0	△-△	1	3F 排煙機械室 3-2	○				※10
FSM-H-2	排煙ファン (1F 小ホール客席)	片吸込連心送風機 (リミットロード) 床置き型 #5 1/2 x 30,000 CMH x 637 Pa	3-200	15.0	△-△	1	3F 排煙機械室 3-2	○				※10
FSM-H-3	排煙ファン (2F 厨房)	片吸込連心送風機 (リミットロード) 床置き型 #4 x 13,500 CMH x 784 Pa	3-200	7.5	L-S	1	3F 空調機械室 3-1	○				※10
FSM-H-4	排煙ファン (B1F 中ホール廊下)	片吸込連心送風機 (リミットロード) 床置き型 #5 x 18,000 CMH x 2254 Pa	3-200	22.0	△-△	1	3F 排煙機械室 3-1	○				※10
FSM-H-5	排煙ファン (1F 中ホール客席)	片吸込連心送風機 (リミットロード) 床置き型 #7 x 42,000 CMH x 686 Pa	3-200	18.5	△-△	1	3F 排煙機械室 3-1	○				※10
FSM-H-6	排煙ファン (B1F 中ホール舞台)	片吸込連心送風機 (リミットロード) 床置き型 #5 x 23,800 CMH x 833 Pa	3-200	11.0	△-△	1	4F 排煙機械室 4-1	○				※10
FSM-H-7	排煙ファン (1F 小ホール舞台)	片吸込連心送風機 (リミットロード) 床置き型 #4 1/2 x 16,000 CMH x 637 Pa	3-200	7.5	L-S	1	4F 排煙機械室 4-2	○				※10

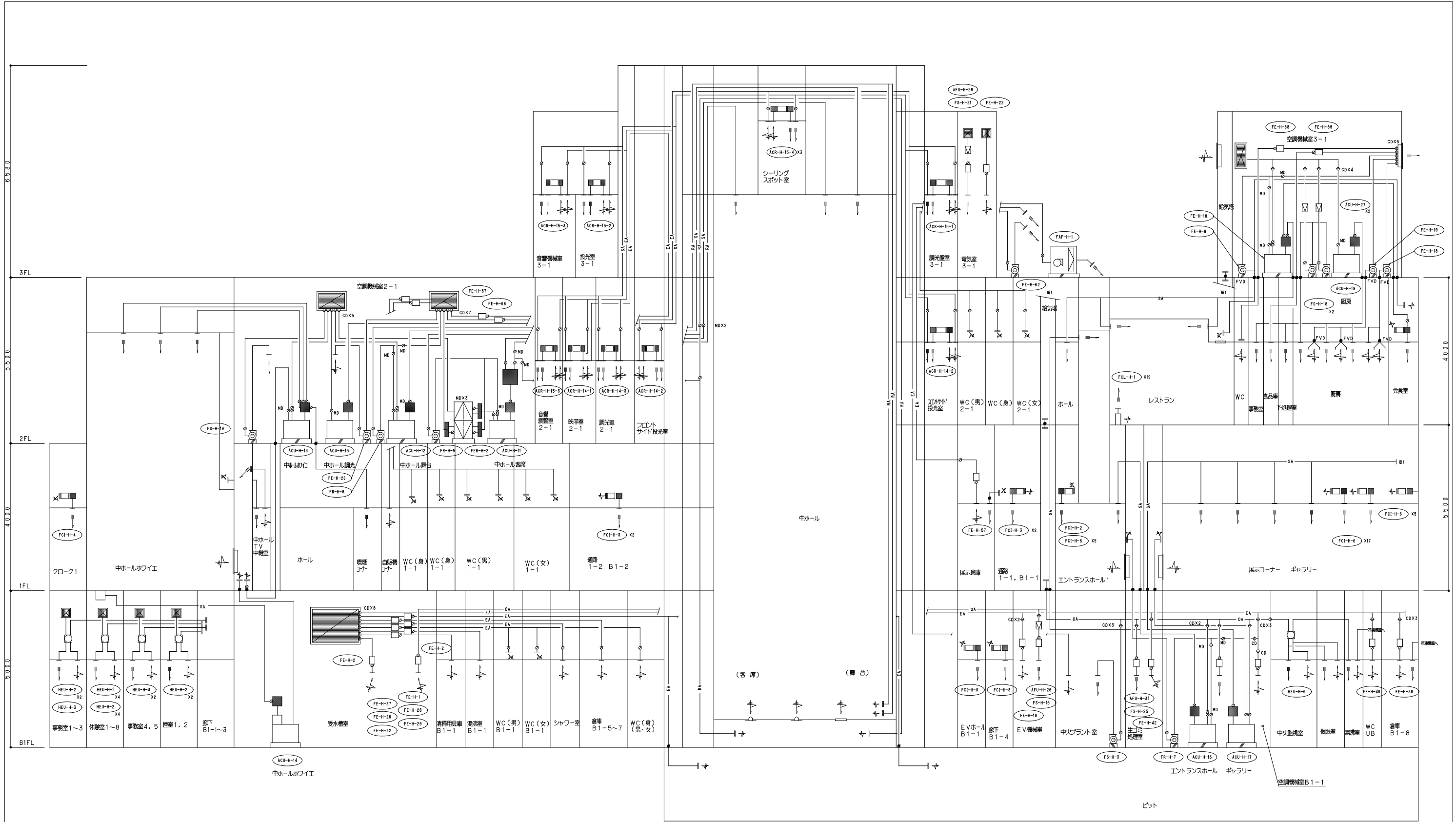
※10 基礎は標準基礎とする。

機器番号	名称	型式	材質			サイズ φ・#	風量 m ³ /h	静圧 Pa	制御方式 停止方式 工事区分	付属品・ 特殊仕様	電気特性		台数	リモコン	防振	設置場所(系統)	備考
			樹脂	銅板	ステンレス						φ	V					
F-1	排風機	消音形ストレートシロッコファン	○			200	360	150	B	電気	1φ 100	0.10	8			IN 工芸室1.2、小練習室36.39	
F-2	排風機	消音形ストレートシロッコファン	○			250	420	150	B	電気	1φ 100	0.10	18			IN 小練習室11.13.21.22.23.24.26.32.34	
F-3	排風機	消音形ストレートシロッコファン	○			200	450	150	B	電気	1φ 100	0.10	8			IN 小練習室12.31.35.38	
F-4	排風機	消音形ストレートシロッコファン	○			200	390	150	B	電気	1φ 100	0.10	6			IN 和室2、小練習室33、37	
F-5	排風機	消音形ストレートシロッコファン	○			200	330	150	B	電気	1φ 100	0.10	2			IN 和室1	
F-6	排風機	消音形ストレートシロッコファン	○			350	1,020	150	B	電気	1φ 100	0.10	2			IN 中練習室41	
F-7	排風機	消音形ストレートシロッコファン	○			350	1,110	150	B	電気	1φ 100	0.10	2			IN 中練習室42	
F-8	排風機	消音形ストレートシロッコファン	○			300	750	50	B	電気	1φ 100	0.10	2			IN 中練習室43	
F-9	排風機	壁付(格子タイプ)	○			200	360	50	B	電気	1φ 100	0.10	2			IN 美術室1	
F-10	排風機	壁付(格子タイプ)	○			200	390	150	B	電気	1φ 100	0.10	2			IN 美術室2	
FS-E1	送風機	片吸込シロッコファン(天吊)	○			#7	60,000	200	R	電気	3φ 200	18.5	1	○		IN 熱源機械室	
FE-E1	排風機	片吸込シロッコファン(天吊)	○			#6	37,800	200	R	電気	3φ 200	11.0	1	○		IN 熱源機械室	

特記
1. 公共建築仕様とする。
2. 機器類の能力は表示された能力以上とし、電動機出力は参考値とする。
3. 電源周波数は50Hzとする。
4. 起動方式は特記無き限り7.5KW以下直入起動・11KW以上は、スターデルタ起動とする。
5. 電動機の保護方法は、室内は防滴防護型で屋外は全閉防まつ型とする。
6. 防振方法
※ストレートシロッコファン、全熱交換ユニット、天井扇はゴム防振とする。
※両・片吸込送風機は以下の通りとする。
#3以上のファンはスプリング防振
#2 1/2以下のファンはゴム防振
#2以上の天吊ファンは耐震鋼材付とする。
7. IN: 屋内設置 OUT: 屋外設置
8. 24時間換気対応スイッチ及びストレートシロッコファンの強弱スイッチは付属品とする。
9. 3φ200Vの片吸込シロッコファンはJIS C 4212もしくは4213に基づく高効率モーターを採用する。
10. 全熱交換ユニットの全熱交換効率はJIS B 8628に基づく。
全熱交換ユニットは交換効率60%とする。
11. 換気電動機出力の試験方法はJIS B 8330による。
12. 全熱交換ユニットは自動換気切替機能及び余熱時外気取入停止機能付とする。
13. 全熱交換ユニットの予備フィルターは50%付属とする。
14. 床置送風機のコンクリート基礎は建築工事とする。
15. 排煙機には制御盤を付属とし、配線を10m見込むこと。
16. 停止方式: A-中央監視 ・B-手元スイッチ ・C-24時間換気スイッチ(強・弱) ・D-遅延スイッチ ・E-サーモ
・H-ヒューミスタッド ・R-連動 ・S-照明運動+遅延タイマー ・T-24時間タイマー付スイッチ

注1) □ 新設範囲を示す。

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空気調和設備 機器表(19)(改修)
					縮尺 - (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-21
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



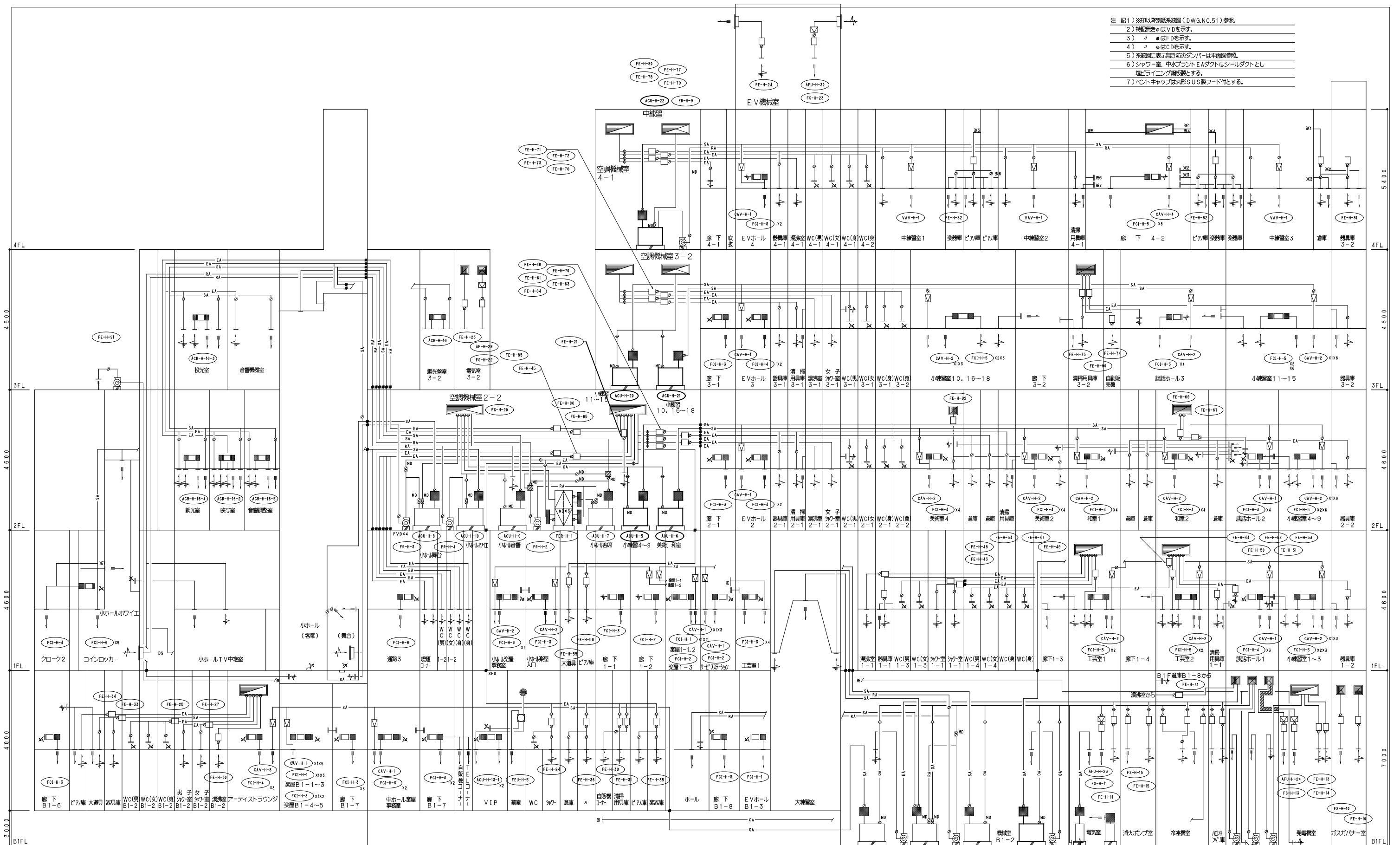
ダクト種類	ダクト使用区分は下記に依る。		コーナーゴルト工法	アングル工法
	常用圧力 (Pa)	正圧		
低圧ダクト	~500	~500	○ (長辺≦1500)	○ (長辺>1500)
高圧ダクト1	+500<~+1000	-1000<~<-500		○
高圧ダクト2	+1000<~+2500	-2500<~<-1000		○

空調換気ダクト系統図(1) S:NON

- 注 記1) ※印以降別紙系統図(DWG.N0.52)参照。
 2) 特記無きはVDを示す。
 3) // #はFDを示す。
 4) // #はCDを示す。
 5) 系統図に表示無き防火ダンパーは平面図参照。
 6) シャワー室、中水プラントEダクトはシールダクトとし、電ドラインング製板とする。
 7) 厨房排気ダクトはシールダクトとする(板厚はDWG.N0.87参照)。
 8) 中水プラント 差圧0AダクトはCD以降、電ドラインング製板とする。

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				空気調和設備 ダクト系統図(1) (改修)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 - (A3)
	独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				M-24
	株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬				

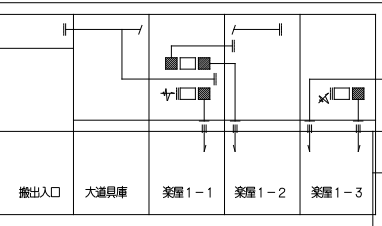
- 注 記 1) ※印は隣接系統図 (DWG. NO. 51) 参照。
 2) 特記無きはV.Dを示す。
 3) // ■はF.Dを示す。
 4) // ⊙はC.Dを示す。
 5) 系統図に表示無き防火ダンパーは平面図参照。
 6) シャワー室、中水プラントE.Aダクトはシールドダクトとし、
 電圧ラインは銅製とする。
 7) ベントキャップは丸形SUS製フット付とする。



ダクト種類 ダクト使用区分は下記に依る。

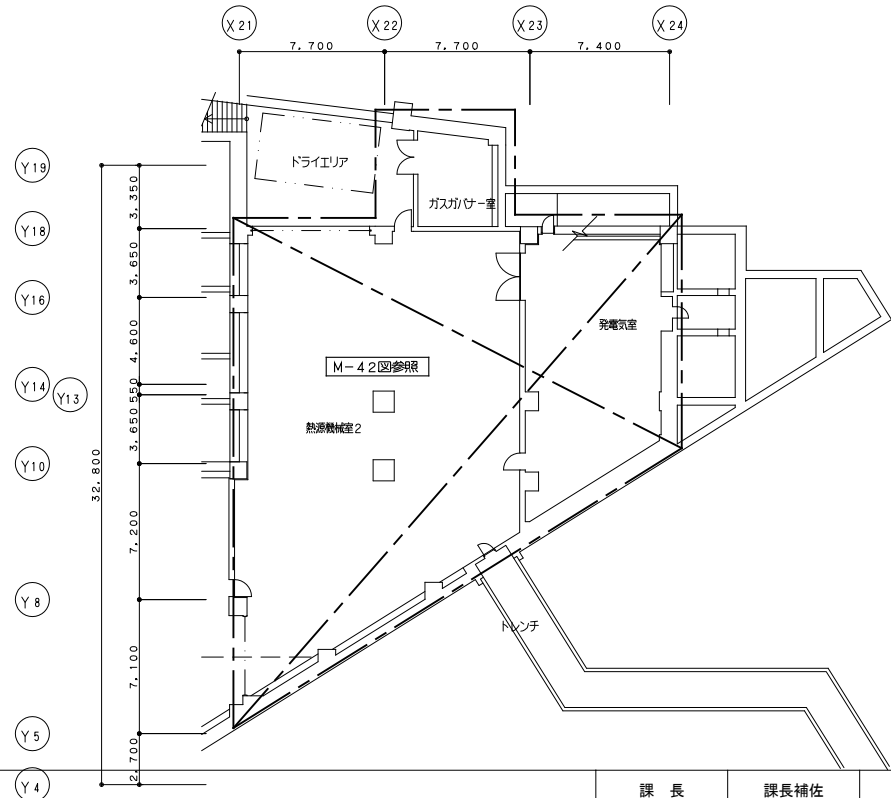
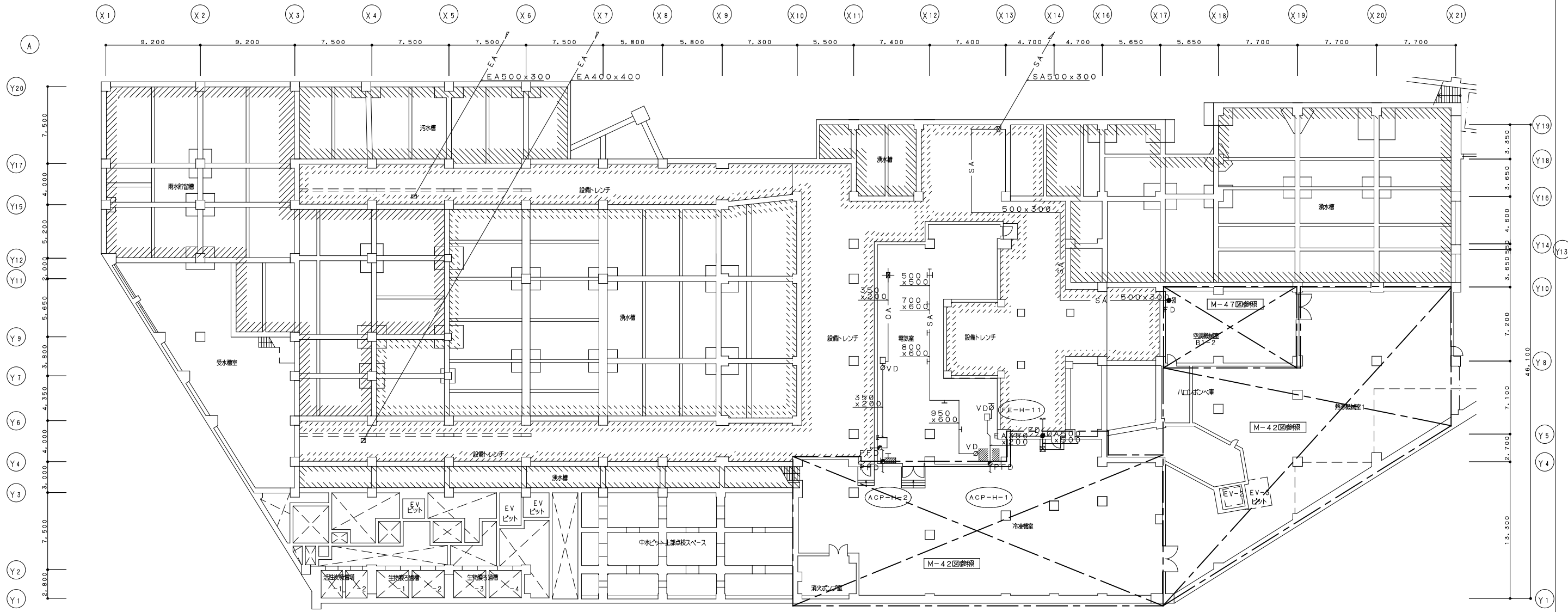
ダクト種類	常用圧力 (Pa)		コーナガルト工法	アングル工法
	正圧	負圧		
低圧ダクト	~≦+500	-500≦~	○(長辺≦1500)	
高圧ダクト1	+500<~≦+1000	-1000≦~<-500		○(長辺>1500)
高圧ダクト2	+1000<~≦+2500	-2500≦~<-1000		○

空調換気ダクト系統図(2) S:NON



注1) 太線部は新設を示す。

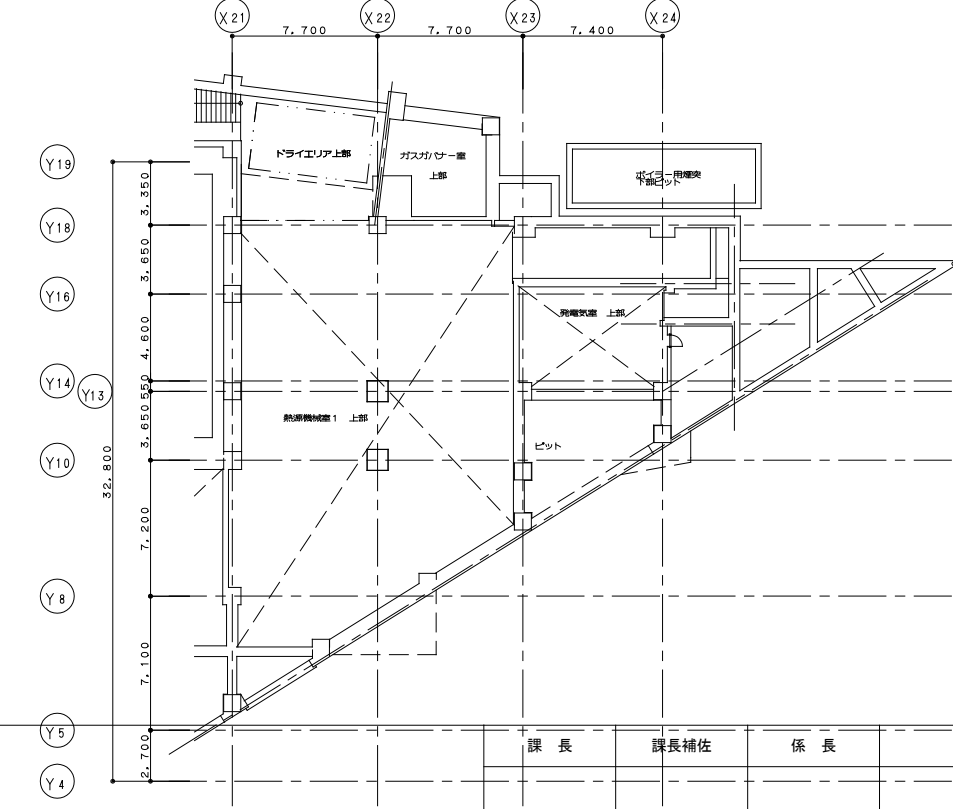
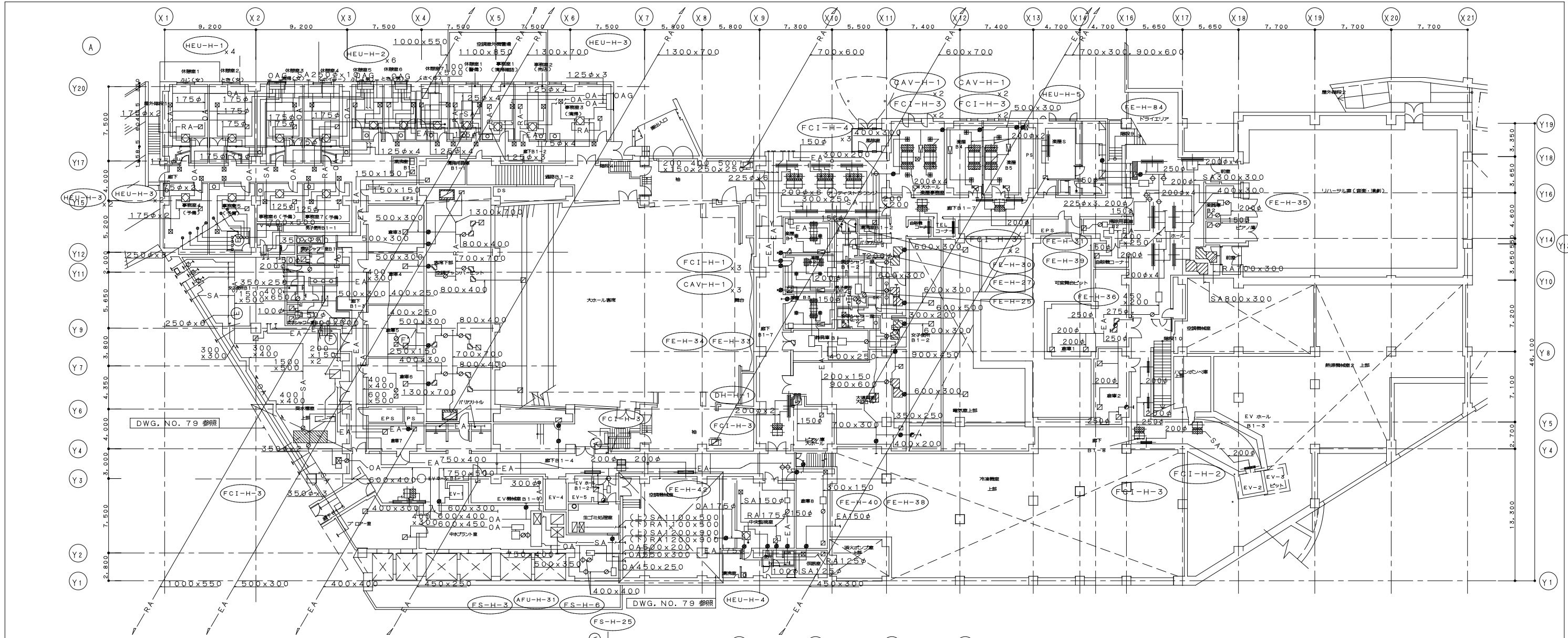
特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空気調和設備 ダクト系統図(2) (改修)
					縮尺 - (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-25
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)					株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



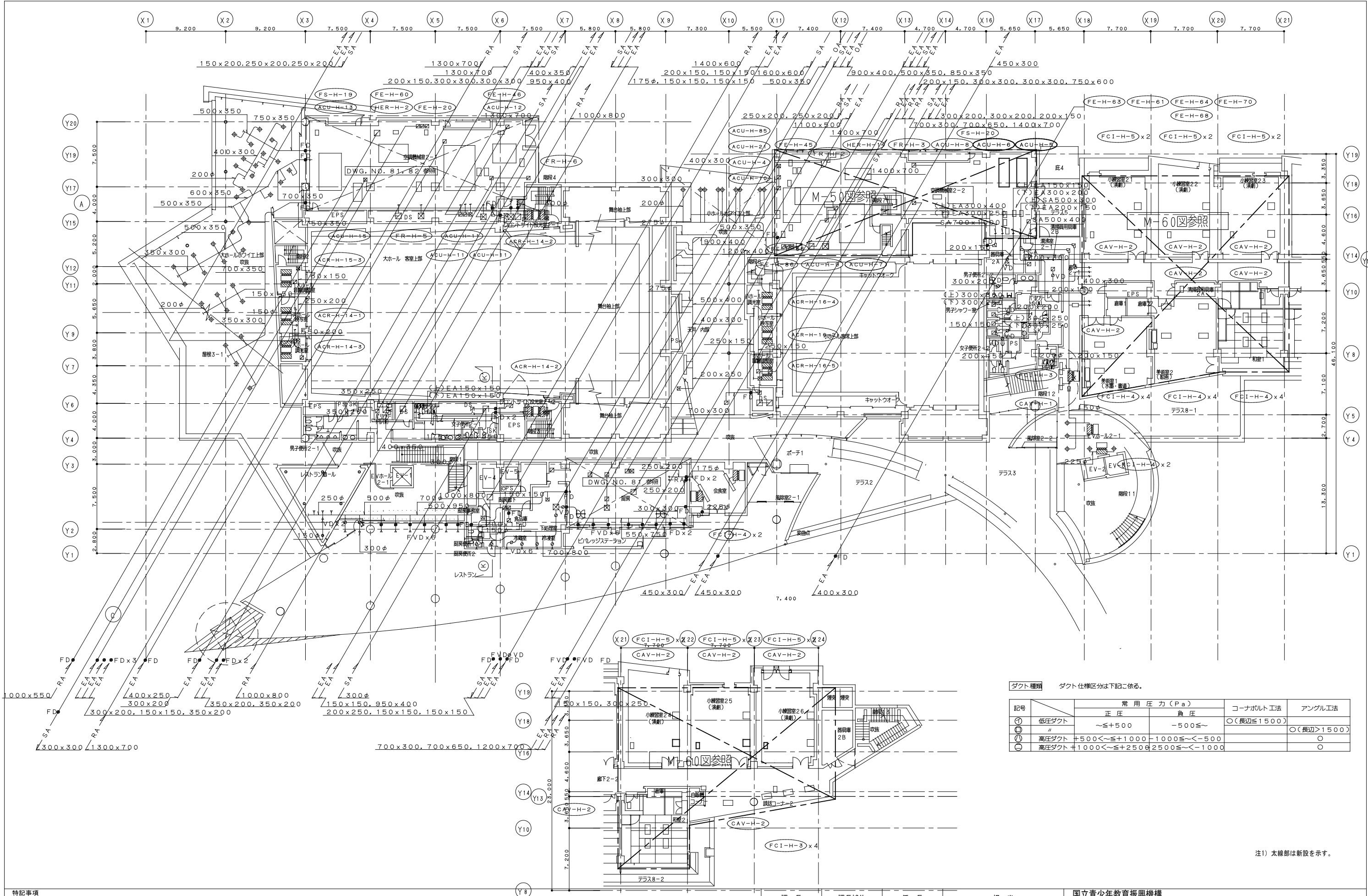
注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				空調和設備 地下1階空調換気ダクト平面図 (1) (改修)
				縮尺 1:400 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-26
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					空気調和設備 地下1階空調換気ダクト平面図(2) (改修)
					縮尺 1:400 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構					M-27
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)					株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



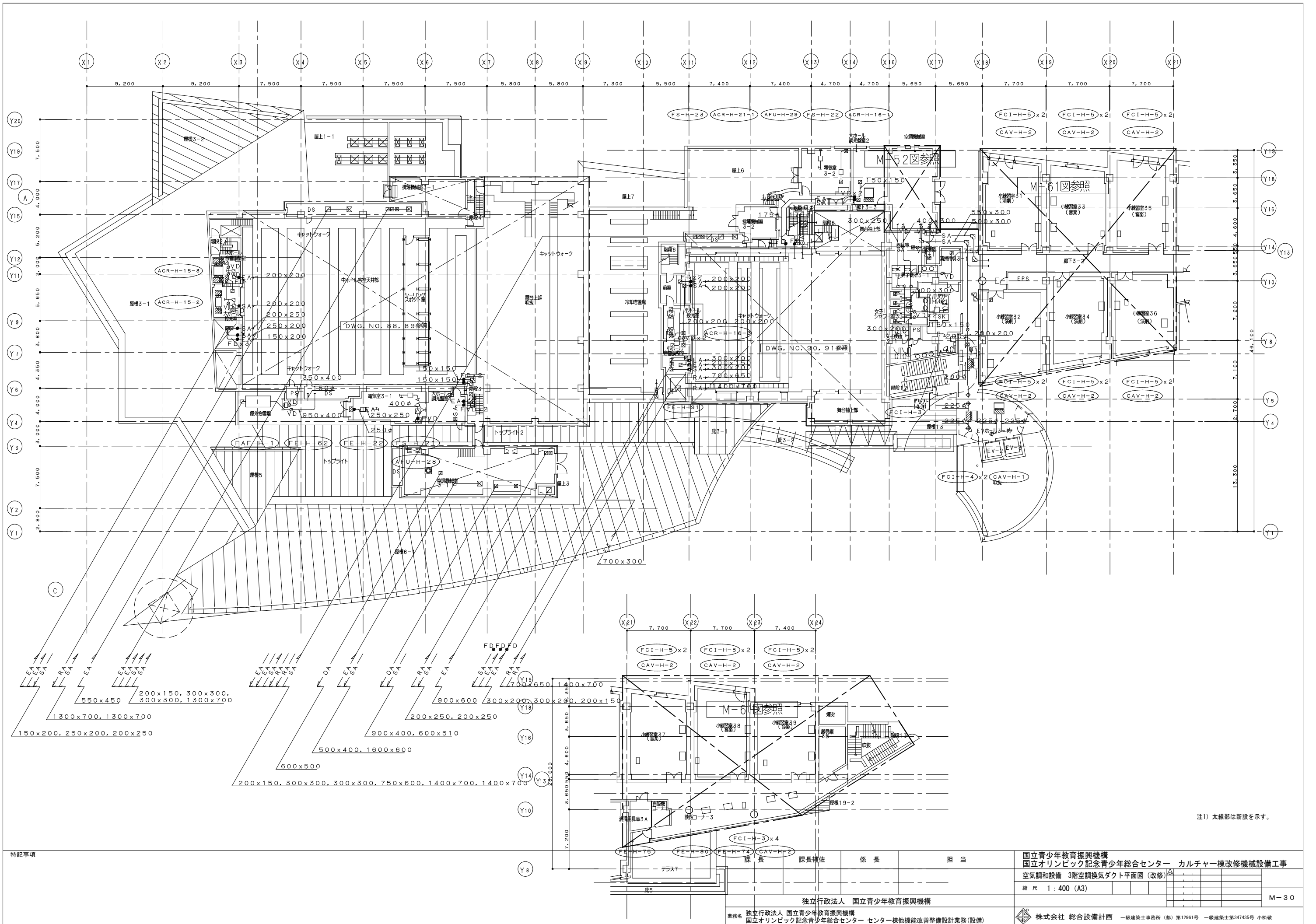
ダクト種類 ダクト仕様区分は下記に依る。

記号	常用圧力 (Pa)		コーナボルト工法	アングル工法
	正圧	負圧		
① 低圧ダクト	~≦+500	-500≦~	○ (長辺≦1500)	○ (長辺>1500)
②				
③ 高圧ダクト	+500<~≦+1000	-1000≦~<-500		○
④ 高圧ダクト	+1000<~≦+2500	-2500≦~<-1000		○

注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空気調和設備 2階空調換気ダクト平面図 (改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-29
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター 棟他機能改善整備設計業務 (設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

国立青少年教育振興機構
 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事

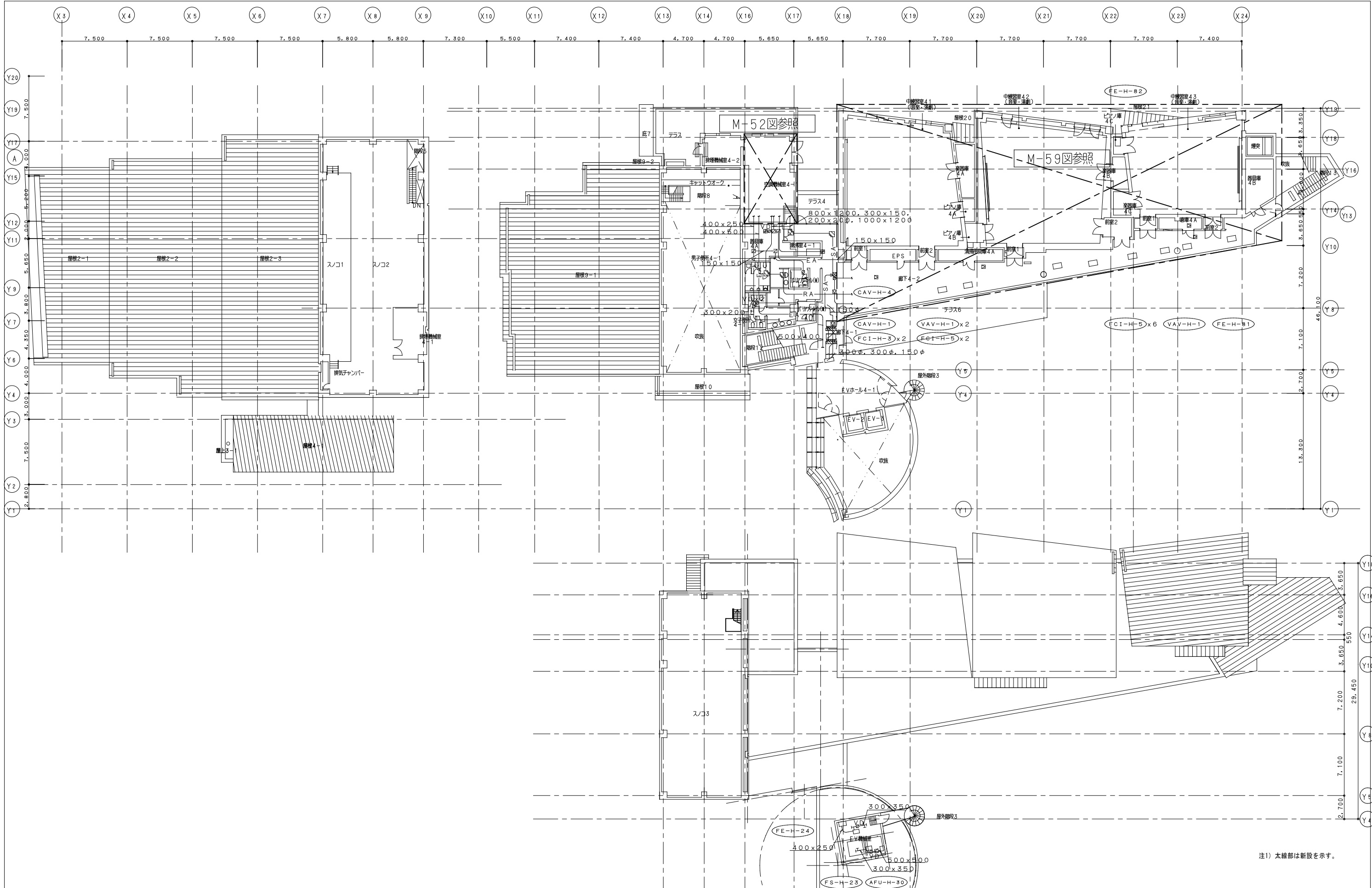
空気調和設備 3階空調換気ダクト平面図 (改修)

縮尺 1 : 400 (A3)

M-30

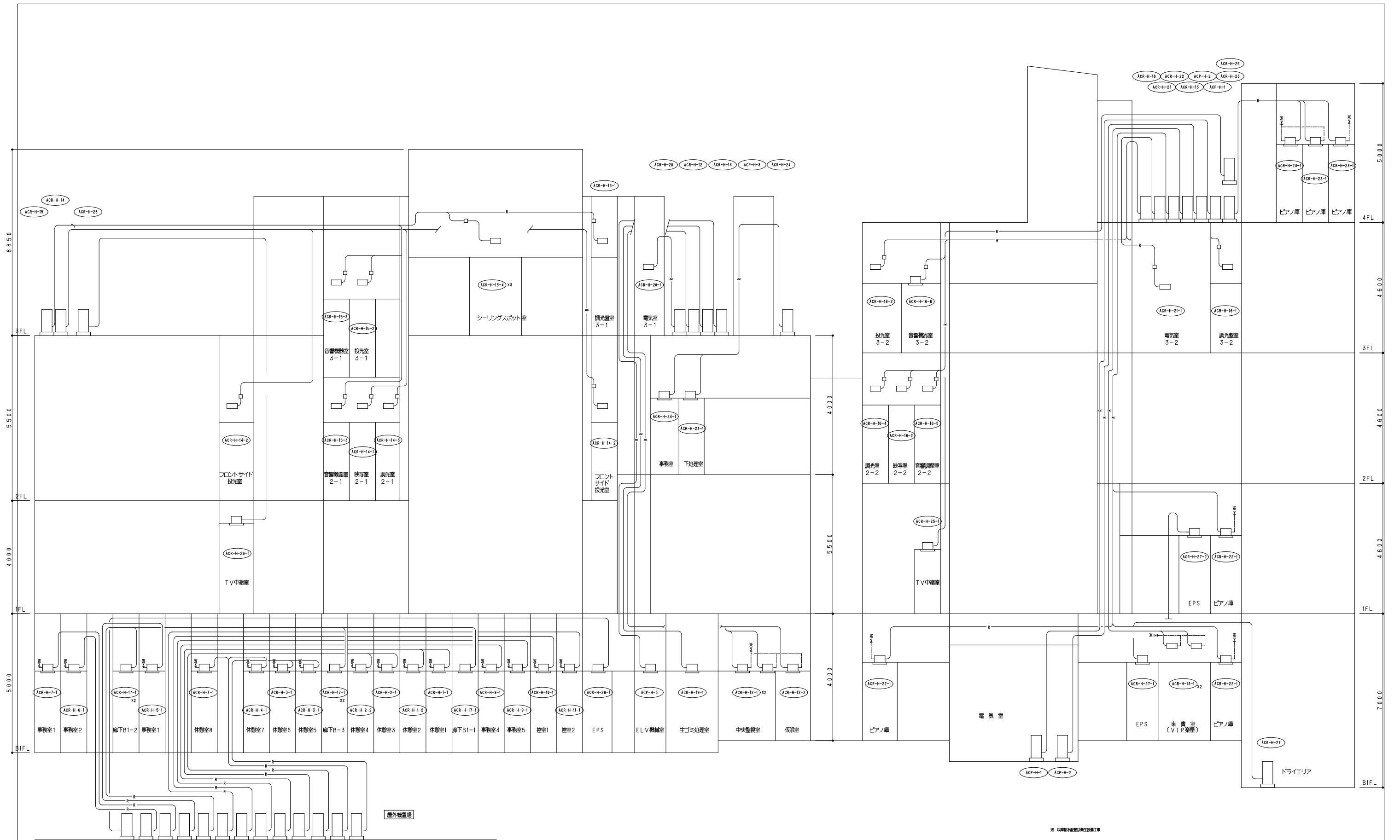
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
 課長 係長 担当
 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
 国立オリンピック記念青少年総合センター 棟他機能改善整備設計業務 (設備)

株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



注1) 太線部は新設を示す。

特記事項	課長	課長補佐	部長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					空気調和設備 4階R階空調換気ダクト平面図(改修)
					縮尺 1:400 (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-31
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)					株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

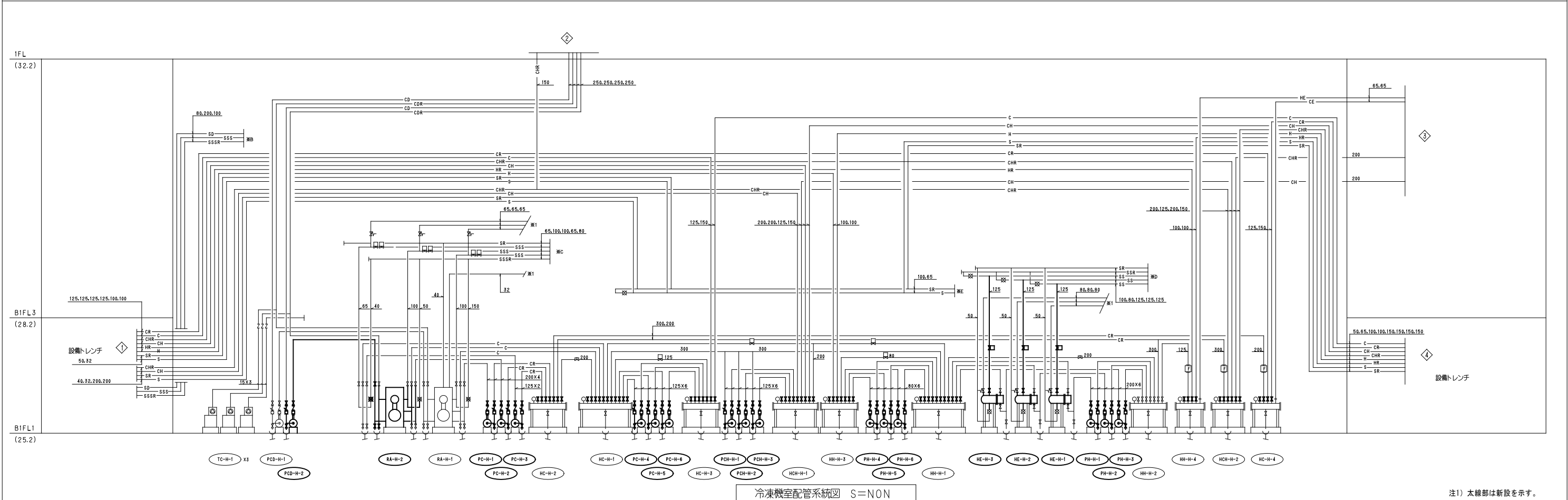
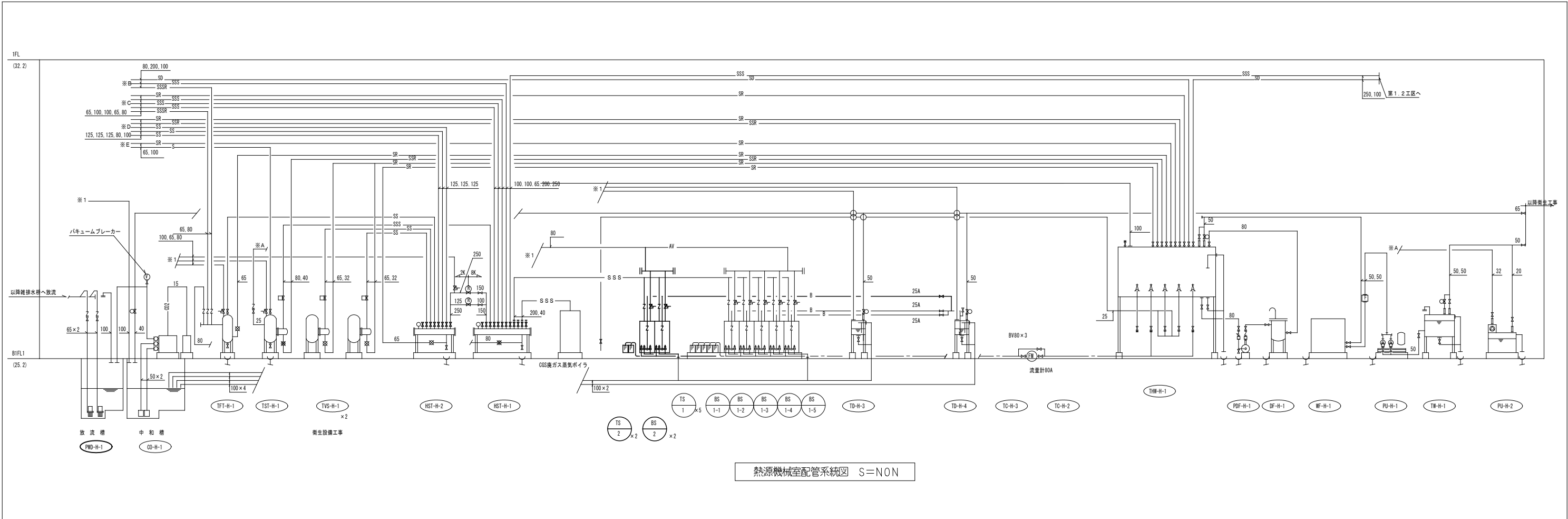


空調冷媒配管系統図 S:NON

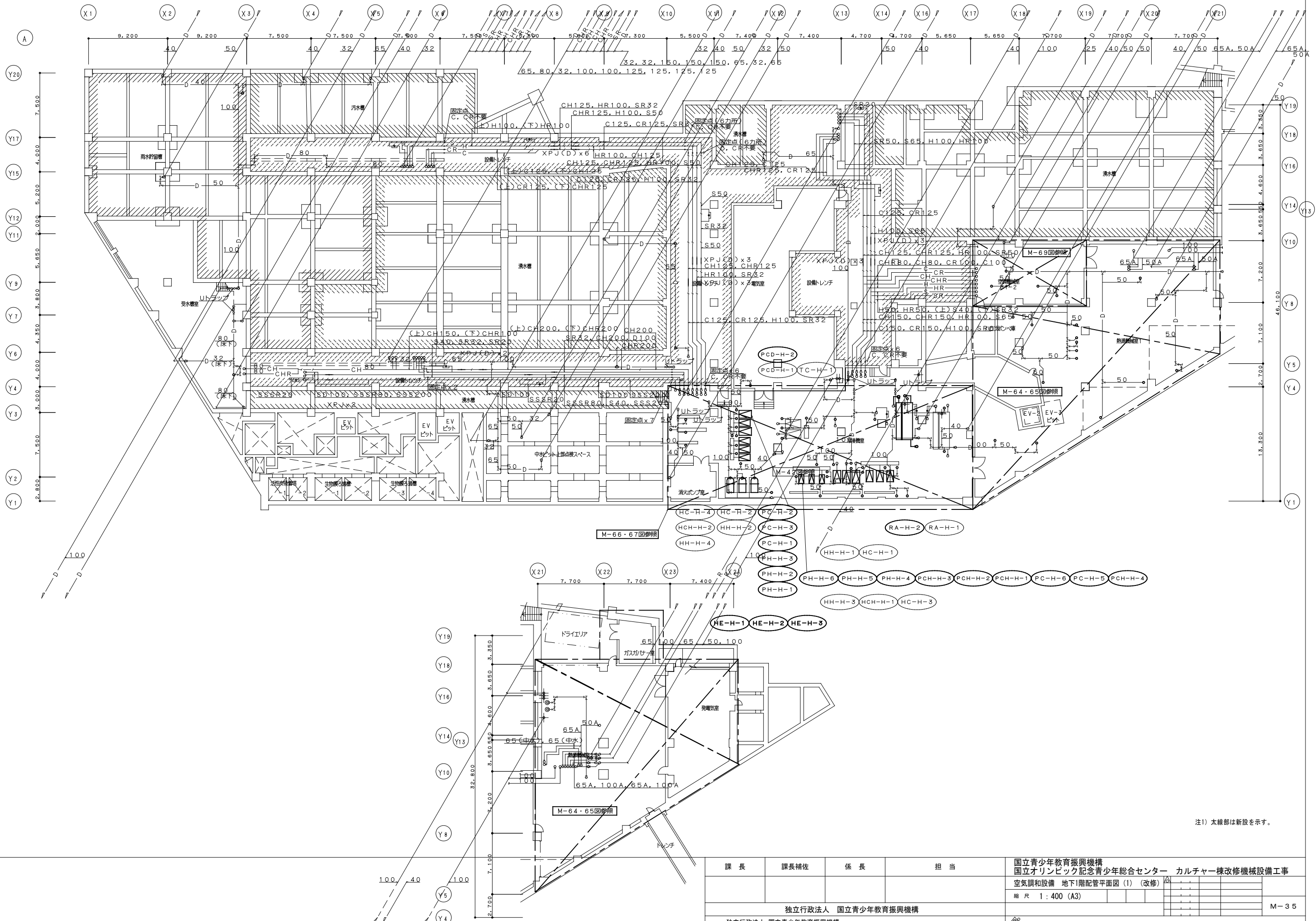
特記事項

課長	課長補佐	係長	担当
			国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調和設備 配管系統図 (2) (改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			
縮尺 - (A3)			
M-33			
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬			

※ 以降階内配管は省略図

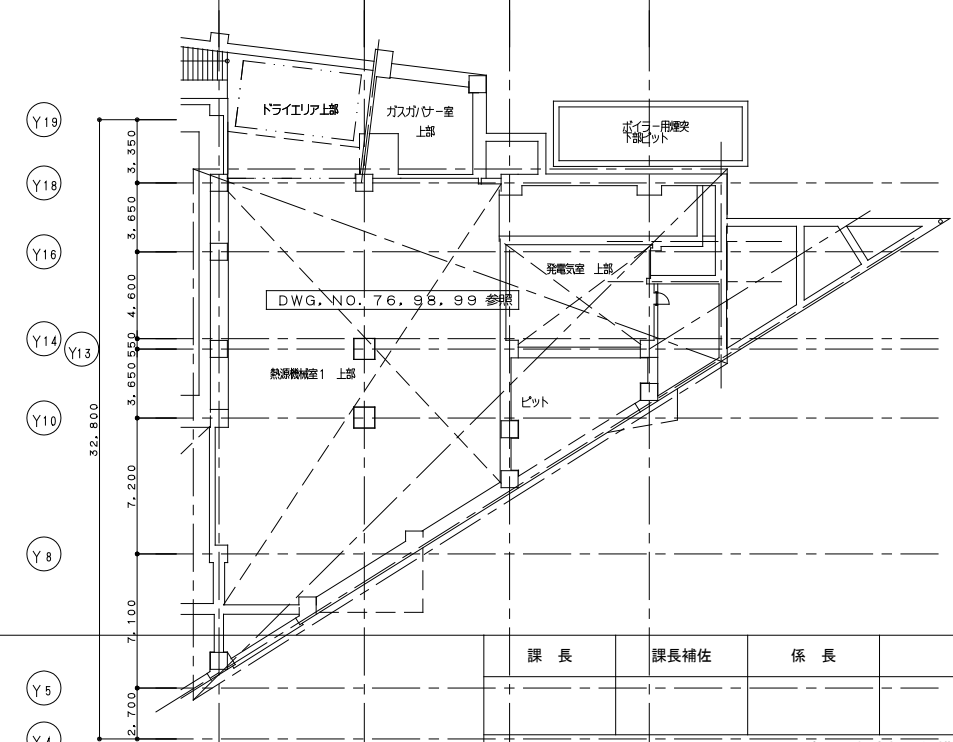
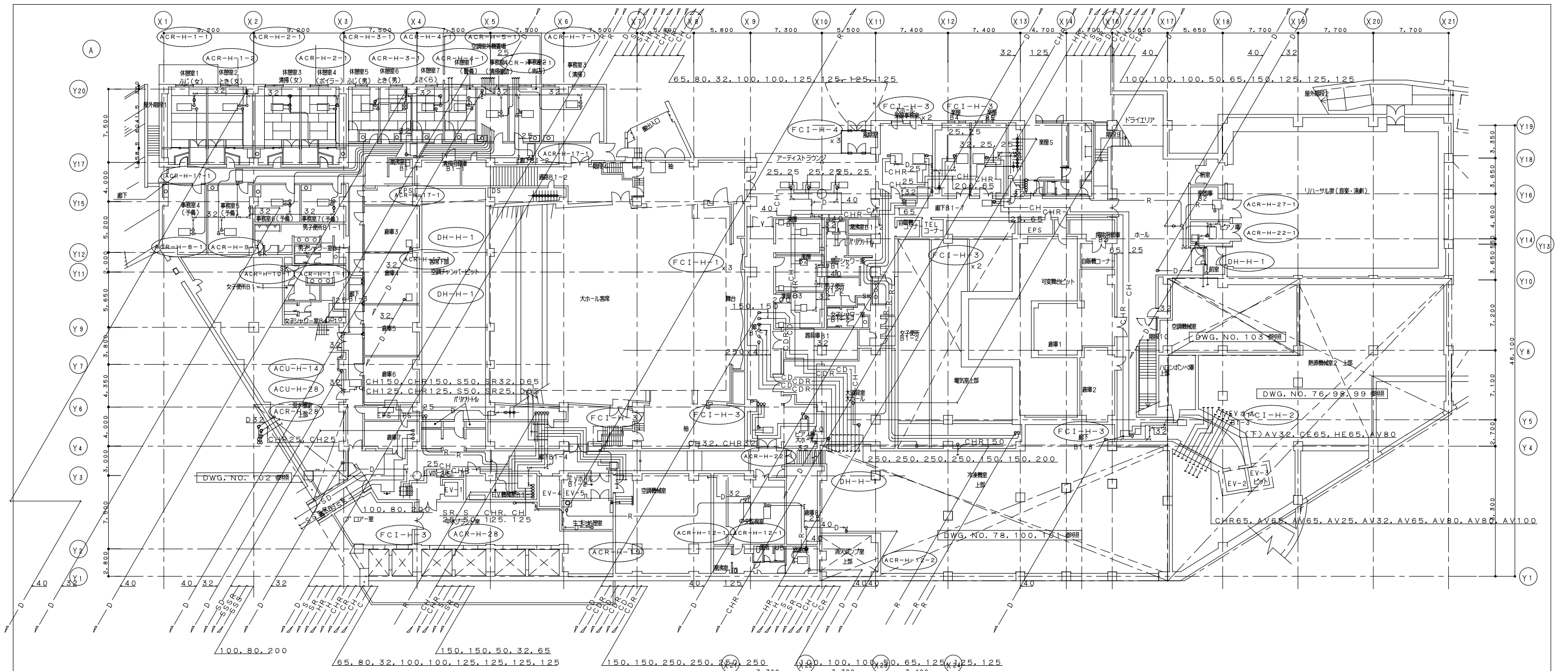


特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調和設備 配管系統図 (3) (改修)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-34
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)					株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

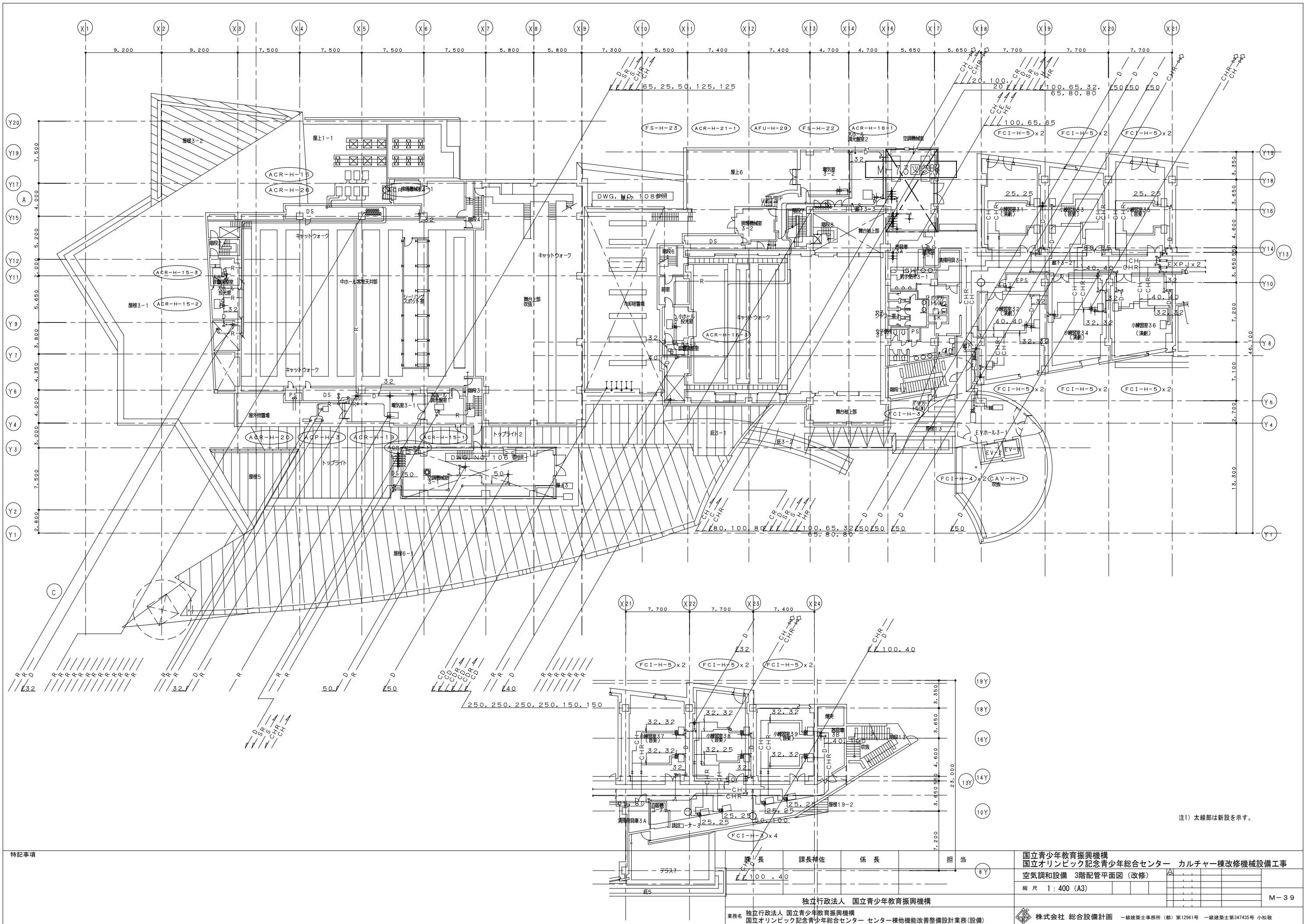


特記事項

課長	課長補佐	係長	担当
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			
国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空気調和設備 地下1階配管平面図(1) (改修) 縮尺 1:400 (A3) M-35			
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬			



特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				空気調和設備 地下1階配管平面図 (2) (改修)
	縮尺 1:400 (A3)				M-36
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター 棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

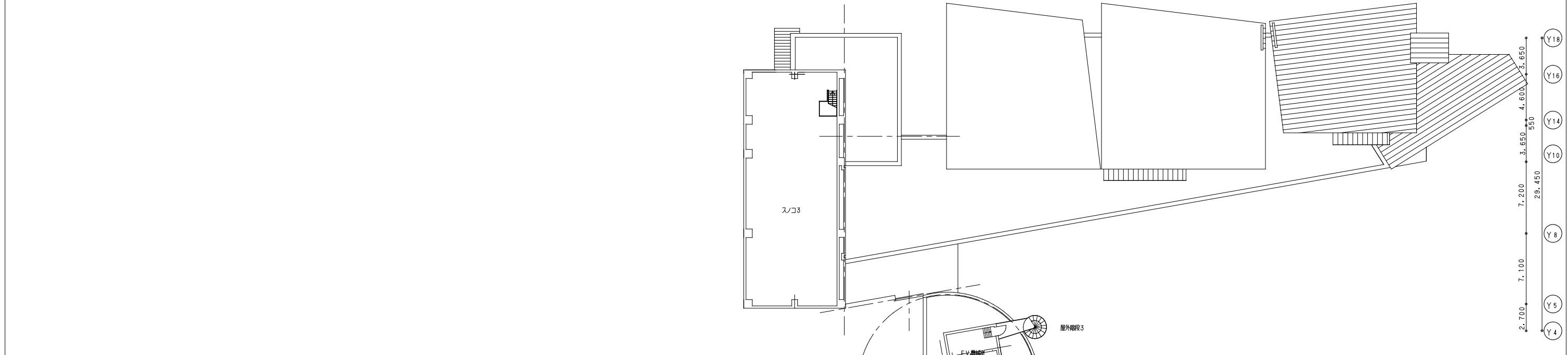
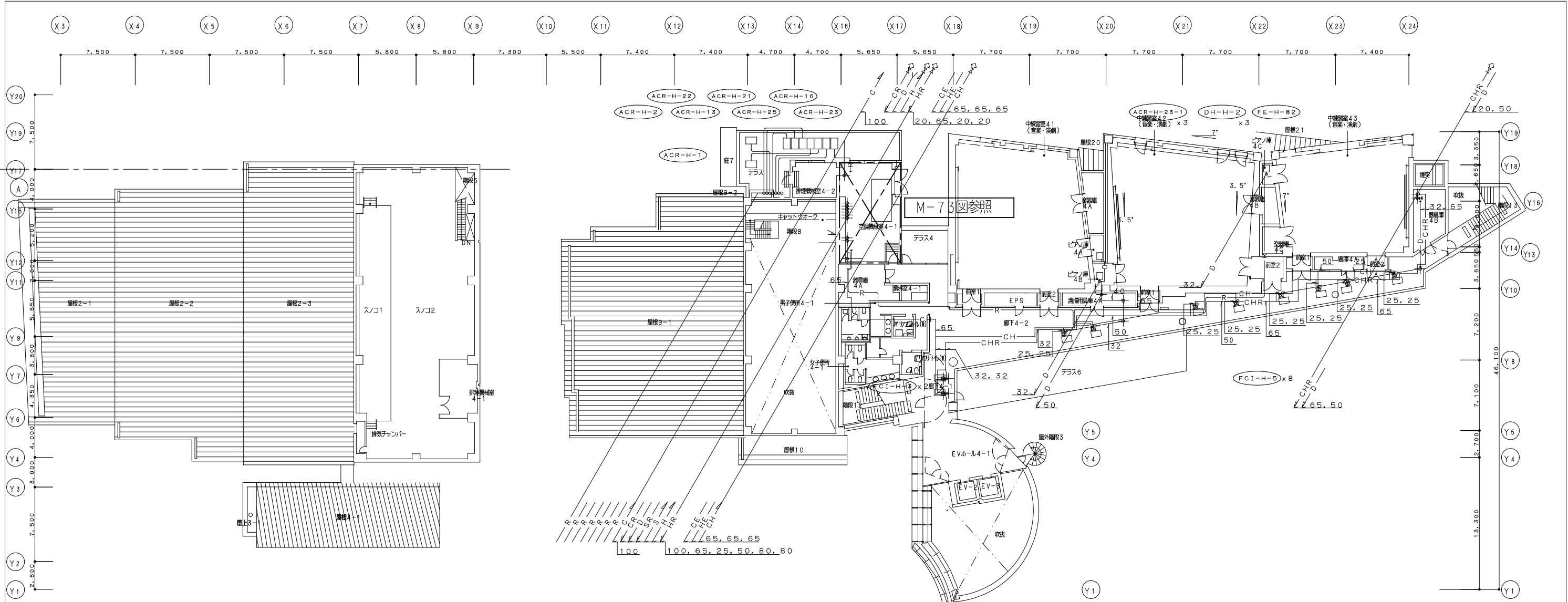
課長 課長補佐 係長 担当

国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
空気調和設備 3階配管平面図 (改修)

縮尺 1:400 (A3)

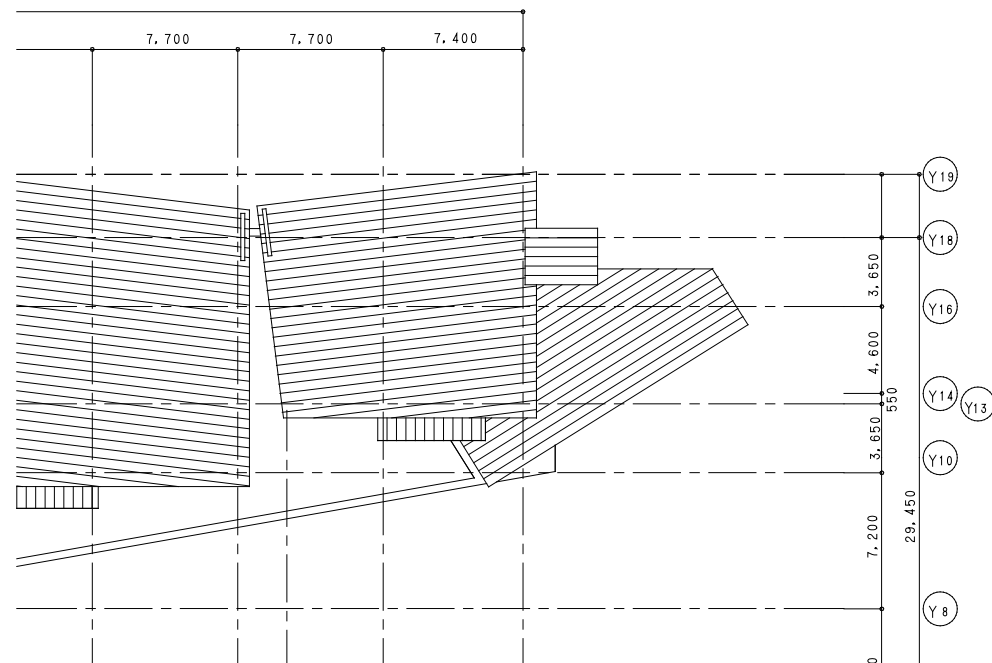
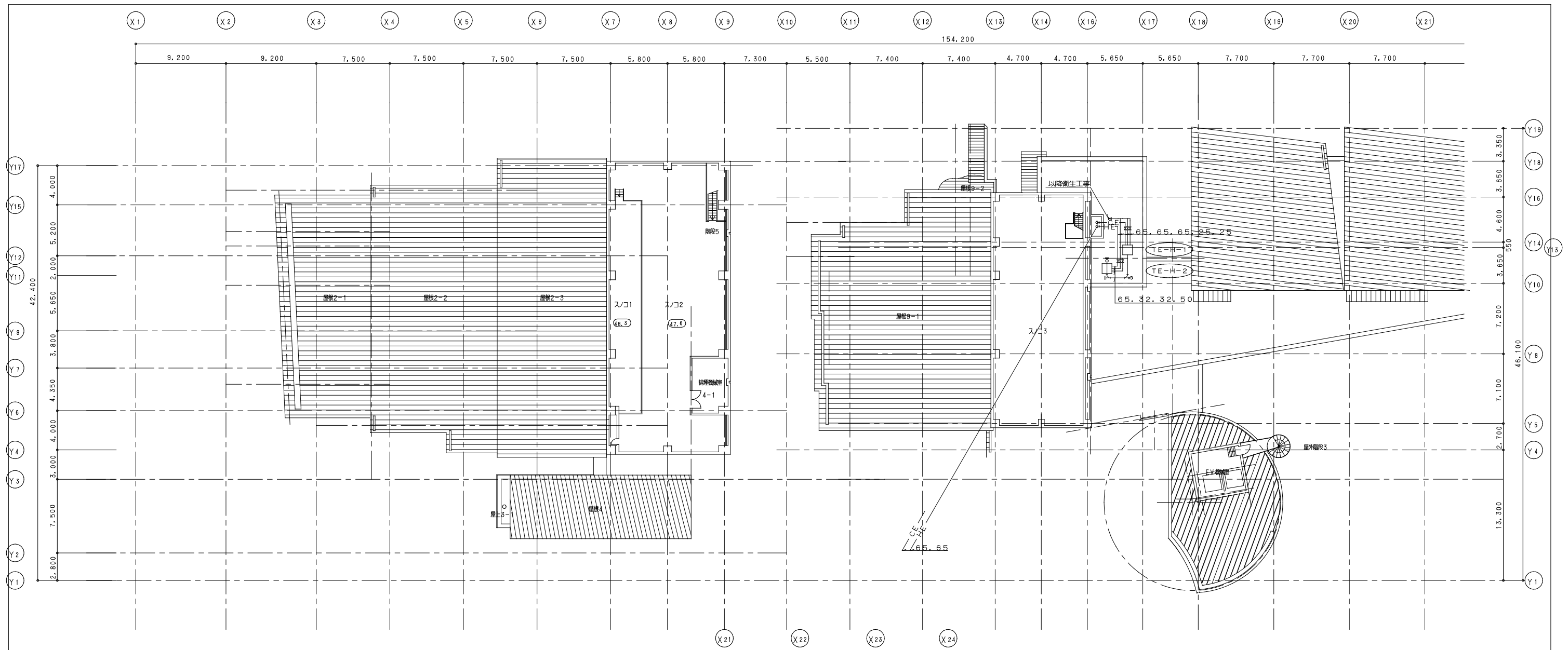
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター 棟他機能改善整備設計業務 (設備)

株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



注1) 太線部は新設を示す。

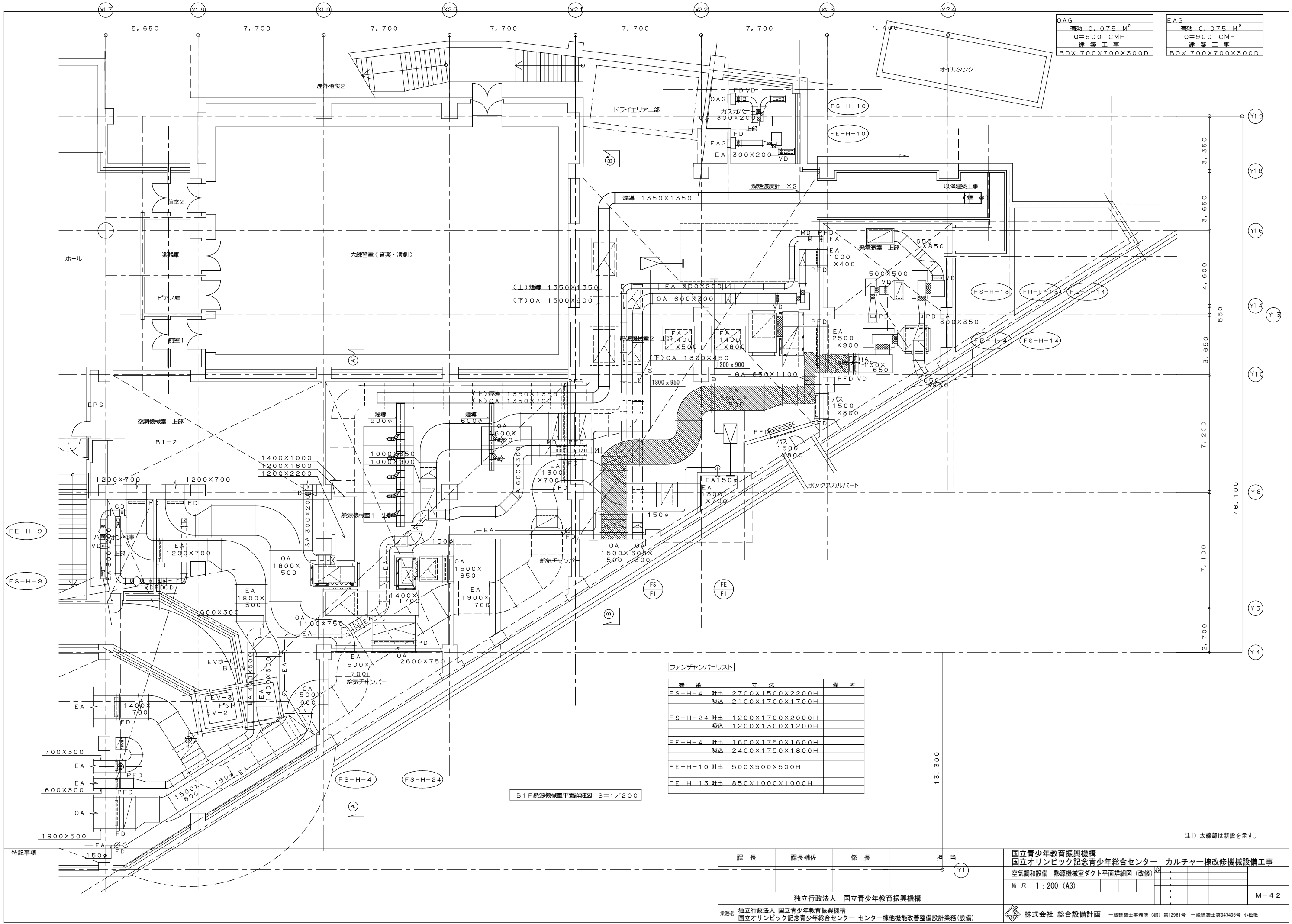
特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					空気調和設備 4階R階配管平面図 (改修)
					縮尺 1:400 (A3)
					M-40
独立行政法人 国立青少年教育振興機構					株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務 (設備)					



特記事項

課長	課長補佐	係長	主任
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			

国立青少年教育振興機構
 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
 空調調和設備 屋根伏配管平面図 (改修)
 縮尺 1:400 (A3)
 M-41



OAG	有効 0.075 M ²	EAG	有効 0.075 M ²
	Q=900 CMH		Q=900 CMH
	建築工事		建築工事
	BOX 7.00X7.00X3.00D		BOX 7.00X7.00X3.00D

B1F 熱源機室平面詳細図 S=1/200

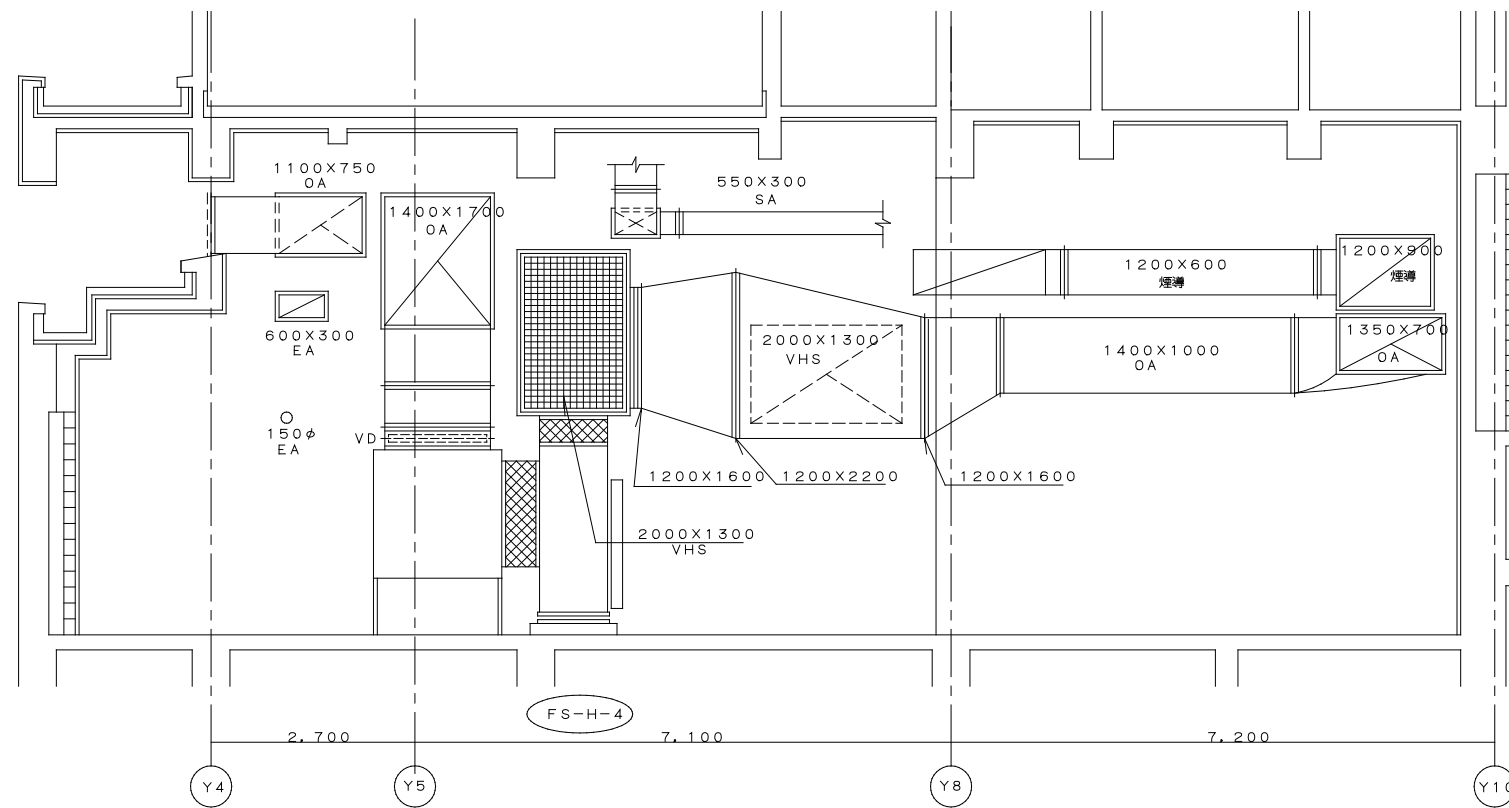
機番	寸法	備考
FS-H-4	吐出 2700X1500X2200H 吸入 2100X1700X1700H	
FS-H-24	吐出 1200X1700X2000H 吸入 1200X1300X1200H	
FE-H-4	吐出 1600X1750X1600H 吸入 2400X1750X1800H	
FE-H-10	吐出 500X500X500H	
FE-H-13	吐出 850X1000X1000H	

注1) 太線部は新設を示す。

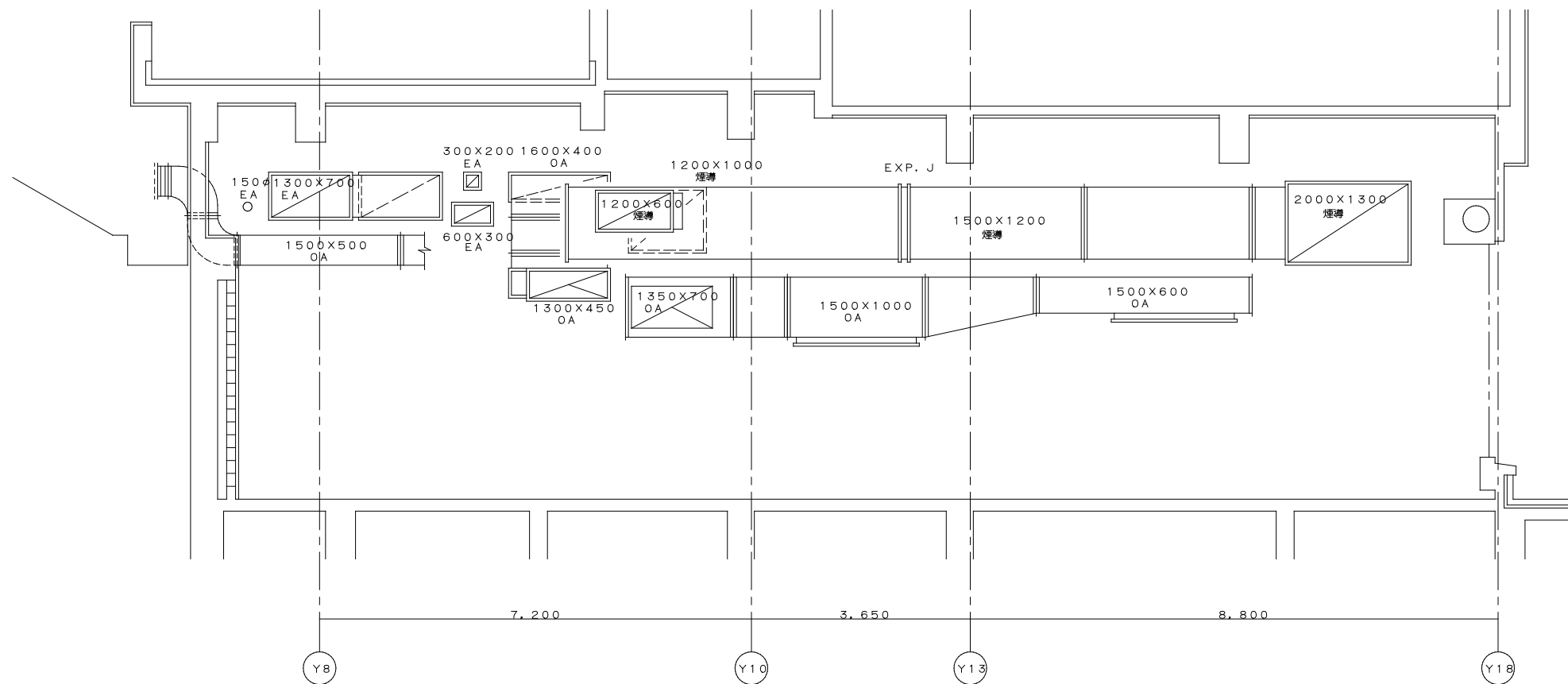
特記事項					

課長	課長補佐	係長	担当
			Y1
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟機能改善整備設計業務(設備)			

国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事	
空調設備 熱源機室ダクト平面詳細図 (改修)	
縮尺 1:200 (A3)	M-42
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬	



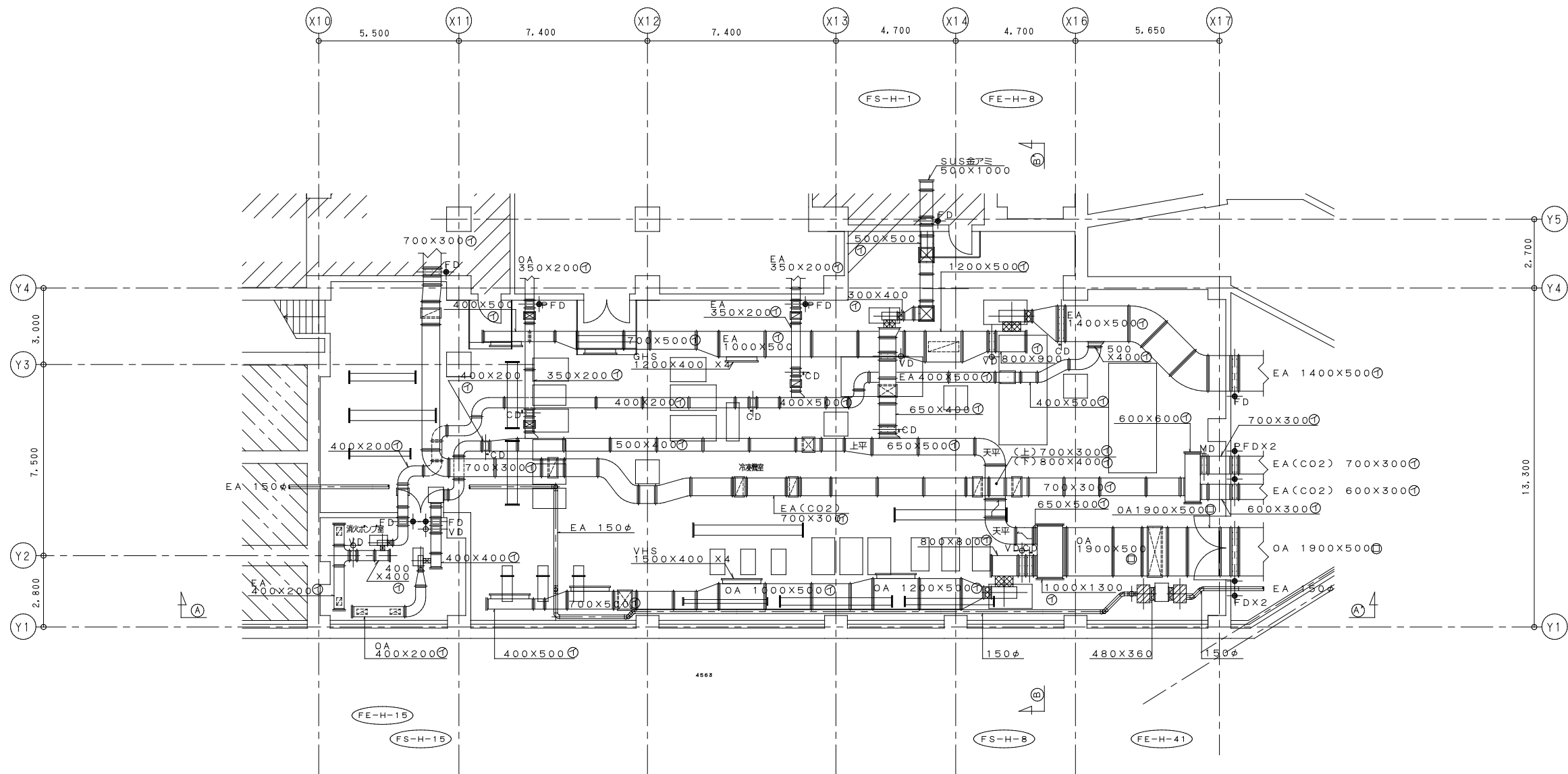
A-A' 部分断面詳細図 S=1/100



B-B' 部分断面詳細図 S=1/100

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				空調設備 熱源機械室ダクト断面詳細図 (改修)
				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-43
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



B1F 冷凍機械室平面詳細図 S=1:200

機名	種類	寸法	BOX	数量	内装
OA	VHS	1500x400	-	4	-
EA	GHS	1200x400	-	4	-
OA	VHS	400x200	-	2	-
EA	GHS	300x200	-	2	-

特記事項

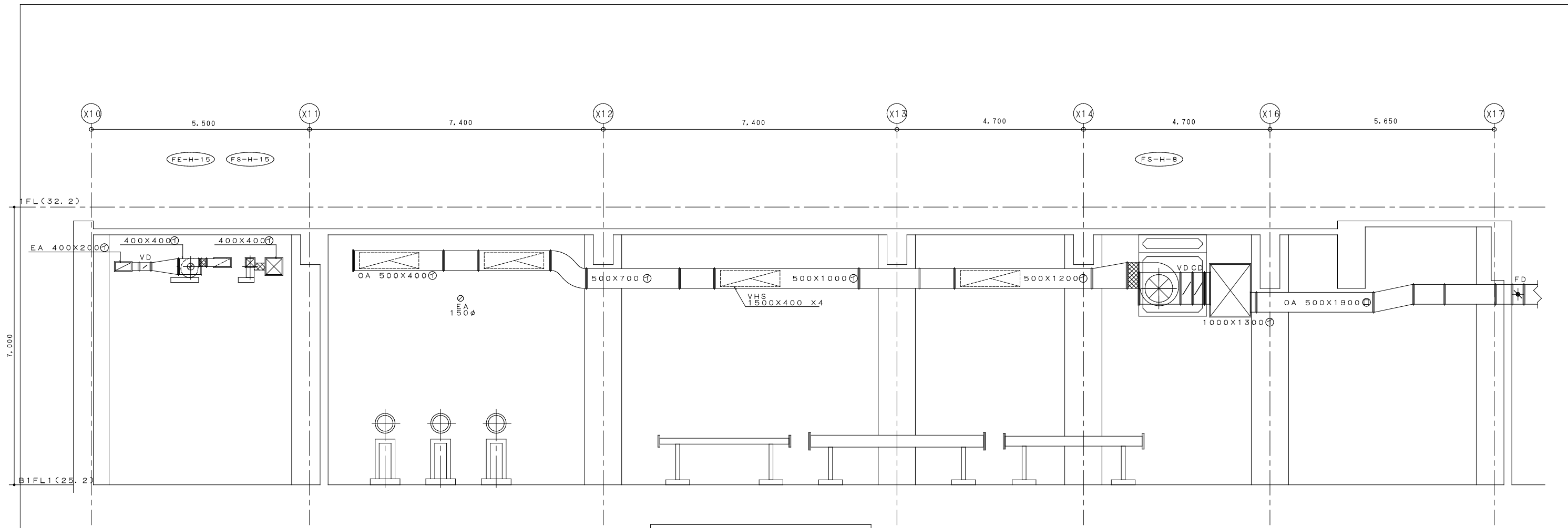
課長	課長補佐	係長	担当
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			

国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
空調設備 冷凍機室ダクト平面詳細図(改修)

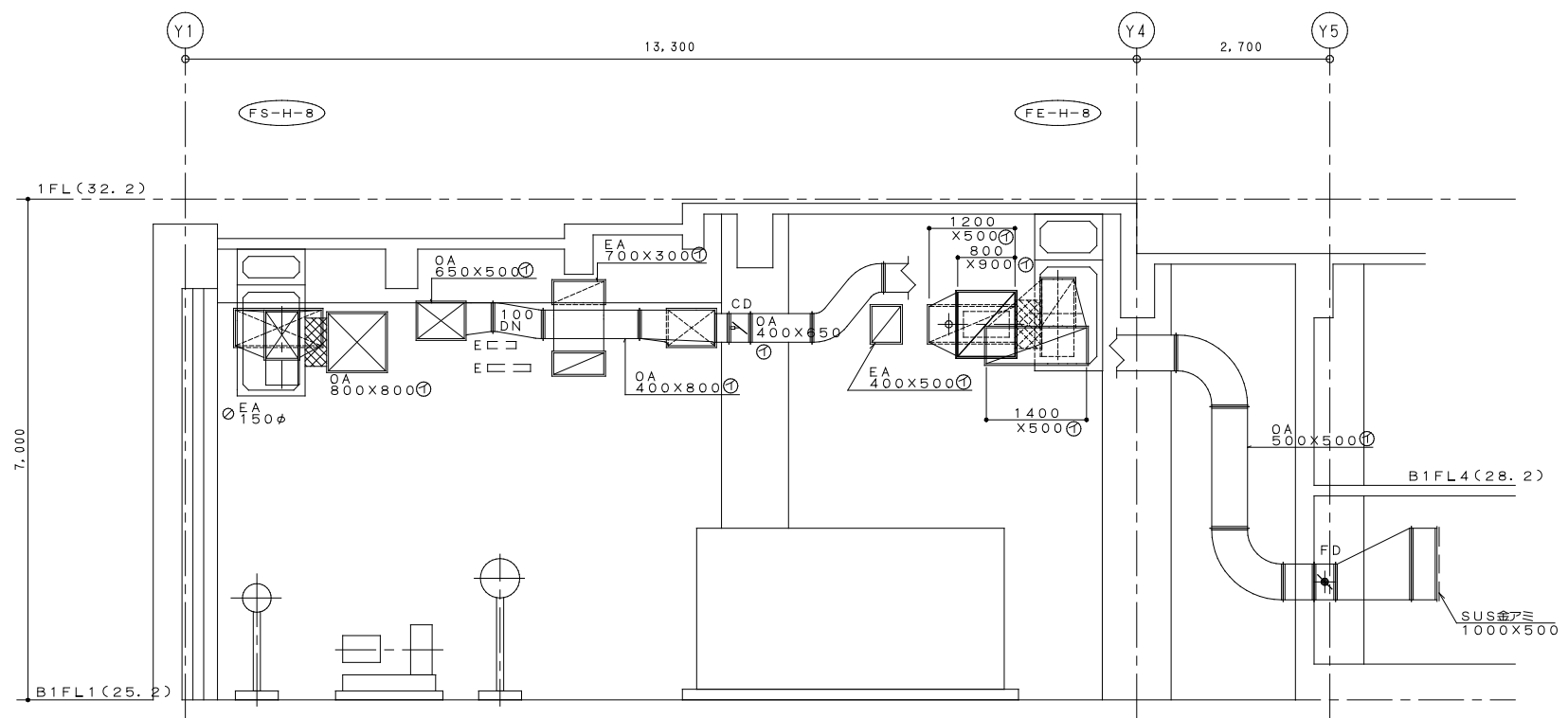
縮尺 1:200 (A3)

M-44

株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



A-A' 部分断面詳細図 S=1:100



B-B' 部分断面詳細図 S=1:100

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当
----	------	----	----

国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事

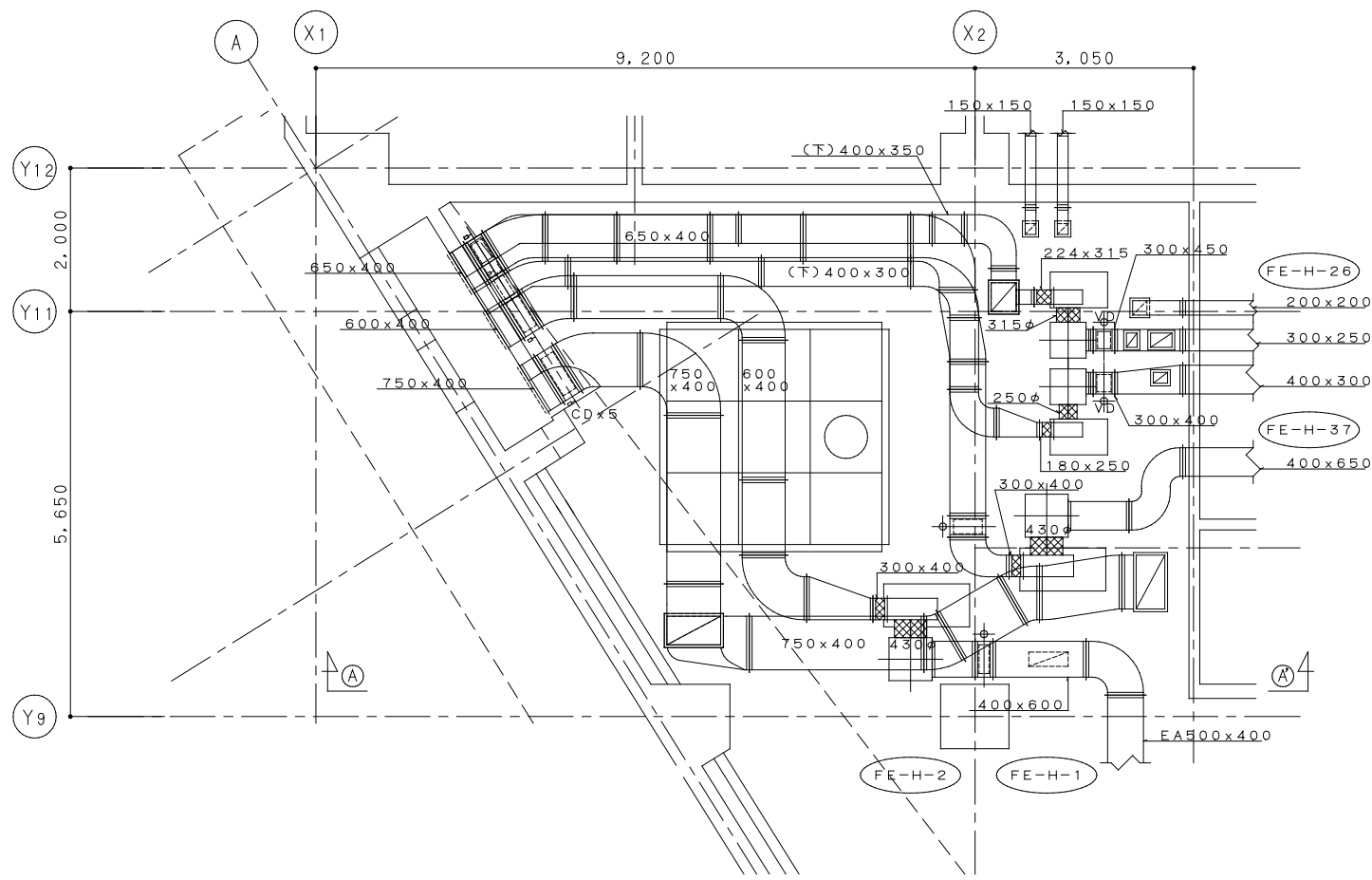
空気調和設備 冷凍機室断面詳細図 (改修)
縮尺 1:100 (A3)

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

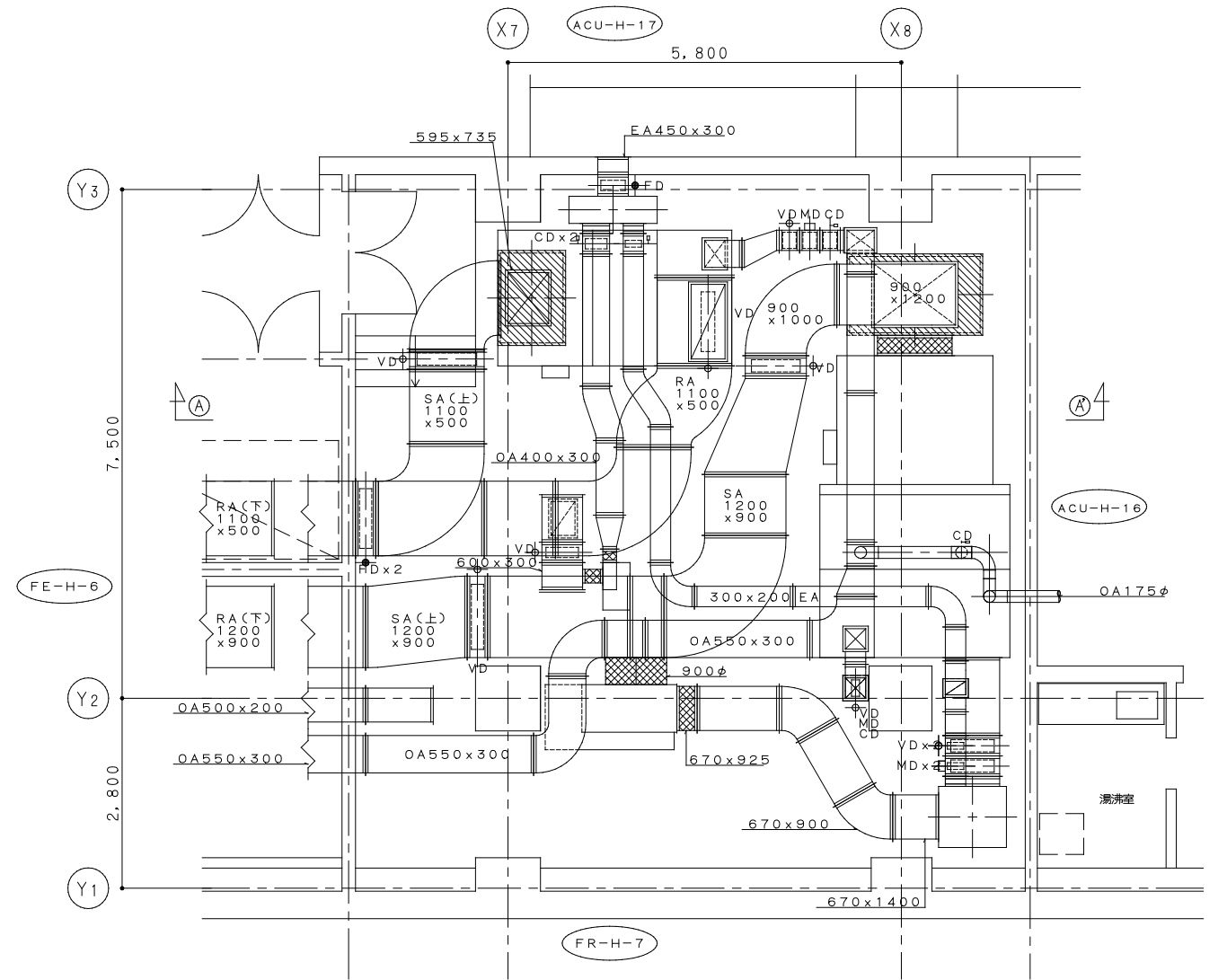
M-45

業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)

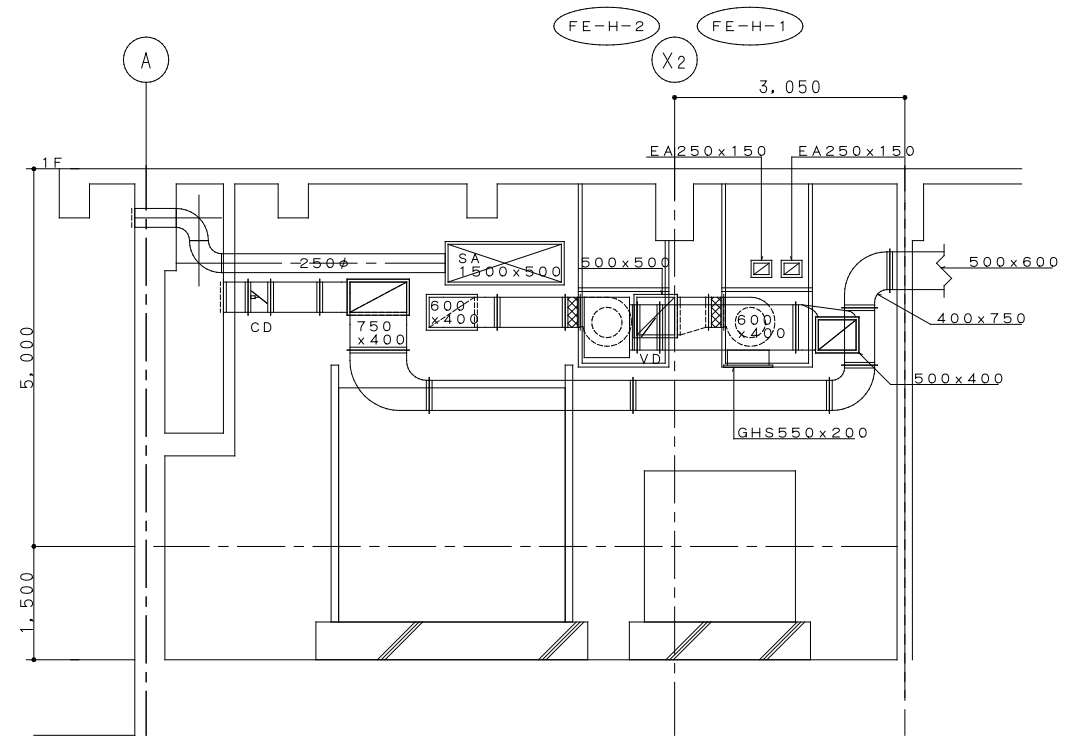
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



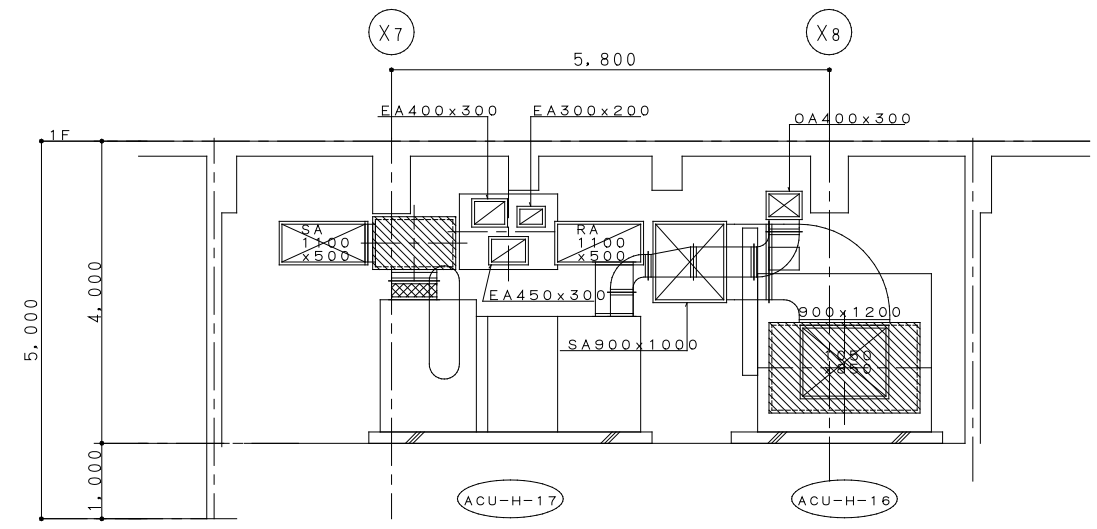
受水槽室 平面詳細図



空調機械室 B1-1 平面詳細図



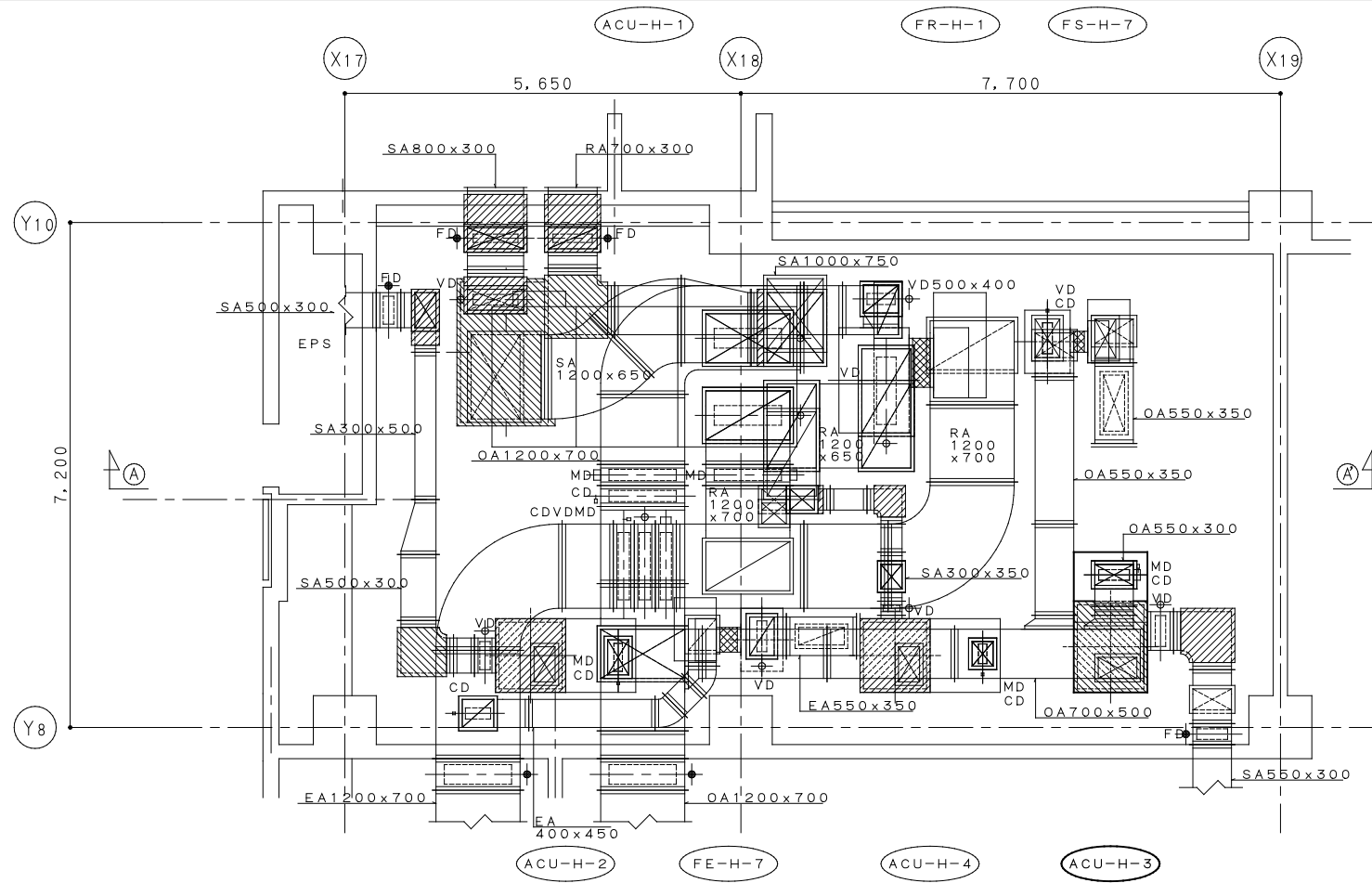
A-A' 部分断面図 S=1/100



A-A' 部分断面図 S=1/100

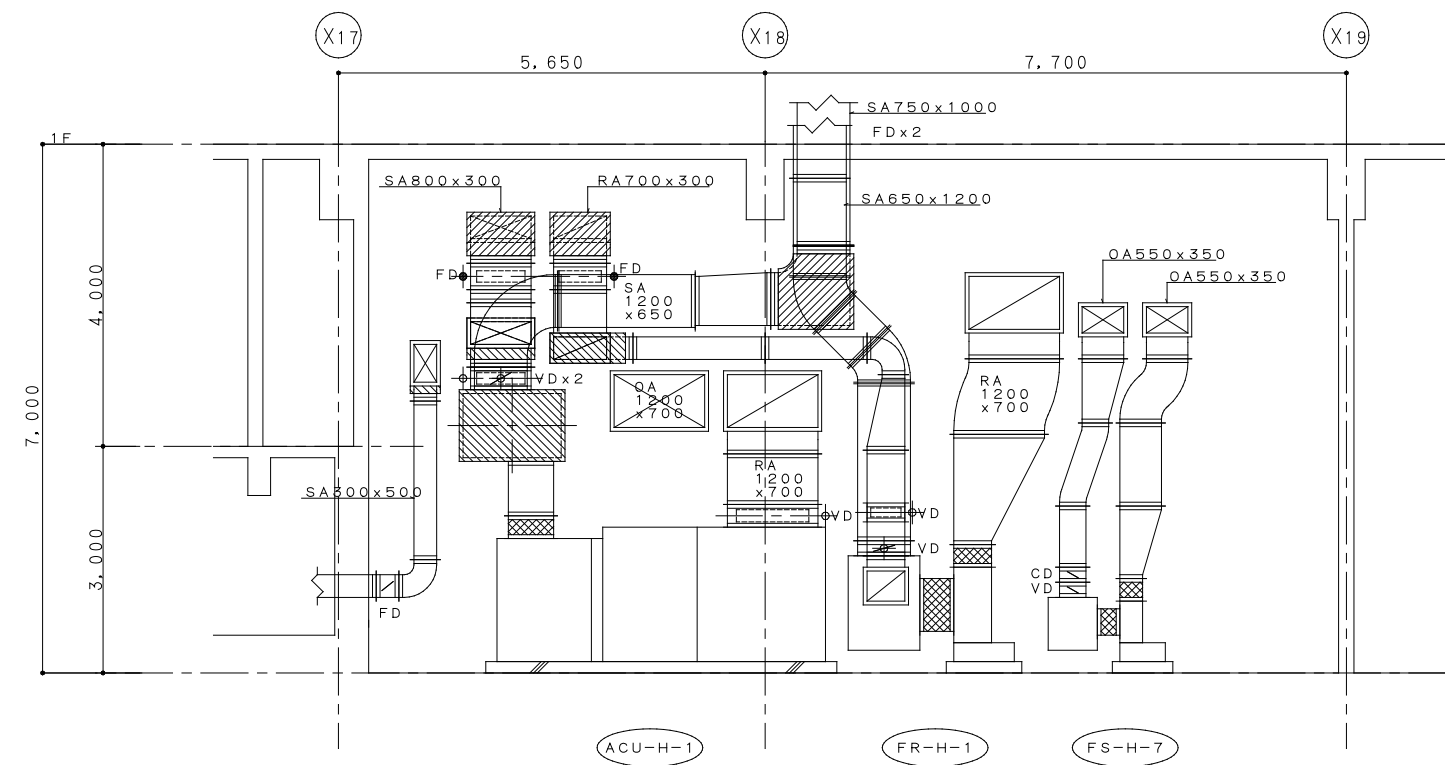
特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				空調設備 空調機械室B1-1受水槽室ダクト平面・断面詳細図 (改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				M-46
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬				



空調機械室 B1-2 平面詳細図

チャンパリスト				
機器番号	L	W	H	備考
ACU-H-3	800	x 1,200	x 500	



A-A' 部分断面図 S=1/100

注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

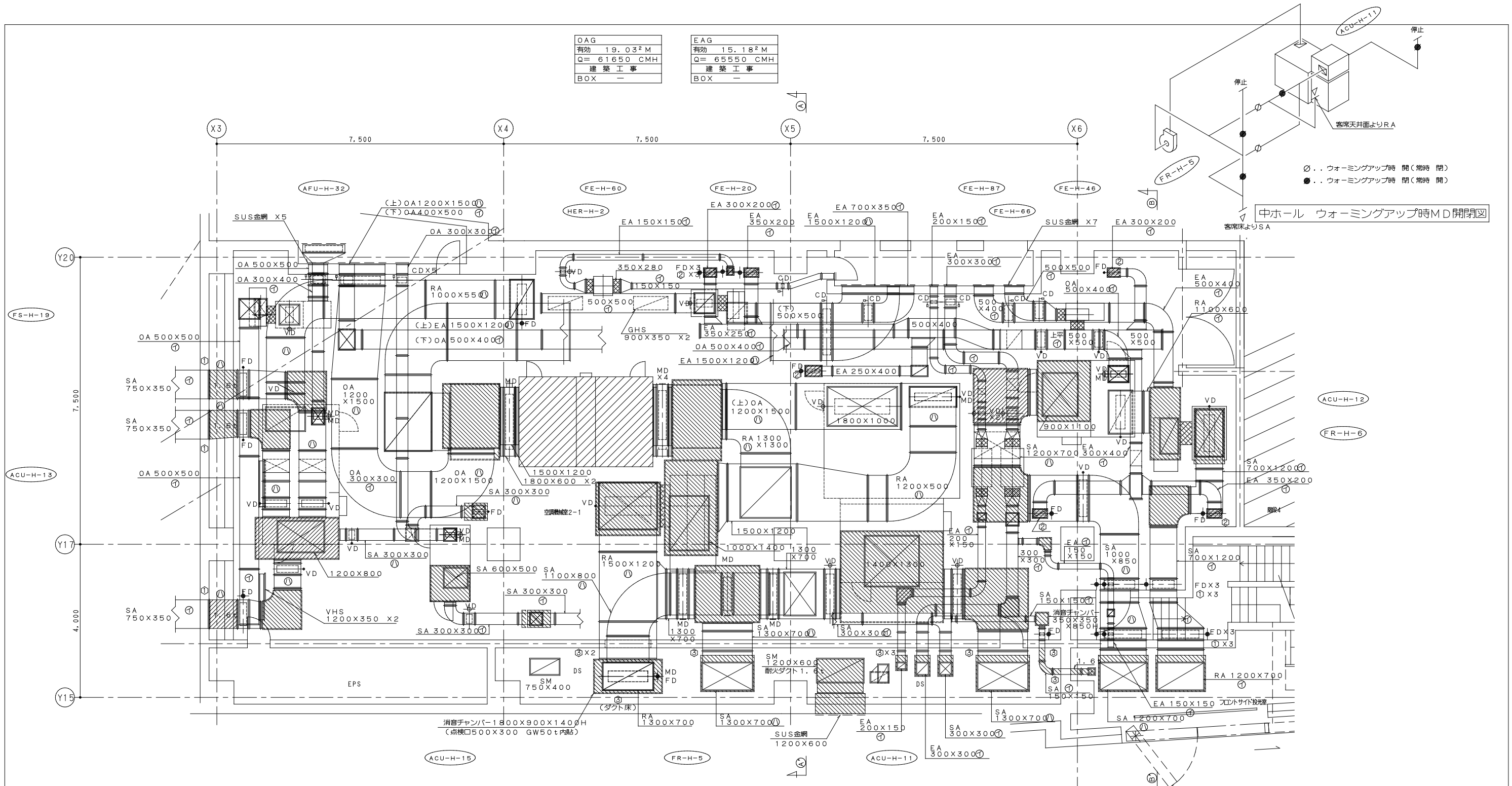
課長	課長補佐	係長	担当
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬			

国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
空調和設備 空調機械室B1-2ダクト平面・断面詳細図(改修)

縮尺 1:100 (A3)

M-47

OAG	有効 19.03 ² M	EAG	有効 15.18 ² M
Q=	61650 CMH	Q=	65550 CMH
建築工事	BOX -	建築工事	BOX -



2F 空調機械室2-1平面詳細図 S=1:100

サブライチャンパー、ミキシングチャンパーリスト

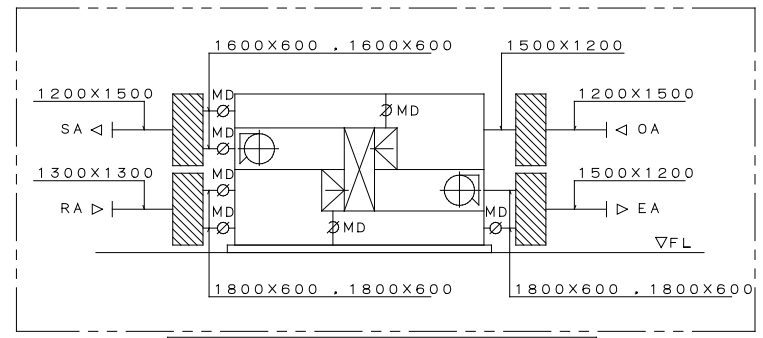
機番	寸法(WXLXH)	備考
ACU-H-11	① 2700X2400X1000	点検口500X300 GW50t内貼
ACU-H-12	① 1600X1400X 900	点検口500X300 GW50t内貼
ACU-H-13	① 2200X1100X 700	点検口500X300 GW50t内貼
ACU-H-15	① 1050X 950X 600	点検口500X300 GW50t内貼

ファンチャンパーリスト

機番	寸法(WXLXH)	備考
FR-H-5	①吐出 2500X1400X1500 ①吸込 1700X1400X1300	点検口500X300 GW50t内貼
FR-H-6	①吐出 1900X 800X 900 ①吸込 1400X 900X1000	
FS-H-19	①吸込 700X 700X 600	
FE-H-20	①吸込 700X 700X 600	

機番	寸法(WXLXH)	備考
HER-H-2	①OA 1700X1500X2250 ①EA 2000X1300X1800 ①SA 1800X1300X2450 ①RA 2000X1300X1800	点検口500X300 X3 GW50t内貼

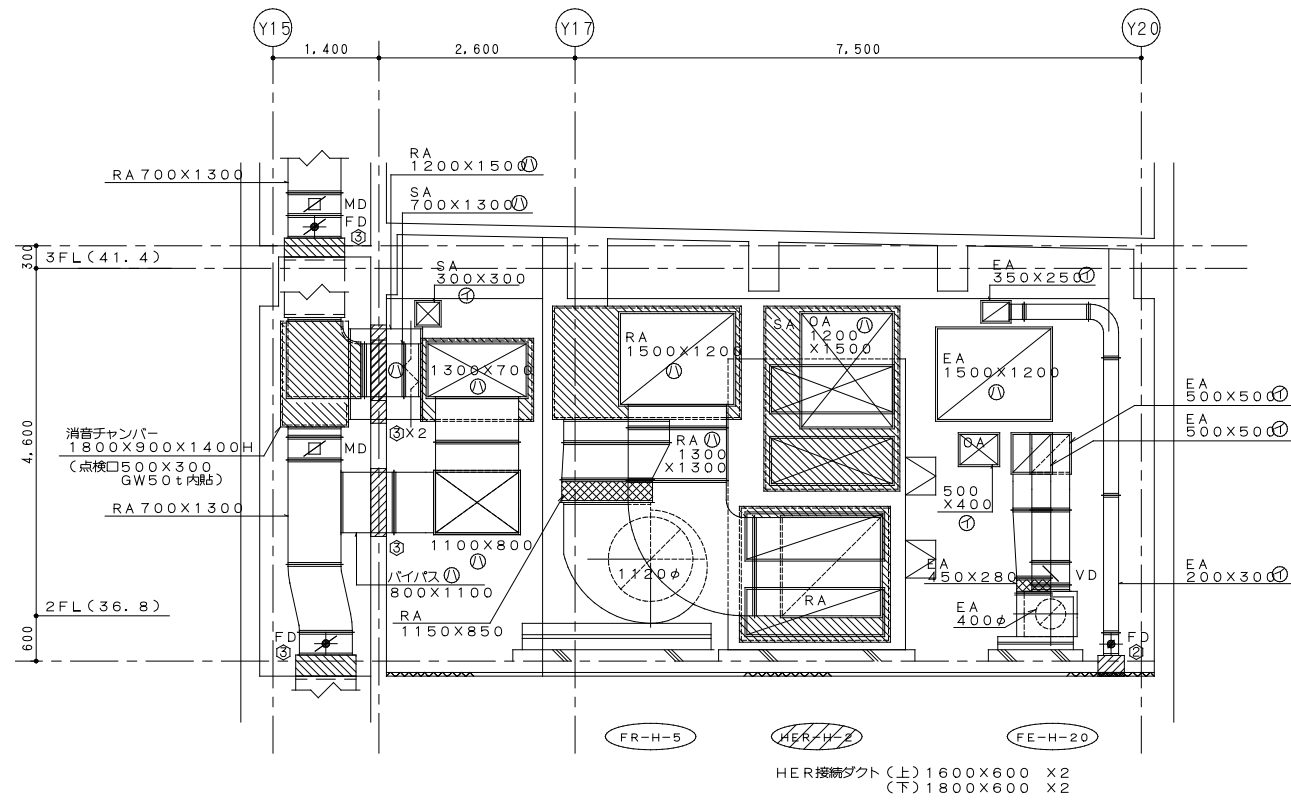
機番	寸法(WXLXH)	備考
AFU-H-32	パネル再生式(プレフィルター) 500X500X10t X2 ケーシング 1100X600X200L	



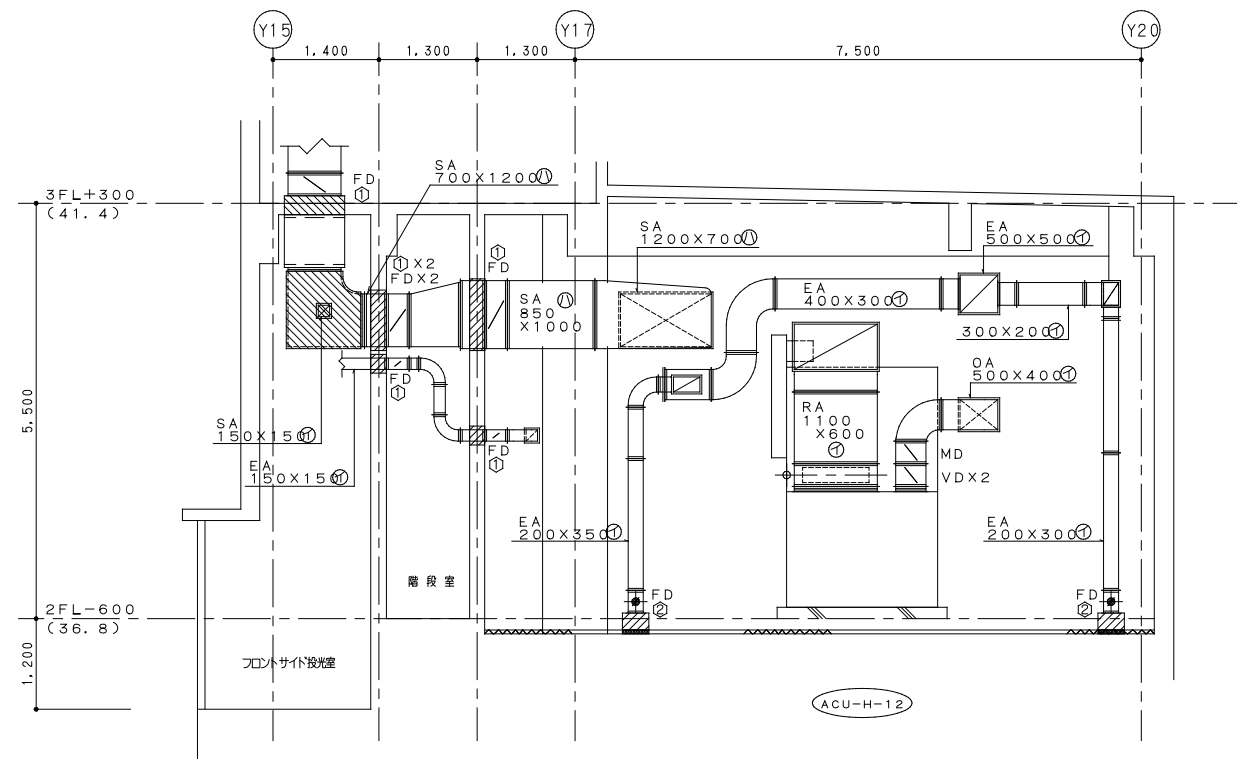
HER-H-2 廻り要領図 S=NON

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調和設備 空調機械室2-1ダクト平面詳細図(改修)
				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-48
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



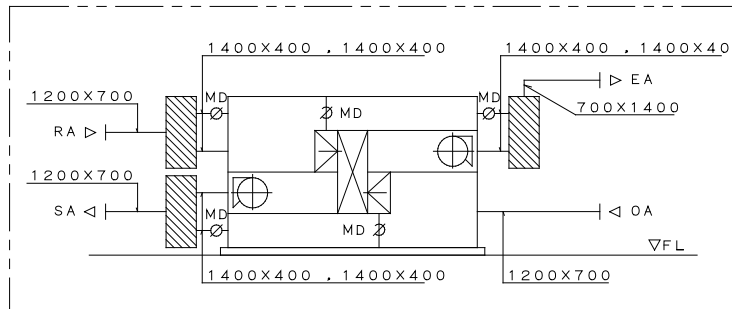
A-A' 部分断面詳細図 S=1:100



B-B' 部分断面詳細図 S=1:100

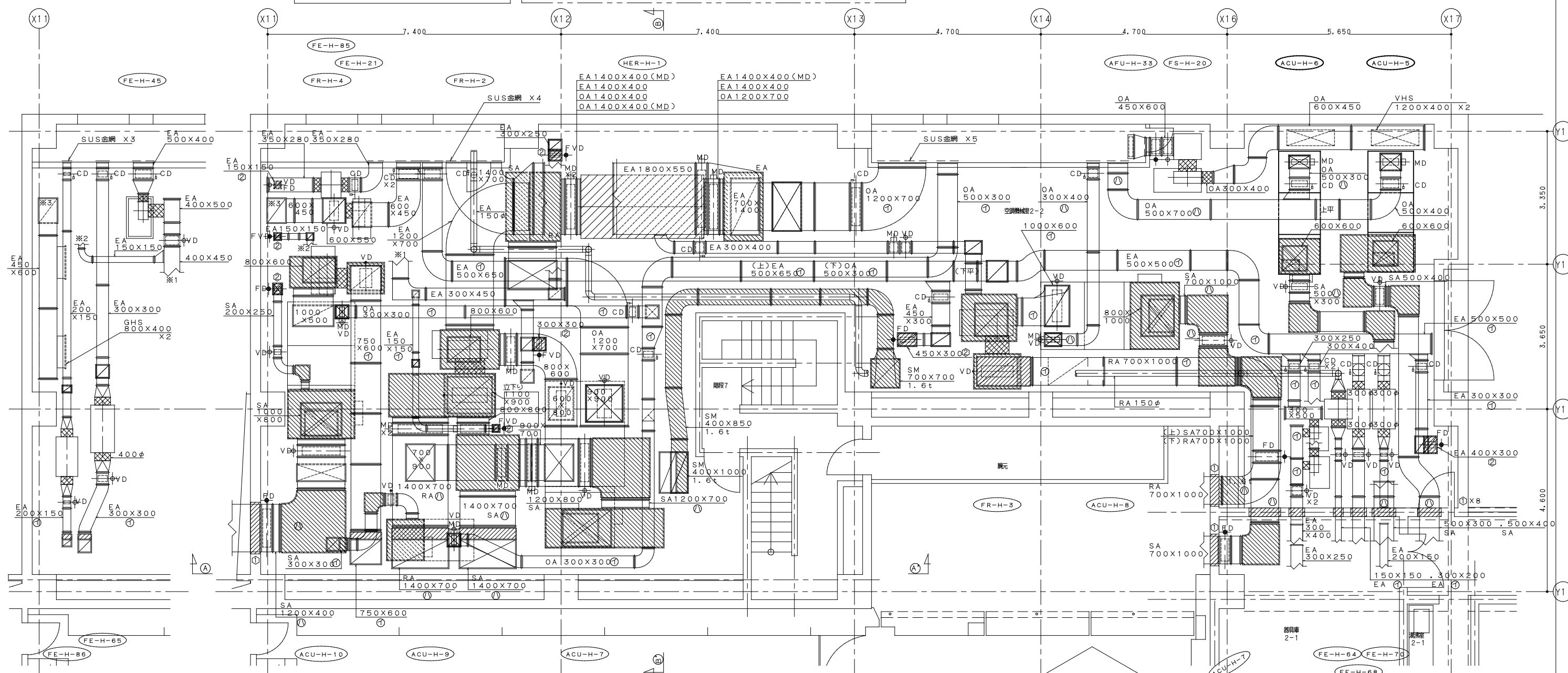
特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調和設備 空調機械室2-1ダクト断面詳細図(改修)
				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-49
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



EAG	有効	9.17 M ²
	Q=	39600 CMH
	建築工事	
BOX		

OAG	有効	11.73 M ²
	Q=	37990 CMH
	建築工事	
BOX		



2F 空調機械室2-2平面詳細図 S=1:50

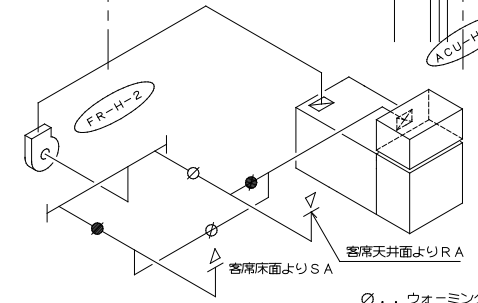
サブライチャンパー、ミキシングチャンパーリスト

機番	寸法(WXLXH)	備考
ACU-H-5	1150X950X700	点検口500X300 GW50t内貼
ACU-H-6	1050X900X600	点検口500X300 GW50t内貼
ACU-H-7	3000X1000X1000	点検口500X300 GW50t内貼 分岐1600X1400X900 点検口500X300 GW50t内貼
ACU-H-8	1700X1250X1200	点検口500X300 GW50t内貼
ACU-H-9	950X1050X600	点検口500X300 GW50t内貼
ACU-H-10	1700X1250X700	点検口500X300 GW50t内貼

ファンチャンパーリスト

機番	寸法(WXLXH)	備考
FR-H-2	1500X1000X900	点検口500X300 GW50t内貼 吐出1300X1100X1000 分岐2700X1100X900
FR-H-3	1400X1200X800	点検口500X300 GW50t内貼 吐出1200X900X1000 吸入1200X800X700
FR-H-4	1200X800X700	点検口500X300 GW50t内貼 吐出1200X800X700 吸入950X800X800
FS-H-20	700X650X1600	
FE-H-21	X X	

機番	寸法(WXLXH)	備考
HER-H-1	EA1750X1000X1250 SA1750X1400X1400 RA1750X800X1500	点検口500X300 X3 GW50t内貼



中ホール ウォーミングアップ時MD開閉図

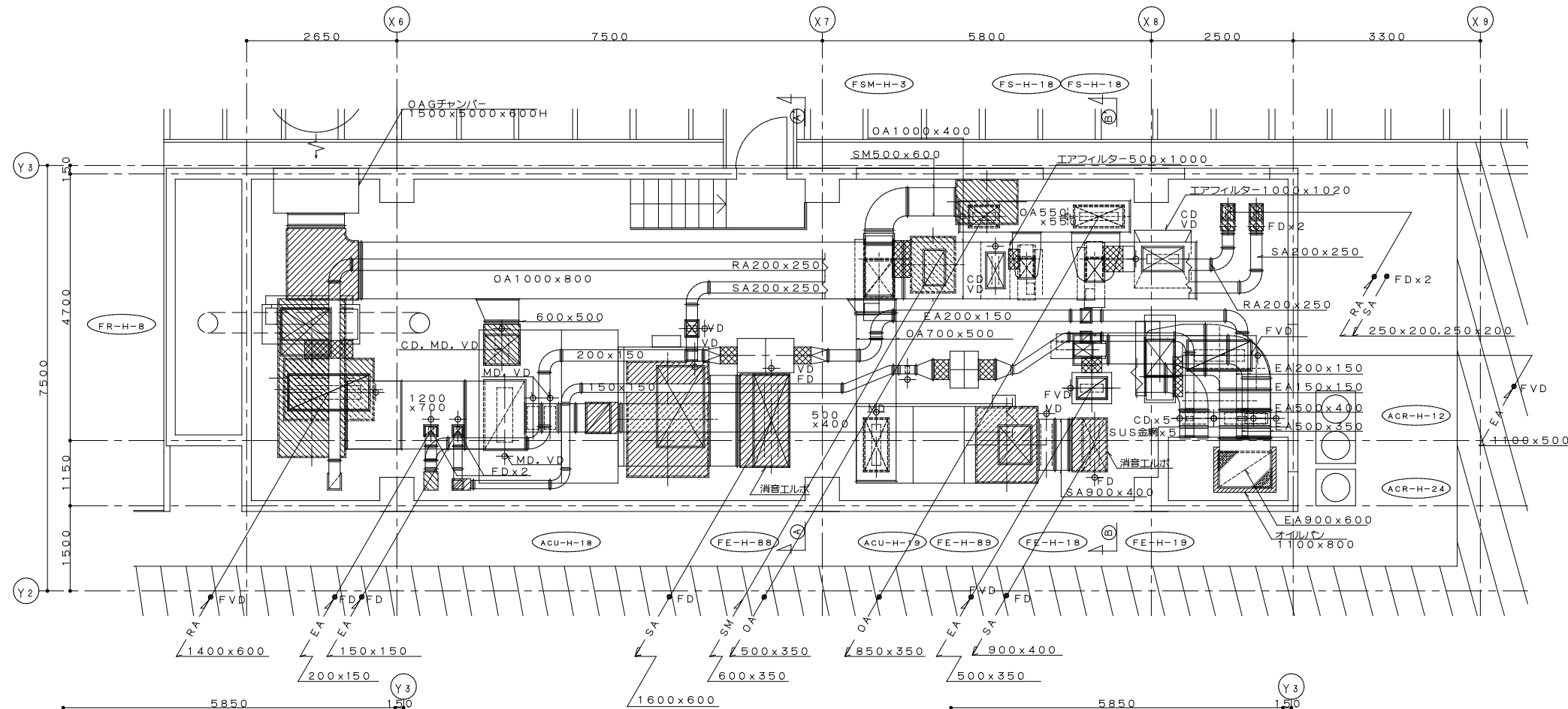
注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

機番	内容
AFU-H-33	エアフィルター・パネル再生式 500X500X10t X2 ケーシング 1100X600X200L

課長	課長補佐	係長	担当
			国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調調和設備 空調機械室2-2ダクト平面詳細図(改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬			

M-50



OAG	SMG
有効 19.03 M ²	有効 19.03 M ²
Q= 61650 CMH	Q= 61650 CMH
建築工事	建築工事
BOX	BOX
1500x5000x600H	1100x1200x800H

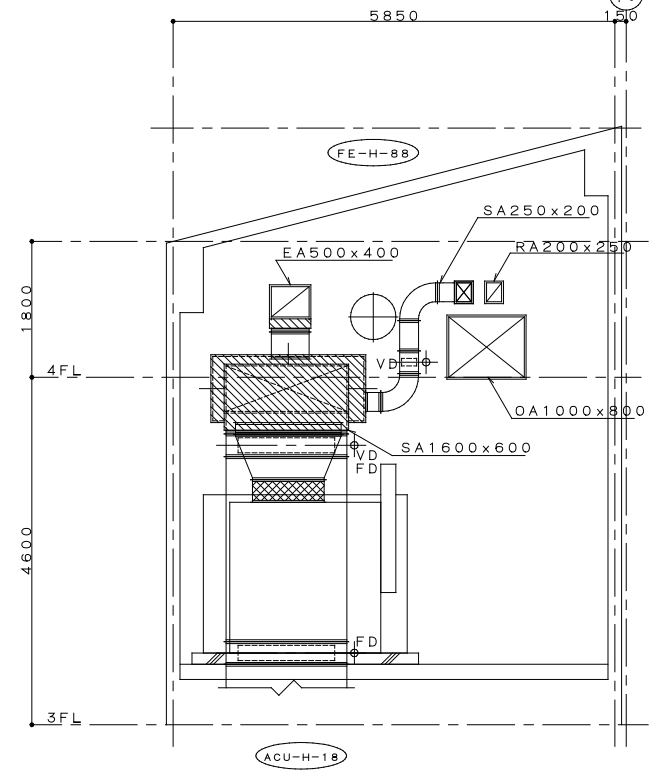
サブライチャンパー、ミキシングチャンパーリスト

機番	寸法(WXLXH)	備考
ACU-H-18	① 2050X1450X 900	点検口500X300 GW50t内貼
ACU-H-19	① 1350X1100X 700	点検口500X300 GW50t内貼

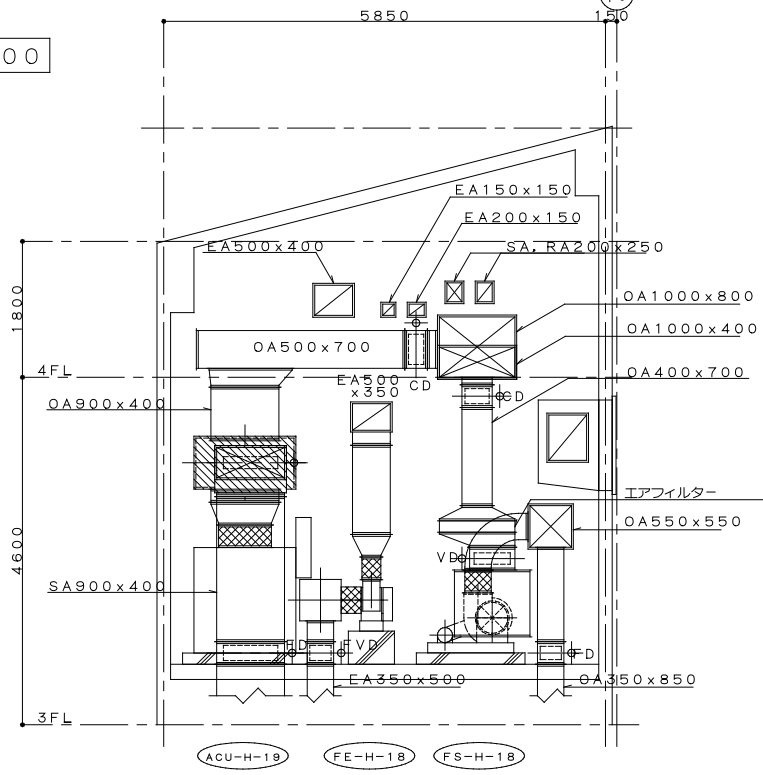
ファンチャンパーリスト

機番	寸法(WXLXH)	備考
FR-H-8	①吐出 2800X1200X1000 ②吸込 1600X1100X1200	点検口500X300 GW50t内貼 点検口500X300 GW50t内貼
FE-H-18	①吸込 700X 550X 550	
FE-H-19	①吸込 1300X1150X1000	
FSM-H-3	①吸込 800X1000X 900	1.6tセラミックファイバー60t外貼

空調機械室 3-1 平面詳細図=1:100



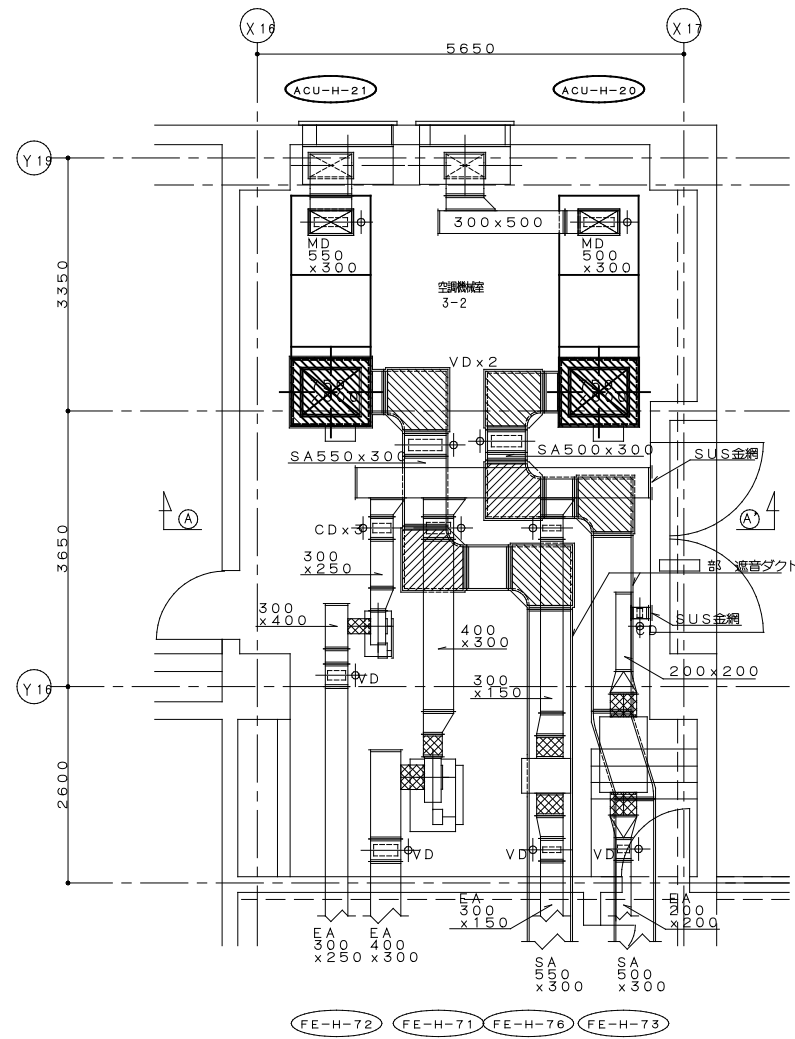
A-A' 部分断面図=1:100



B-B' 部分断面図=1:100

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				空調設備 空調機械室3-1ダクト平面・断面詳細図 (改修)
				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-52
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



3F 空調機械室 3-2 平面詳細図 1:100

OAG
有効 0.58 M ²
Q= 6200 CMH
建築工事
BOX
1200x1200x600Lx2

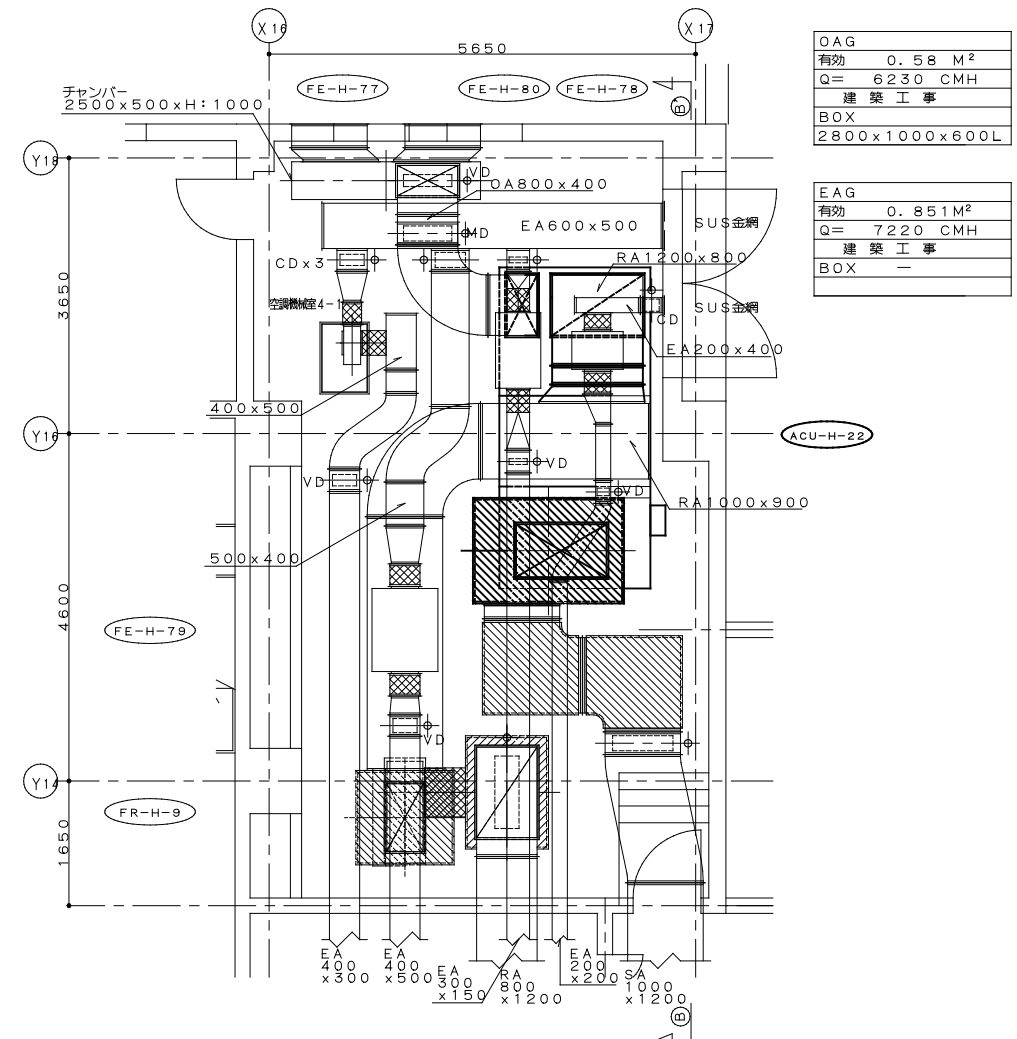
EAG
有効 0.28 M ²
Q= 3950 CMH
建築工事
BOX
-

サブライチャンパー、ミキシングチャンパーリスト

機番	寸法(WXLXH)	備考
ACU-H-20 ①	1050x900x600	点検口500x300 GW50t内貼
ACU-H-21 ①	1050x900x600	点検口500x300 GW50t内貼
ACU-H-22 ②	2000x1400x1500	点検口500x300 GW50t内貼

ファンチャンパーリスト

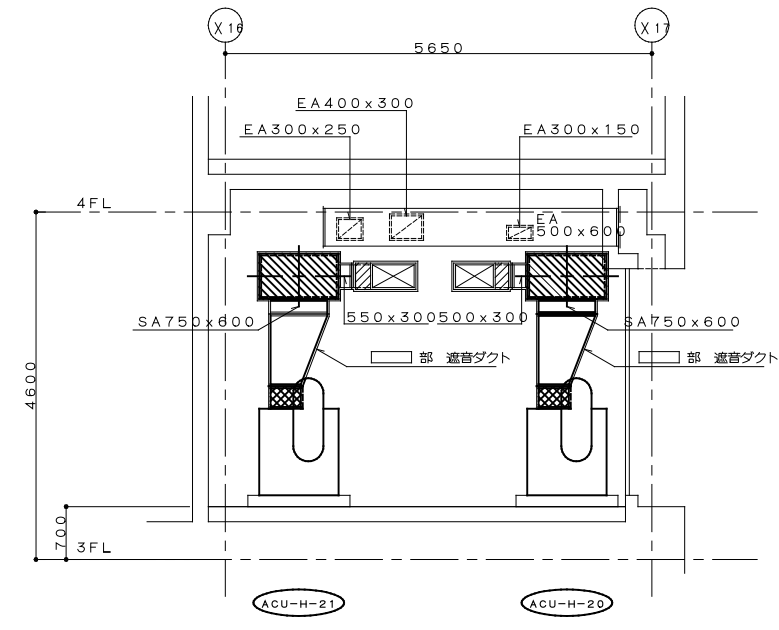
機番	寸法(WXLXH)	備考
FR-H-9 ①	吐出 1300x1250x1200	点検口500x300 GW50t内貼
FR-H-9 ②	吸込 1500x1100x900	点検口500x300 GW50t内貼



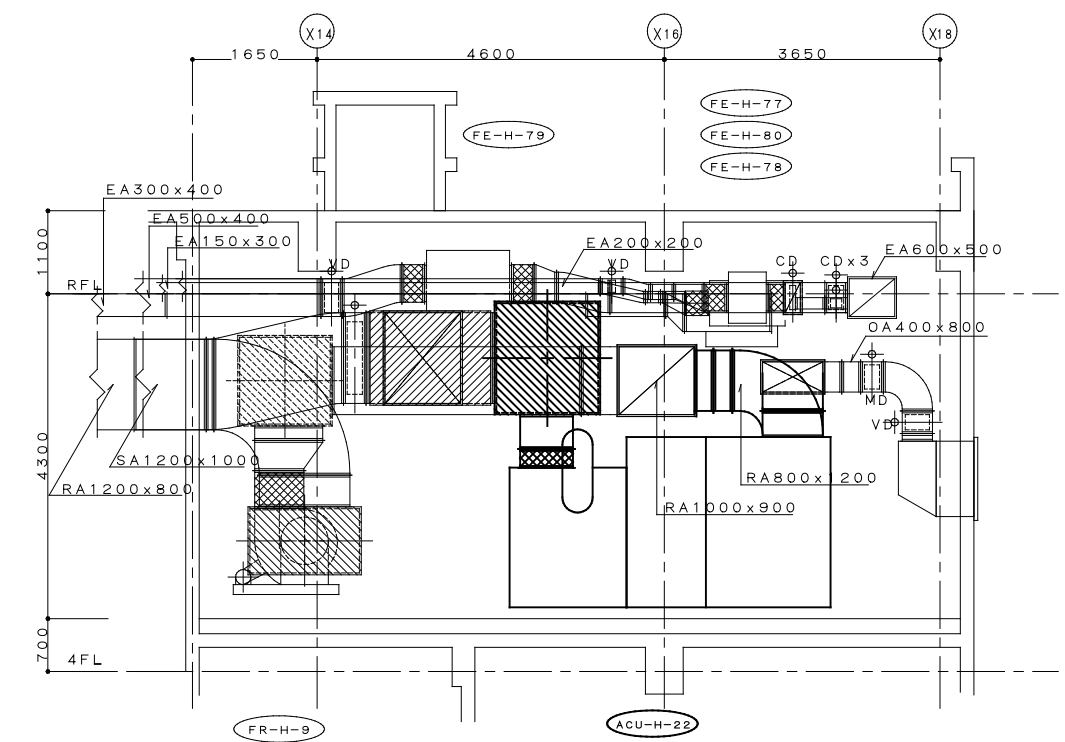
3F 空調機械室 4-1 平面詳細図 1:100

OAG
有効 0.58 M ²
Q= 6230 CMH
建築工事
BOX
2800x1000x600L

EAG
有効 0.851 M ²
Q= 7220 CMH
建築工事
BOX
-



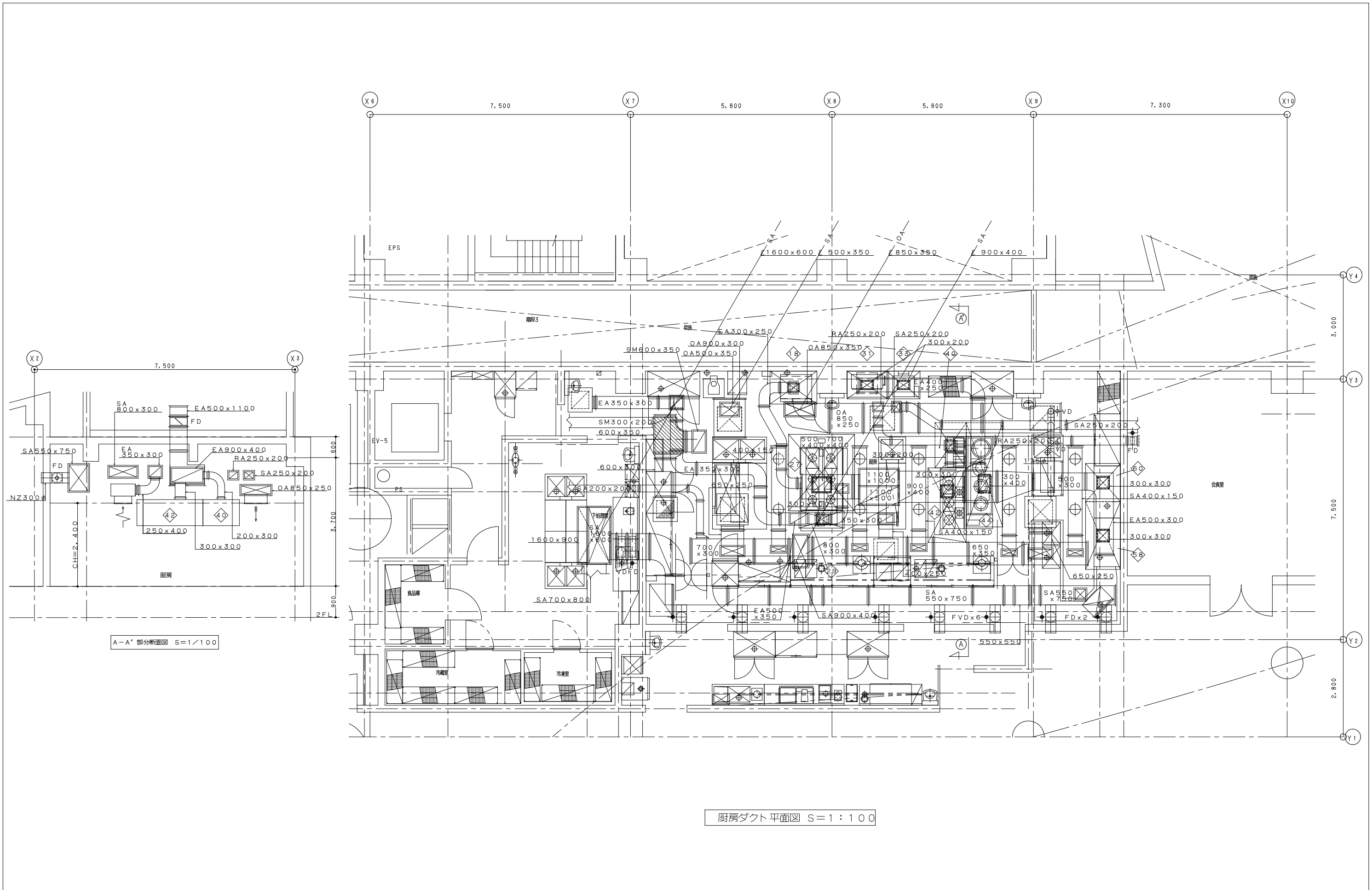
A-A' 部分断面図 1:100



B-B' 部分断面図 1:100

注1) 太線部は新設を示す。

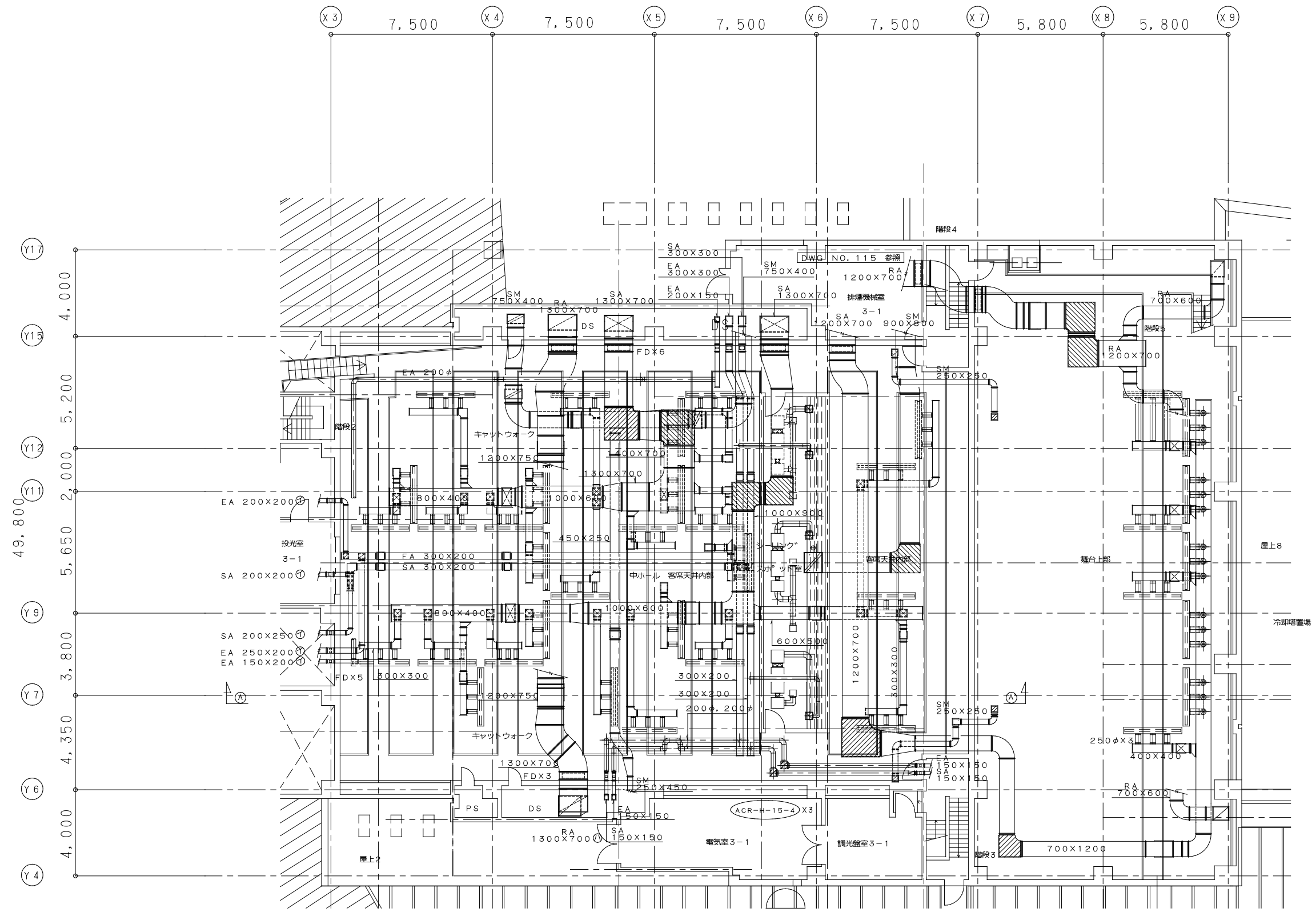
特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調設備 空調機械室3-2、4-1ダクト平面、断面詳細図(改修)
					縮尺 1:100 (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-53
業務名	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



A-A' 部分断面図 S=1/100

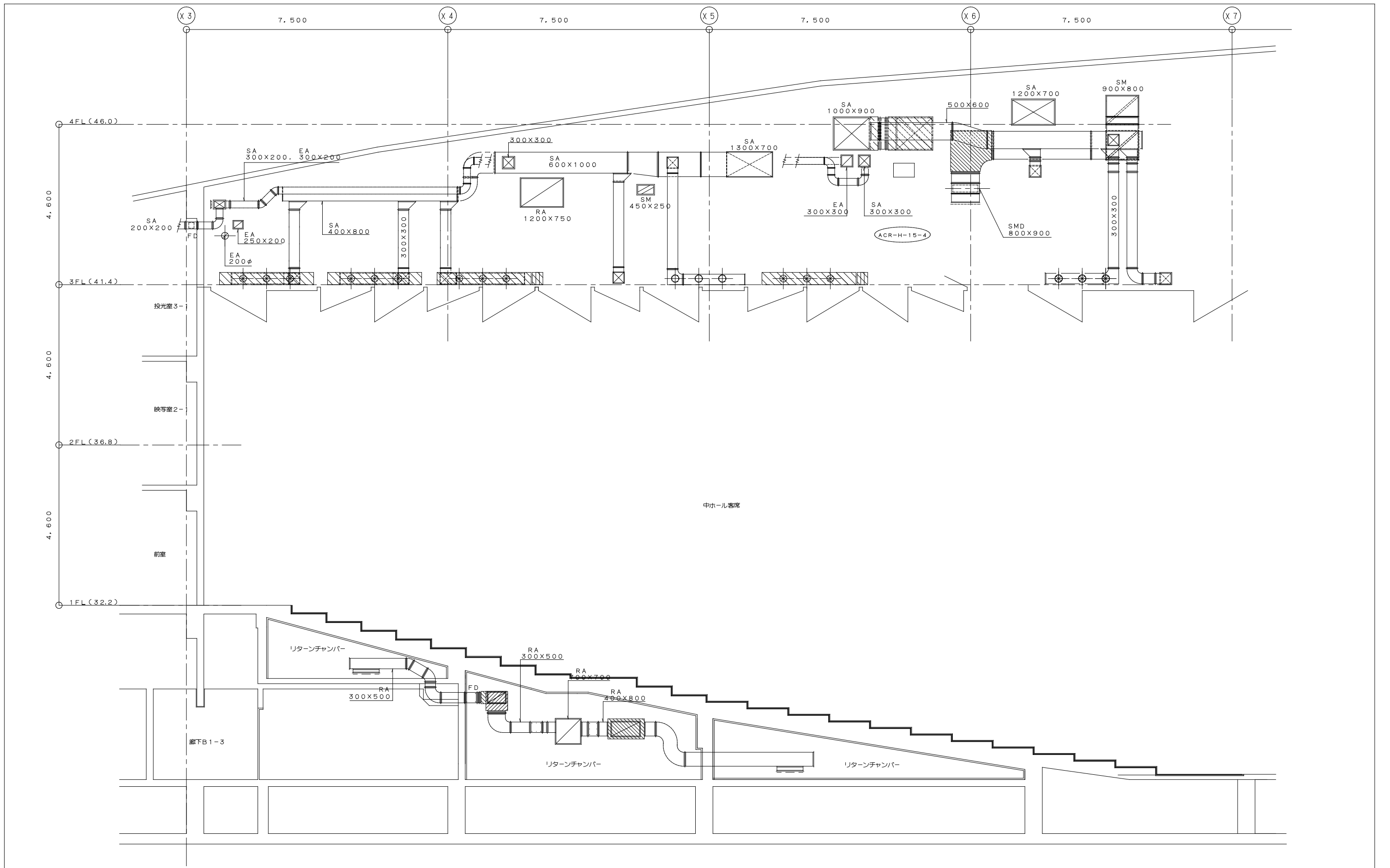
厨房ダクト平面図 S=1:100

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					空調調設備 厨房ダクト平面・断面詳細図 (改修)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1:100 (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 業務名 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務 (設備)				M-54
	株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬				



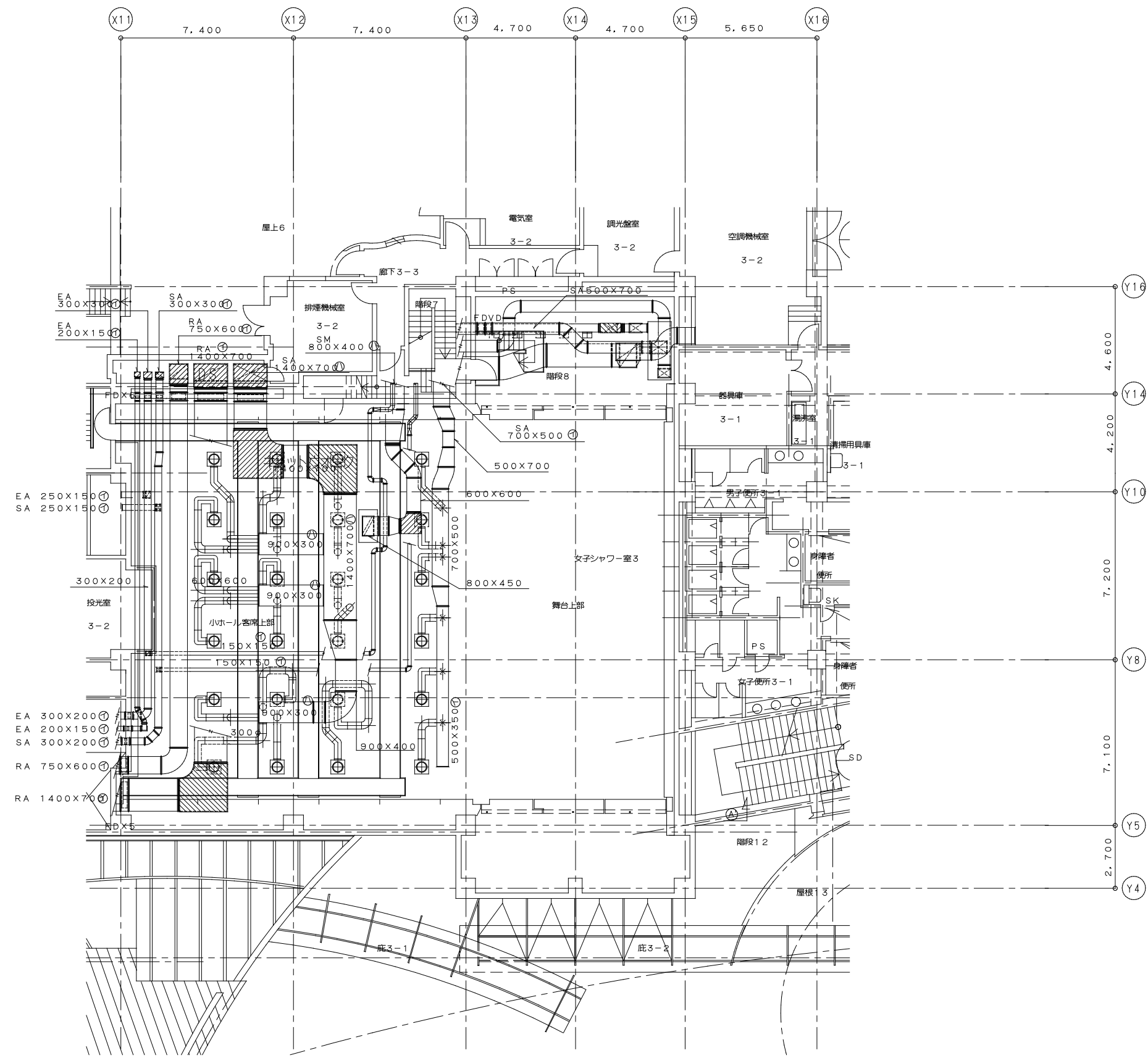
中ホール上部平面詳細図 S=1:200

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					空調和設備 中ホール平面詳細図 (改修)
					縮尺 1:200 (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-55
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



A-A' 部分断面図=1:100

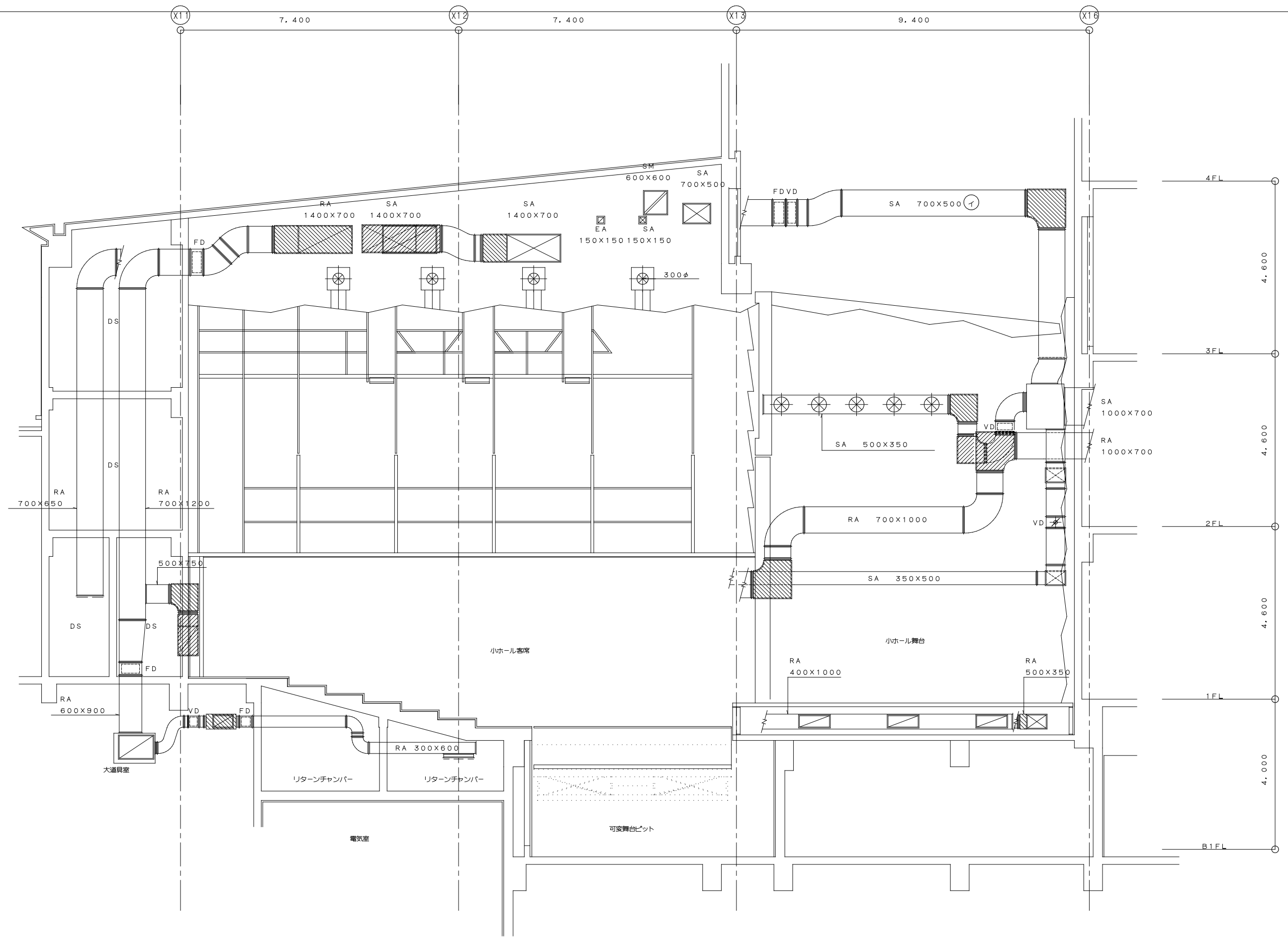
特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					空調和設備 中ホール断面詳細図 (改修)
					縮尺 1:100 (A3)
					M-56
独立行政法人 国立青少年教育振興機構					
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)					株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



中ホール上部平面詳細図 S=1:200

特記事項

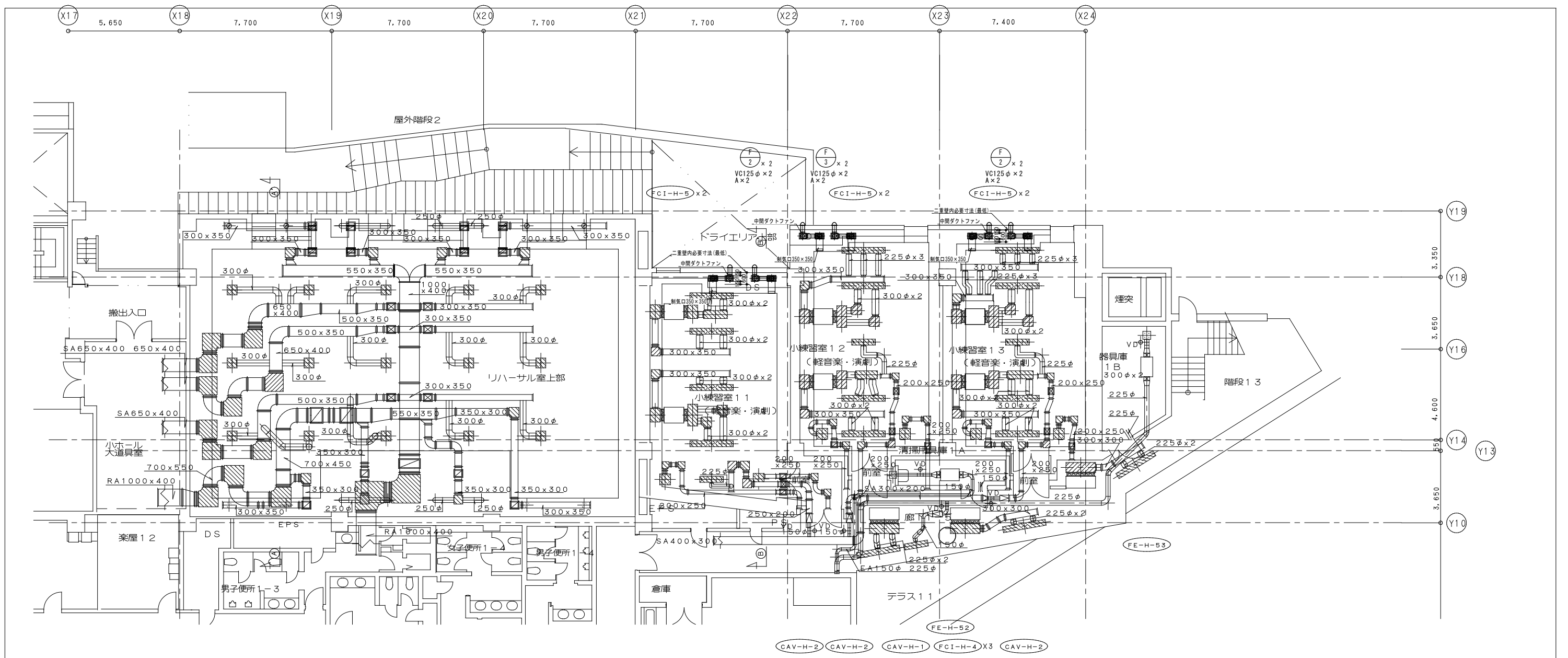
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				空調設備 小ホール平面詳細図(改修)
				縮尺 1:200 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-57
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



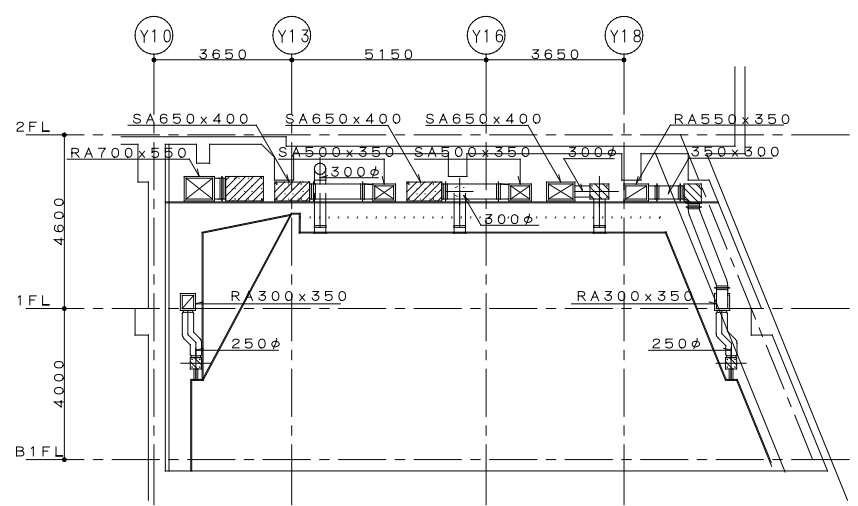
A-A' 部分断面図=1:100

特記事項

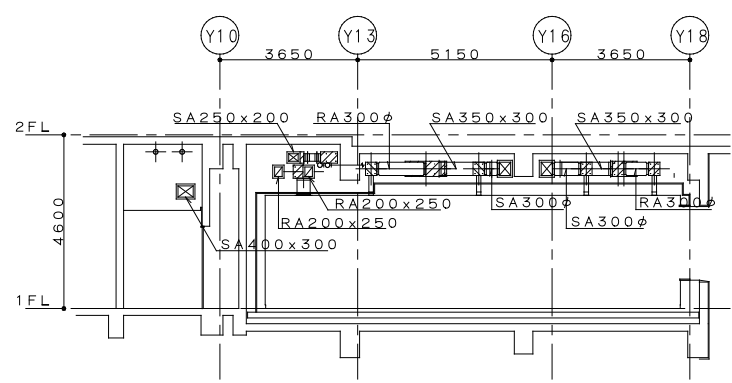
課長	課長補佐	係長	担当
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			
国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空気調和設備 小ホール断面詳細図(改修) 縮尺 1:100 (A3) M-58			
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬			



1F 大練習室・小練習室平面詳細図 S=1:200



A-A' 部分断面図 S=1:200



B-B' 部分断面図 S=1:200

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当
----	------	----	----

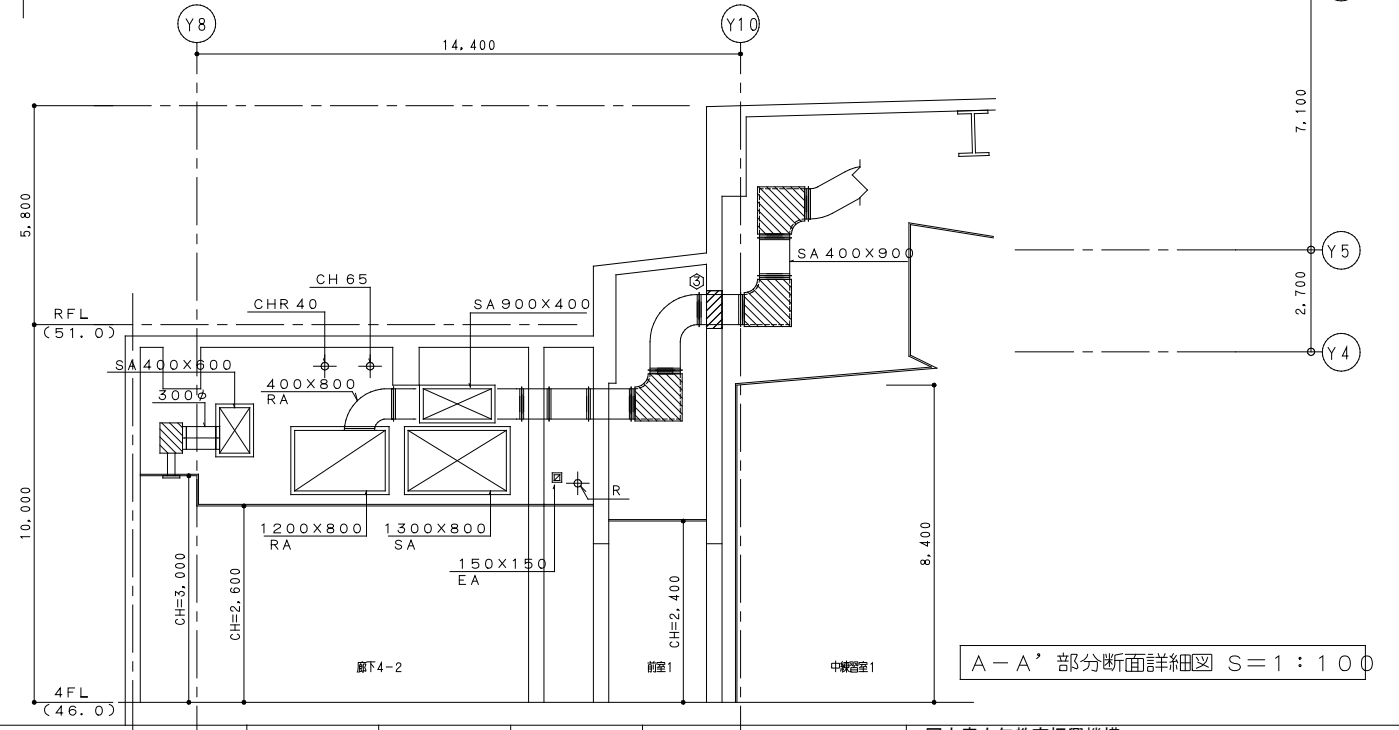
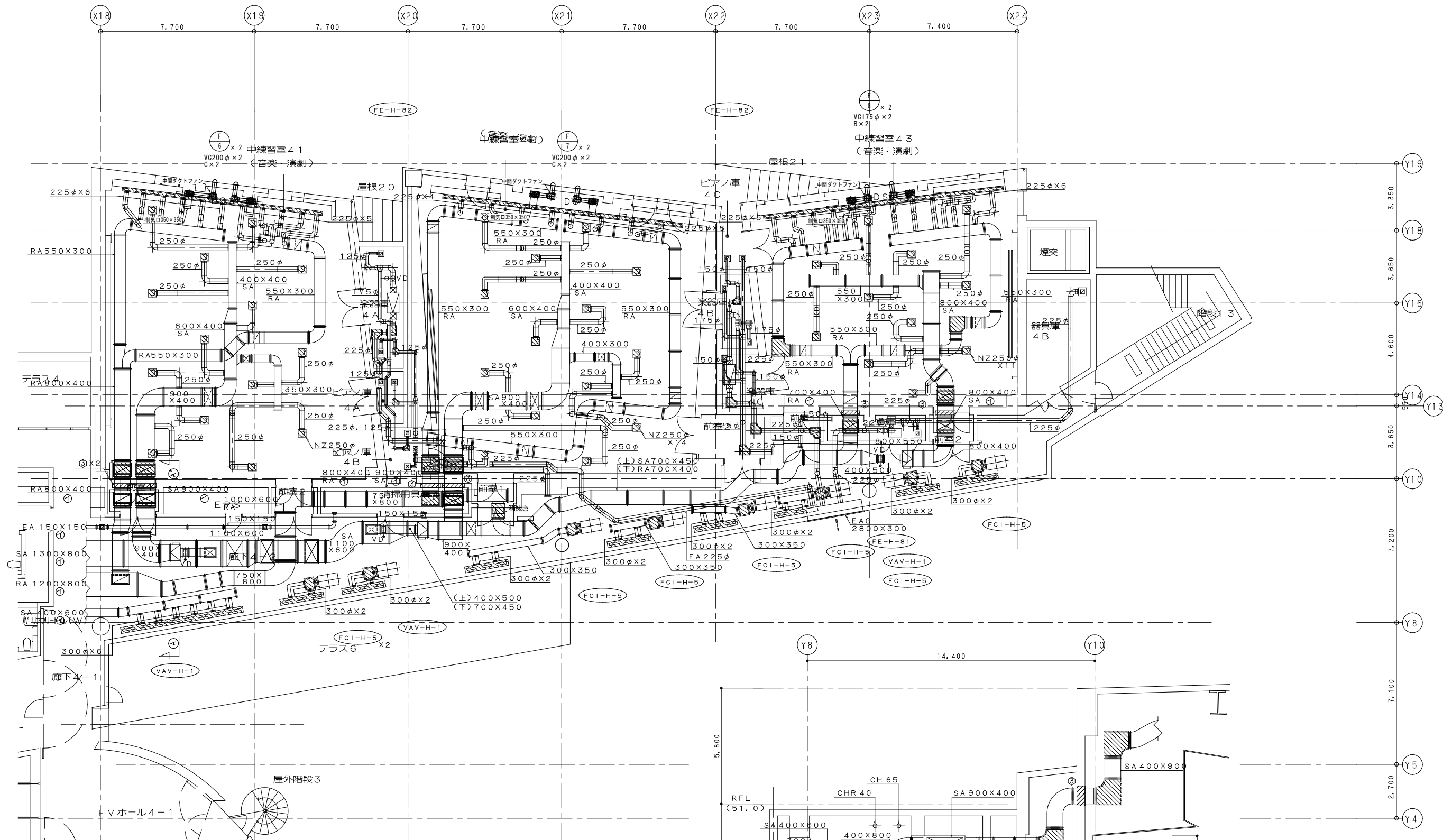
国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事

空気調和設備 大練習室1階小道具室平面・断面詳細図(改修)

縮尺 1:200 (A3)

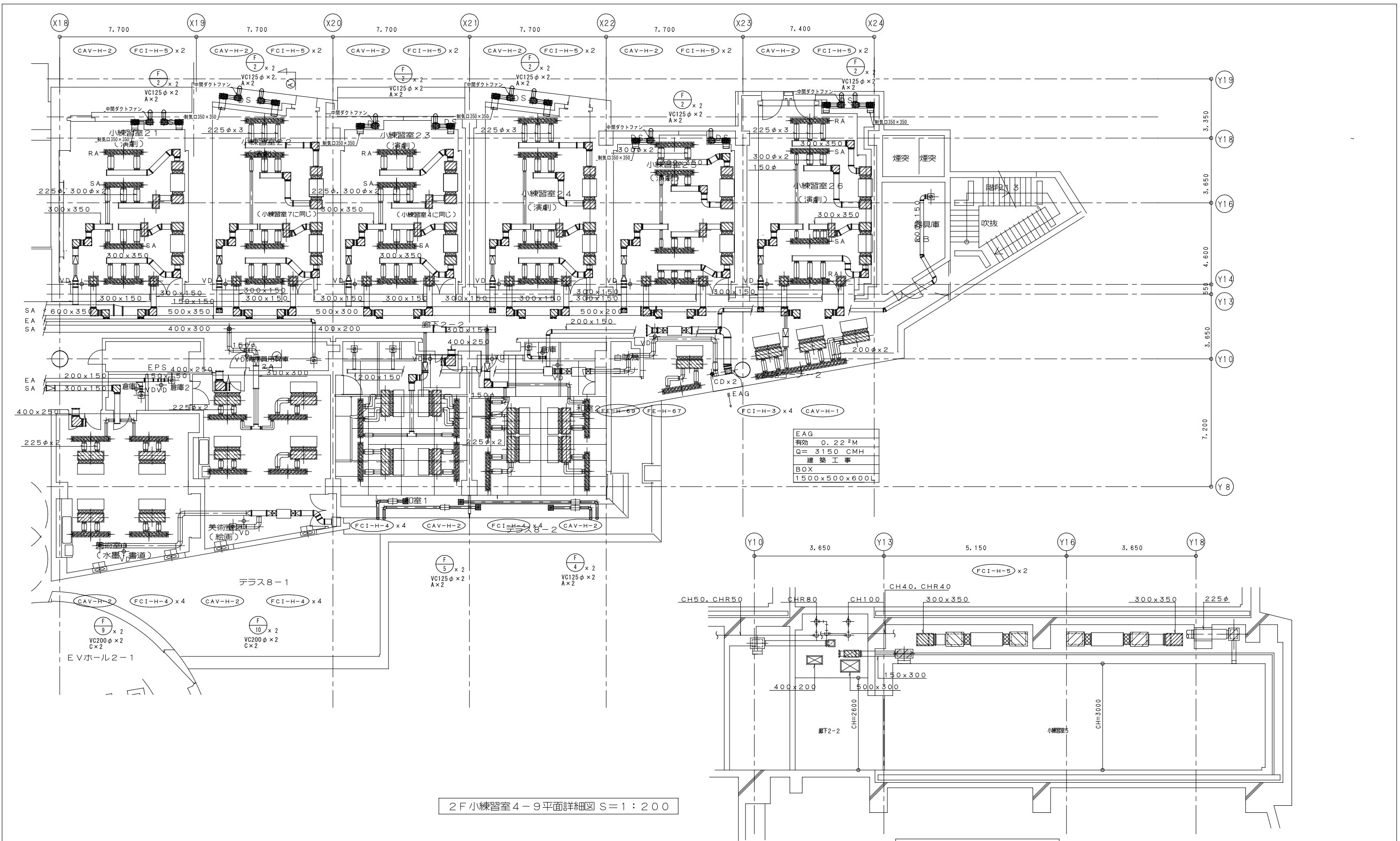
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都)第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調調和設備 中練習室平面断面詳細図 (改修)
				縮尺 1:200 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-60
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

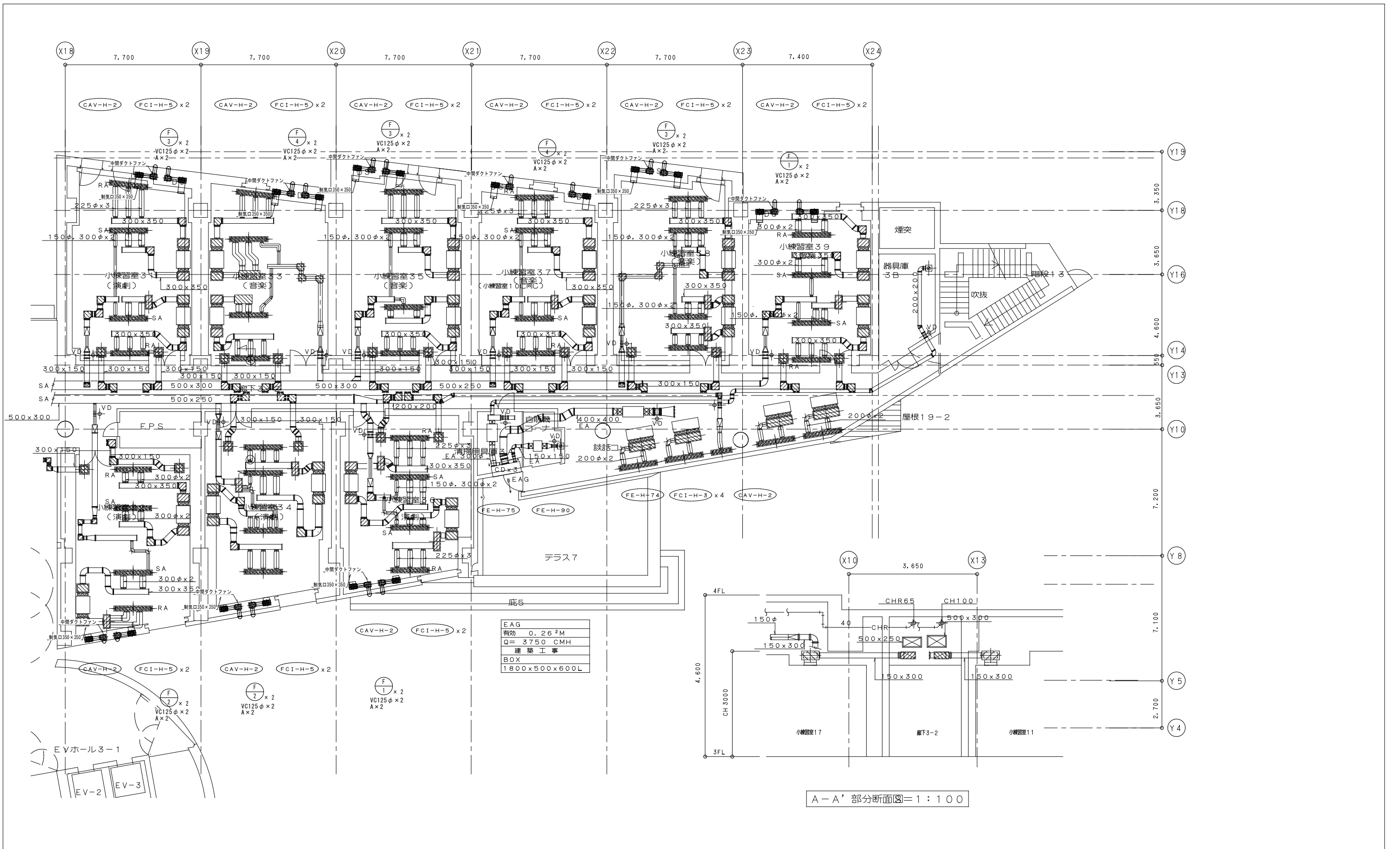


2F小練習室4-9平面詳細図 S=1:200

A-A'部分断面図=1:100

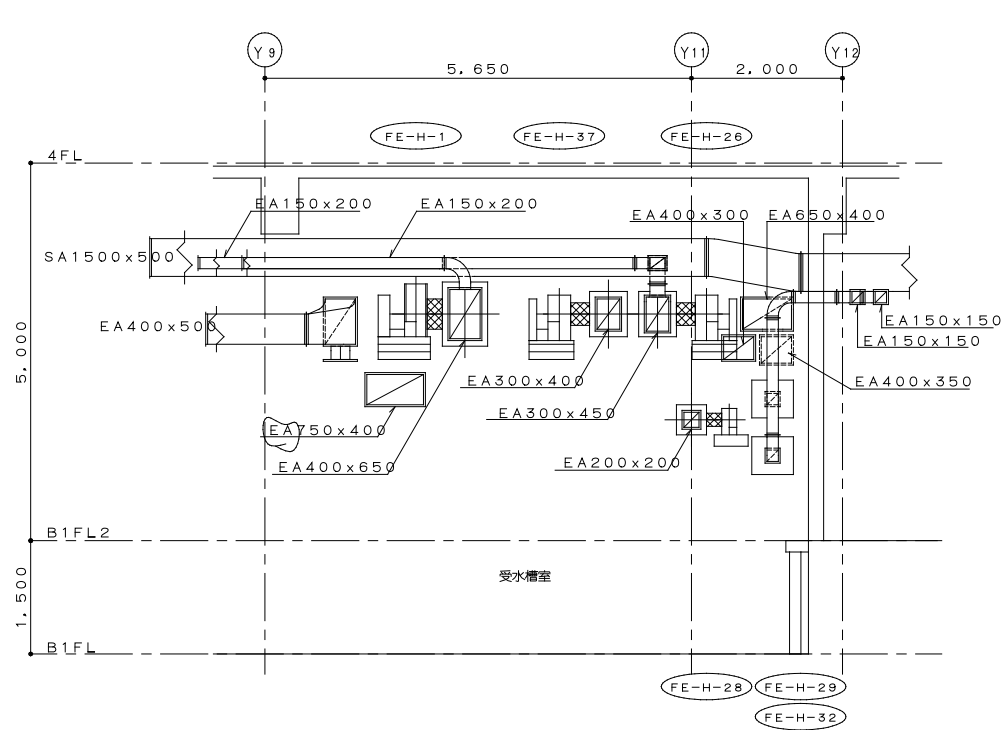
- 注記1) 小練習室天井内ダクトは、防振吊とする。(ノスタクトは除く。)
- 2) 小練習室内FCUは、防振吊とし吐出・吸込側共キャンノスタ継手とする。
- 3) 小練習室天井内フレキシブルダクトは数フレキとする。
- 4) 着色部は防振吊部を示す。
- 5) 斜線部ダクトは通音ダクトを示す。(○内番号は、DWC No. 120の種別を示す。)
- 6) ①-②はダクト使用区分を示す。

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					空気調和設備 2階小練習室平面-断面詳細図 (改修)
					縮尺 1:200 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構					M-61
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター 棟他機能改善整備設計業務(設備)					株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

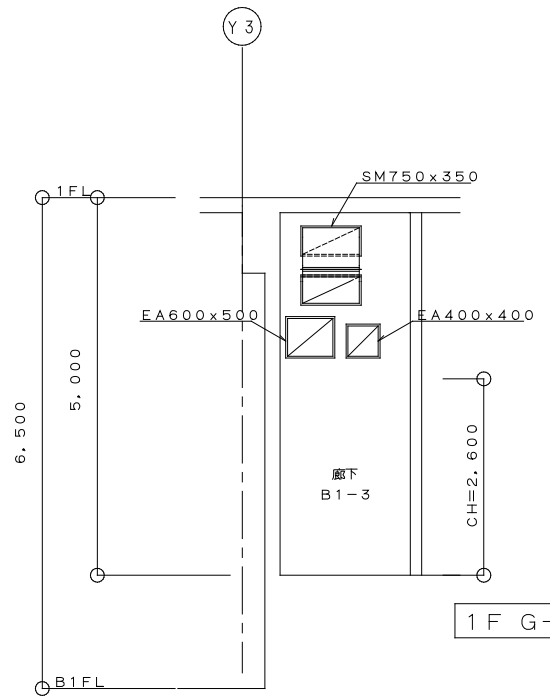


3F小練習室10-18平面詳細図 S=1:200

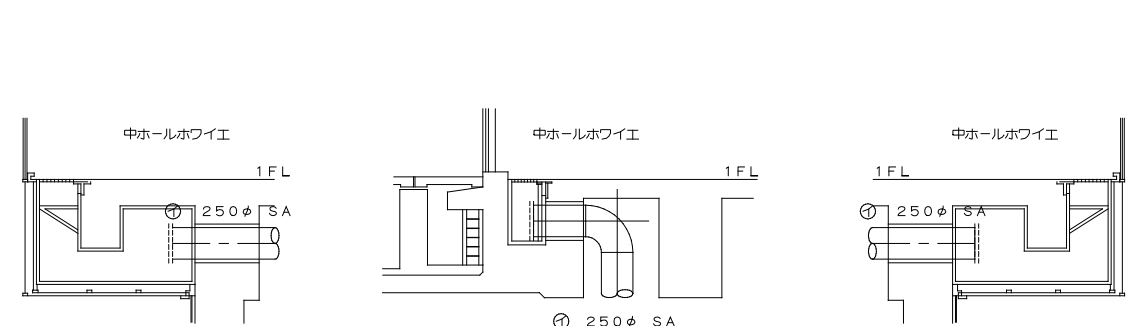
特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					空調設備 3階小練習室平面・断面詳細図(改修)
					縮尺 1:200 (A3)
					M-62
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				
業務名	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



B1F E-E'部分断面詳細図 S=1:100



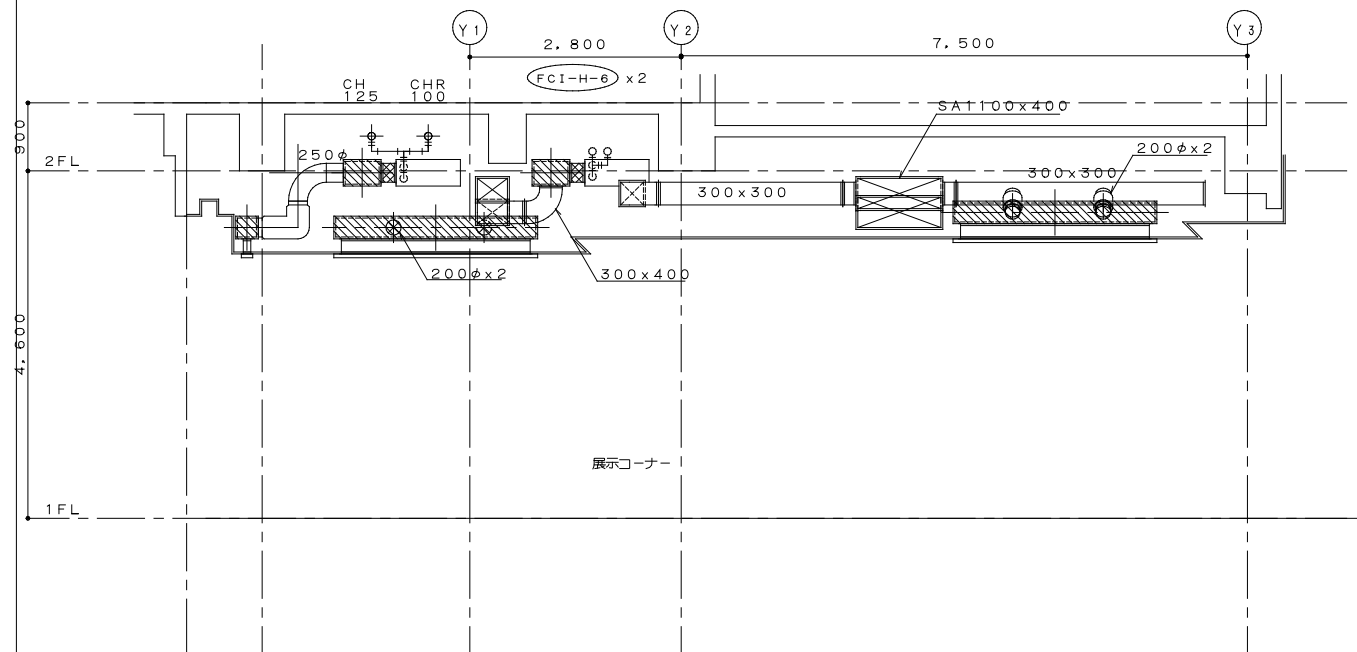
B1F F-F'部分断面詳細図 S=1:100



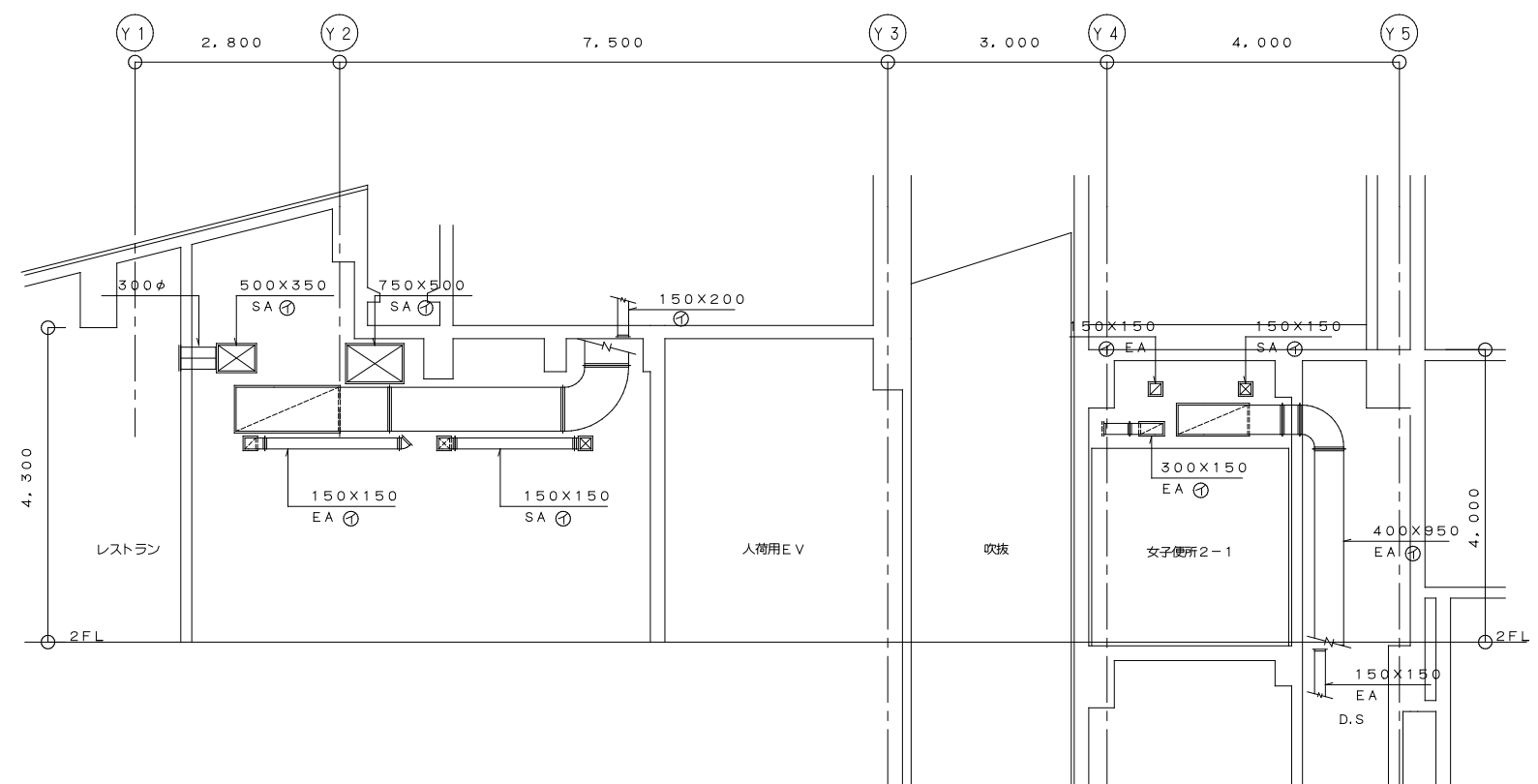
1F G-G'部分断面詳細図 S=1:60

1F H-H'部分断面詳細図 S=1:60

1F I-I'部分断面詳細図 S=1:60



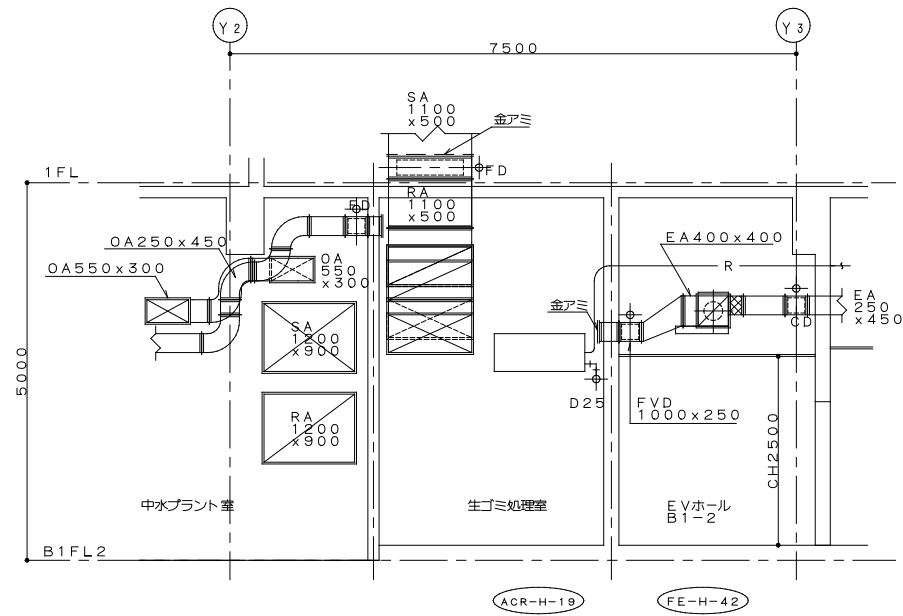
1F J-J'部分断面図 S=1:100



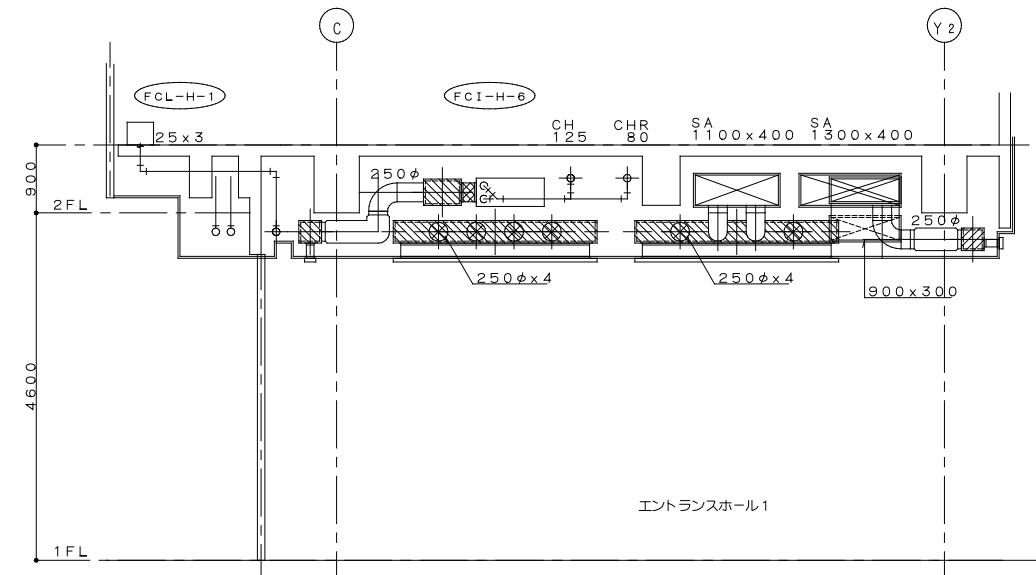
2F K-K'部分断面詳細図 S=1:100

特記事項

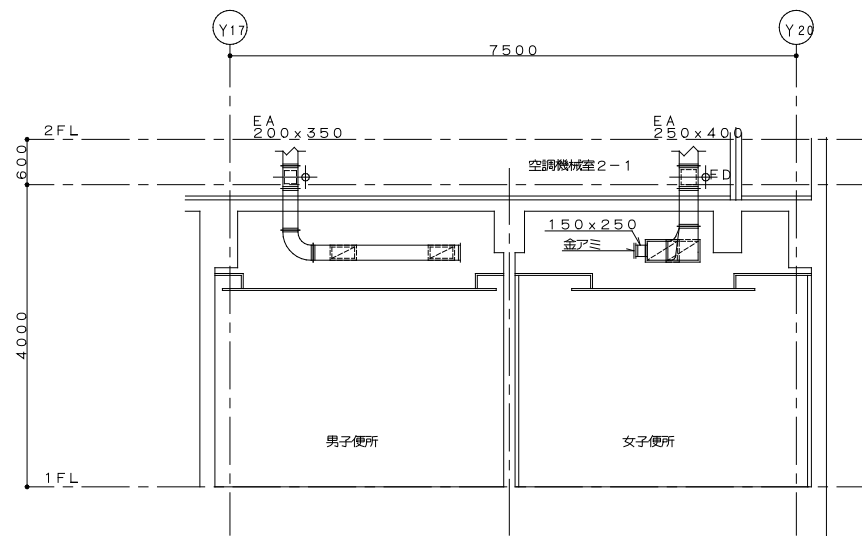
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				空調設備 部分断面詳細図 (1) (改修)
				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-63
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



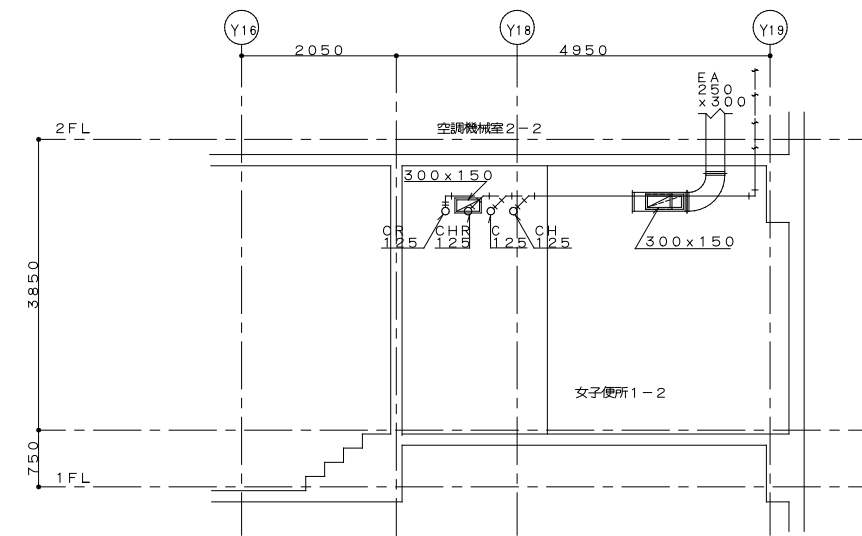
B1F A-A' 部分断面図=1:100



1F B-B' 部分断面図S=1:100



1F C-C' 部分断面図S=1:100

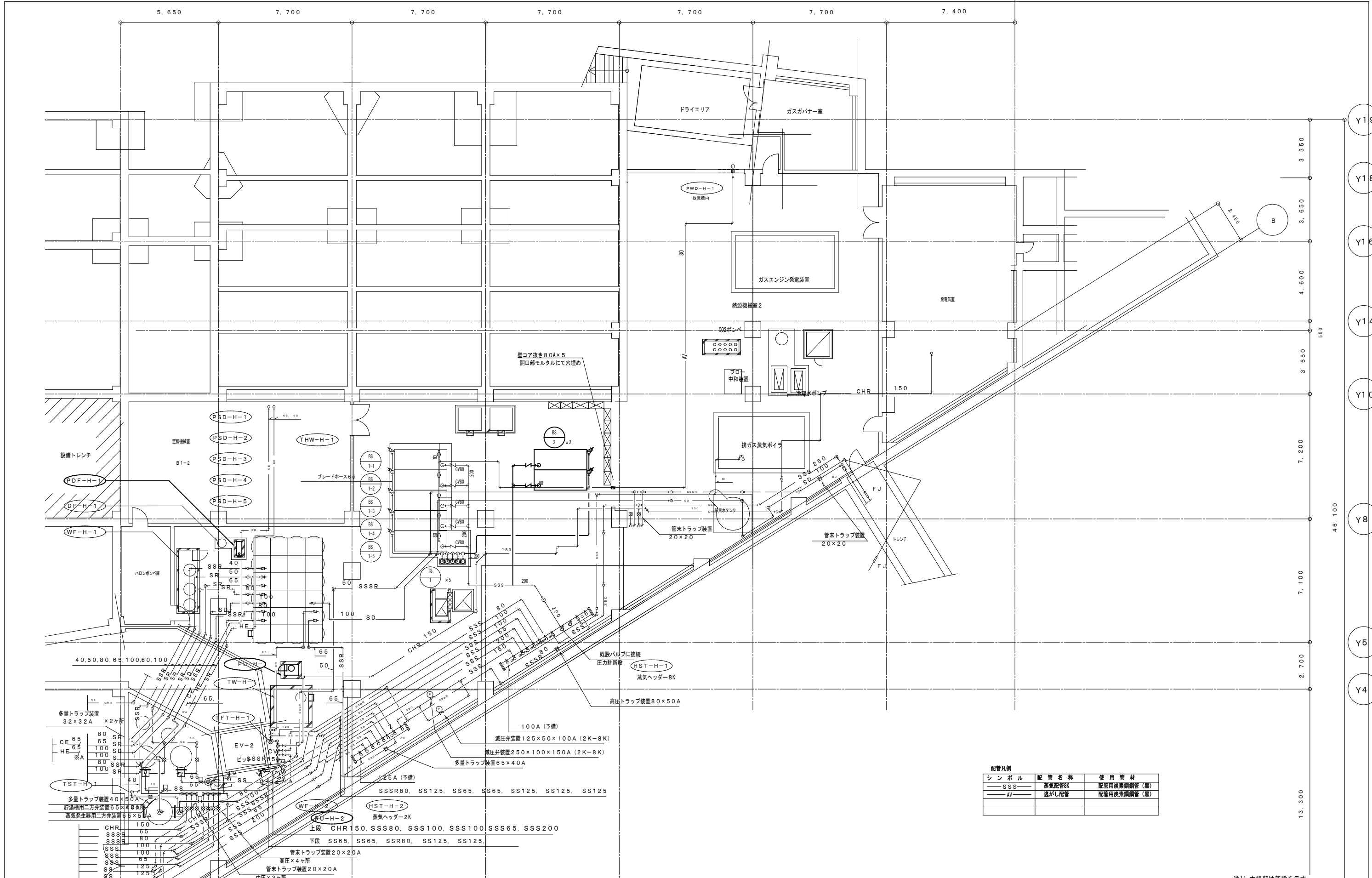


1F D-D' 部分断面図S=1:100

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調調和設備 部分断面詳細図(2) (改修)
				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-64
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

X17 X18 X19 X20 X21 X22 X23 X24



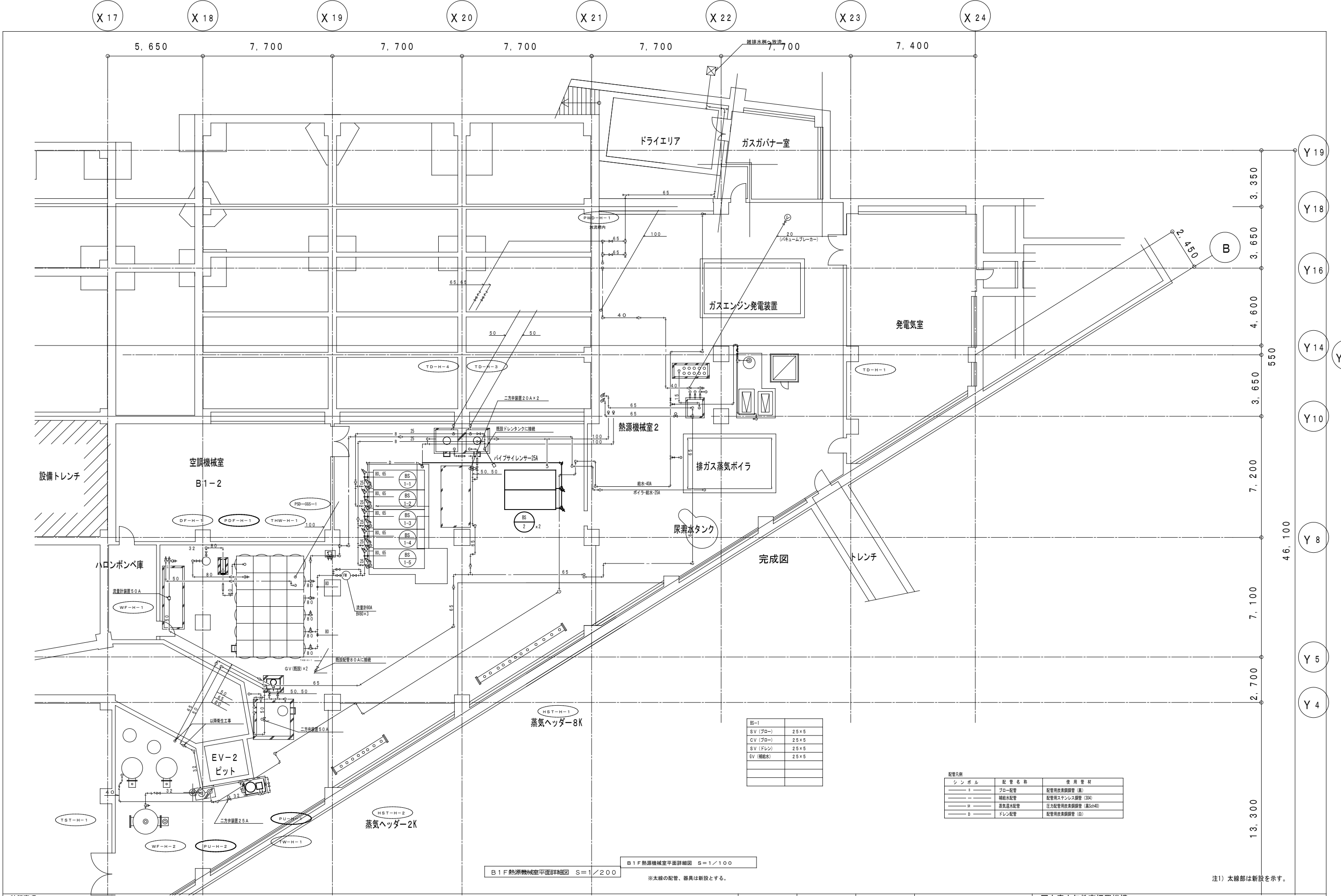
配管凡例

シンボル	配管名称	使用管材
SSS	蒸気配管8K	配管用炭素鋼鋼管(黒)
AV	逃がし配管	配管用炭素鋼鋼管(黒)

注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				空気調和設備 熱源機室配管平面詳細図 (1) (改修)
				縮尺 1:200 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-65
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



BS-1	
SV (フロ-)	25×5
CV (フロ-)	25×5
SV (ドレン)	25×5
GV (補給水)	25×5

シンボル	配管名称	使用管材
—s—	フロ-配管	配管用炭素鋼管 (黒)
—w—	補給水配管	配管用ステンレス鋼管 (304)
—g—	蒸気配管	圧力配管用炭素鋼管 (黒504)
—d—	ドレン配管	配管用炭素鋼管 (白)

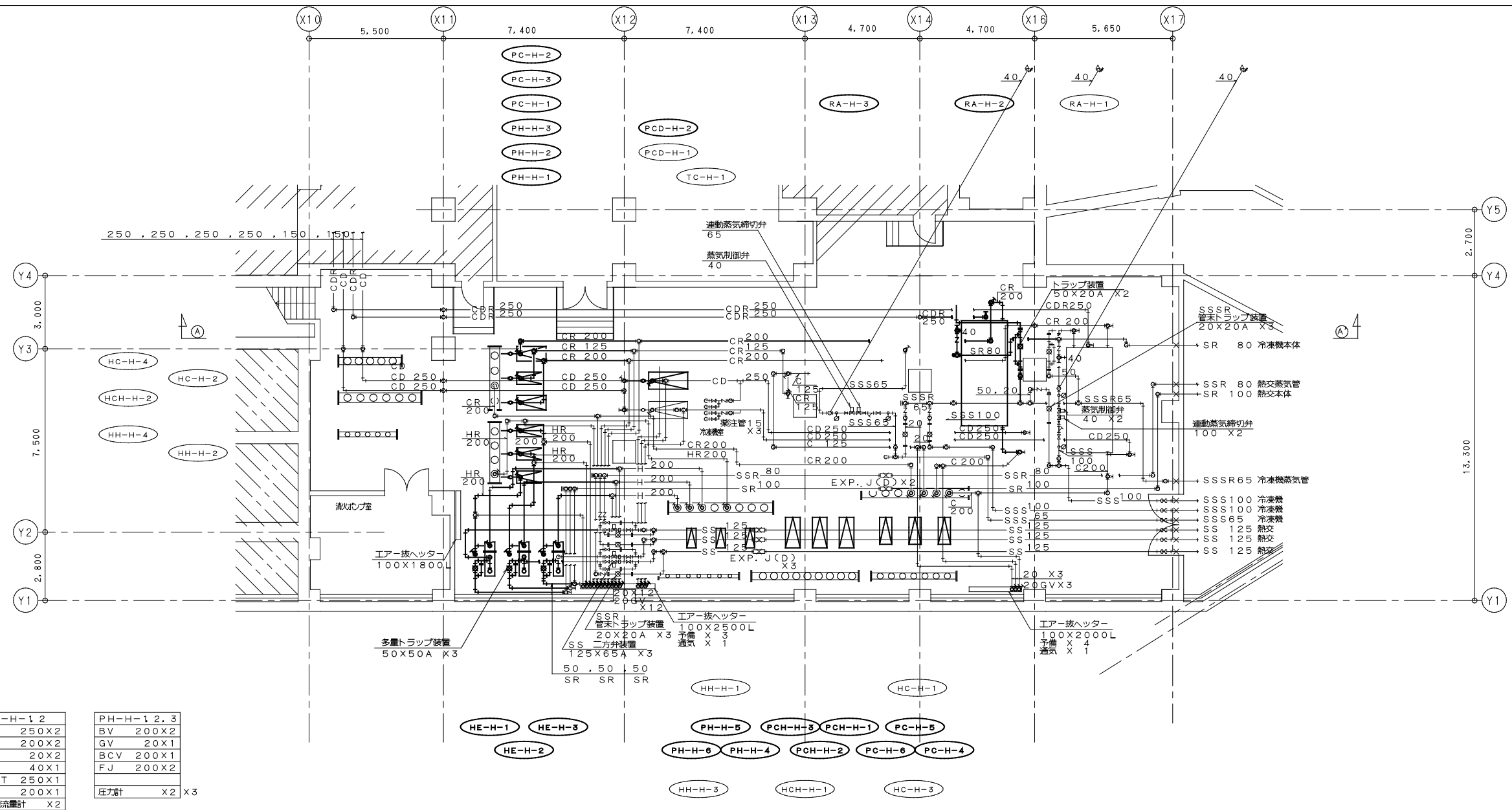
B1F 熱源機械室平面詳細図 S=1/200
 B1F 熱源機械室平面詳細図 S=1/100

※太線の配管、器具は新設とする。

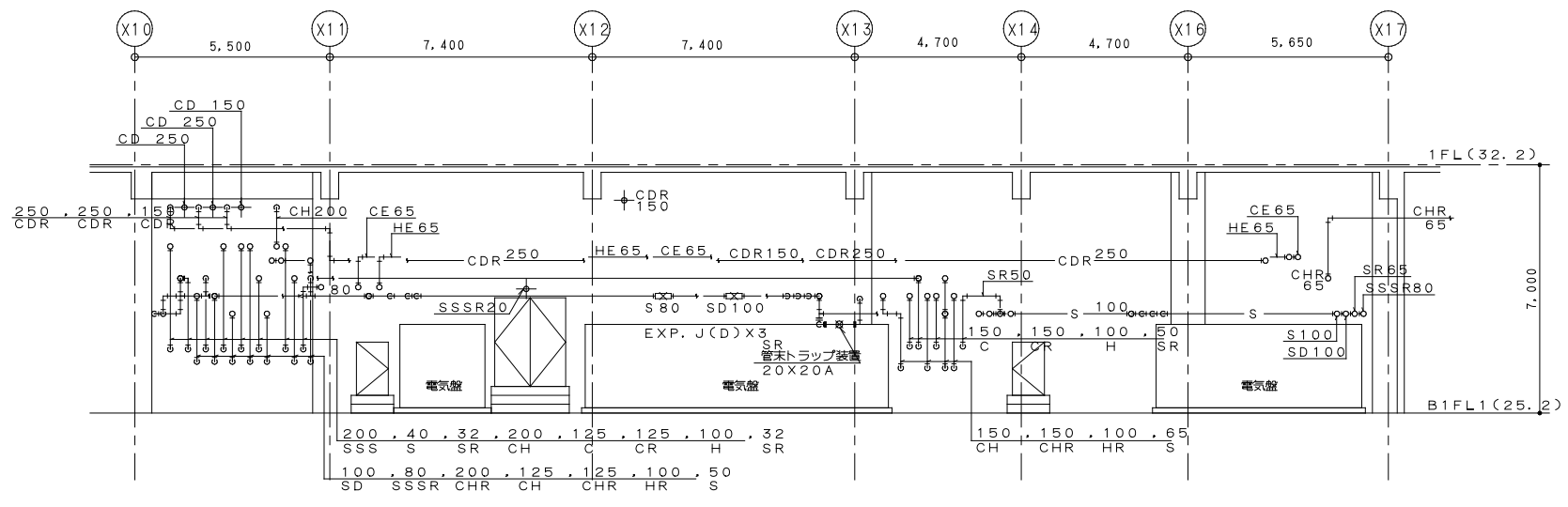
注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				空気調和設備 熱源機械室配管平面詳細図 (2) (改修)
				縮尺 1:200 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-66
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



B1F 冷凍機械室平面詳細図 S=1:200



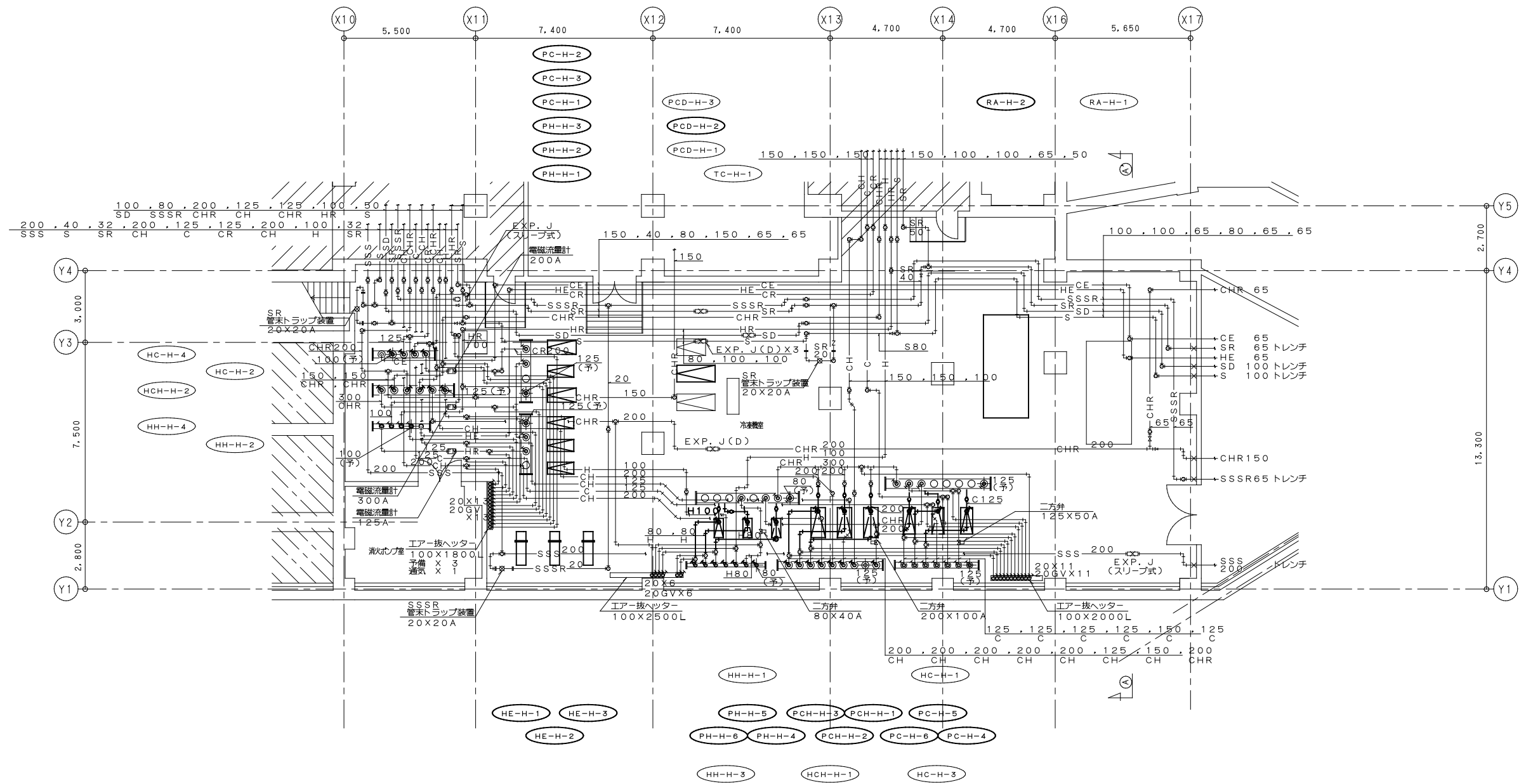
A-A' 部分断面図 S=1:200

HC-H-1 BV 200X3 125X1 (D)50X1 瞬間流量計 X4 温度計 X1 圧力計 X1	RA-H-1 2 BV 250X2 200X2 GV 20X2 SV 40X1 YST 250X1 200X1 瞬間流量計 X2 温度計 X4 圧力計 X4 X2	PH-H-1 2, 3 BV 200X2 GV 20X1 BCV 200X1 FJ 200X2 圧力計 X2 X3
HC-H-2 BV 200X1 (D)50X1 瞬間流量計 X1 温度計 X1 圧力計 X1	RA-H-3 BV 150X2 125X2 GV 20X2 SV 32X1 YST 150X1 125X1 瞬間流量計 X2 温度計 X4 圧力計 X4	PCD-H-1 2 BV 250X2 GV 20X1 BCV 250X1 FJ 250X2 YST 250X1 圧力計 X2 X2
HH-H-1 BV 200X4 GV (D)50X1 瞬間流量計 X4 温度計 X1 圧力計 X1	PC-H-1 2 BV 200X2 GV 20X1 BCV 200X1 FJ 150X2 YST 150X1 圧力計 X2 X2	PCD-H-3 BV 150X2 GV 20X1 BCV 150X1 FJ 150X2 YST 150X1 圧力計 X2 X2
HH-H-2 BV 200X1 GV (D)50X1 瞬間流量計 X1 温度計 X1 圧力計 X1	HE-H-1 2, 3 BV 200X2 GV (D)32X1 20X1 YST 200X1 瞬間流量計 X1 温度計 X3 圧力計 X3	安全弁 80X1 X3
TC-H-1 GV 15X6 BCV 15X3	PC-H-3 BV 125X2 GV 20X1 BCV 125X1 FJ 125X2 圧力計 X2 X2	

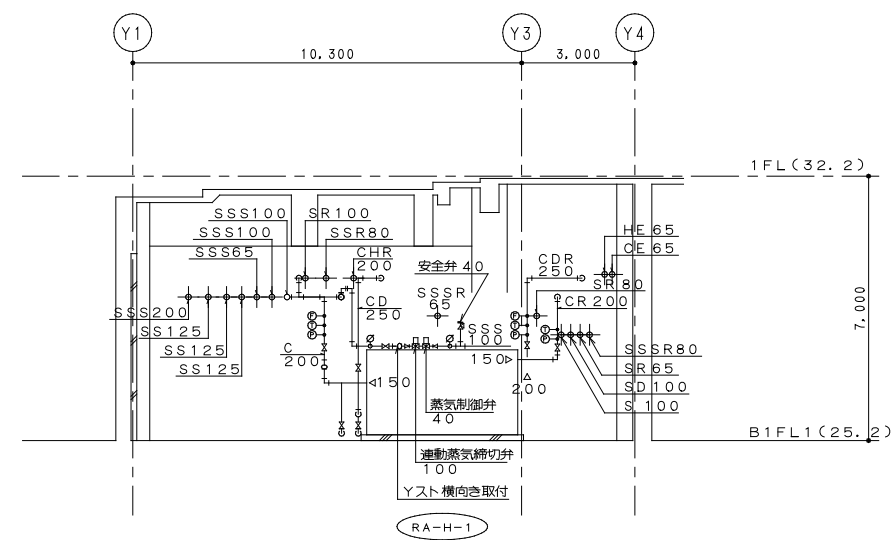
注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				空調和設備 冷凍機室配管平面詳細図 (1) (改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-67
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務 (設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



B1F 冷凍機械室平面詳細図 S=1:200

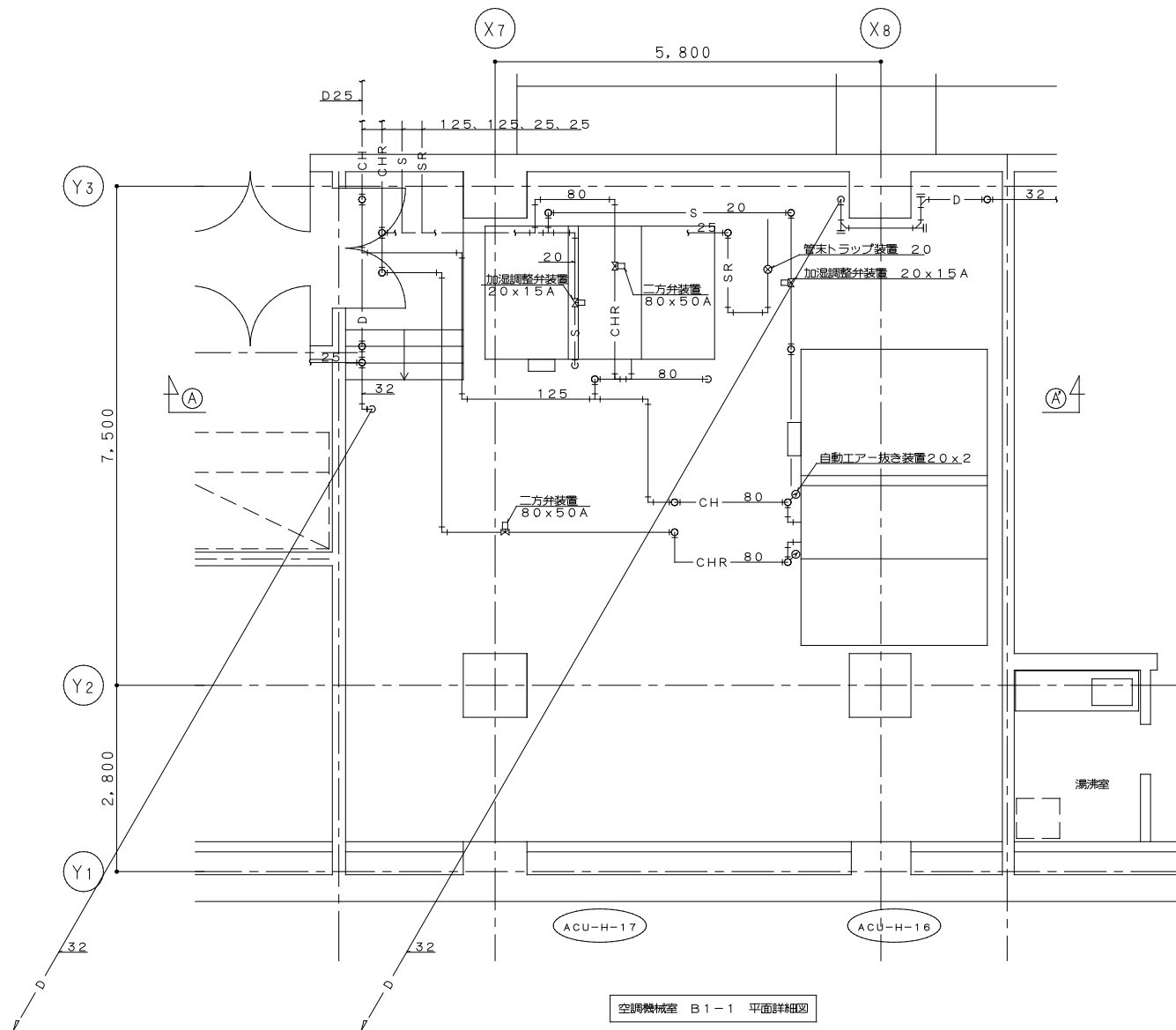


A-A' 部分断面図 S=1:200

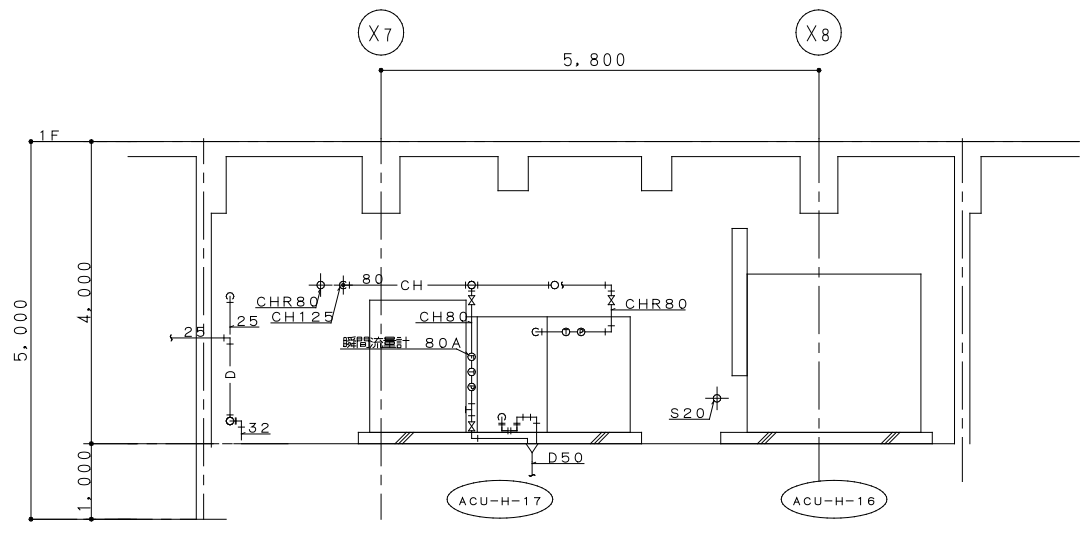
PC-H-4 5. 6 BV 125X2 GV 20X1 BCV 125X1 FJ 125X2 圧力計 X2 X3	HC-H-1 BV 300X1 200X1 125X2 瞬間流量計 X2 温度計 X1 溶解栓 40X2	HC-H-3 BV 150X1 100X3 GV(D) 40X1 瞬間流量計 X2 温度計 X1 圧力計 X2 溶解栓 40X2	HH-H-4 BV 125X1 100X3 EXP 65X1 GV(D) 40X1 瞬間流量計 X2 温度計 X3 圧力計 X1 溶解栓 40X2
PH-H-4 5. 6 BV 80X2 GV 20X1 BCV 80X1 FJ 80X2 圧力計 X2 X3	HC-H-2 BV 300X1 200X1 125X1 瞬間流量計 X2 温度計 X2 溶解栓 40X2	HC-H-4 BV 200X1 150X1 125X1 100X1 EXP 65X1 GV(D) 40X1 瞬間流量計 X8 温度計 X1 圧力計 X2 溶解栓 40X2	HCH-H-1 BV 200X6 150X1 150X1 GV(D) 50X1 瞬間流量計 X8 温度計 X1 圧力計 X2 溶解栓 40X2
PCH-H-1 2. 3 BV 200X2 GV 20X1 BCV 200X1 FJ 200X2 YST 200X1 圧力計 X2 X3	HH-H-1 BV 300X1 200X1 80X2 瞬間流量計 X5 温度計 X2 溶解栓 40X2	HH-H-3 BV 100X2 80X5 150X1 GV(D) 40X1 瞬間流量計 X2 温度計 X1 圧力計 X2 溶解栓 40X2	HCH-H-2 BV 300X1 200X2 150X1 125X2 GV(D) 40X1 瞬間流量計 X5 温度計 X6 圧力計 X1 溶解栓 40X2

注1) 太線部は新設を示す。

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空気調和設備 冷凍機室配管平面詳細図 (2) (改修)
					縮尺 1:200 (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-68
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務 (設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



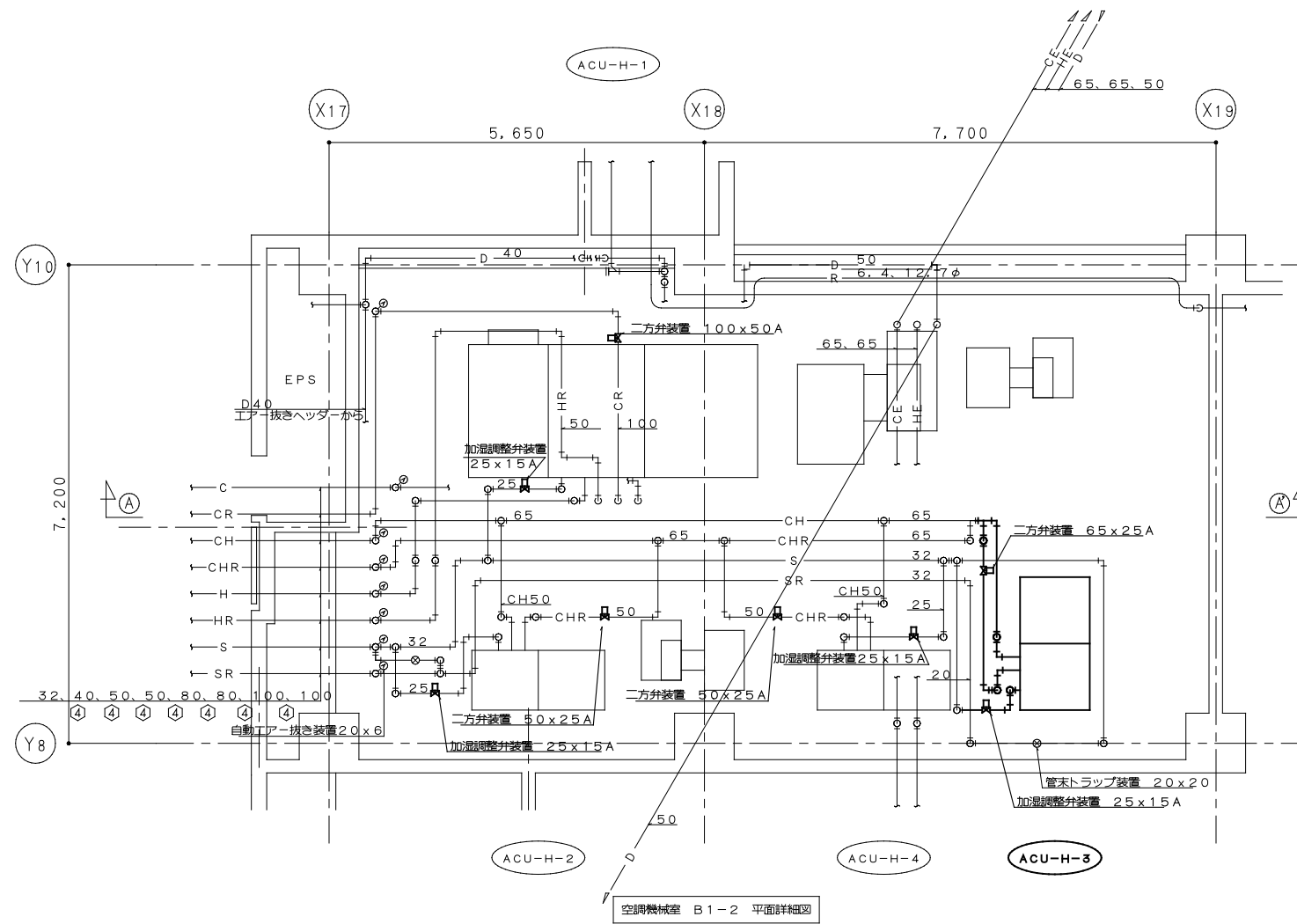
空調機械室 B1-1 平面詳細図



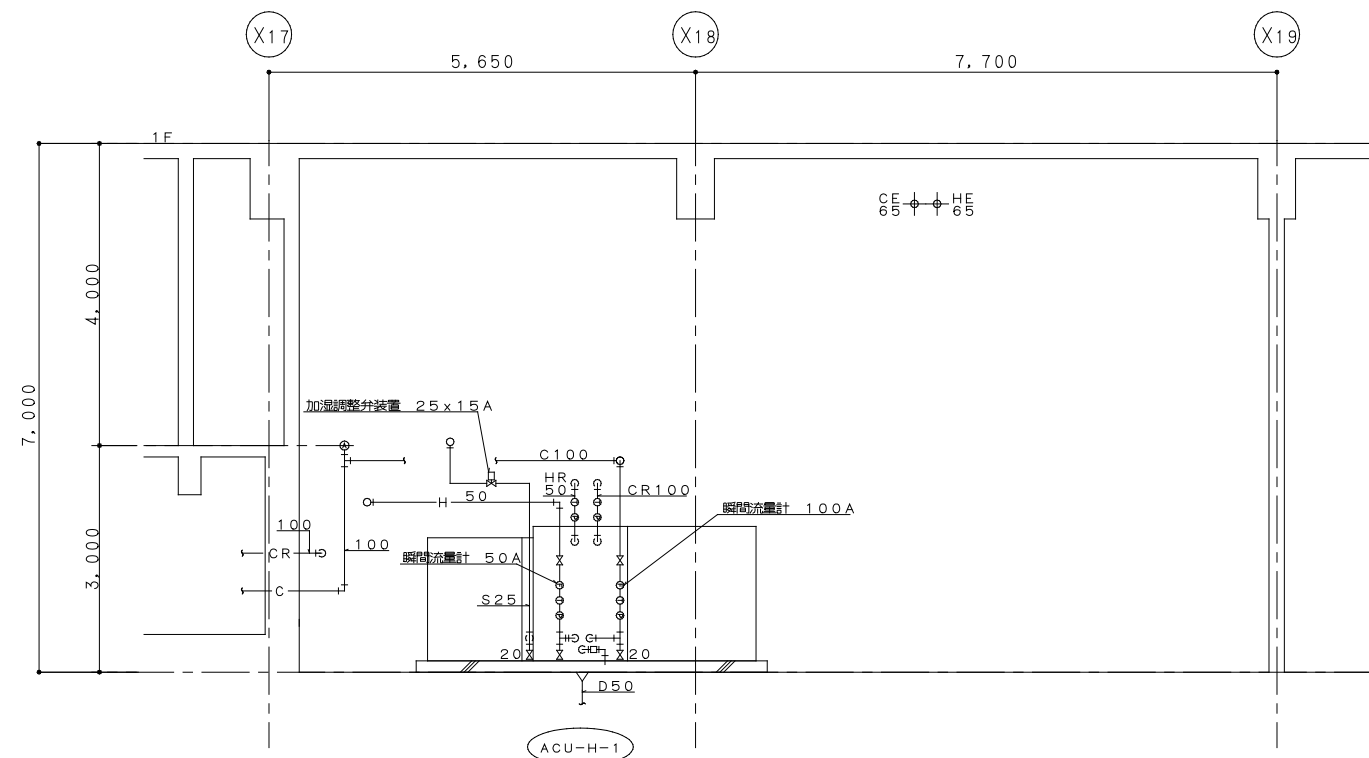
A-A' 部分断面図 S=1/100

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				空調和設備 空調機械室B1-1受水槽室配管平面詳細図(改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構 業務名 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				M-69
株式会社 総合設備計画				一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



空調機械室 B1-2 平面詳細図

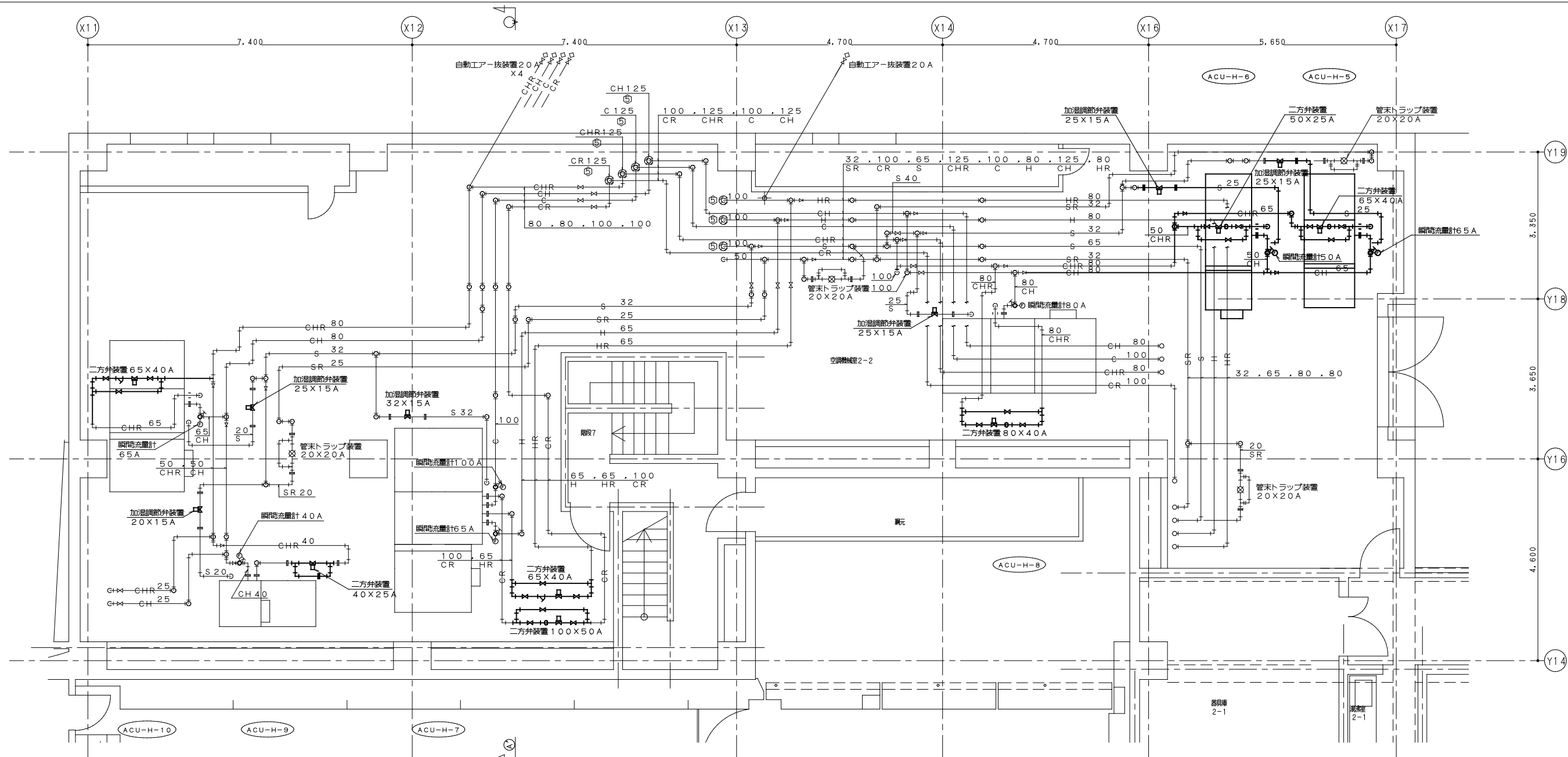


A-A' 部分断面図 S=1/100

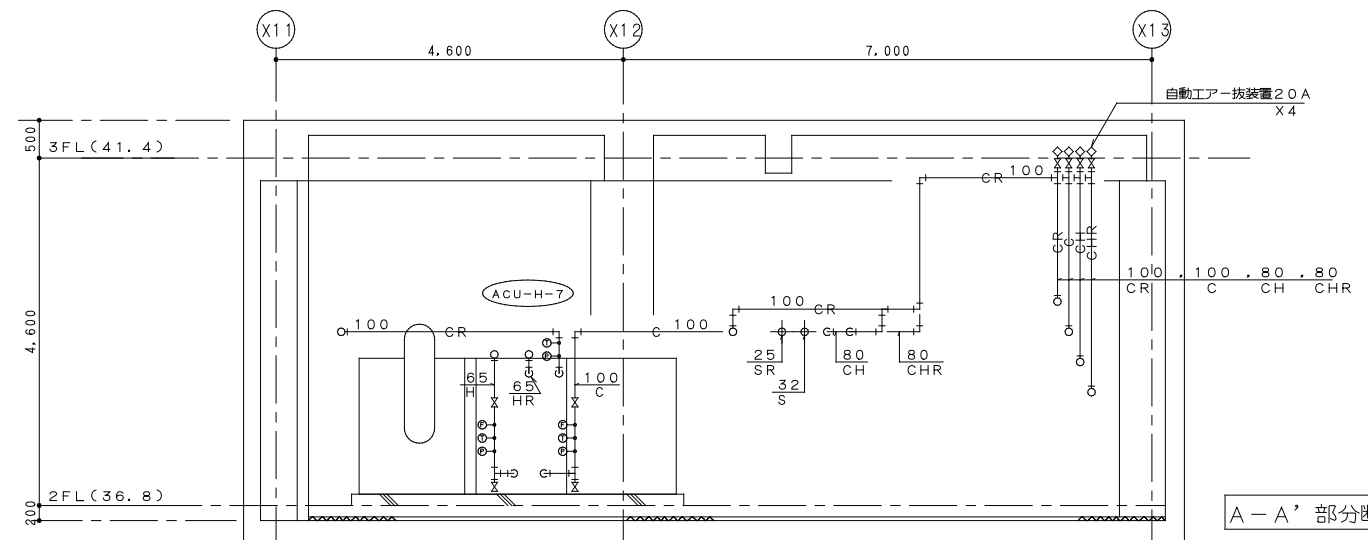
注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			
国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調和設備 空調機械室B1-2配管平面詳細図(改修)			
縮尺 1:100 (A3)			
			M-70



2F 空調機械室2-2平面詳細図 S=1:100

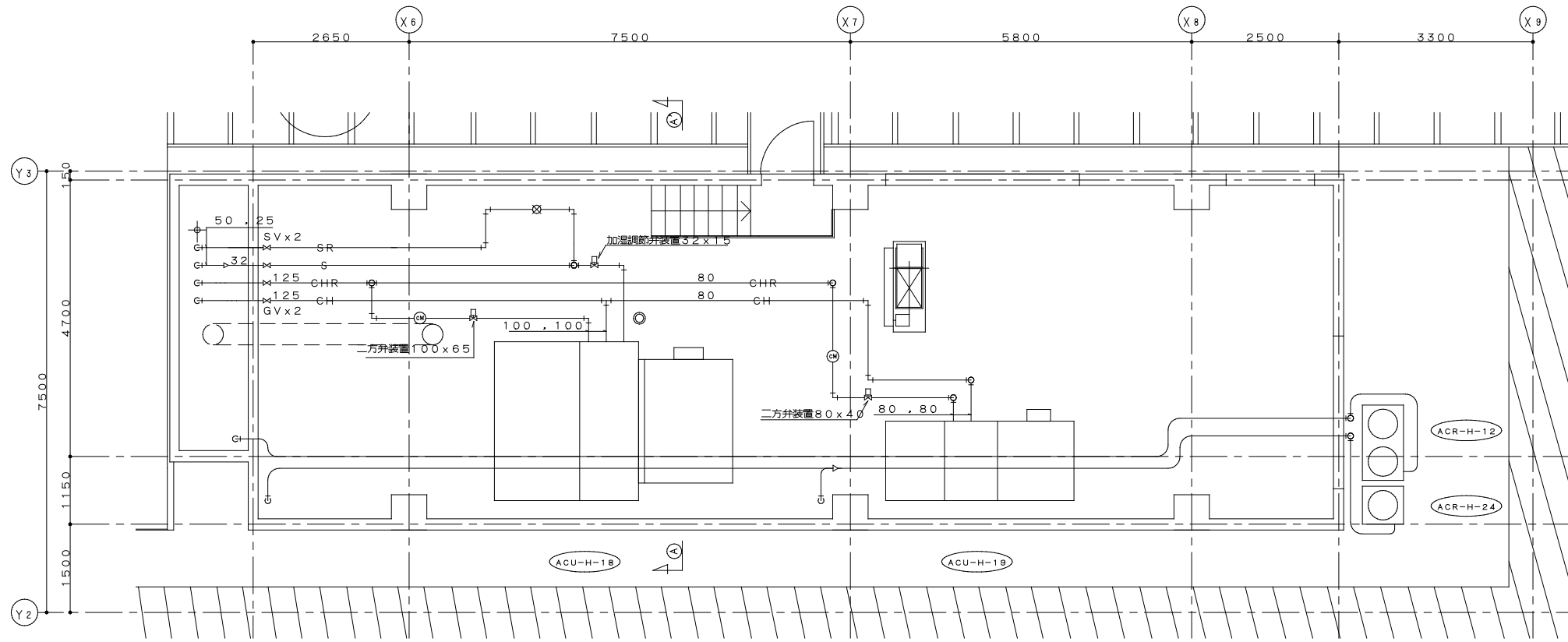


A-A' 部分断面詳細図 S=1:100

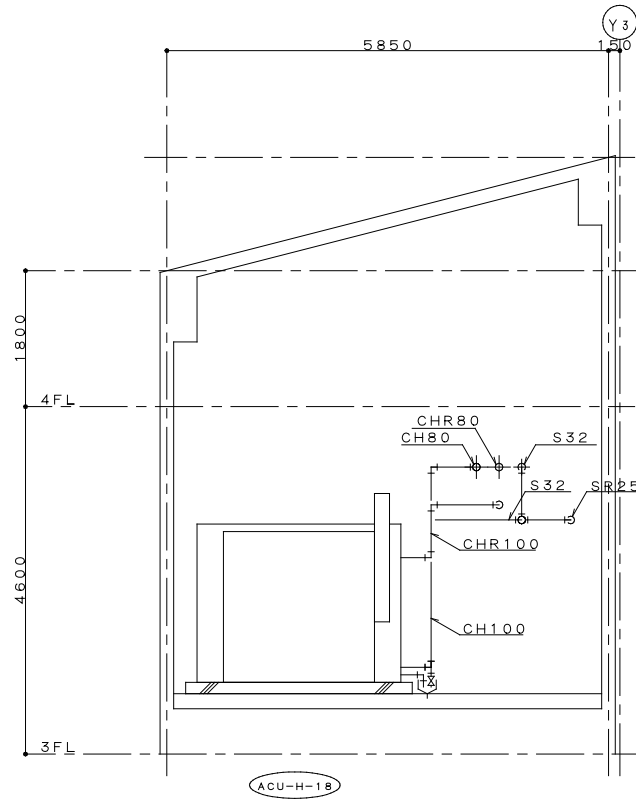
注1) 太線部は撤去を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調和設備 空調機械室2-2配管平面詳細図(改修)
				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-72
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



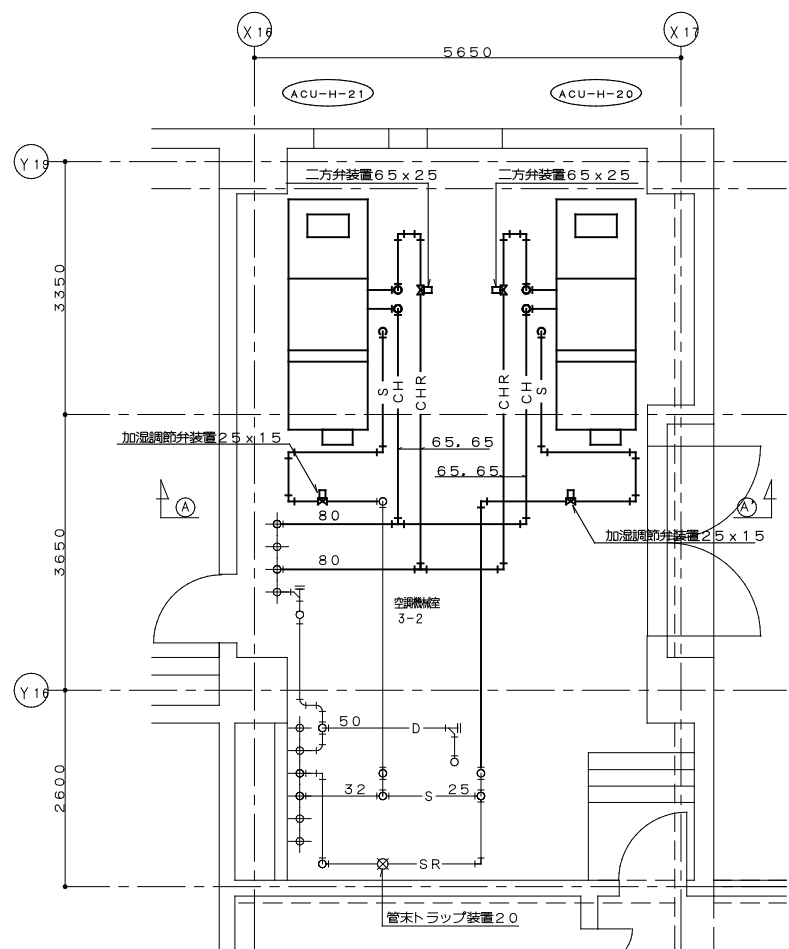
空調機械室 3-1 平面詳細図 S=1:100



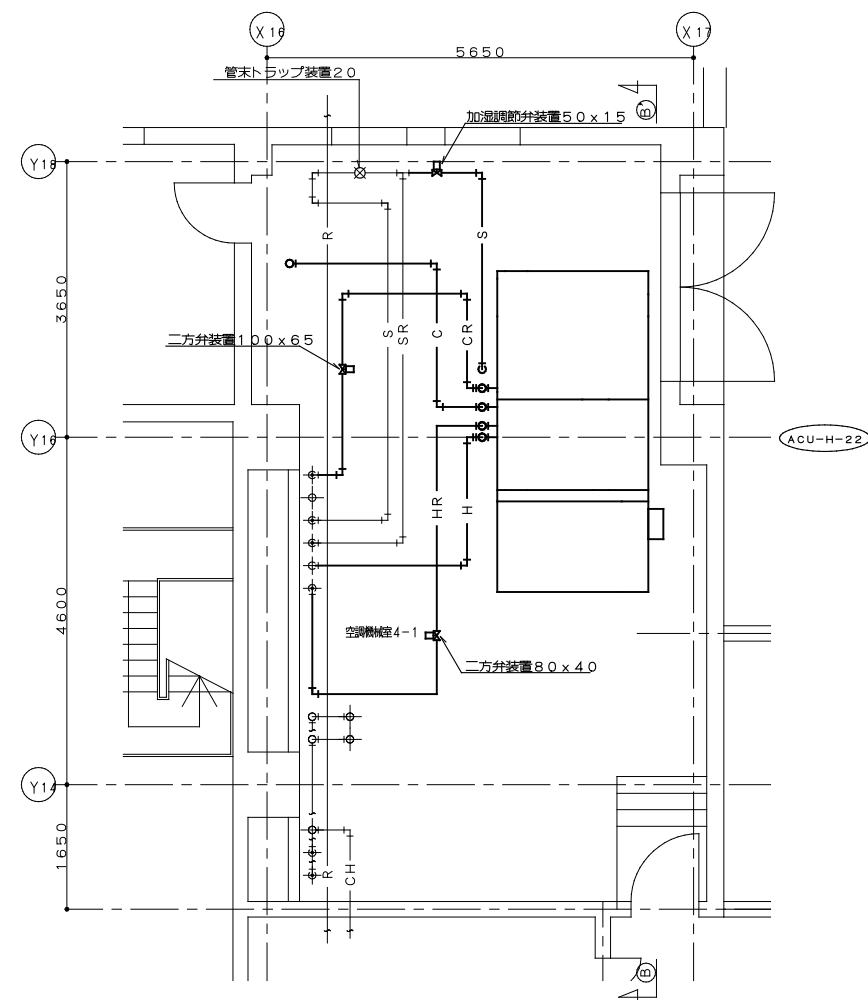
A-A' 部分断面図 S=1:100

特記事項

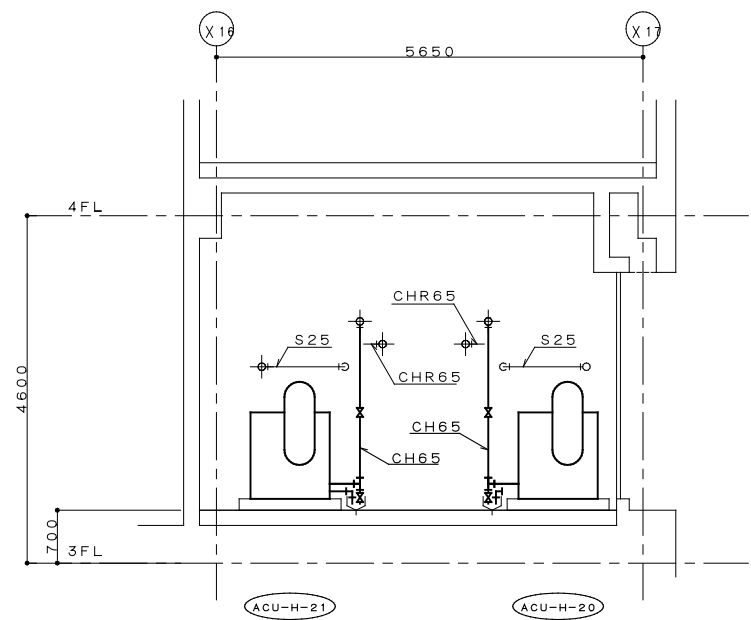
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				空調和設備 空調機械室3-1配管平面詳細図(改修)
				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-73
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



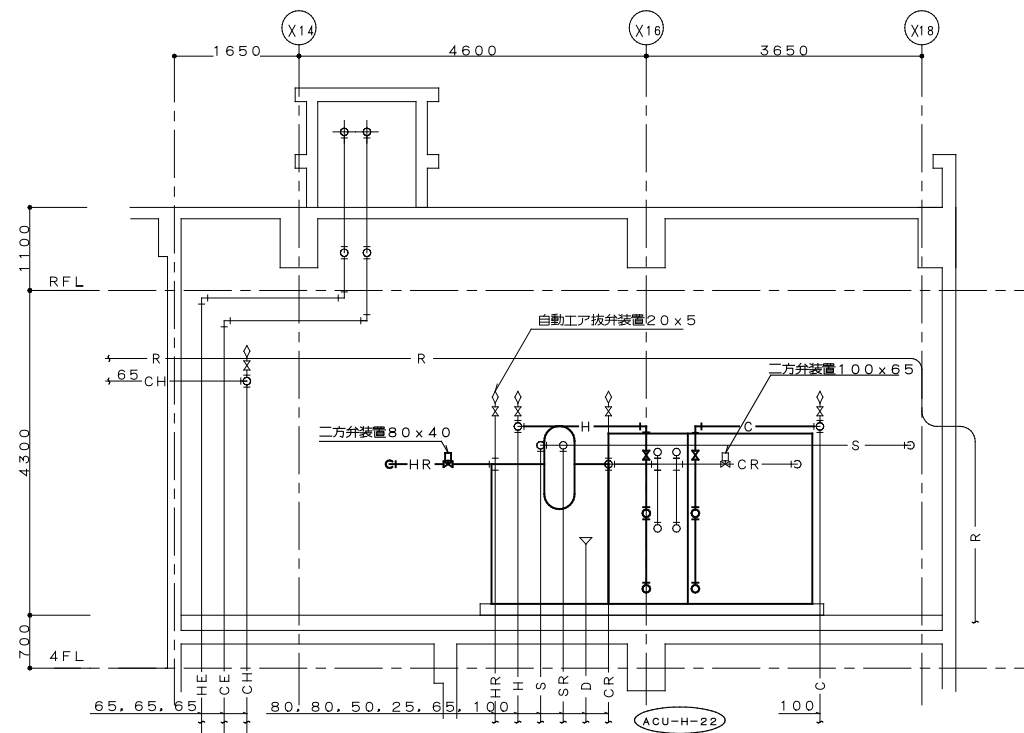
3F 空調機械室 3-2 平面詳細図 = 1 : 100



3F 空調機械室 4-1 平面詳細図 = 1 : 100



A-A' 部分断面図 = 1 : 100

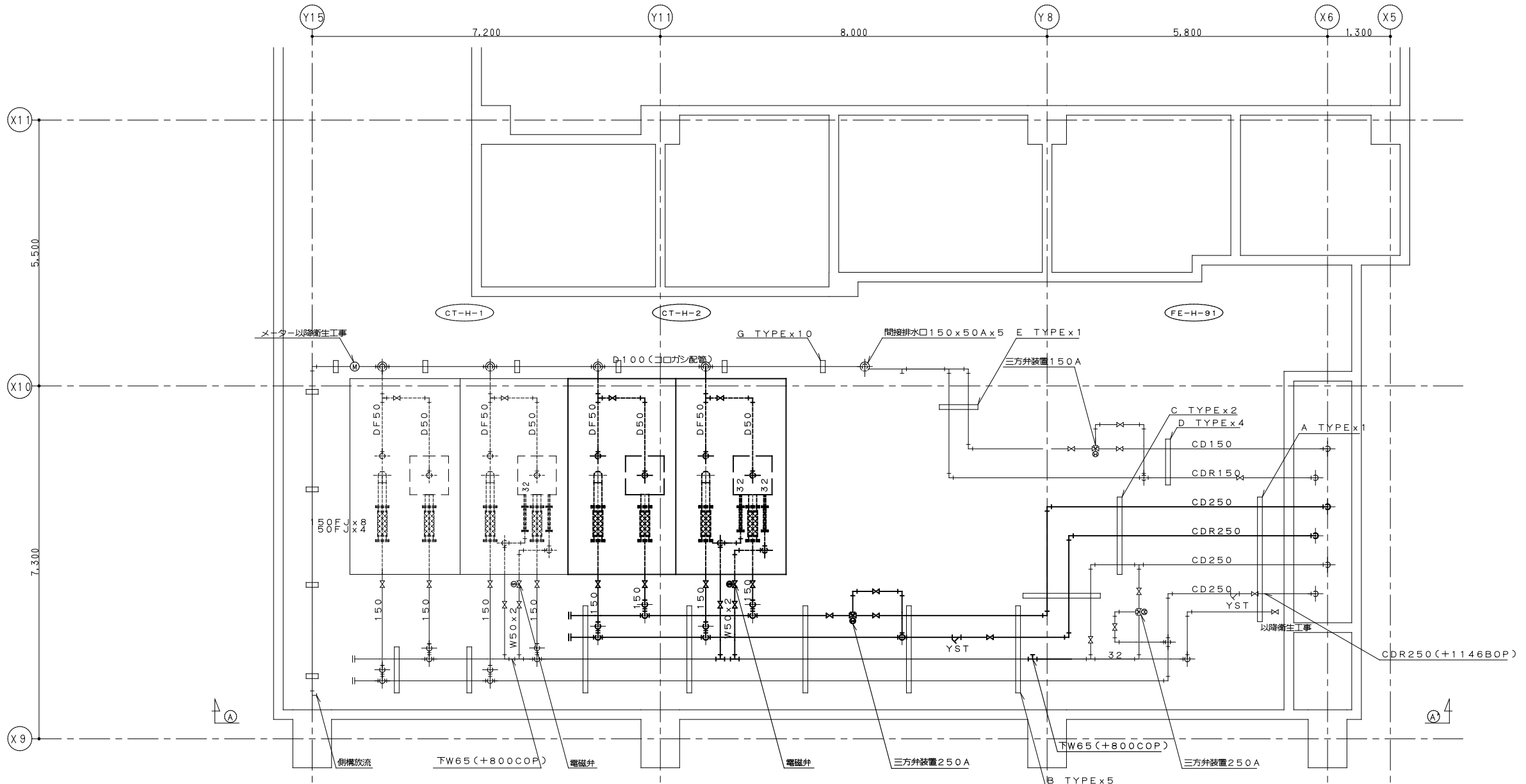


B-B' 部分断面図 = 1 : 100

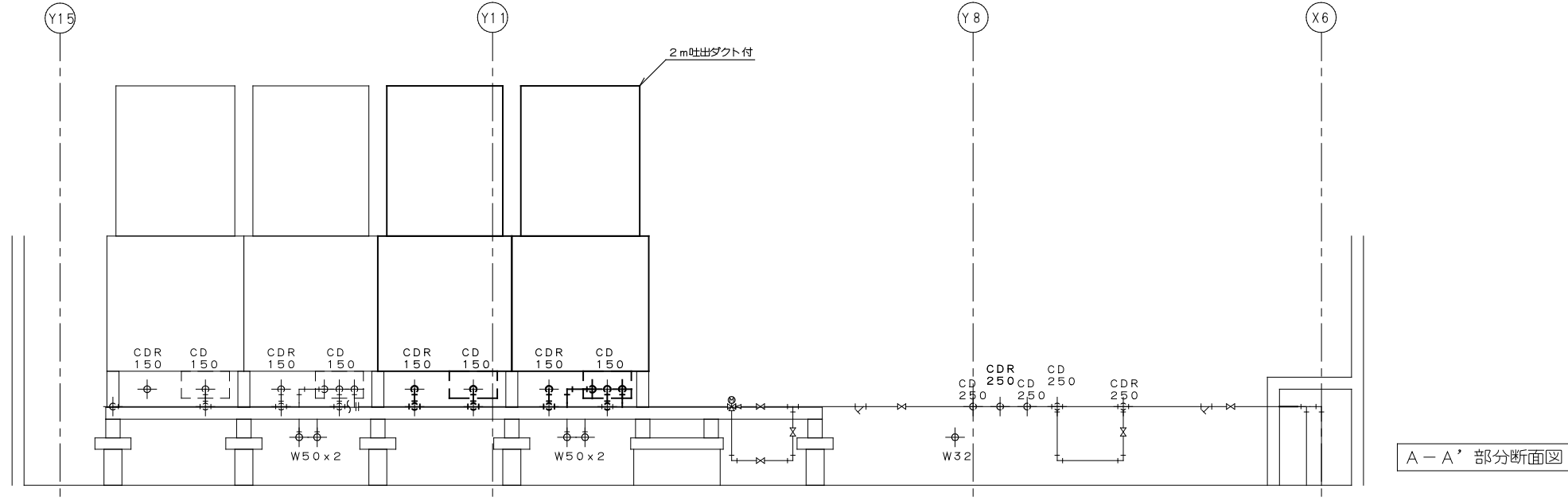
注1) 太線部は撤去を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 空調和設備 空調機械室3-2、4-1配管平面詳細図(改修)
				縮尺 1 : 100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-74
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



冷却塔置場平面図 S=1:100



A-A' 部分断面図 S=1:100

注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当
----	------	----	----

国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事

空気調和設備 冷却塔置場平面・断面詳細図(改修)
縮尺 1:100 (A3)

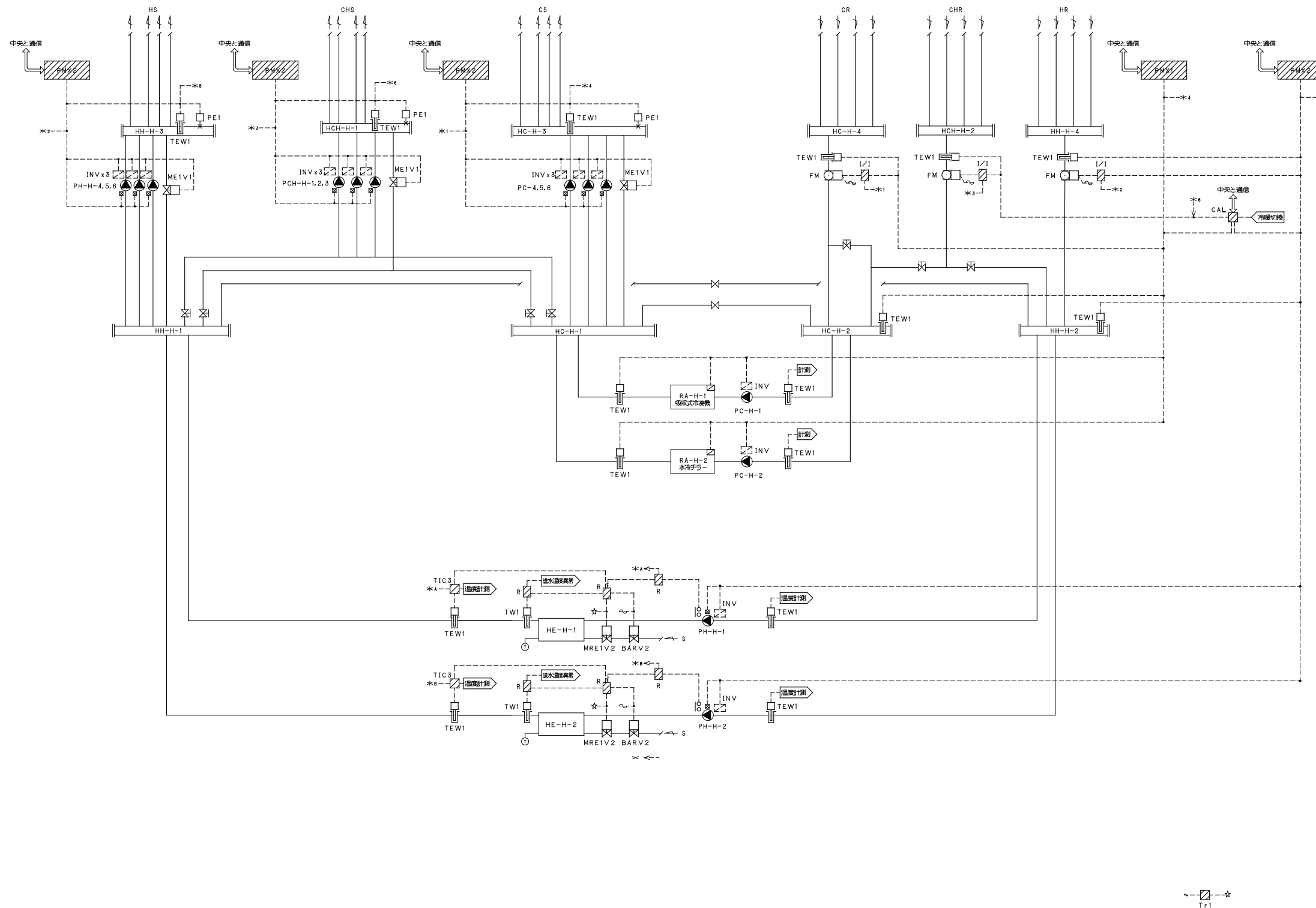
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

M-75

業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター 棟他機能改善整備設計業務(設備)

株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

収納箇
CP-HB-31



制御項目

- 熱源機台数制御
 - 熱量による台数制御

負荷熱量より熱源機の必要台数を演算し、下図のように発停制御を行う。中央監視より

 - 冷凍機優先モード
 - 水冷デラー優先モード
 を選択可能とする。

また、熱源機の自動ローテーションを行う。故障機については台数制御対象から除外するものとする。

尚、熱源機の能力の変動等の補正のため、往温度より増段、還ヘッド内温度より減段の補正を行う。

 - 効果待ち半断

熱源機の起動直後、停止直後は熱源機からの送水温度が安定しないため、熱源機の台数制御を一定時間中止とする。(効果待ち)

但し、熱源機出口温度より効果待ちの終了判断を行う。

- 2次ポンプ台数制御

負荷流量により2次ポンプ必要台数を演算し、下図のように発停制御を行う。また、ベースポンプの自動ローテーションを行う。故障機については台数制御対象から除外するものとする。

- 送水圧力制御

送水圧力により、下図のようにインバータの比例制御及び、ポンプバイパス弁の比例制御を行う。

— インバータ出力(%) - - - バイパス開度(%)

- 1次ポンプインバータ制御

2次側負荷流量と1次側流量が等しくなるように1次ポンプのインバータ制御を行う。
- インバータ制御スピードの制限

インバータ出力の制御スピードを変化率リミット機能で制限する。変化率リミット機能は1次ポンプ定速運転時と熱源機減段から一定時間解除する。
- インバータ強制定速運転

下記条件の場合、インバータ出力を強制的に100%とする

 - 冷凍機残留運転時
 - 熱源立ち上がり時
- 中央監視システムとの通信

(発停・監視・設定・計測)

<熱交換機廻り>

- 2次側出口温度による1次側2方弁制御

2次側出口温度により、下図のように1次側2方弁の比例制御を行う。
- ポンプインターロック制御

ポンプ停止時は2方弁を全閉とする。
- 送水温度異常による2方弁インターロック制御

送水温度が異常温度に達した場合は2方弁、遮断弁を全閉とする。また、停電時においても全閉とする。

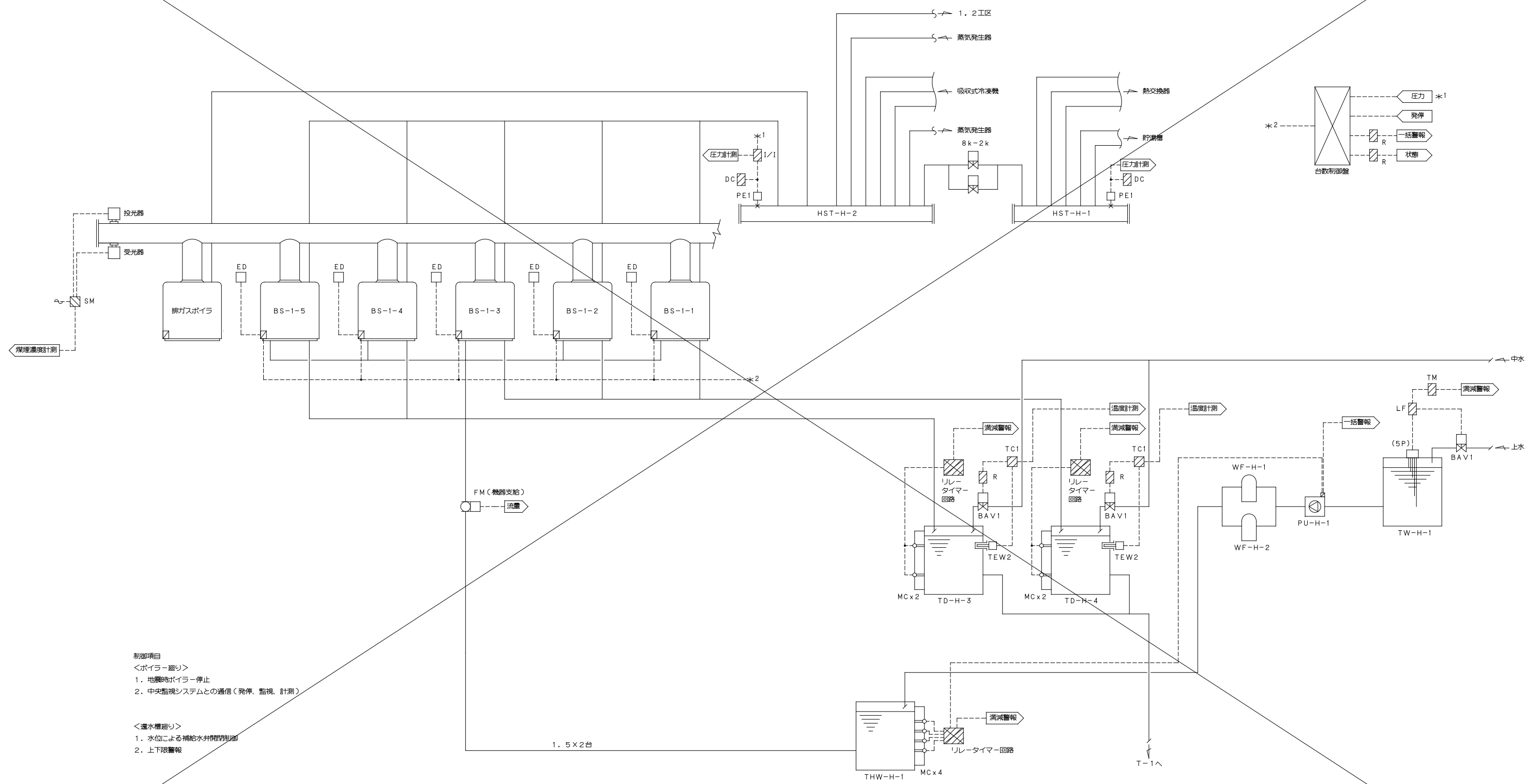
(注記) 1. 熱源機と1次ポンプ、冷却水ポンプ及び、冷却塔ファンの連動配線並びに、インターロック遮断配線は自動制御工事とする。
2. 連動シーケンス回路は熱源機の機内回路及び、動力盤内回路を使用する。
3. インバータ(INV)及びその調整は電気設備工事とする。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 自動制御設備 計装図(1) (改修)
				縮尺 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-76
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

対象外

④ 小型貫流ボイラーの導入



- 制御項目
- <ボイラ廻り>
 1. 地震時ボイラ停止
 2. 中央監視システムとの通信(発停、監視、計測)
 - <遠水槽廻り>
 1. 水位による補給水弁閉鎖制御
 2. 上下限警報

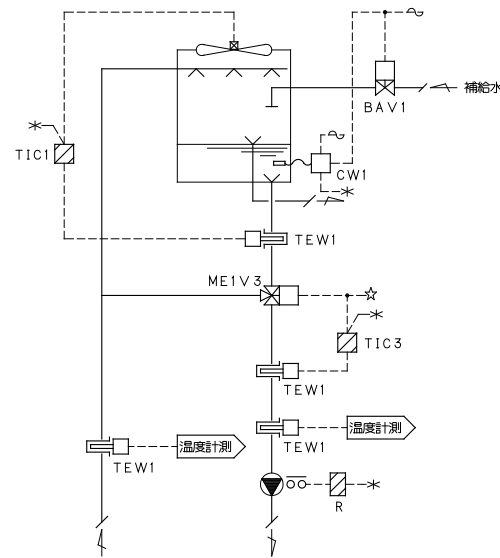
特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 自動制御設備 計装図(2) (改修)
				縮尺 - (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-77
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

3 冷却塔制御 (1) 2 sets

設備記号	系統	セット数	収納盤	備考
CT-H-1.2	冷却塔	2	CP-H3-52	
	合計	2		

自動制御機器および配線配管は更新対象 改修



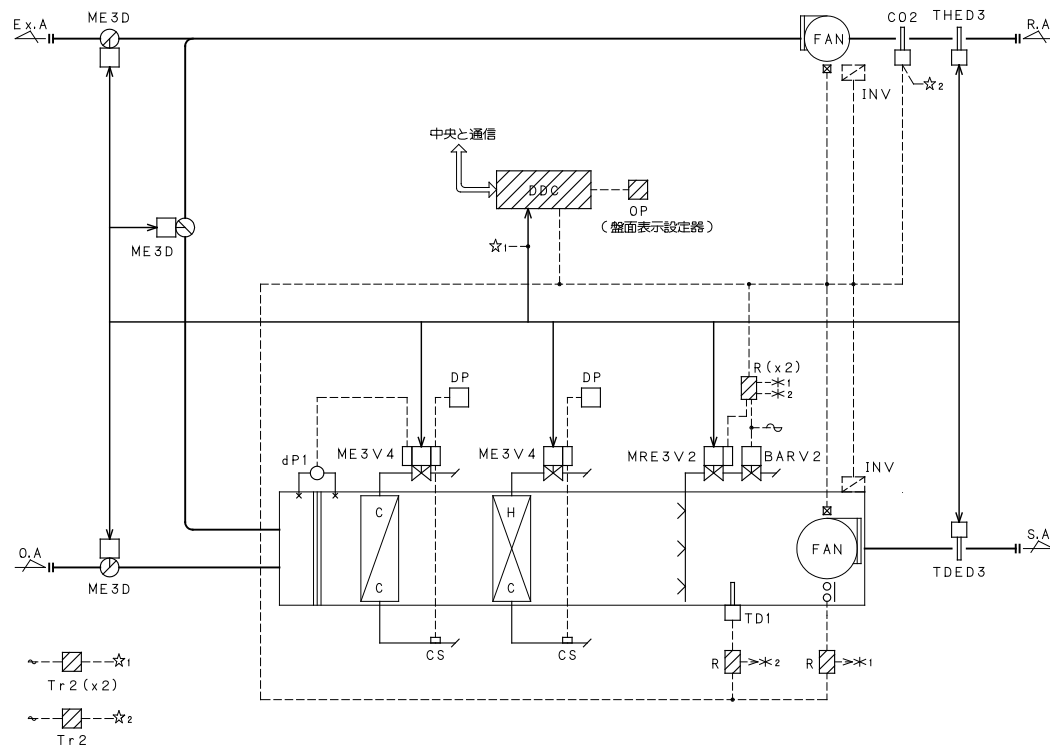
制御項目

1. 冷却塔ファン発停制御
冷却水往温度により、冷却塔ファンのON/OFF制御を行う。(1段)
2. 冷却水3方弁制御
冷却水往温度が設定温度となるよう3方弁の比例制御を行う。
3. 冷却水水质制御
冷却水の強制フローによる水质維持を目的として、冷却水の導電率により、補給水バルブの開閉制御を行う。
4. 冷却水ポンプ停止時のインターロック制御
(対象: 冷却塔ファン/3方弁/補給水バルブ)

5 空調機制御 (1) 1 set

設備記号	系統	セット数	運転ファン	収納盤	備考
ACU-H-1	大練習室・大練習室前ホール	1	FR-H-1	CP-HB-52	
	合計	1			

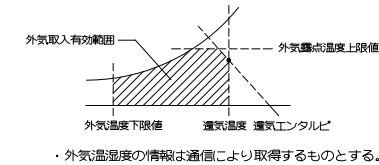
自動制御機器および配線配管は更新対象 改修



制御項目

1. 運転温度制御 (運転温度による給気温度設定自動変更制御)
給気温度により冷水弁、温水弁、外気ダンパの比例制御を行う。
また、運転温度より給気温度設定値の自動変更 (カスケード制御) を行う。
尚、冷水弁、温水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。
2. 比例形自動調整制御
給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を適正な値に設定し、ハンチングの発生を抑える。
ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。
3. 給気露点温度制御 (加湿、除湿)
(加湿) 給気露点温度より加湿弁の比例制御を行う。
(除湿) 給気露点温度より冷水弁の比例制御及び、給気温度による再熱制御を行う。
4. 配管系データ計測
冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水弁、温水弁にて下記データの計測を行う。
尚、本データは本体付属表示器 (空調機側面等設置) における視認も可能とする。
・ 弁前後圧
・ 通過流量
・ コイル還温度
・ コイル往温度
・ 熱量演算 (DDCによる演算)

5. ウォーミングアップ制御
立ち上がり時、外気・排気ダンパを閉、運転ダンパを開とし予冷/予熱を行う。
又、加湿は禁止とする。
6. 空調機停止時のインターロック制御
(対象: ダンパ/2方弁/加湿弁/蒸気遮断弁/運転ファン)
7. 外気冷却制御
・ 外気冷却有効時、給気温度よりダンパの比例制御を行う。
・ 外気冷却有効/無効の判断は、下記条件を満たした時を有効とする。
(1) 外気エンタルピ < 運転エンタルピ
(2) 外気温度下限値 < 外気温度 < 運転温度
(3) 外気露点温度 < 外気露点温度上限値
(4) 外気湿度、運転湿度センサがすべて正常



8. CO2制御
CO2濃度より外気ダンパの比例制御を行う。

9. 変風量制御
運転温度設定によるインバータでの風量制御を行う。

10. 過加湿異常警報
下記の条件時、過加湿異常を検出し、警報発報及び加湿弁、蒸気遮断弁を全閉とする。
・ 空調機停止時: 空調機内湿度にて検出
・ 空調機運転時: 給気露点温度上限にて検出
11. 中央監視システムとの通信
(発停・設定・計測・監視)

(注記) 1. OPはDDCとその下位通信機器の持つ管理点情報 (発停点、警報点、計測点、設定点等) を表示設定できるものとする。
表示文字数
ポイント名称: 半角英数字4文字以内
グループ名称: 半角英数字12文字以内
管理ポイント: 最大99点登録可能
2. 配線表記 (←→) は制御端末用通信配線を表す。
3. 給気ファン運転は電気設備工事とする。

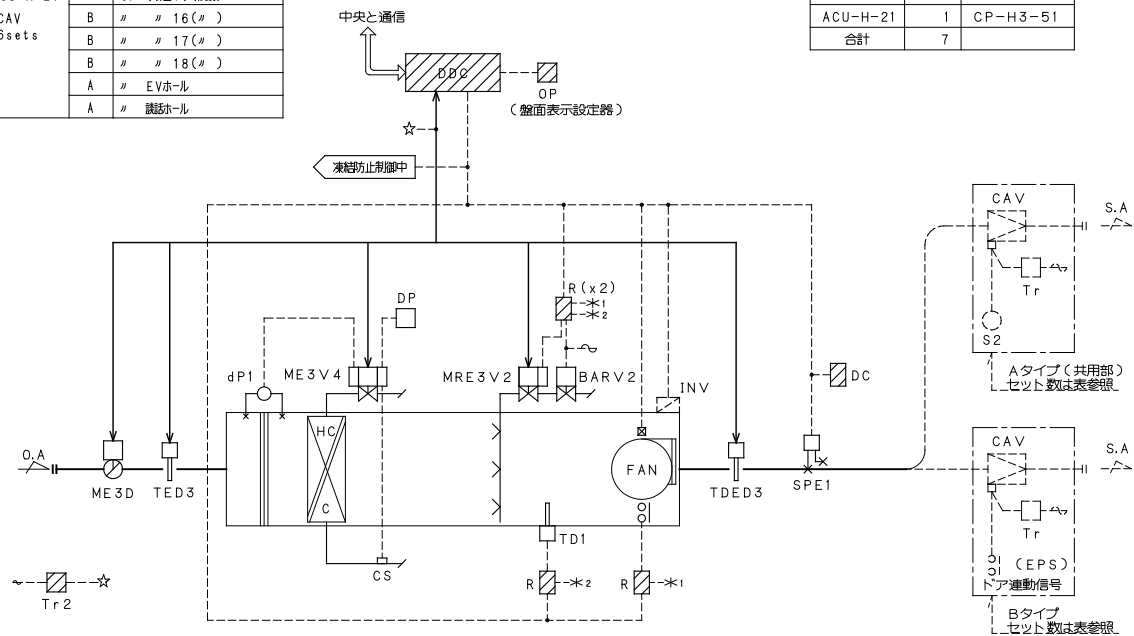
特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 自動制御設備 計装図 (3) (改修)
				縮尺 - (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-78
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター 棟他機能改善整備設計業務 (設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

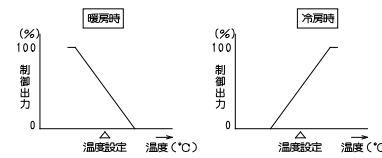
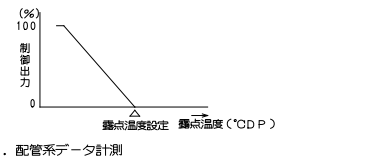
系統・セット数	タイプ
ACU-H-2	B 1F 中ホール兼事務室
CAV 7sets	A # アーティストラウンジ
	B # 楽器B1-1
	B # B1-2
	B # B1-3
	B # B1-4
B # B1-5	
ACU-H-3	B 1F 工芸室(木工)
CAV 6sets	B # 2(金工)
	A # 講義ホール
	B # 小ホール(軽音楽・演劇)
B # 2()	
B # 3()	
ACU-H-4	B 1F 楽器1-1
CAV 6sets	B # 1-2
	B # 1-3
	A # サービスステーション
B # 小ホール兼事務室	
A # 入口	
ACU-H-5	B 2F 小練習4(演劇)
CAV 7sets	B # 5()
	B # 6()
	B # 7()
	B # 8()
	B # 9()
A # 講義ホール	
ACU-H-6	B 2F 楽器室1(水琴・書道)
CAV 5sets	B # 2(給湯)
	B # 楽器1
	A # EVホール

系統・セット数	タイプ
ACU-H-20	B 3F 小練習11(音楽)
CAV 5sets	B # 12()
	B # 13()
	B # 14()
	B # 15()
ACU-H-21	B 3F 小練習10(演劇)
CAV 6sets	B # 16()
	B # 17()
	A # EVホール
A # 講義ホール	

設備記号	セット数	収納盤
ACU-H-2	1	CP-HB-52
ACU-H-3	1	CP-HB-52
ACU-H-4	1	CP-HB-52
ACU-H-5	1	CP-H2-51
ACU-H-6	1	CP-H2-51
ACU-H-20	1	CP-H3-51
ACU-H-21	1	CP-H3-51
合計	7	



制御項目

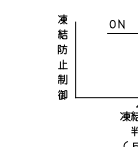
- 給気温度制御**
給気温度より冷水弁の比例制御を行う。
尚、冷水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。

- 比例帯自動調整制御**
給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を適正な値に広げ、ハンチングの発生を抑える。
ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。
- 給気露点温度制御**
給気露点温度より加湿弁の比例制御を行う。

- 配管系データ計測**
冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水弁・温水弁にて下記データの計測を行う。
尚、本データは本体付属表示器(空調機側面等設置)における視認も可能とする。
・ 弁前後圧
・ 通過流量
・ コイル還温度
・ コイル往温度
・ Bタイプ
・ 熱量演算(DDCによる演算)
- 空調機停止時のインターロック制御**
(対象:ダンパ/2方弁/蒸気遮断弁/加湿弁)

6. 過加湿異常警報

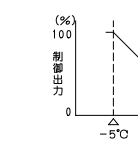
下記の条件時、過加湿異常を検出し、警報発報及び加湿弁、蒸気遮断弁を全閉とする。
・ 空調機停止時:空調機内温度にて検出
・ 空調機運転時:給気露点温度上限にて検出

7. 凍結防止制御

外気取入ダクト内温度が凍結防止判断以下になった時、「凍結防止制御中」を中央監視へ出力し、下記の様に凍結防止制御を行う。
また、冷水ポンプ停止時は「凍結防止制御中」の信号により、冷水ポンプを強制起動する。

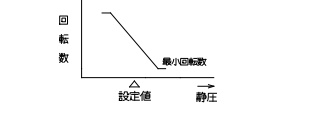


- ・ 空調機停止時:冷水弁を最大流量(100%制御出力)とする。
- ・ 空調機運転時:外気取入ダクト内温度より、冷水弁の比例制御(フィードフォワード制御)を行う。
(給気温度制御信号との要求が大きい値を選択)
この時、空調機メーカー推奨の下限流量を確保するために冷水弁最小流量を設けることとする。



自動制御機器および配線配管は更新対象 [改修]

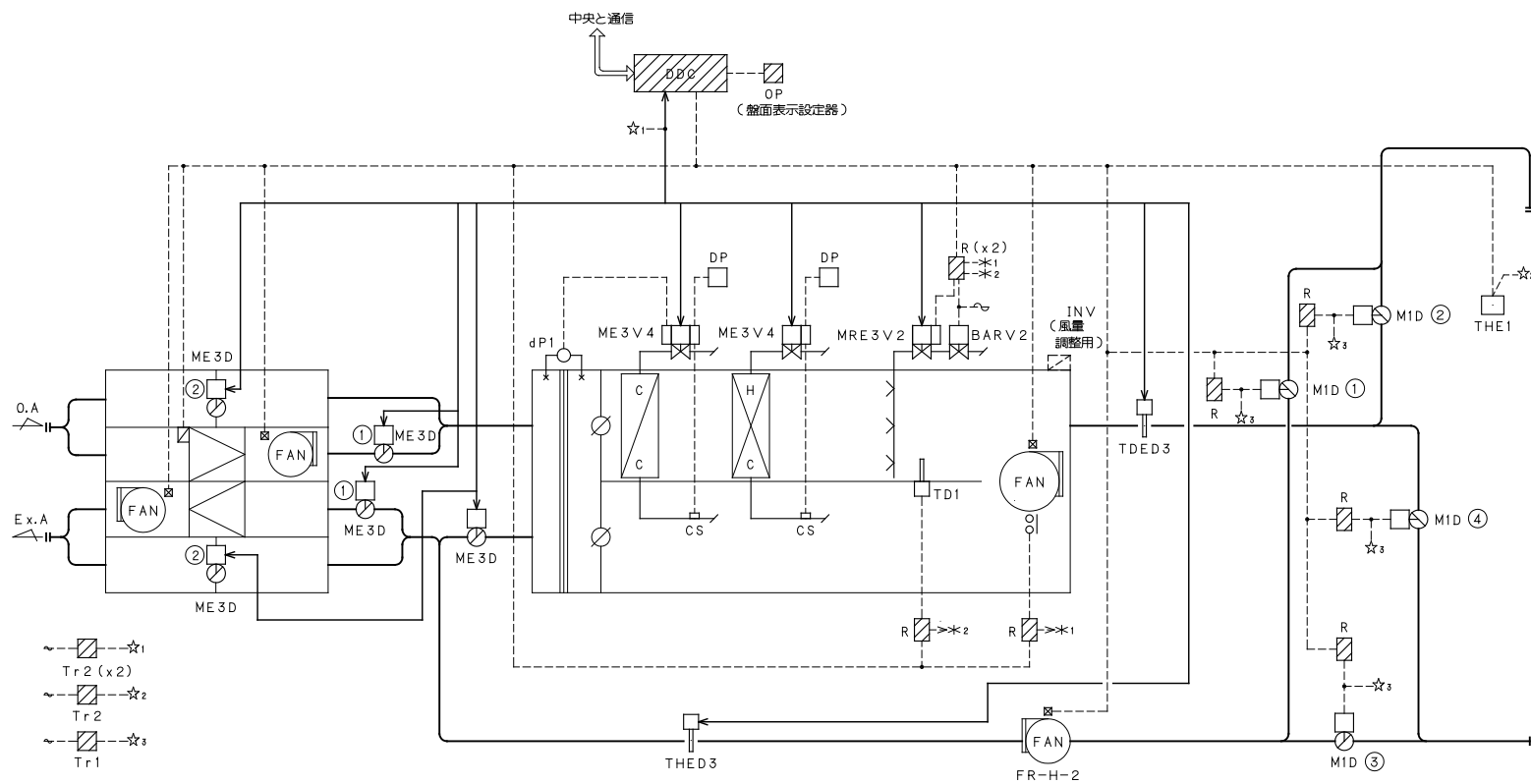
8. 給気静圧制御

給気静圧より給気ファン回転数の比例制御を行う。


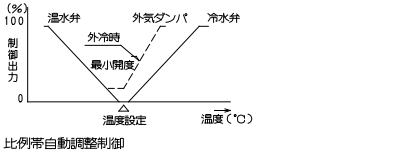
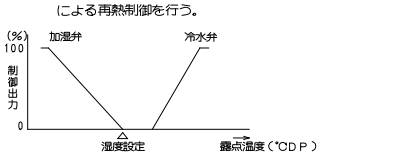
9. 中央監視システムとの通信 (発停・設定・計測・監視)

- (注記) 1. OPIはDDCとその下位通信機器の持つ管理点情報(発停点、警報点、計測点、設定点)を表示設定できるものとする。
2. 配線表記(←→)は制御端末用通信配線を表す。
3. INV及び、その調整は空調設備工事とする。

設備記号	系統	セット数	全熱交換器	運気ファン	収納盤	備考
ACU-H-7	1F 小ホール客席	1	HER-H-1	FR-H-2	CP-H2-51	
合計		1				



制御項目

- 室内温度制御(室内温度による給気温度設定自動変更制御)**
給気温度より冷水弁、温水弁、外気ダンパの比例制御を行う。
また、室内温度より給気温度設定値の自動変更(カスケード制御)を行う。
尚、冷水弁、温水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。

- 比例帯自動調整制御**
給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を適正な値に広げ、ハンチングの発生を抑える。
ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。
- 給気露点温度制御(加湿, 除湿)**
(加湿) 給気露点温度より加湿弁の比例制御を行う。
(除湿) 給気露点温度より冷水弁の比例制御及び、給気温度による再熱制御を行う。

- 配管系データ計測**
冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水弁、温水弁にて下記データの計測を行う。
尚、本データは本体付属表示器(空調機側面等設置)における視認も可能とする。
・ 弁前後圧
・ 通過流量
・ コイル還温度
・ コイル往温度
・ 熱量演算(DDCによる演算)

5. ウォーミングアップ制御

立ち上がり時、外気・排気ダンパを開、還気ダンパを開し予冷/予熱を行う。(加湿は禁止とする)
また、M1D①~④は以下の表の通り開閉を行い、通常時は上部吹き出し、下部吸い込み、ウォーミングアップ時は下部吹き出し、上部吸い込みとする。
尚、下部吹き出し(暖房)時はS、A風量を小さくさせる為、M1D⑤を開としてバイパスさせる。

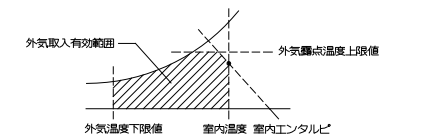
M1D	モード	通常時	下部吹き出し時
①		閉	開
②		開	閉
③		開	閉
④		開	開
⑤		閉	開

6. 空調機停止時のインターロック制御

(対象:ダンパ/2方弁/加湿弁/蒸気遮断弁/運気ファン)

7. 外気冷房制御

- ・ 外気冷房有効時、給気温度よりダンパの比例制御を行う。
- ・ 外気冷房有効/無効の判断は、下記条件を満たした時を有効とする。
(1) 外気エンタルピー < 室内エンタルピー
(2) 外気温度下限値 < 外気温度 < 室内温度
(3) 外気露点温度 < 外気露点温度上限値
(4) 外気湿度、室内湿度センサがすべて正常



8. 過加湿異常警報

下記の条件時、過加湿異常を検出し、警報発報及び加湿弁、蒸気遮断弁を全閉とする。
・ 空調機停止時:空調機内温度にて検出
・ 空調機運転時:給気露点温度上限にて検出

9. 中央監視システムとの通信 (発停・設定・計測・監視)

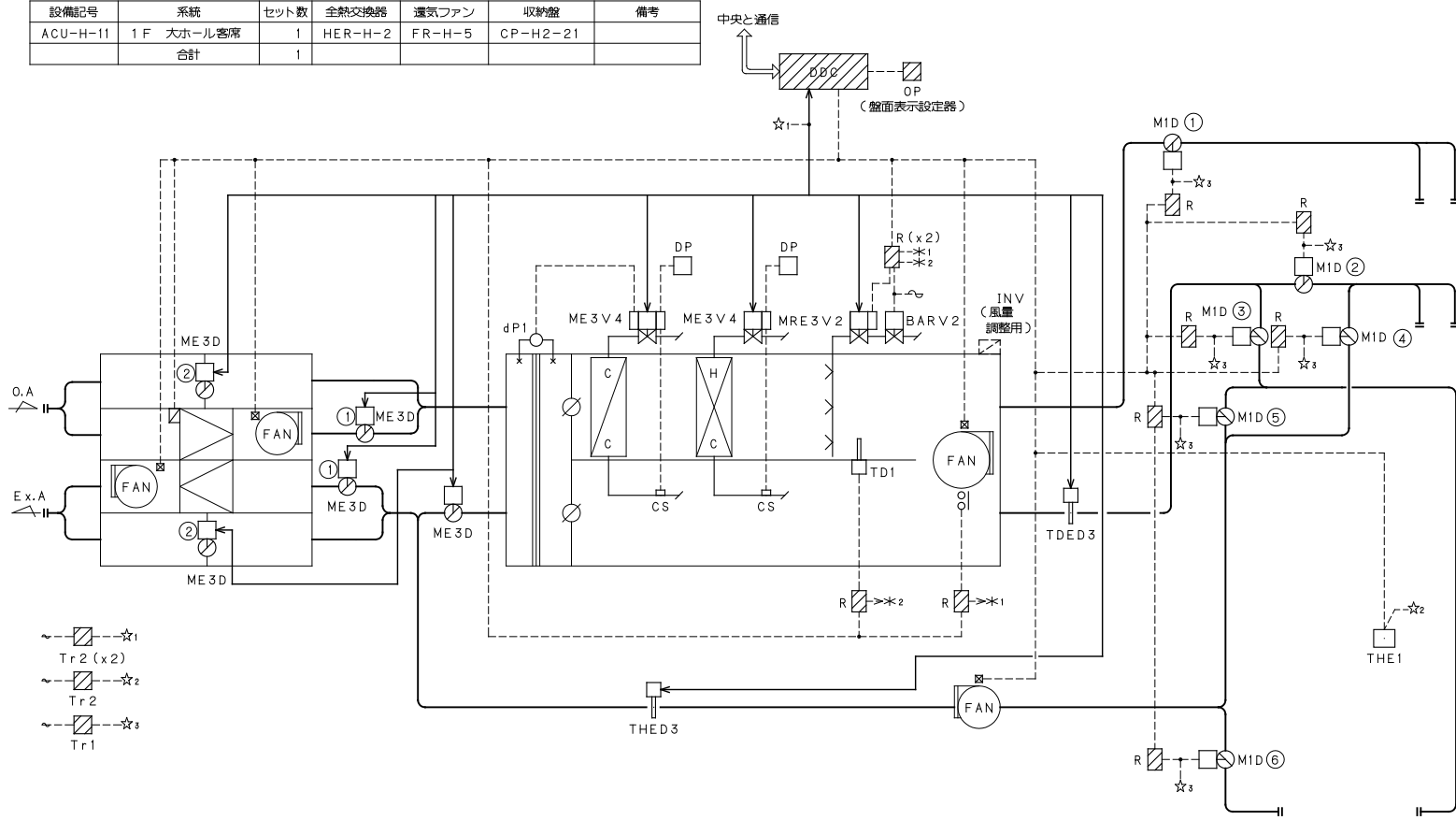
- (注記) 1. OPIはDDCとその下位通信機器の持つ管理点情報(発停点、警報点、計測点、設定点)を表示設定できるものとする。
2. 配線表記(←→)は制御端末用通信配線を表す。
3. 給気ファン連動は電気設備工事とする。

特記事項

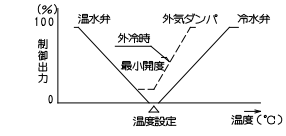
課長	課長補佐	係長	担当
			国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 自動制御設備 計装図(4)(改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬			

設備記号	系統	セット数	全熱交換器	送気ファン	収納盤	備考
ACU-H-11	1F 大ホール客席	1	HER-H-2	FR-H-5	CP-H2-21	
合計		1				

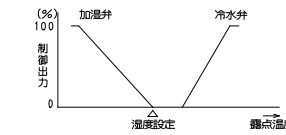
自動制御機器および配線配管は更新対象 改修



制御項目
 1. 室内温度制御(室内温度による給気温度設定自動変更制御)
 給気温度より冷水弁、温水弁、外気ダンパの比例制御を行う。
 また、室内温度より給気温度設定値の自動変更(カスケード制御)を行う。
 尚、冷水弁、温水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。



2. 比例帯自動調整制御
 給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を適正な値に調整し、ハンチングの発生を抑える。
 ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。
 3. 給気露点温度制御(加湿、除湿)
 (加湿) 給気露点温度より加湿弁の比例制御を行う。
 (除湿) 給気露点温度より冷水弁の比例制御及び、給気温度による再熱制御を行う。

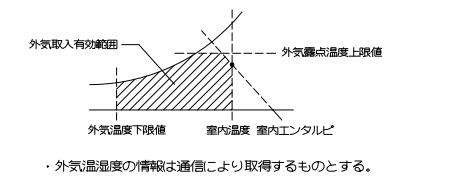


4. 配管系データ計測
 冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水弁、温水弁にて下記データの計測を行う。
 尚、本データは本体付属表示器(空調機側等設置)における視認も可能とする。
 ・ 弁前後圧
 ・ 通過流量
 ・ コイル還温度
 ・ コイル往温度
 ・ 熱量演算(DDCによる演算)

5. ウォーミングアップ制御
 立ち上がり時、外気・排気ダンパを閉、送気ダンパを開とし予冷/予熱を行う。(加湿は禁止とする)
 また、M1D①~⑥は以下の表の通り開閉を行い、通常時は上部吹き出し、下部吸い込み、ウォーミングアップ時は、下部吹き出し、上部吸い込みとする。
 尚、下部吹き出し(暖房)時はS、A風量を少なくさせる為M1D⑦を開としてバイパスさせる。

M1D	モード	通常時	下部吹き出し時
①		開	閉
②		開	閉
③		閉	開
④		閉	開
⑤		閉	開
⑥		閉	開
⑦		閉	開

6. 空調機停止時のインターロック制御
 (対象:ダンパ/2方弁/加湿弁/蒸気遮断弁/送気ファン)
 7. 外気冷房制御
 ・ 外気冷房有効時、給気温度よりダンパの比例制御を行う。
 ・ 外気冷房有効/無効の判断は、下記条件を満たした時を有効とする。
 (1) 外気エンタルピー < 室内エンタルピー
 (2) 外気温度下限値 < 外気温度 < 室内温度
 (3) 外気露点温度 < 外気露点温度上限値
 (4) 外気湿度、室内湿度センサがすべて正常

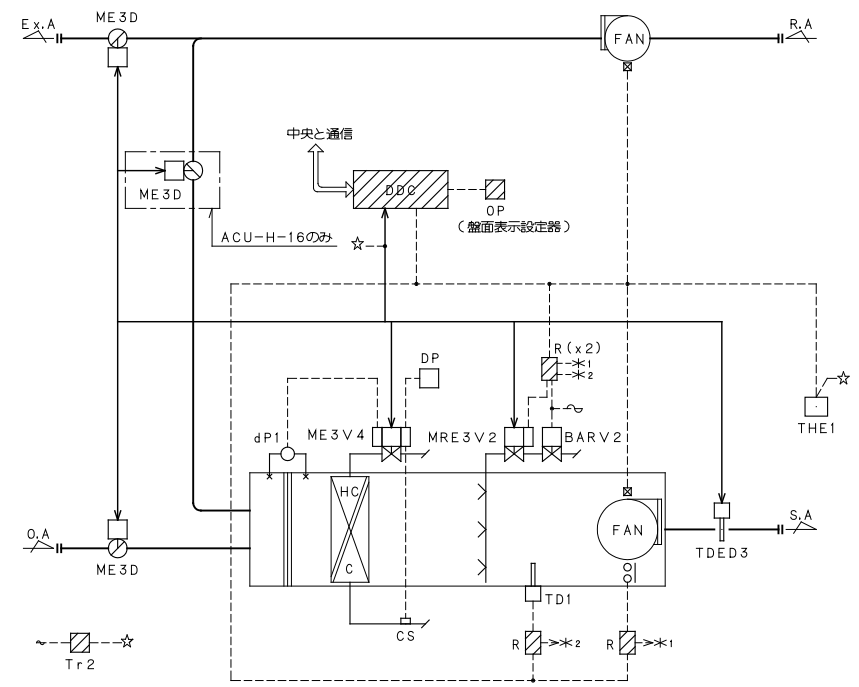


8. 過加湿異常警報
 下記の条件時、過加湿異常を検出し、警報発報及び加湿弁、蒸気遮断弁を全閉とする。
 ・ 空調機停止時: 空調機内湿度にて検出
 ・ 空調機運転時: 給気露点温度上限にて検出
 9. 中央監視システムとの通信
 (発停・設定・計測・監視)

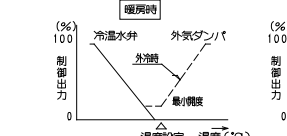
(注記) 1. OPIはDDCとその下位通信機器の持つ管理点情報(発停点、警報点、計測点、設定点等)を表示設定できるものとする。
 2. 配線表記(←→)は制御端末用通信配線を表す。
 3. 給送気ファン連動は電気設備工事とする。

設備記号	系統	セット数	送気ファン	収納盤	備考
ACU-H-10	1F 小ホールホワイエ	1	FR-H-4	CP-H2-51	
ACU-H-16	1F エントランス	1	FR-H-7	CP-HB-32	
合計		2			

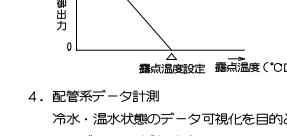
自動制御機器および配線配管は更新対象 改修



制御項目
 1. 室内温度制御(室内温度による給気温度設定自動変更制御)
 給気温度より冷水弁、温水弁、外気ダンパの比例制御を行う。
 また、室内温度より給気温度設定値の自動変更(カスケード制御)を行う。
 尚、冷水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。

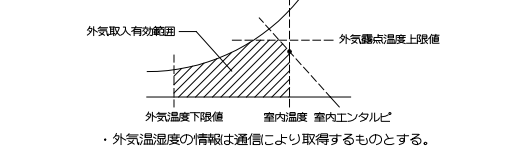


2. 比例帯自動調整制御
 給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を適正な値に調整し、ハンチングの発生を抑える。
 ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。
 3. 給気露点温度制御
 給気露点温度より加湿弁の比例制御を行う。



4. 配管系データ計測
 冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水弁にて下記データの計測を行う。
 尚、本データは本体付属表示器(空調機側等設置)における視認も可能とする。
 ・ 弁前後圧
 ・ 通過流量
 ・ コイル還温度
 ・ コイル往温度
 ・ 熱量演算(DDCによる演算)

5. 外気冷房制御
 ・ 外気冷房有効時、給気温度よりダンパの比例制御を行う。
 ・ 外気冷房有効/無効の判断は、下記条件を満たした時を有効とする。
 (1) 外気エンタルピー < 室内エンタルピー
 (2) 外気温度下限値 < 外気温度 < 室内温度
 (3) 外気露点温度 < 外気露点温度上限値
 (4) 外気湿度、室内湿度センサがすべて正常



6. ウォーミングアップ制御
 立ち上がり時、外気・排気ダンパを閉、送気ダンパを開とし予冷/予熱を行う。又、加湿は禁止とする。
 7. 過加湿異常警報
 下記の条件時、過加湿異常を検出し、警報発報及び加湿弁、蒸気遮断弁を全閉とする。
 ・ 空調機停止時: 空調機内湿度にて検出
 ・ 空調機運転時: 給気露点温度上限にて検出
 8. 空調機停止時のインターロック制御
 (対象:ダンパ/2方弁/加湿弁/送気ファン)
 9. 中央監視システムとの通信
 (発停、監視、設定、計測)

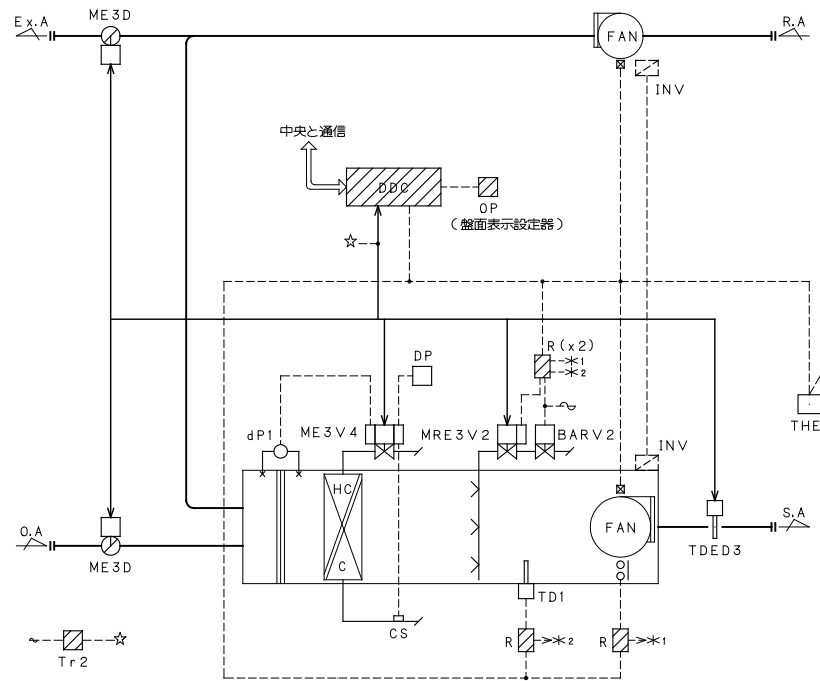
(注記) 1. OPIはDDCとその下位通信機器の持つ管理点情報(発停点、警報点、計測点、設定点等)を表示設定できるものとする。
 2. 配線表記(←→)は制御端末用通信配線を表す。
 3. 給送気ファン連動は電気設備工事とする。

特記事項

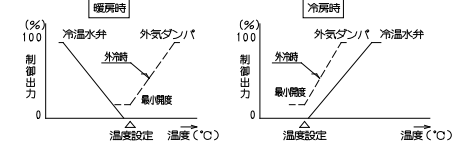
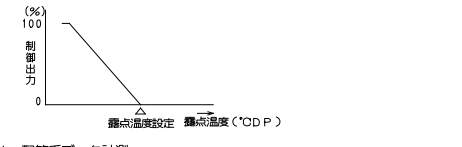
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
----	------	----	----	---

自動制御設備 計装図(5) (改修)				
縮尺 - (A3)				
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-80

設備記号	系統	セット数	運気ファン	取納盤	備考
ACU-H-18	2F レストラン	1	FR-H-8	CP-H3-31	
	合計	1			

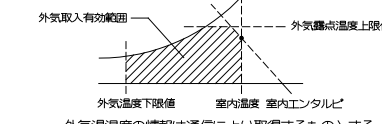


制御項目

- 室内温度制御** (室内温度による給気温度設定自動変更制御)
給気温度より冷水水弁、外気ダンパの比例制御を行う。
また、室内温度より給気温度設定値の自動変更(カスケード制御)を行う。
尚、冷水水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。

- 比例帯自動調整制御**
給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を適正な値にのみ、ハンチングの発生を抑える。
ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。
- 給気露点温度制御**
給気露点温度より加湿弁の比例制御を行う。

- 配管系データ計測**
冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水水弁にて下記データの計測を行う。
尚、本データは本体付属表示器(空調機側面等設置)における視認も可能とする。
・ 弁前後圧
・ 通過流量
・ コイル還温度
・ コイル往温度
・ 熱量演算(DDCによる演算)

5. 外気冷房制御

- ・ 外気冷房有効時、給気温度よりダンパの比例制御を行う。
- ・ 外気冷房有効/無効の判断は、下記条件を満たした時を有効とする。
(1) 外気エンタルピ < 室内エンタルピ
(2) 外気温度下限値 < 外気温度 < 室内温度
(3) 外気露点温度 < 外気露点温度上限値
(4) 外気湿度、室内湿度センサがすべて正常

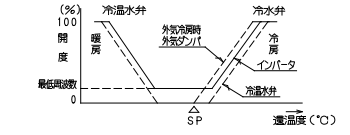


6. ウォーミングアップ制御

- 立ち上がり時、外気・排気ダンパを閉、運気ダンパを開とし予冷/予熱を行う。又、加湿は禁止とする。

7. 変風量制御

- 運気温度設定によるインバータでの風量制御を行う。



変風量化に伴い、湿度制御は給気露点制御とする。

8. 過加湿異常警報

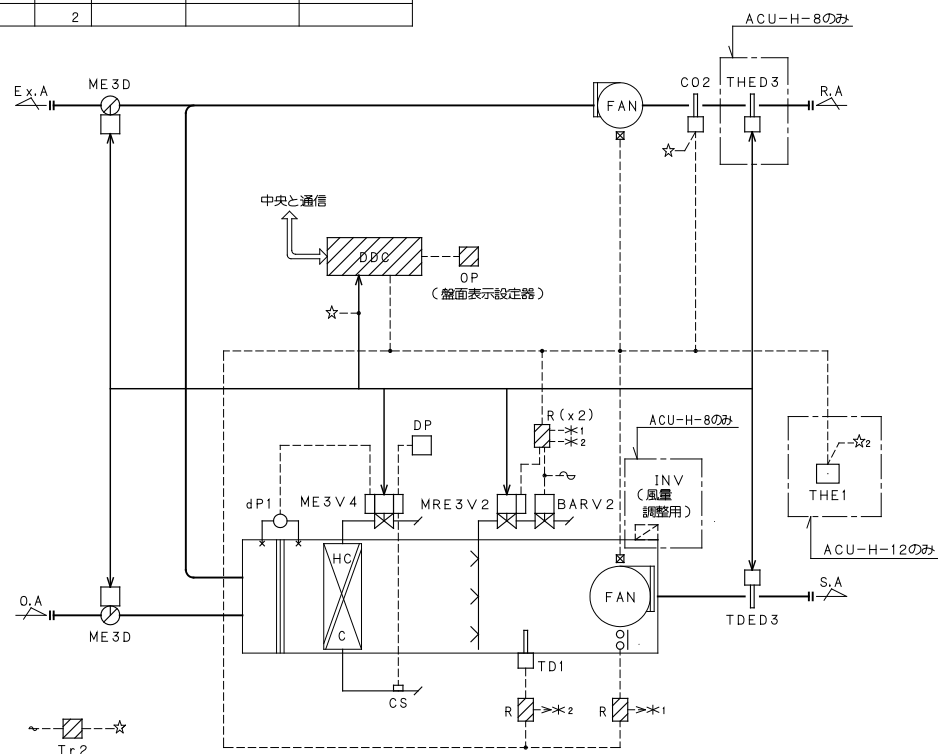
- 下記の条件時、過加湿異常を検出し、警報発報及び加湿器、蒸気遮断弁を全閉とする。
・ 空調機停止時：空調機内湿度にて検出
・ 空調機運転時：給気露点温度上限にて検出

自動制御機器および配線配管は更新対象 改修

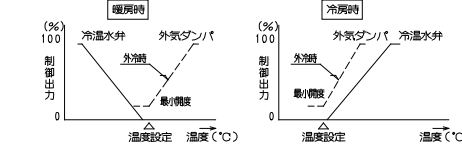
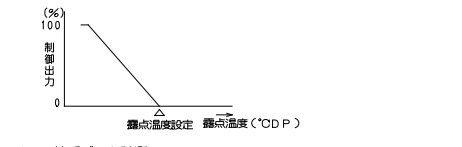
- 空調機停止時のインターロック制御
(対象：ダンパ/2方弁/加湿弁/運気ファン)
- 中央監視システムとの通信
(発停、監視、設定、計測)

- (注記) 1. OPIはDDCとその下位通信機器の持つ管理点情報(発停点、警報点、計測点、設定点含)を表示設定できるものとする。
2. 配線表記(←→)は制御端末用通信配線を表す。
3. 給運気ファン連動は電気設備工事とする。

設備記号	系統	セット数	運気ファン	取納盤	備考
ACU-H-8	1F 小ホール舞台	1	FR-H-3	CP-H2-51	
ACU-H-12	B1F大ホール舞台	1	FR-H-6	CP-H2-21	
	合計	2			

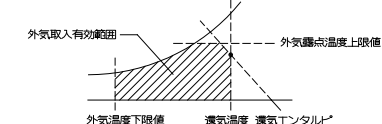


制御項目

- 運気温度制御** (運気温度による給気温度設定自動変更制御)
給気温度より冷水水弁、外気ダンパの比例制御を行う。
また、運気温度より給気温度設定値の自動変更(カスケード制御)を行う。
尚、冷水水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。

- 比例帯自動調整制御**
給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を適正な値にのみ、ハンチングの発生を抑える。
ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。
- 給気露点温度制御**
給気露点温度より加湿弁の比例制御を行う。

- 配管系データ計測**
冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水水弁にて下記データの計測を行う。
尚、本データは本体付属表示器(空調機側面等設置)における視認も可能とする。
・ 弁前後圧
・ 通過流量
・ コイル還温度
・ コイル往温度
・ 熱量演算(DDCによる演算)

5. 外気冷房制御

- ・ 外気冷房有効時、給気温度よりダンパの比例制御を行う。
- ・ 外気冷房有効/無効の判断は、下記条件を満たした時を有効とする。
(1) 外気エンタルピ < 運気エンタルピ
(2) 外気温度下限値 < 外気温度 < 運気温度
(3) 外気露点温度 < 外気露点温度上限値
(4) 外気湿度、運気湿度センサがすべて正常



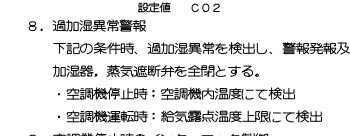
- ・ 外気湿度の情報は通信により取得するものとする。

6. ウォーミングアップ制御

- 立ち上がり時、外気・排気ダンパを閉、運気ダンパを開とし予冷/予熱を行う。又、加湿は禁止とする。

7. CO2制御

- CO2濃度より外気ダンパの比例制御を行う。



8. 過加湿異常警報

- 下記の条件時、過加湿異常を検出し、警報発報及び加湿器、蒸気遮断弁を全閉とする。
・ 空調機停止時：空調機内湿度にて検出
・ 空調機運転時：給気露点温度上限にて検出

- (注記) 1. OPIはDDCとその下位通信機器の持つ管理点情報(発停点、警報点、計測点、設定点含)を表示設定できるものとする。
2. 配線表記(←→)は制御端末用通信配線を表す。
3. 給運気ファン連動は電気設備工事とする。

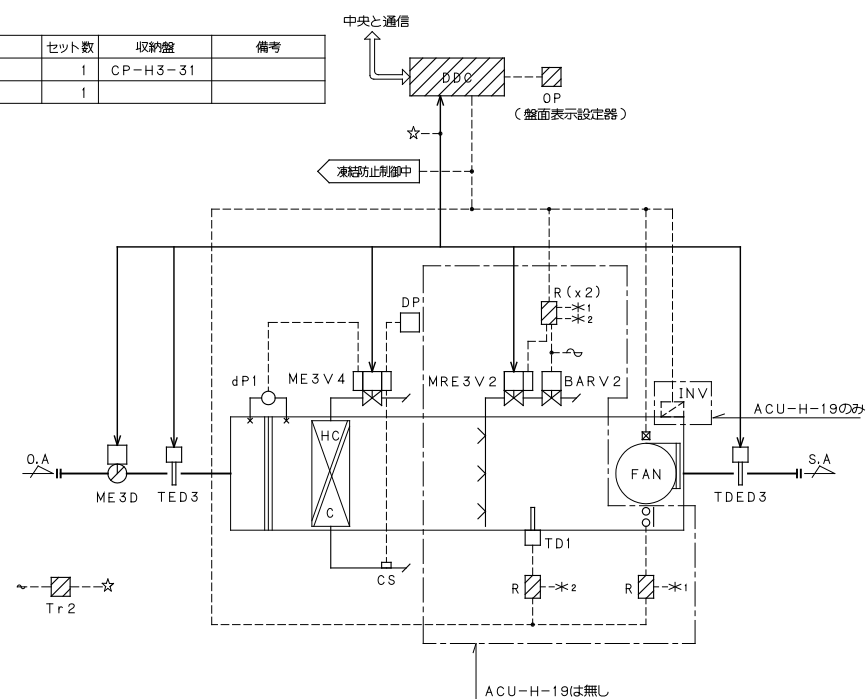
自動制御機器および配線配管は更新対象 改修

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 自動制御設備 計装図(6) (改修)
				縮尺 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-81
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター 棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

設備記号	系統	セット数	収納盤	備考
ACU-H-9	2F 小ホール音響	1	CP-H2-51	
ACU-H-15	2F 大ホール調光	1	CP-H2-21	
	合計	2		

設備記号	系統	セット数	収納盤	備考
ACU-H-19	2F 厨房	1	CP-H3-31	
	合計	1		

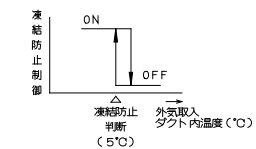


制御項目

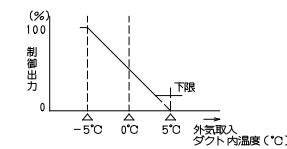
- 給気温度制御**
給気温度より冷温水弁の比例制御を行う。
尚、冷温水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。
- 比例帯自動調整制御**
給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を適正な値に直し、ハンチングの発生を抑える。
ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。
- 給気露点温度制御**
給気露点温度より加湿弁の比例制御を行う。
- 配管系データ計測**
冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷温水弁にて下記データの計測を行う。
尚、本データは本体付属表示器(空調機側面等設置)における視認も可能とする。
・ 弁前後圧
・ 通過流量
・ コイル還温度
・ コイル往温度
・ 熱量演算(DDCによる演算)
- 空調機停止時のインターロック制御**
(対象:ダンパ/2方弁/蒸気遮断弁/加湿弁)

6. 過加湿異常警報

- 下記の条件時、過加湿異常を検出し、警報発報及び加湿弁、蒸気遮断弁を全閉とする。
・ 空調機停止時:空調機内温度にて検出
・ 空調機運転時:給気露点温度上限にて検出
7. 凍結防止制御
外気取入ダクト内温度が凍結防止半断以下になった時、「凍結防止制御中」を中央監視へ出力し、下記の様に凍結防止制御を行う。
また、冷温水ポンプ停止時は「凍結防止制御中」の信号により、冷温水ポンプを強制起動する。



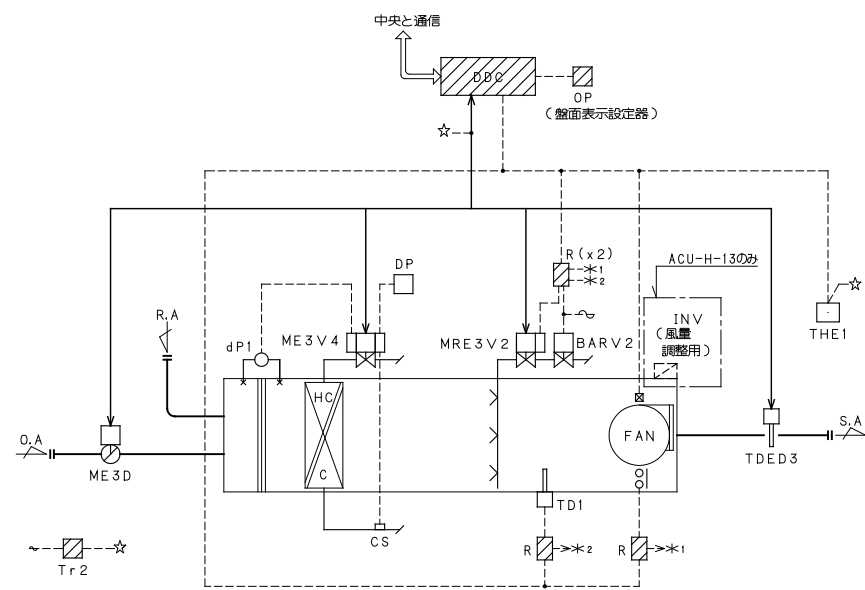
- ・ 空調機停止時:冷温水弁を最大流量(100%制御出力)とする。
- ・ 空調機運転時:外気取入ダクト内温度より、冷温水弁の比例制御(フィードフォワード制御)を行う。
(給気温度制御信号との要求が大きい値を選択)
この時、空調機メーカー推奨の下限流量を確保するために冷温水弁最小開度/流量を設けることとする。



8. 中央監視システムとの通信

(発停・設定・計測・監視)

設備記号	系統	セット数	収納盤	備考
ACU-H-13	1F 大ホールホワイエインテリア	1	CP-H2-21	
ACU-H-17	1F ギャラリー	1	CP-HB-32	
	合計	2		



制御項目

- 室内温度制御(室内温度による給気温度設定自動変更制御)**
給気温度より冷温水弁の比例制御を行う。
また、室内温度より給気温度設定値の自動変更(カスケード制御)を行う。
尚、冷温水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。
- 比例帯自動調整制御**
給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を適正な値に直し、ハンチングの発生を抑える。
ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。
- 給気露点温度制御**
給気露点温度より加湿弁の比例制御を行う。
- 配管系データ計測**
冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷温水弁にて下記データの計測を行う。
尚、本データは本体付属表示器(空調機側面等設置)における視認も可能とする。
・ 弁前後圧
・ 通過流量
・ コイル還温度
・ コイル往温度
・ 熱量演算(DDCによる演算)

5. ウォーミングアップ制御

立ち上がり時、外気ダンパを閉とし予冷/予熱を行う。
又、加湿は禁止とする。

6. 空調機停止時のインターロック制御

(対象:ダンパ/2方弁/蒸気遮断弁/加湿弁)

7. 過加湿異常警報
下記の条件時、過加湿異常を検出し、警報発報及び加湿弁、蒸気遮断弁を全閉とする。
・ 空調機停止時:空調機内温度にて検出
・ 空調機運転時:給気露点温度上限にて検出

8. 中央監視システムとの通信

(発停、監視、設定、計測)

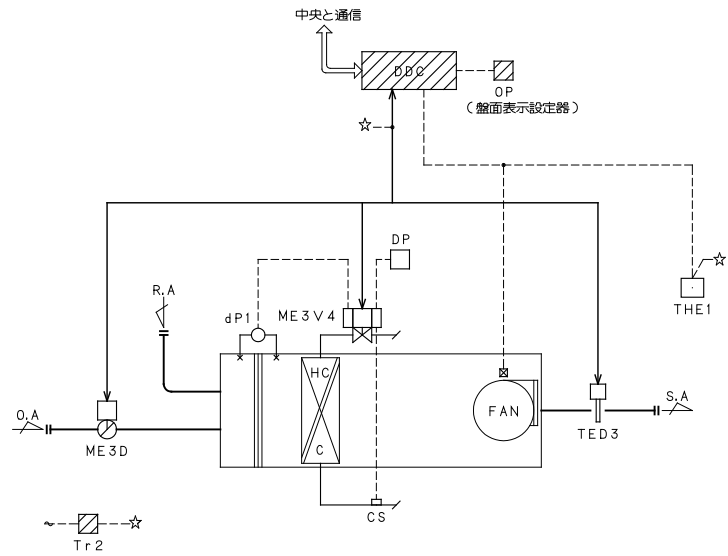
- (注記) 1. OPIはDDCとその下位通信機器の持つ管理点情報(発停点、警報点、計測点、設定点)を表示設定できるものとする。
2. 配線表記(←→)は制御端末用通信配線を表す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				自動制御設備 計装図(7) (改修)
				縮尺 - (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-82
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

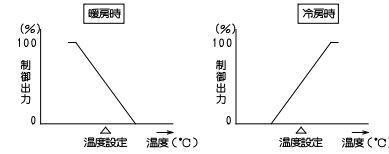
設備記号	系統	セット数	収納盤	備考
ACU-H-14	1F 大ホールホワイエベジ	1	CP-HB-12	
	合計	1		

自動制御機器および配線配管は更新対象 改修



制御項目

- 室内温度制御(室内温度による給気温度設定自動変更制御)
給気温度より冷水弁の比例制御を行う。
また、室内温度より給気温度設定値の自動変更(カスケード制御)を行う。
尚、冷水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。



- 比例帯自動調整制御
給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を適正な値に広げ、ハンチングの発生を抑える。
ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。

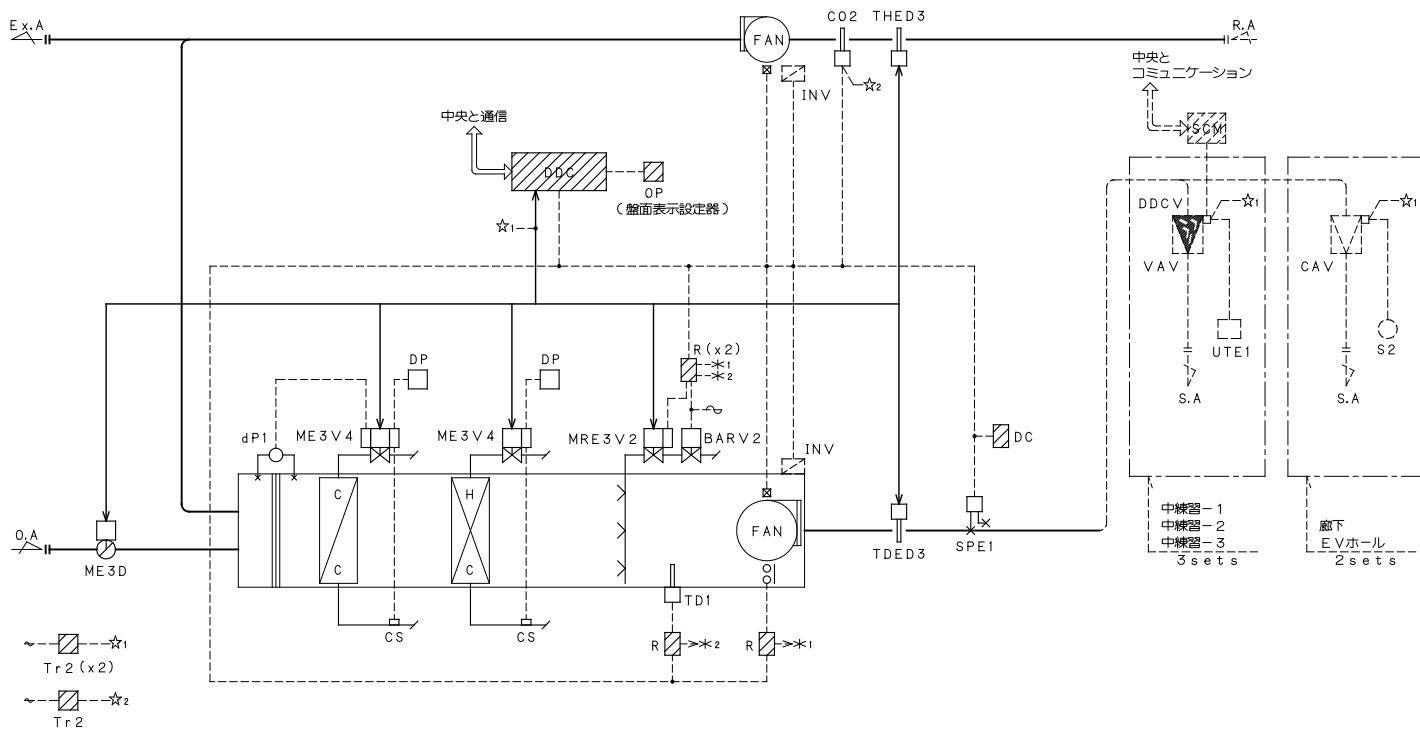
- 配管系データ計測
冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水弁にて下記データの計測を行う。
尚、本データは本体付属表示器(空調機側面等設置)における視認も可能とする。
 - 弁前後圧
 - 通過流量
 - コイル還温度
 - コイル往温度
 - 熱量演算(DDCによる演算)

- ウォーミングアップ制御
立ち上がり時、外気ダンパを開とし予冷/予熱を行う。
又、加温は禁止とする。
- 空調機停止時のインターロック制御
(対象:ダンパ/2方弁/加湿器)
- 中央監視システムとの通信
(発停、監視、設定、計測)

(注記) 1. OPIはDDCとその下位通信機器の持つ管理点情報(発停点、警報点、計測点、設定点等)を表示設定できるものとする。
2. 配線表記(←→)は制御端末用通信配線を表す。

設備記号	系統	セット数	送気ファン	収納盤	備考
ACU-H-22	4F 中継器	1	FR-H-9	CP-H4-51	
	合計	1			

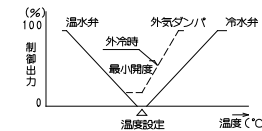
自動制御機器および配線配管は更新対象 改修



制御項目

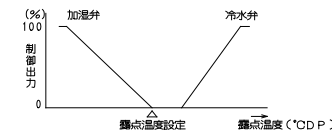
<空調機廻り>

- 給気温度制御
給気温度より冷水弁、温水弁、外気ダンパの比例制御を行う。
尚、冷水弁、温水弁はコイル過流量抑制を目的に実流量での制御を行う。



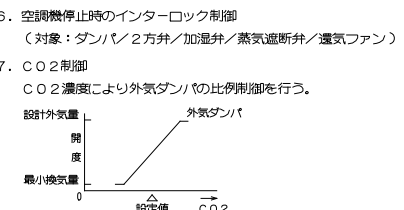
- 比例帯自動調整制御
給気温度変化を監視し、ハンチングと判定される場合には比例帯を適正な値に広げ、ハンチングの発生を抑える。
ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める。

- 給気露点温度制御(加湿, 除湿)
(加湿) 給気露点温度より加湿弁の比例制御を行う。
(除湿) 給気露点温度より冷水弁の比例制御及び、給気温度による再熱制御を行う。

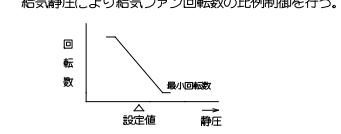


- 配管系データ計測
冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水弁、温水弁にて下記データの計測を行う。
尚、本データは本体付属表示器(空調機側面等設置)における視認も可能とする。
 - 弁前後圧
 - 通過流量
 - コイル還温度
 - コイル往温度
 - 熱量演算(DDCによる演算)

- ウォーミングアップ制御
立ち上がり時、外気・排気ダンパを開、還気ダンパを開とし予冷/予熱を行う。
又、加温は禁止とする。
- 空調機停止時のインターロック制御
(対象:ダンパ/2方弁/加湿弁/蒸気遮断弁/送気ファン)
- CO2制御
CO2濃度より外気ダンパの比例制御を行う。



- 給気静圧制御
給気静圧より給気ファン回転数の比例制御を行う。

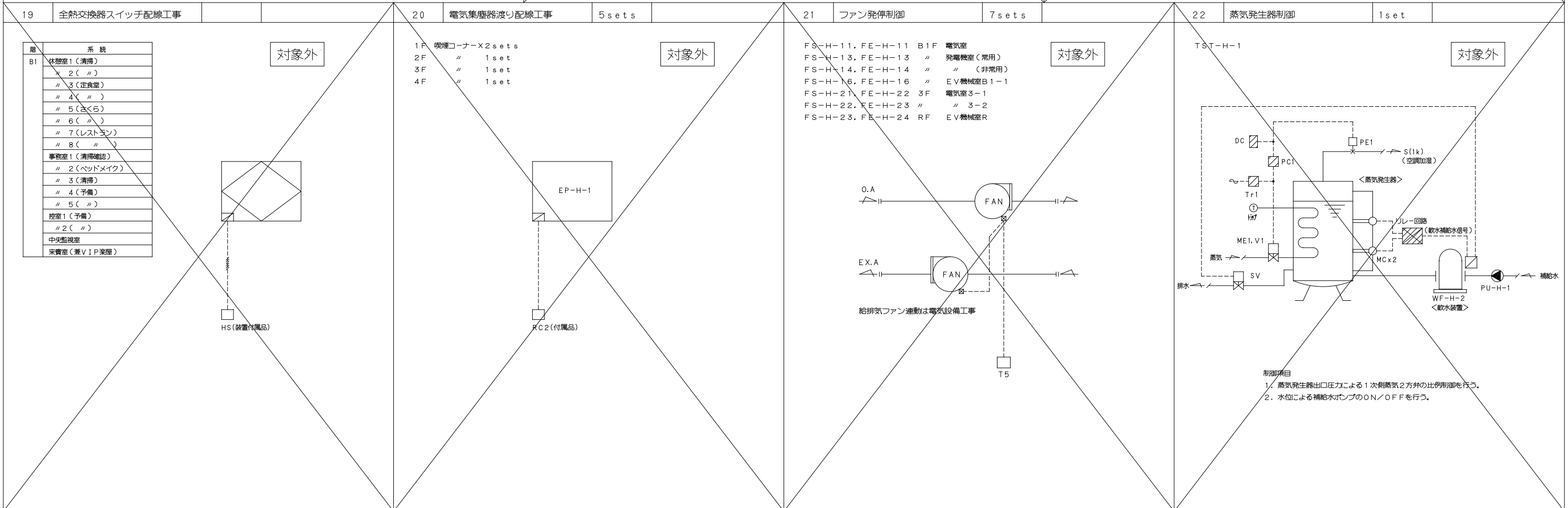
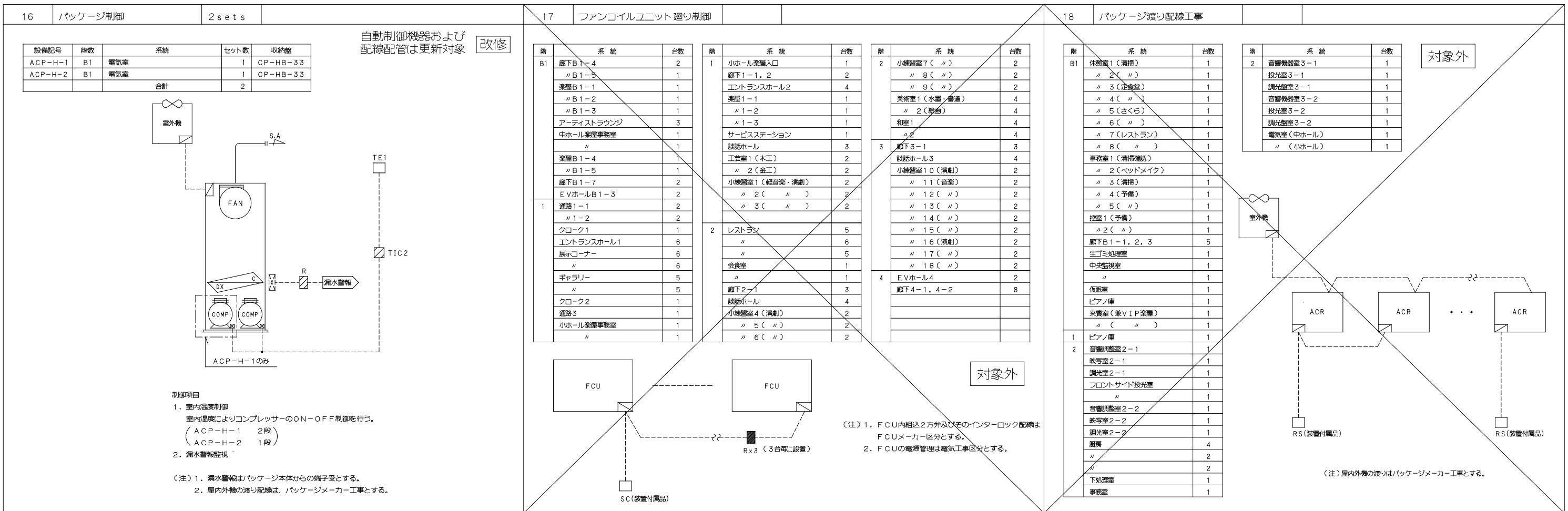


- 過加湿異常警報
下記の条件時、過加湿異常を検出し、警報発報及び加湿弁、蒸気遮断弁を全閉とする。
 - 空調機停止時:空調機内温度にて検出
 - 空調機運転時:給気露点温度上限にて検出
- 中央監視システムとの通信
(発停・設定・計測・監視)

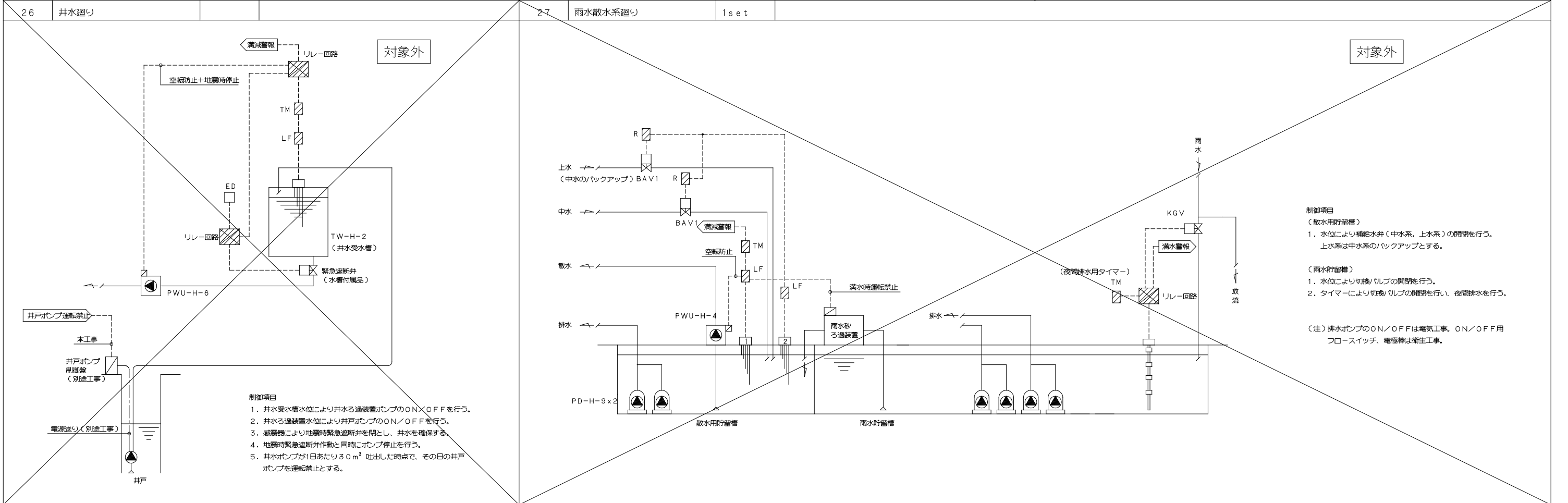
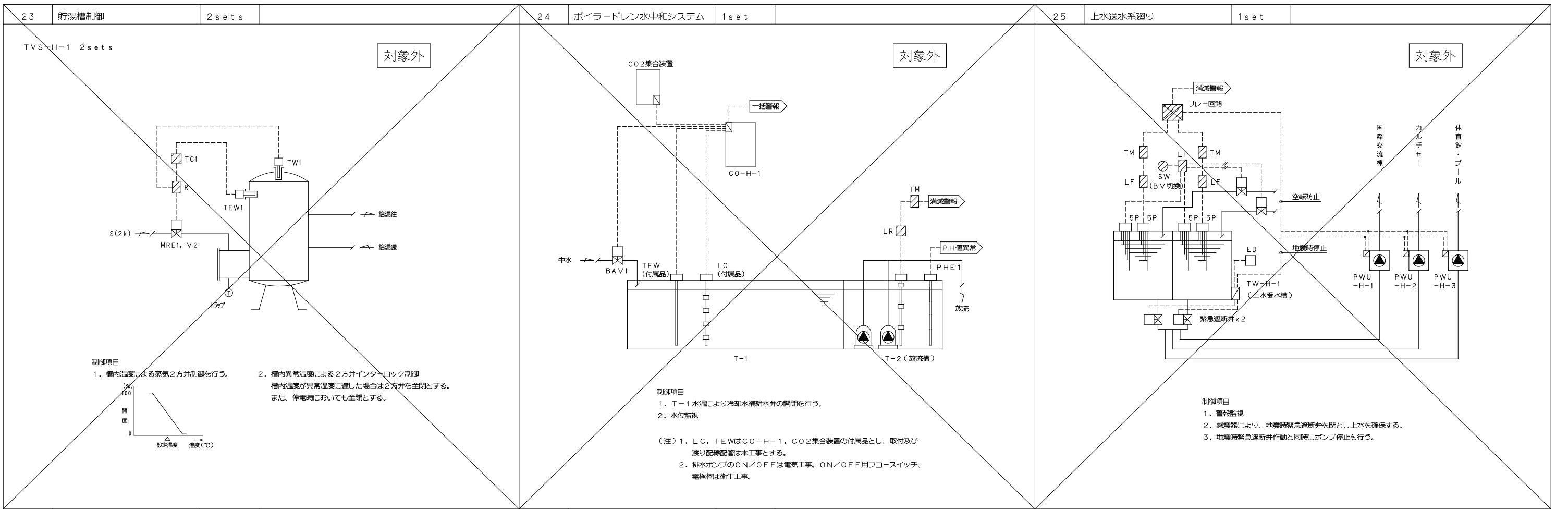
(注記) 1. OPIはDDCとその下位通信機器の持つ管理点情報(発停点、警報点、計測点、設定点等)を表示設定できるものとする。
2. INV及び、その調整は電気工事区分とする。
3. 配線表記(←→)は制御端末用通信配線を表す。

特記事項

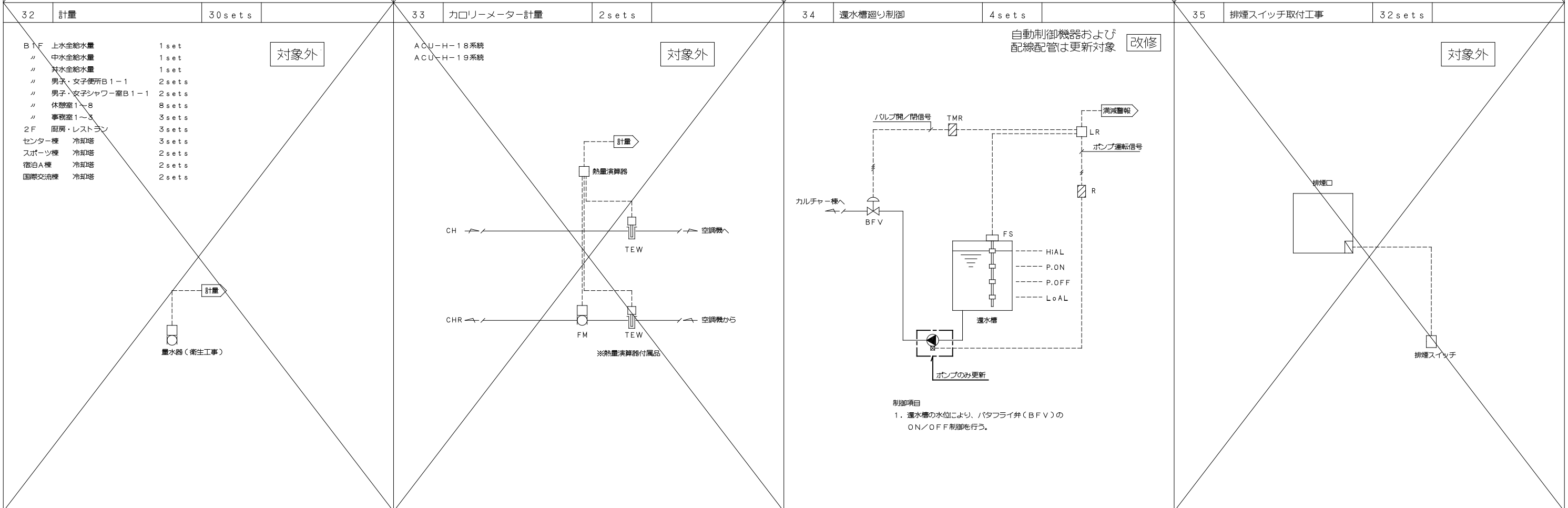
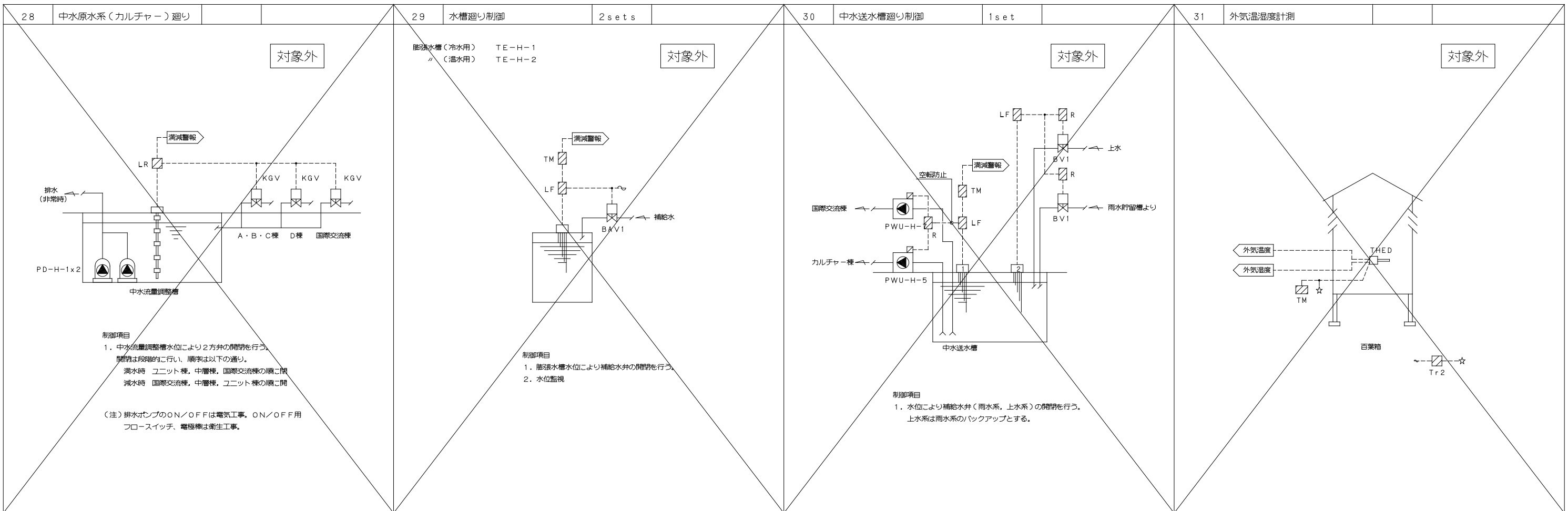
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				自動制御設備 計装図(8) (改修)
				縮尺 - (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-83
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター 棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敦



課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 自動制御設備 計装図(9) (改修)
				縮尺 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-84
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



特記事項					
	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 自動制御設備 計装図(10) (改修)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-85
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



<p>特記事項</p>	<table border="1"> <tr> <td>課長</td> <td>課長補佐</td> <td>係長</td> <td>担当</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>独立行政法人 国立青少年教育振興機構</p>	課長	課長補佐	係長	担当					<p>国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事</p> <p>自動制御設備 計装図(11) (改修)</p> <p>縮尺 - (A3)</p> <p>M-86</p> <p>株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬</p>
課長	課長補佐	係長	担当							

自動制御機器表

機器記号	名称	形番	備考
BARV2	電動2方ボール弁	VY6051A, PMK, KBK	二位置, 蒸気用
BAV1	電動2方ボール弁	VY6300B	二位置
CAL	積算熱量計	WY8000A_	温度検出部別途
CO2	CO2濃度センサ	CY8100C	0~2000ppm, ダクト挿入型
CS	配管表面用温度センサ	81301851-2	
CW1	冷却水フロート検器	R7010W1	
DC	DC24V電源	RYY792D	
DDC	デジタル式コントローラ	WY5111	
DP	ディスプレイパネル	QY5000S	
dP1	差圧スイッチ	PYY-604	二位置
FM	電磁流量計	MG11D/10C	
I/V1	アイソレータ	RYY792S	
MID	ダンノ操作器	MY6050A	二位置
ME1V1	電動2方弁	VY5110J, VY5113J	比例
ME1V3	電動3方弁	MY53+VY53, VY541	比例
ME3D	ダンノ操作器	MY8040A	通信接続
ME3V4	電動2方弁	FVY5160J	通信接続
MRE1V2	電動2方弁	VY5115K	比例
MRE3V2	電動2方弁	VY5165K	比例, 通信接続
OP	盤表面型表示設定器	QY5100W	
PE1	圧力センサ	JTG-A2	
PMX1	チラーコントローラ	WY5130Q	熱源機用
PMX2	ポンプコントローラ	WY5130P	ポンプ用
R	補助リレー	R	
SPE1	微差圧センサ	PY9000D	
TD1	ダクト用温度調節器	TY6800Z-D	二位置
TDE3	ダクト用温度・露点温度センサ	HTY7903C	通信接続
TE1	室内用温度センサ	TY7043Z	Pt100Ω
TE3	ダクト用温度センサ	TY7803C	通信接続
TEW1	配管用温度センサ	TY7830B15	Pt100Ω, R3/4
THE1	室内用湿度センサ	HTY7045T1P	Pt100Ω, 高分子素子
THED3	ダクト用湿度温度センサ	HTY7803C	通信接続
TIC1	指示調節器	R36T	
TIC2	指示調節器	R36T	
TIC3	指示調節器	R36T	
Tr1	トランス	AT72-J1	
Tr2	絶縁トランス	ATY82Z	
TW1	配管用温度調節器	TY6800Z-W	二位置, 保護管付

凡例

--- AC100V or 200V

○--- インターロック

▣ 現場盤内取付機器

■ ボックス内取付機器

◀ 監視盤との信号受渡し

流体 W2:水(2方弁), W3:水(3方弁), S:蒸気
 /Vレ口径表 単位 流体W2, W3:流量[l/m], ΔP[kPa] 流体S:流量[kg/h], Pi, ΔP[kPa]

系統名	流体	流量	Pi	ΔP	Cv	口径(A)	備考
<熱源制御(1)>							
HE-H-1	蒸気制御弁	S	1500.0	200.0	50.0	76.1	65
HE-H-1	蒸気遮断弁	S					65
HE-H-2	蒸気制御弁	S					65
HE-H-2	蒸気遮断弁	S					65
HE-H-3	蒸気制御弁	S					65
HE-H-3	蒸気遮断弁	S					65
PC-H-4-6(冷却)	2次ポンプバイパス	W2	750.0		294.0	30.3	50
PH-H-4-6(冷却)	2次ポンプバイパス	W2	350.0		245.0	15.5	40x32
PCH-H-3(冷却)	2次ポンプバイパス	W2	2620.0		343.0	98.1	100
冷水系	流量計	W	2250.0				150
温水系	流量計	W	1050.0				100
冷温水系	流量計	W	7860.0				250
<冷却制御(1)>							
CT-H-1	冷却水 バイパス弁	W3	5950.0		15.0		300
CT-H-1	冷却水 補給水弁	W2					50
CT-H-2	冷却水 バイパス弁	W3	5950.0		15.0		300
CT-H-2	冷却水 補給水弁	W2					50
<冷却制御(2)>							
CT-H-3	冷却水 バイパス弁	W3	1700.0		15.0	304.3	150
CT-H-3	冷却水 補給水弁	W2					50
<空調機制御(1)>							
ACU-H-1	H/C制御弁	W2	100.0		30.0	12.7	25
ACU-H-1	C/C制御弁	W2	430.0		30.0	54.4	50
ACU-H-1	蒸気加湿制御弁	S	25.7	50.0	15.0	2.9	15
ACU-H-1	蒸気加湿遮断弁	S					15
<空調機制御(2)>							
ACU-H-2	H/C制御弁	W2	110.0		30.0	13.9	25
ACU-H-2	蒸気加湿制御弁	S	15.9	50.0	15.0	1.8	15
ACU-H-2	蒸気加湿遮断弁	S					15
ACU-H-3	H/C制御弁	W2	130.0		30.0	16.5	40
ACU-H-3	蒸気加湿制御弁	S	18.9	50.0	15.0	2.1	15
ACU-H-3	蒸気加湿遮断弁	S					15
ACU-H-4	H/C制御弁	W2	70.0		30.0	8.9	25
ACU-H-4	蒸気加湿制御弁	S	10.0	50.0	15.0	1.1	15
ACU-H-4	蒸気加湿遮断弁	S					15
ACU-H-5	H/C制御弁	W2	150.0		30.0	19.0	40
ACU-H-5	蒸気加湿制御弁	S	22.6	50.0	15.0	2.5	15
ACU-H-5	蒸気加湿遮断弁	S					15
ACU-H-6	H/C制御弁	W2	110.0		30.0	13.9	25
ACU-H-6	蒸気加湿制御弁	S	15.9	50.0	15.0	1.8	15
ACU-H-6	蒸気加湿遮断弁	S					15
ACU-H-20	H/C制御弁	W2	120.0		30.0	15.2	25
ACU-H-20	蒸気加湿制御弁	S	17.7	50.0	15.0	2.0	15
ACU-H-20	蒸気加湿遮断弁	S					15
ACU-H-21	H/C制御弁	W2	130.0		30.0	16.5	40
ACU-H-21	蒸気加湿制御弁	S	17.5	50.0	15.0	2.0	15
ACU-H-21	蒸気加湿遮断弁	S					15
<空調機制御(3)>							
ACU-H-7	H/C制御弁	W2	180.0		30.0	22.8	40
ACU-H-7	C/C制御弁	W2	420.0		30.0	53.2	50
ACU-H-7	蒸気加湿制御弁	S	28.0	50.0	15.0	3.1	15
ACU-H-7	蒸気加湿遮断弁	S					15
<空調機制御(4)>							
ACU-H-11	H/C制御弁	W2	420.0		30.0	53.2	50
ACU-H-11	C/C制御弁	W2	890.0		30.0	112.6	80
ACU-H-11	蒸気加湿制御弁	S	71.4	50.0	15.0	8.0	25x20
ACU-H-11	蒸気加湿遮断弁	S					20
<空調機(5)-1>							
ACU-H-10	H/C制御弁	W2	190.0		30.0	24.0	40
ACU-H-10	蒸気加湿制御弁	S	8.0	50.0	15.0	0.9	15
ACU-H-10	蒸気加湿遮断弁	S					15
ACU-H-16	H/C制御弁	W2	440.0		30.0	55.7	50
ACU-H-16	蒸気加湿制御弁	S	9.7	50.0	15.0	1.1	15
ACU-H-16	蒸気加湿遮断弁	S					15
<空調機(5)-2>							
ACU-H-18	H/C制御弁	W2	560.0		30.0	70.9	65

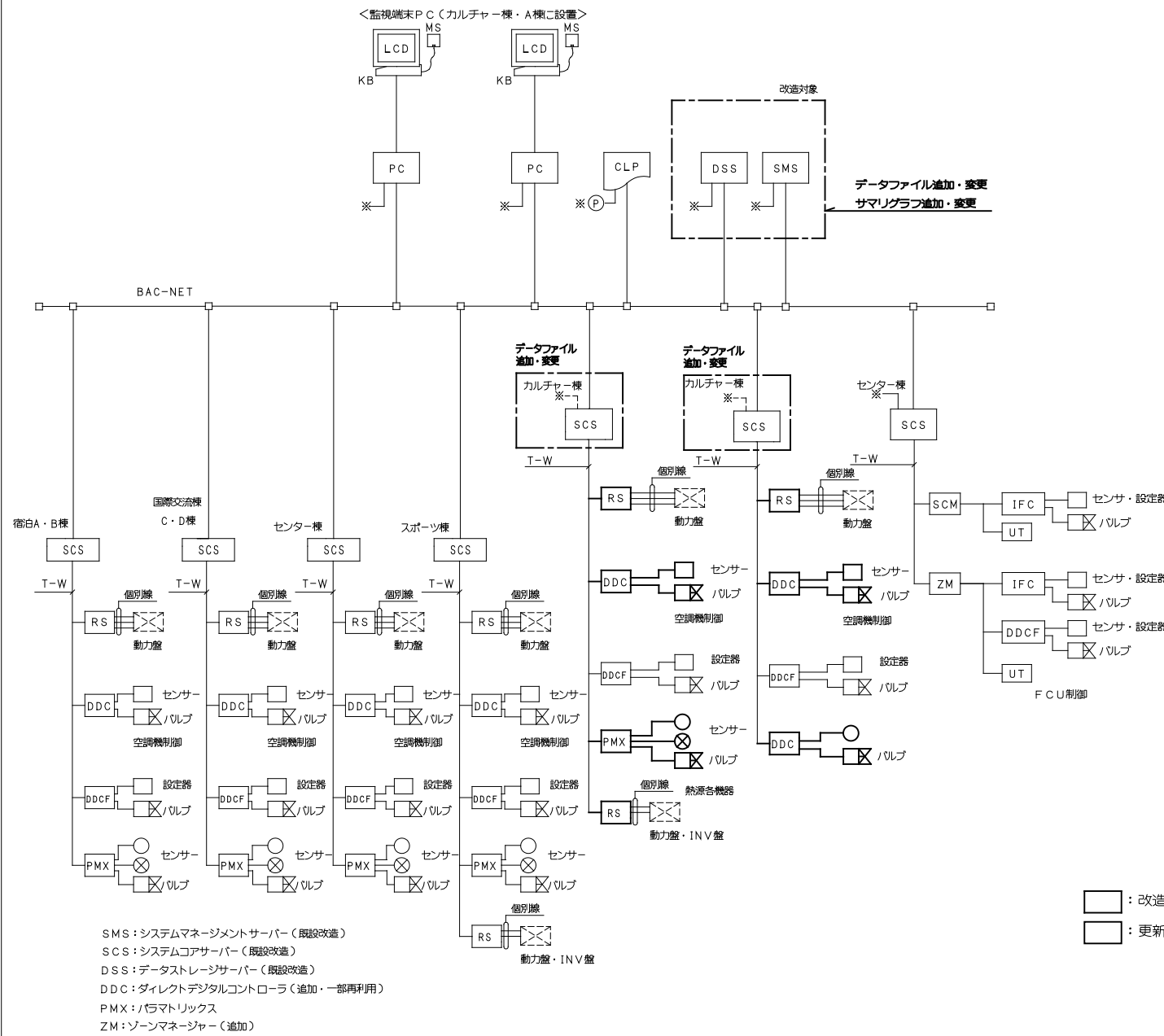
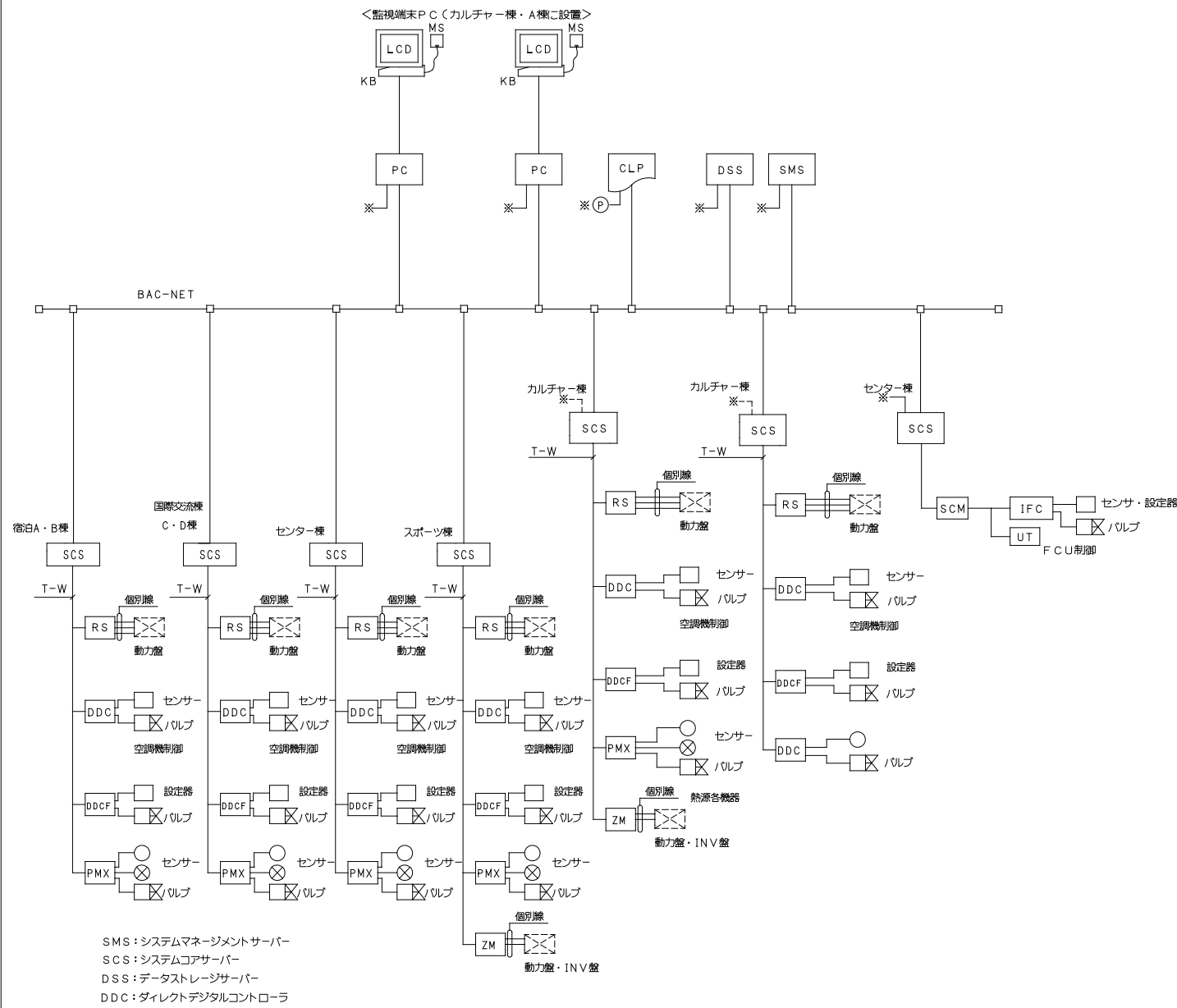
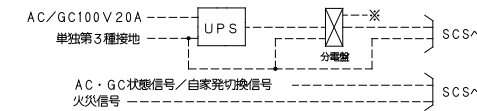
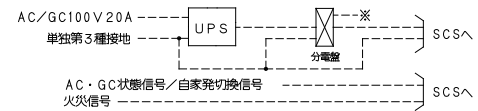
系統名	流体	流量	Pi	ΔP	Cv	口径(A)	備考
ACU-H-18	蒸気加湿制御弁	S	43.2	50.0	15.0	4.8	15
ACU-H-18	蒸気加湿遮断弁	S					15
<空調機(6)>							
ACU-H-8	H/C制御弁	W2	180.0		30.0	22.8	40
ACU-H-8	蒸気加湿制御弁	S	13.4	50.0	15.0	1.5	15
ACU-H-8	蒸気加湿遮断弁	S					15
ACU-H-12	H/C制御弁	W2	360.0		30.0	45.6	50
ACU-H-12	蒸気加湿制御弁	S	22.5	50.0	15.0	2.5	15
ACU-H-12	蒸気加湿遮断弁	S					15
<空調機(7)>							
ACU-H-9	H/C制御弁	W2	60.0		30.0	7.6	25
ACU-H-9	蒸気加湿制御弁	S	8.9	50.0	15.0	1.0	15
ACU-H-9	蒸気加湿遮断弁	S					15
ACU-H-15	H/C制御弁	W2	60.0		30.0	7.6	25
ACU-H-15	蒸気加湿制御弁	S	8.9	50.0	15.0	1.0	15
ACU-H-15	蒸気加湿遮断弁	S					15
ACU-H-19	H/C制御弁	W2	270.0		30.0	34.2	40
<空調機(8)>							
ACU-H-13	H/C制御弁	W2	360.0		30.0	45.6	50
ACU-H-13	蒸気加湿制御弁	S	14.8	50.0	15.0	1.7	15
ACU-H-13	蒸気加湿遮断弁	S					15
ACU-H-17	H/C制御弁	W2	260.0		30.0	32.9	50
ACU-H-17	蒸気加湿制御弁	S	12.0	50.0	15.0	1.3	15
ACU-H-17	蒸気加湿遮断弁	S					15
<空調機(9)>							
ACU-H-14	H/C制御弁	W2	300.0		30.0	38.0	40
<空調機(10)>							
ACU-H-22	H/C制御弁	W2	270.0		30.0	34.2	40
ACU-H-22	C/C制御弁	W2	470.0		30.0	59.5	50
ACU-H-22	蒸気加湿制御弁	S	45.4	50.0	15.0	5.1	15
ACU-H-22	蒸気加湿遮断弁	S					15

盤寸法表

盤名	形状	参考寸法			収納系統名	備考
		W	H	D		
CP-HB-11	自立	1200	1950	400	TW-H-1, 2, CU-H-1 雨水貯留槽×1, 雑排水槽×1 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造
CP-HB-12	壁掛	700	1200	250	ACU-H-14 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造
CP-HB-31	自立	3500	2350	400	熱源制御用, 散水用貯留槽 CU-H-1, 中央管理点出力 雨水貯留槽, 雑排水槽×1 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造
CP-HB-32	自立	700	1950	400	ACU-H-16, 17 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造
CP-HB-33	壁掛	700	1100	250	ACP-H-1, 2 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造
CP-HB-51	自立	2100	1950	400	蒸気熱源制御用, 蒸気発生器制御 TD-H-1~4, TVS-H-1, 2 雨水貯留槽, 雑排水槽×1 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造
CP-HB-52	自立	1400	1950	400	ACU-H-1, 2, 3, 4 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造
CP-H2-21	自立	1400	1950	400	ACU-H-11, 12 ACU-H-13, 15 HEA-H-7 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造
CP-H2-51	自立	2100	1950	400	ACU-H-5, 6, 7, 8 ACU-H-9, 10 HEA-H-6 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造
CP-H3-31	自立	700	1950	400	ACU-H-18, 19 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造
CP-H3-51	自立	700	1950	400	ACU-H-20, 21 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造
CP-H3-52	壁掛	800	1600	450	CT-H-1, 2, 3 外気計測 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造 屋外仕様
CP-H4-51	自立	1400	1950	400	ACU-H-22 ET-H-1, 2 中央管理点出力— 一覧表参照	既存盤改造

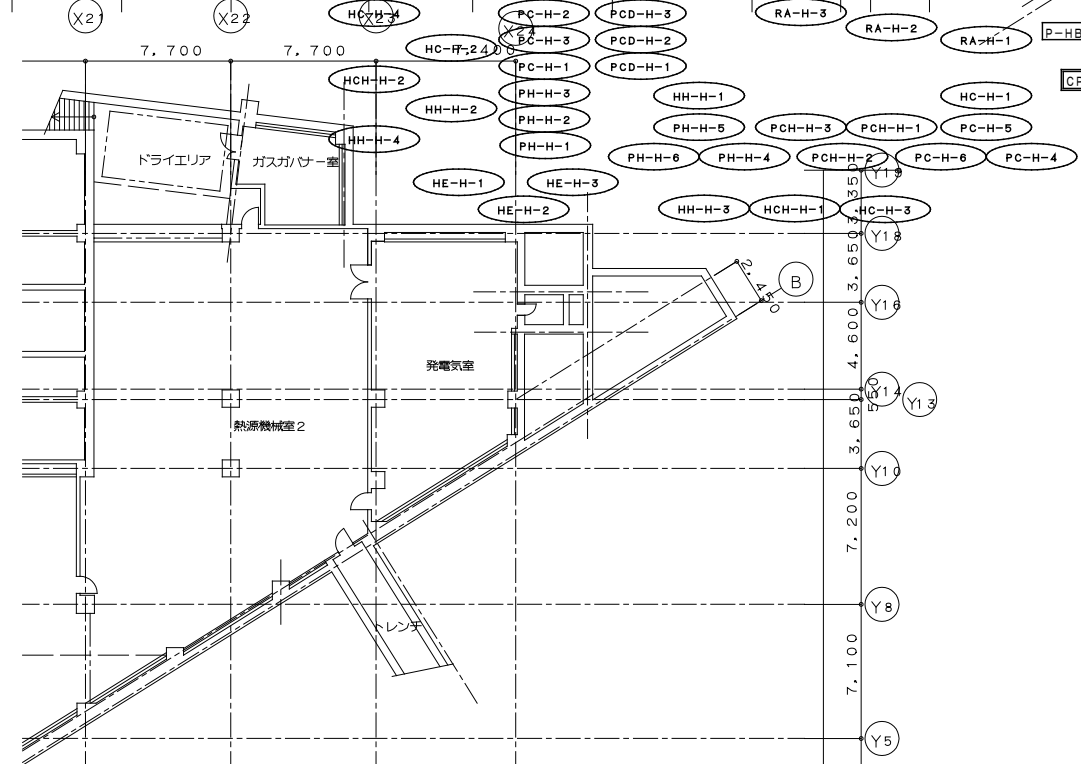
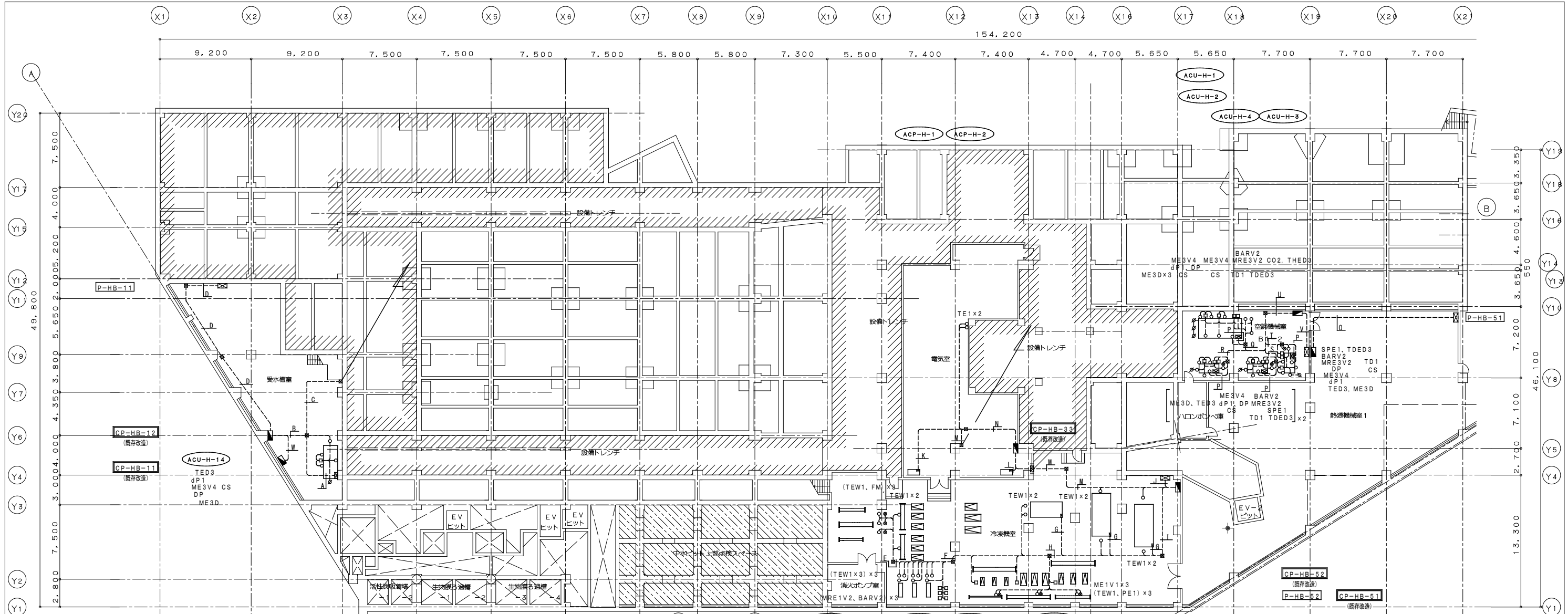
特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 自動制御設備 計装図(12)(改修)
				縮尺 - (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-87
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敏

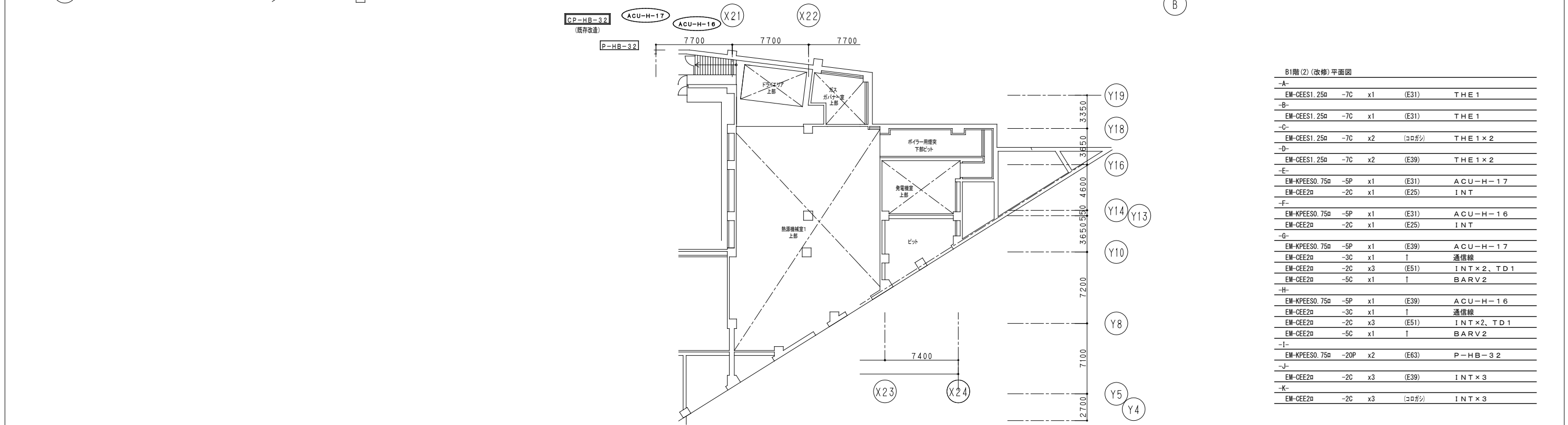
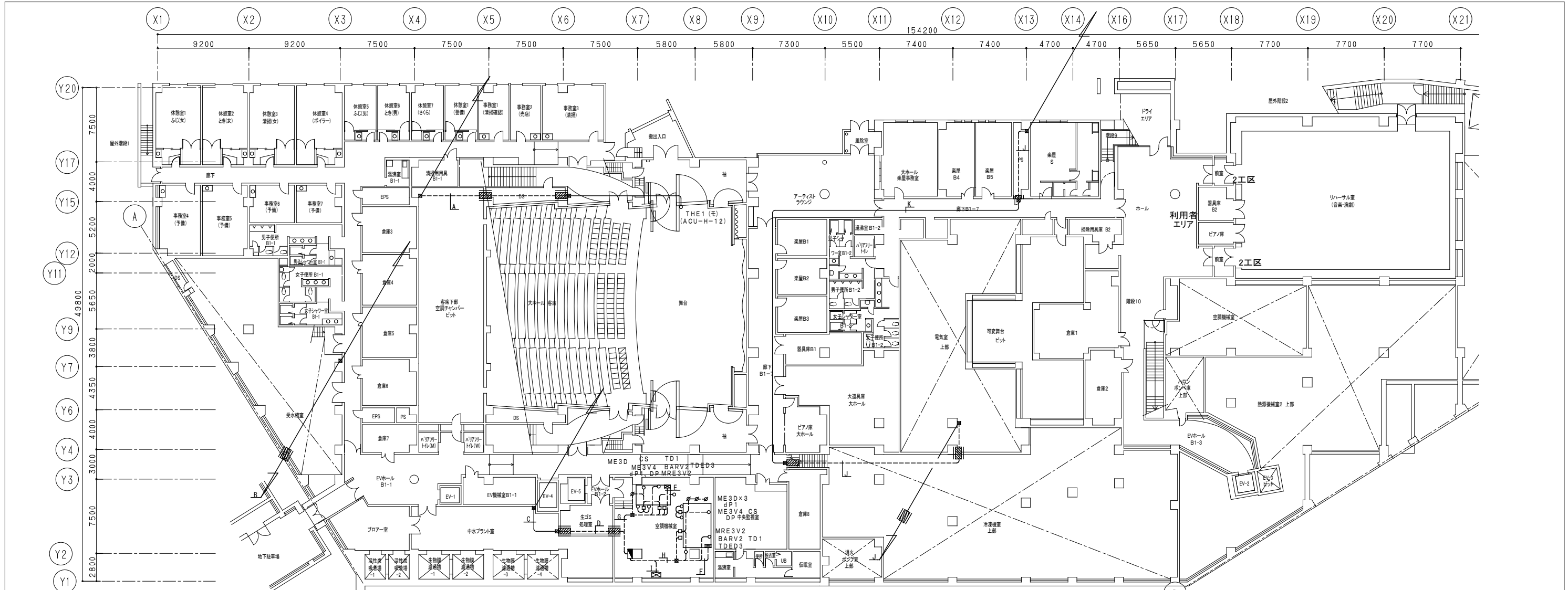


特記事項

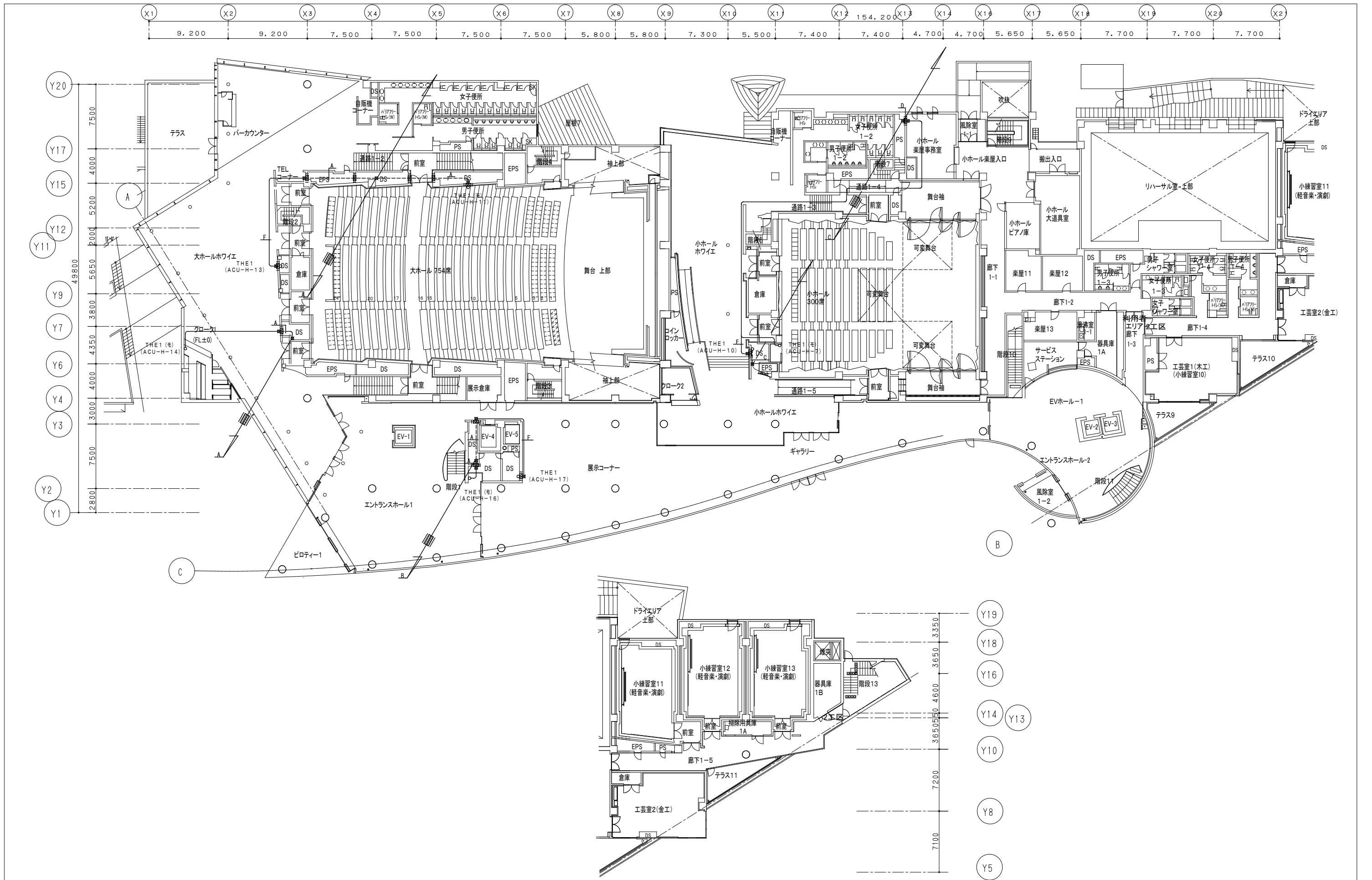
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 自動制御設備 中央監視システム図（改修）
				縮尺 - (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-88
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務（設備）				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所（都）第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					自動制御設備 地階平面図(1) (改修)
					縮尺 1:400 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構					M-98
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟機能改善整備設計業務(設備)					株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

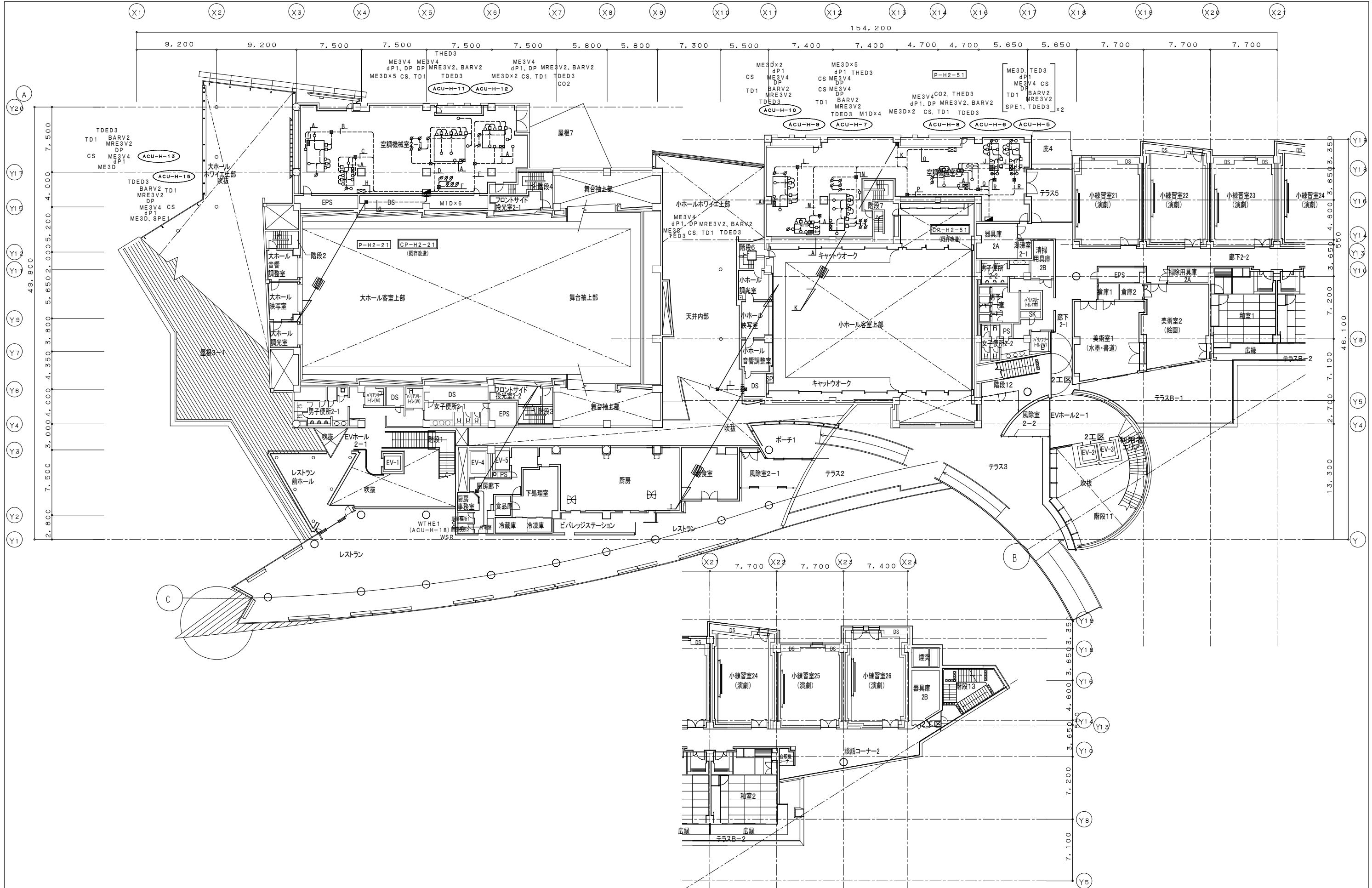


特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				自動制御設備 地階平面図(2) (改修)
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター 棟機能改善整備設計業務(設備)				縮尺 1:400 (A3)
	株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬				M-99



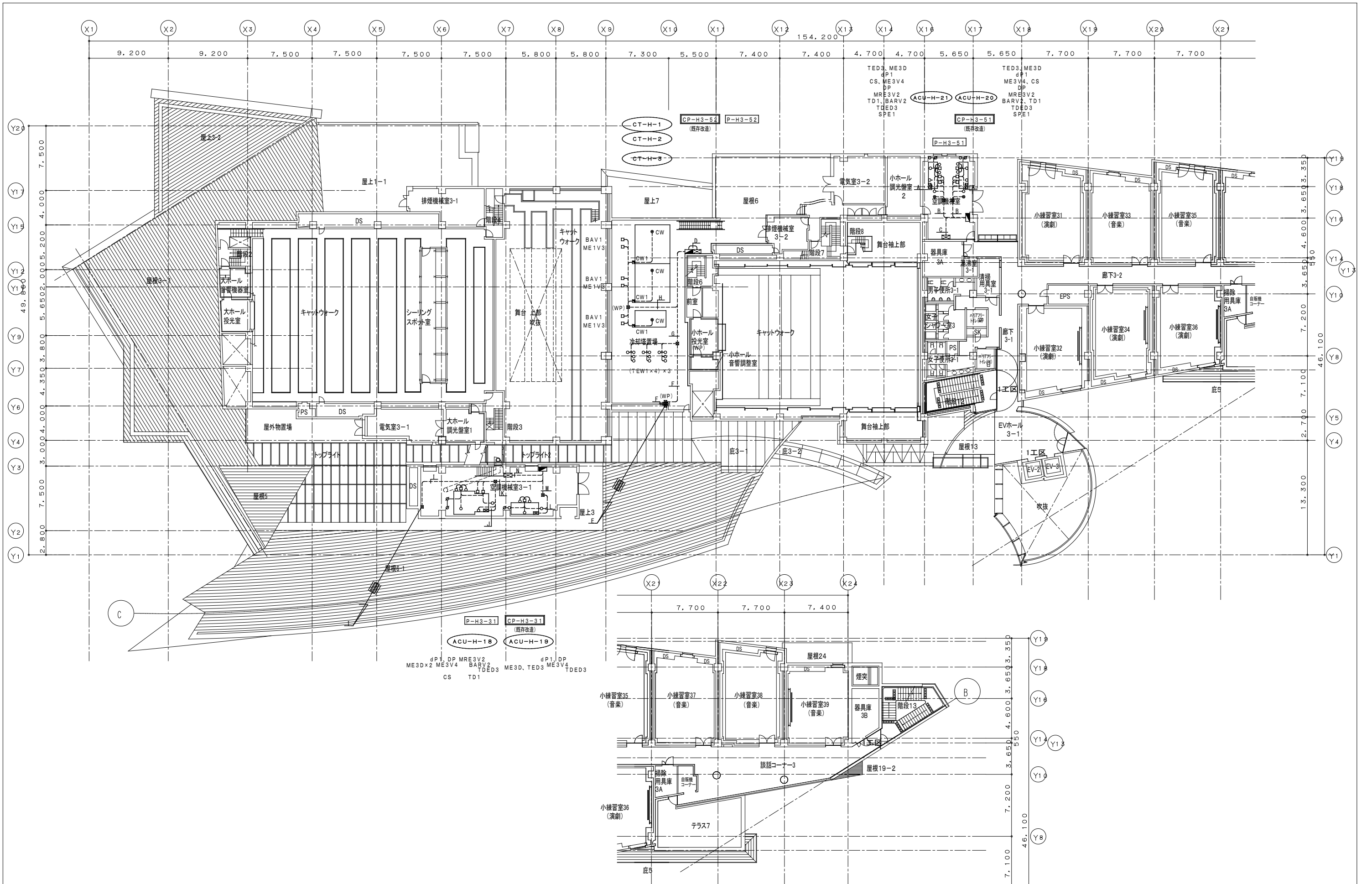
特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				自動制御設備 1階平面図(改修)
				縮尺 1:400 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-100
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



特記事項

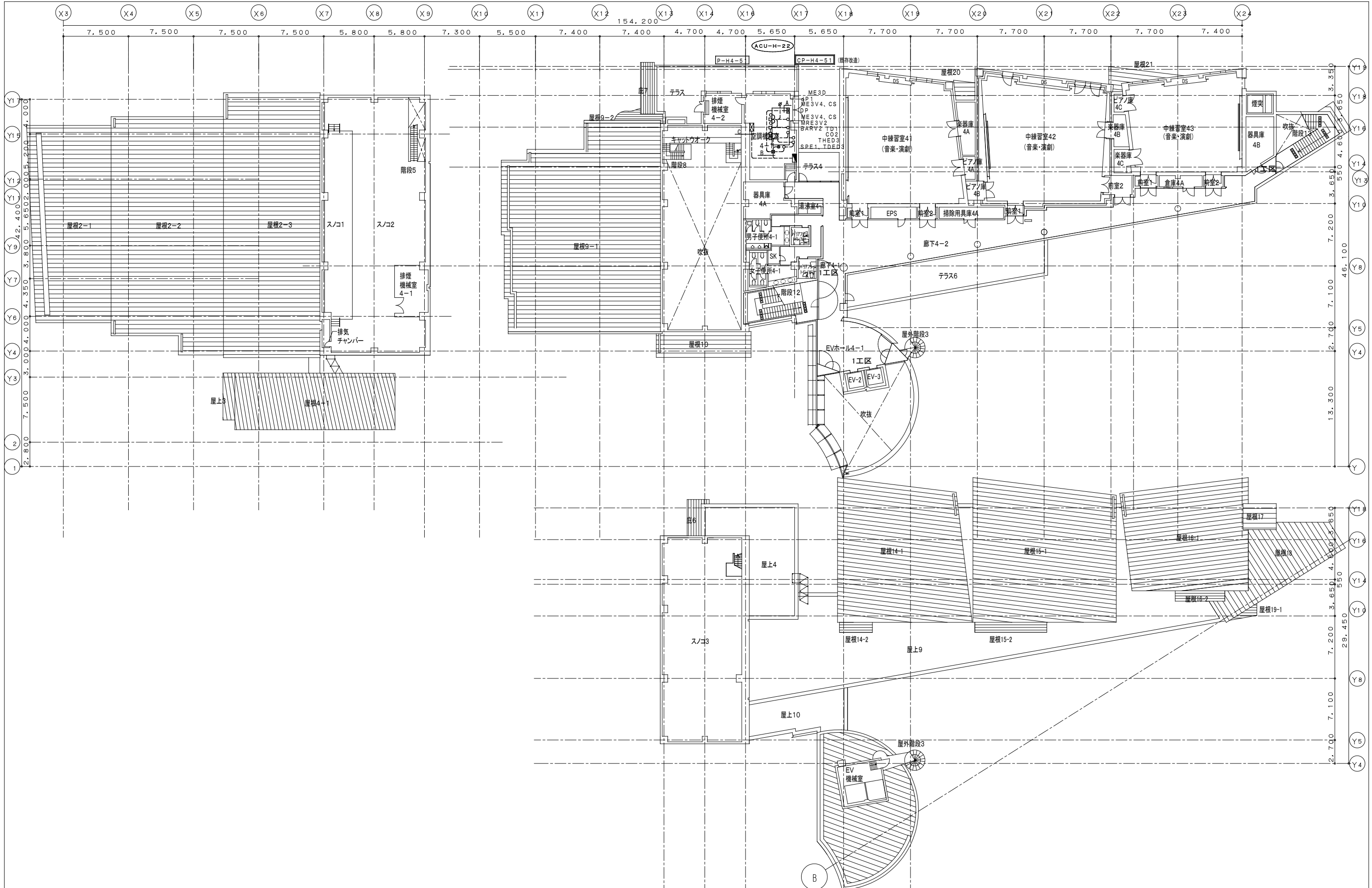
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				自動制御設備 2階平面図(改修)
				縮尺 1:400 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-101
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



特記事項

課長	課長補佐	係長	担当

国立青少年教育振興機構
 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
 自動制御設備 3階平面図(改修)
 縮尺 1:400 (A3)
 M-102



特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					自動制御設備 4階平面図(改修)
					縮尺 1:400 (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				M-103
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)					株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬

機器凡例				
シンボル	記号	配線	配管	
			(屋内)	(屋外)
○	WSR	EM-LANケーブル × 1	(コログシ)	
○	TE1	EM-CEE1.25a -3C × 1	(E25)	
○	THE1	EM-CEE1.25a -7C × 1	(E31)	
○	THE1(F)	EM-CEE1.25a -7C × 1	(MMB)	
○	DP	DP専用ケーブル × 1	(E19)	
○	TD1	EM-CEE2a -2C × 1	(E25)	
○	TDED3	EM-CEE2a -3C × 1	(E25)	
○	TED3	EM-CEE2a -3C × 1	(E25)	
○	TDED3	EM-CEE2a -3C × 1	(E25)	
○	CO2	EM-CEE1.25a -4C × 1	(E25)	
○	TEW1	EM-CEE1.25a -3C × 1	(E25)	(E22)
○	CS	EM-CEE1.25a -2C × 1	(E19)	
□	ME1V1	EM-CEE1.25a -6C × 1	(E25)	(E28)
□	MRE1V2	EM-CEE1.25a -7C × 1	(E25)	
□	BARV2	EM-CEE2a -5C × 1	(E31)	
□	BAV1	EM-CEE2a -4C × 1		(E22)
□	ME3V4	EM-CEE2a -3C × 1	(E25)	
□	MRE3V2	EM-CEE2a -2C × 1	(E25)	
		EM-CEE2a -3C × 1	(E25)	
∅	M1D	EM-CEE1.25a -3C × 1	(E25)	
∅	ME3D	EM-CEE2a -3C × 1	(E25)	
○	dP1	EM-CEE2a -2C × 1	(E25)	
⊗	SPE1	EM-CEE1.25a -2C × 1	(E25)	
⊗	PE1	EM-CEE1.25a -2C × 1	(E25)	
■	CW1	EM-CEE1.25a -2C × 1		(E22)
		EM-CEE2a -3C × 1		(E22)
⊙	CW	付属ケーブル × 1		(E22)
⊙	FM	EM-CEE2a -3C × 1	(E25)	
		EM-CEE1.25a -2C × 1	(E25)	

記号凡例	
平面図記号	内容
---	天井内ケーブル配線
---	露出配管
□(WP)	フルボックス (WPは防水仕様)
■	防火区画及びはつり箇所

(特記)
天井内はケーブルコログシとし、室内サーモの立ち下りはメタルモールを使用する。

地下1階平面図(1)(改修)						
-A-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E31)	ACU-H-14	
-B-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E51)	ACU-H-14	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE1.25a	-7C	x1	↑	THE1	
-C-	EM-CEE1.25a	-7C	x1	(E31)	THE1	
-D-	EM-KPEESO.75a	-20P	x4	(E75)	x2	P-HB-11
-E-	EM-CEE1.25a	-3C	x5	(E63)	TEW1 × 5	
	EM-CEE1.25a	-2C	x3	↑	FM × 3	
	EM-CEE2a	-3C	x3	(E39)	FM × 3	
-F-	EM-CEE1.25a	-3C	x14	(E75)	x2	TEW1 × 14
	EM-CEE1.25a	-2C	x3	↑	FM × 3	
	EM-CEE1.25a	-7C	x3	↑	MRE1V2 × 3	
	EM-CEE2a	-3C	x3	(E63)	FM × 3	
	EM-CEE2a	-5C	x3	↑	BARV2 × 3	
-G-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E25)	RA-H-*	
	EM-CEE2a	-4C	x1	(E31)	INT, SS	
-H-	EM-CEE1.25a	-3C	x19	(E75)	x3	TEW1 × 19
	EM-CEE1.25a	-2C	x6	↑	FM × 3, PE1 × 3	
	EM-CEE1.25a	-7C	x3	↑	MRE1V2 × 3	
	EM-CEE1.25a	-6C	x3	↑	ME1V1 × 3	
	EM-CEE2a	-3C	x3	(E63)	FM × 3	
	EM-CEE2a	-5C	x3	↑	BARV2 × 3	

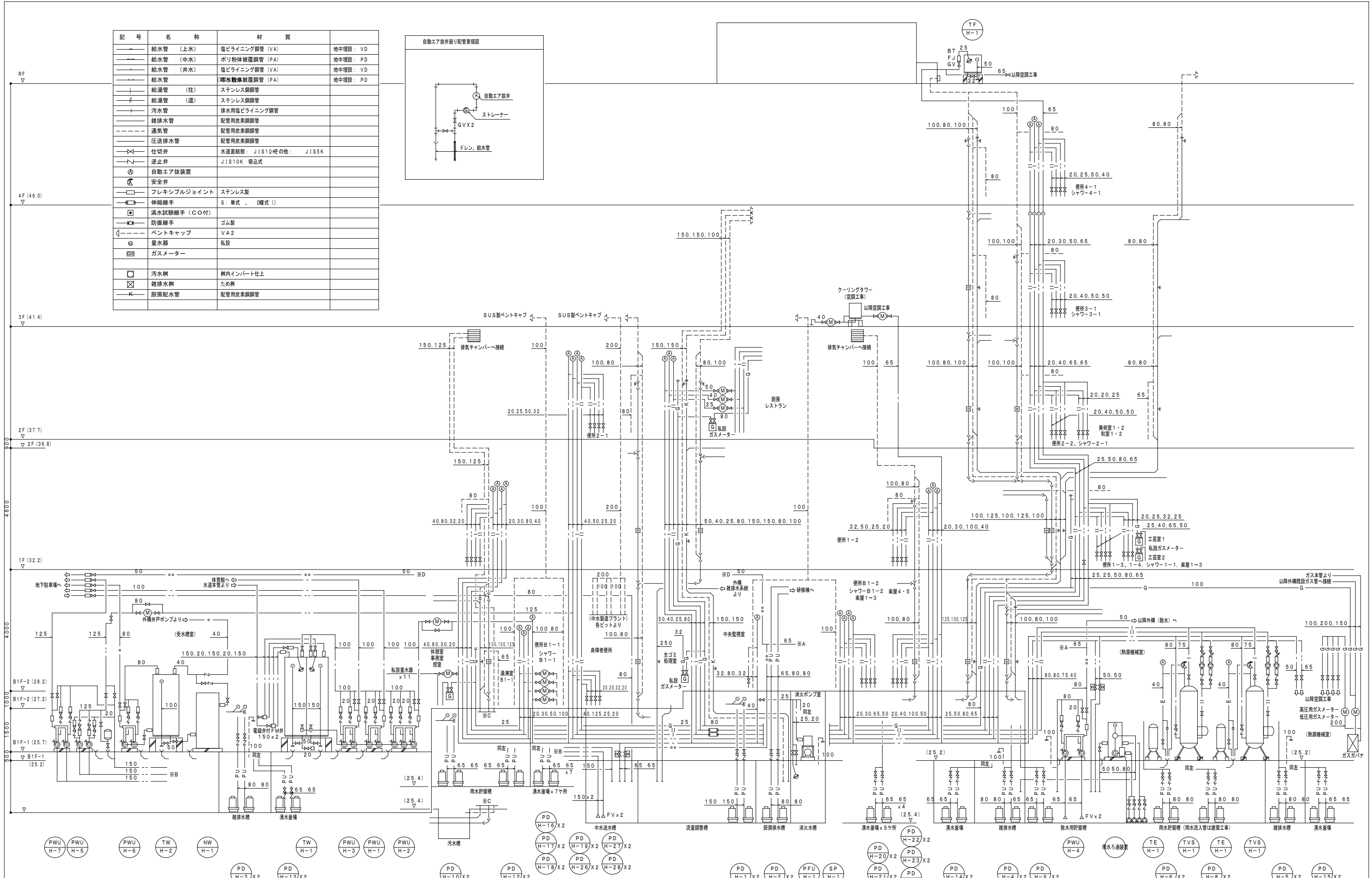
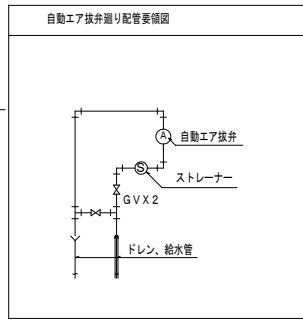
-I-	EM-KPEESO.75a	-5P	x3	(E75)	x3	RA-H-1, 2, 3
	EM-CEE1.25a	-3C	x21	↑	TEW1 × 21	
	EM-CEE1.25a	-2C	x6	↑	FM × 3, PE1 × 3	
	EM-CEE1.25a	-7C	x3	↑	MRE1V2 × 3	
	EM-CEE1.25a	-6C	x3	↑	ME1V1 × 3	
	EM-CEE2a	-4C	x3	(E75)	(INT, SS) × 3	
	EM-CEE2a	-3C	x3	↑	FM × 3	
	EM-CEE2a	-5C	x3	↑	BARV2 × 3	
-J-	EM-KPEESO.75a	-20P	x9	(E75)	x5	P-HB-31
	EM-CEE1.25a	-2C	x16	↑	INV × 16	
	EM-CEE2a	-2C	x6	(E63)	INT × 6	
	EM-CEE2a	-4C	x3	↑	(INT, SS) × 3	
-K-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E31)	ACP-H-1	
	EM-CEE2a	-2C	x2	(E31)	SS × 2	
-L-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E31)	ACP-H-2	
	EM-CEE2a	-2C	x1	(E25)	SS	
-M-	EM-CEE2a	-2C	x3	(E39)	INT × 3	
-N-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E39)	ACP-H-1	
	EM-CEE1.25a	-3C	x2	↑	TE1 × 2	
	EM-CEE2a	-2C	x5	(E51)	SS × 2, INT × 3	
-O-	EM-KPEESO.75a	-20P	x3	(E75)	P-HB-51	
-P-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E39)	ACU	
	EM-CEE1.25a	-2C	x1	↑	INV	
	EM-CEE2a	-2C	x1	(E25)	INT	
-Q-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E51)	ACU-H-1	
	EM-CEE1.25a	-2C	x1	↑	INV	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE1.25a	-4C	x1	↑	CO2	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-R-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E51)	ACU-H-2	
	EM-CEE1.25a	-2C	x2	↑	INV, SPE1	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-S-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E51)	ACU-H-4	
	EM-CEE1.25a	-2C	x2	↑	INV, SPE1	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-T-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E51)	ACU-H-3	
	EM-CEE1.25a	-2C	x2	↑	INV, SPE1	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-U-	EM-KPEESO.75a	-5P	x4	(E75)	x2	ACU-H-1, 2, 3, 4
	EM-CEE1.25a	-2C	x7	↑	INV × 4, SPE1 × 3	
	EM-CEE2a	-3C	x4	↑	通信線 × 4	
	EM-CEE1.25a	-4C	x1	↑	CO2	
	EM-CEE2a	-2C	x12	(E75)	x2	INT × 8, TD1 × 4
	EM-CEE2a	-5C	x4	↑	BARV2 × 4	
-V-	EM-KPEESO.75a	-10P	x1	(E51)	P-HB-52	
	EM-KPEESO.75a	-3P	x1	↑	P-HB-52	
	EM-CEE1.25a	-2C	x1	↑	INV	
-W-	EM-KPEESO.75a	-20P	x1	(E51)	P-HB-11	

地下1階平面図(2)(改修)						
-A-	EM-CEE1.25a	-7C	x1	(E31)	THE1	
-B-	EM-CEE1.25a	-7C	x1	(E31)	THE1	
-C-	EM-CEE1.25a	-7C	x2	(コログシ)	THE1 × 2	
-D-	EM-CEE1.25a	-7C	x2	(E39)	THE1 × 2	
-E-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E31)	ACU-H-17	
	EM-CEE2a	-2C	x1	(E25)	INT	
-F-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E31)	ACU-H-16	
	EM-CEE2a	-2C	x1	(E25)	INT	
-G-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E39)	ACU-H-17	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-H-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E39)	ACU-H-16	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-I-	EM-KPEESO.75a	-20P	x2	(E63)	P-HB-32	
-J-	EM-CEE2a	-2C	x3	(E39)	INT × 3	
-K-	EM-CEE2a	-2C	x3	(コログシ)	INT × 3	

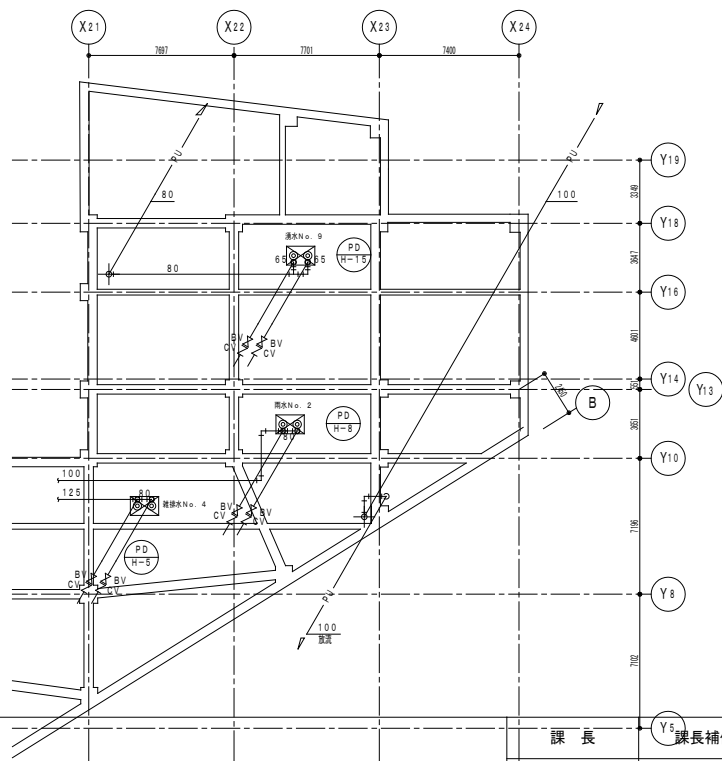
1階平面図(改修)						
-A-	EM-CEE1.25a	-7C	x1	(E31)	THE1	
-B-	EM-CEE1.25a	-7C	x2	(E39)	THE1 × 2	
-C-	EM-CEE2a	-2C	x3	(E39)	INT × 3 (冷却水ポンプ)	
-D-	EM-CEE2a	-2C	x3	(E39)	INT × 3 (冷却水ポンプ)	
	EM-CEE1.25a	-7C	x2	(E39)	THE1 × 2	
-E-	EM-CEE2a	-2C	x3	(コログシ)	INT × 3 (冷却水ポンプ)	
	EM-CEE1.25a	-7C	x1	(コログシ)	THE1	
-F-	EM-CEE1.25a	-7C	x1	(コログシ)	THE1	

2階平面図(改修)						
-A-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E31)	ACU	
	EM-CEE2a	-2C	x1	(E25)	INT	
-B-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E39)	ACU	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-C-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E39)	ACU	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-D-	EM-CEE2a	-3C	x1	(E39)	通信線	
	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	↑	ACU	
	EM-CEE2a	-2C	x2	(E39)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-E-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E51)	ACU	
	EM-CEE1.25a	-4C	x1	↑	CO2	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-F-	EM-CEE1.25a	-3C	x6	(E51)	M1D × 6	
-G-	EM-CEE1.25a	-7C	x3	(E51)	THE1 × 3	
-H-	EM-KPEESO.75a	-20P	x2	(E63)	P-H2-21	
-I-	EM-CEE2a	-2C	x3	(E39)	INT × 3	
-J-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E39)	ACU	
	EM-CEE1.25a	-2C	x1	↑	INV	
	EM-CEE2a	-2C	x1	(E25)	INT	
-K-	EM-CEE1.25a	-7C	x2	(E39)	THE1 × 2	
-L-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E39)	ACU	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-M-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E39)	ACU	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-N-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E51)	ACU	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE1.25a	-3C	x4	↑	M1D × 4	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	
-O-	EM-KPEESO.75a	-20P	x4	(E75)	x2	P-H2-51
-P-	EM-CEE1.25a	-7C	x2	(E75)	x3	THE1 × 2
	EM-KPEESO.75a	-5P	x3	↑	ACU × 3	
	EM-CEE2a	-3C	x3	↑	通信線 × 3	
	EM-CEE1.25a	-3C	x4	↑	M1D × 4	
	EM-KPEESO.75a	-20P	x4	↑	P-H2-51	
	EM-CEE2a	-2C	x9	↑	INT × 6, TD1 × 3	
	EM-CEE2a	-5C	x3	↑	BARV2 × 3	
-Q-	EM-KPEESO.75a	-5P	x1	(E51)	ACU	
	EM-CEE2a	-3C	x1	↑	通信線	
	EM-CEE1.25a	-4C	x1	↑	CO2	
	EM-CEE2a	-2C	x3	(E51)	INT × 2, TD1	
	EM-CEE2a	-5C	x1	↑	BARV2	

記号	名称	材質	設法
—	給水管 (上水)	塩ビライニング鋼管 (VA)	地中埋設: VD
—	給水管 (中水)	ポリ粉体被覆鋼管 (PA)	地中埋設: PD
—	給水管 (井水)	塩ビライニング鋼管 (VA)	地中埋設: VD
—	給水管	剛性被覆鋼管 (PA)	地中埋設: PD
—	給湯管 (往)	ステンレス鋼管	
—	給湯管 (還)	ステンレス鋼管	
—	汚水管	排水用塩ビライニング鋼管	
—	雑排水管	配管用炭素鋼管	
—	通気管	配管用炭素鋼管	
—	圧送排水管	配管用炭素鋼管	
—	仕切弁	水道直結部: JIS10 他地: JIS5K	
—	逆止弁	JIS10K 吸込式	
⊕	自動エア抜き装置		
⊕	安全弁		
—	フレキシブルジョイント	ステンレス製	
—	伸縮継手	S: 単式、D: 複式 ()	
—	満水試験継手 (CO付)		
—	防振継手	ゴム製	
—	ベントキャップ	VA2	
⊙	量水器	私設	
⊙	ガスメーター		
□	汚水樹	樹内インポート仕上	
⊗	雑排水樹	ため樹	
K	厨房配水管	配管用炭素鋼管	

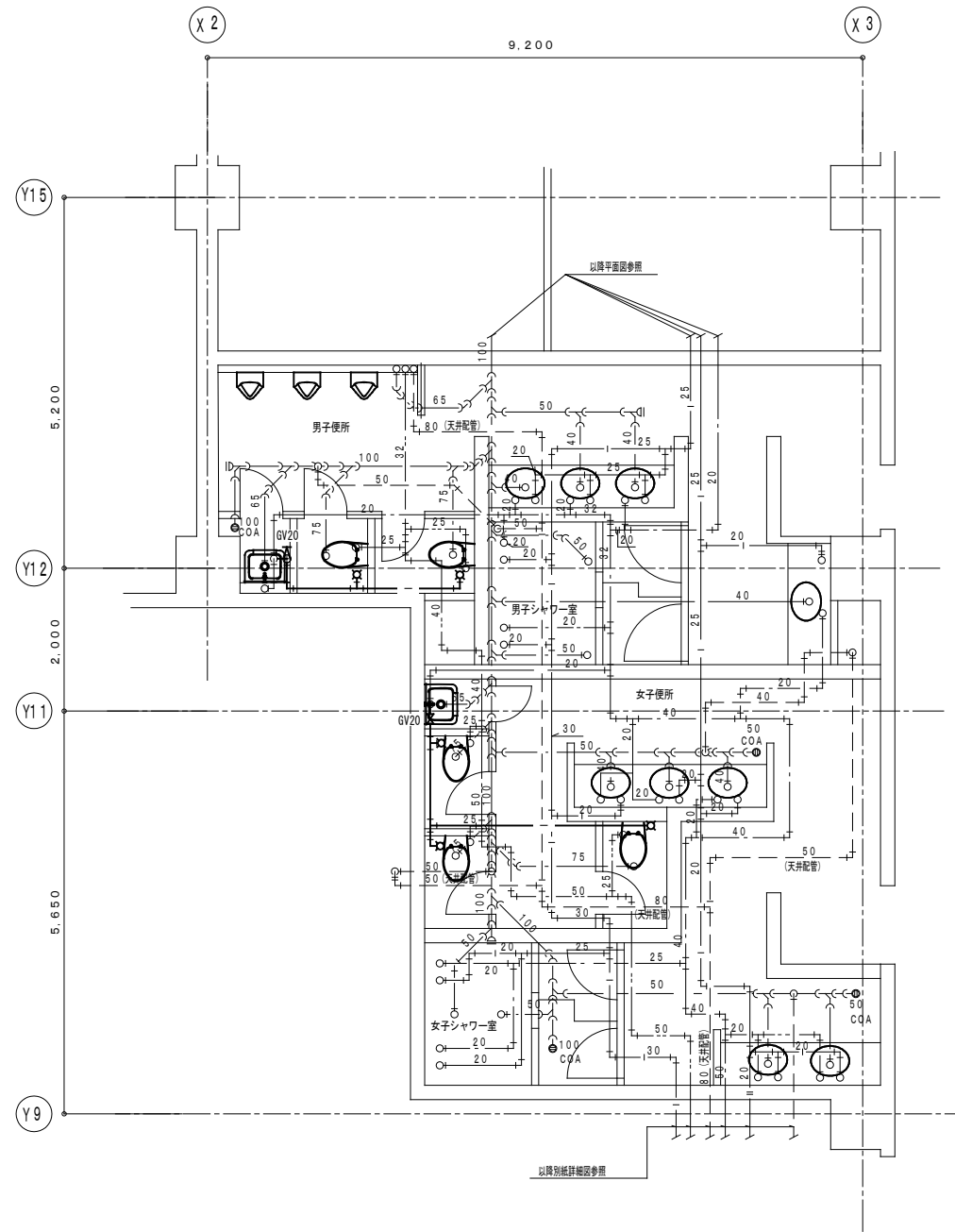


特記事項	課長	課長補佐	係長	担当
				国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 給排水衛生設備 系統図(改修)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
	業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター 棟他機能改善整備設計業務(設備)			
	株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬			



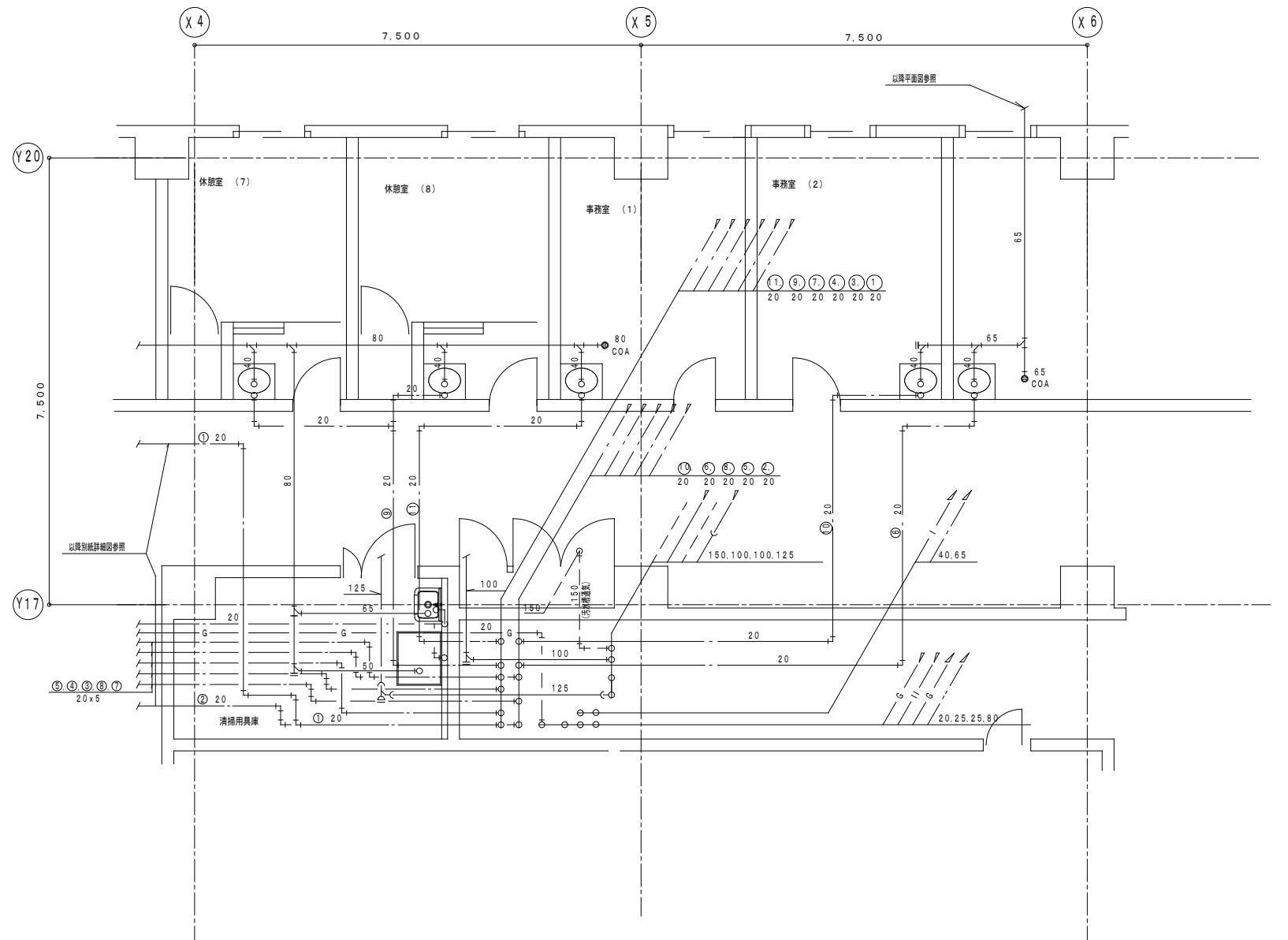
特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 給排水衛生設備 ピット内配管平面図(改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1:400 (A3)
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬
				P-03

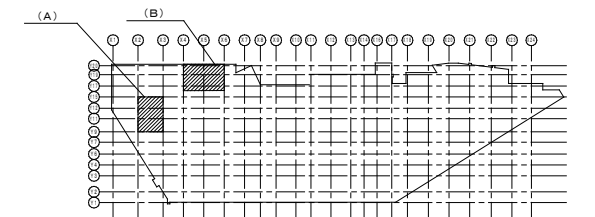


B1F 便所 B1-1 廻り詳細図 S=1/100 -A

* 図示床下配管は全て雨水槽内とする。



B1F 事務室廻り詳細図 S=1/100 -B

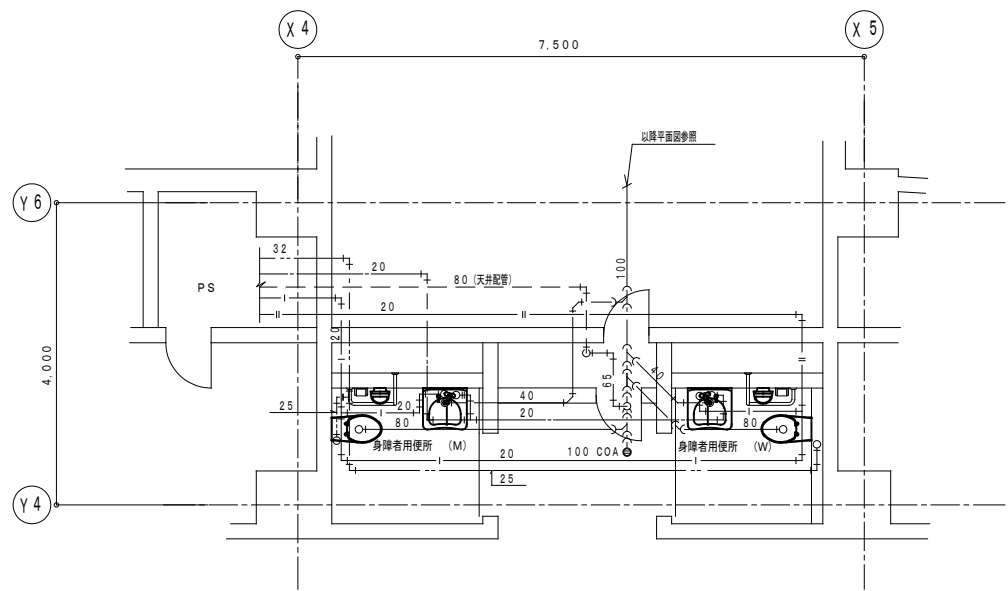


キープラン

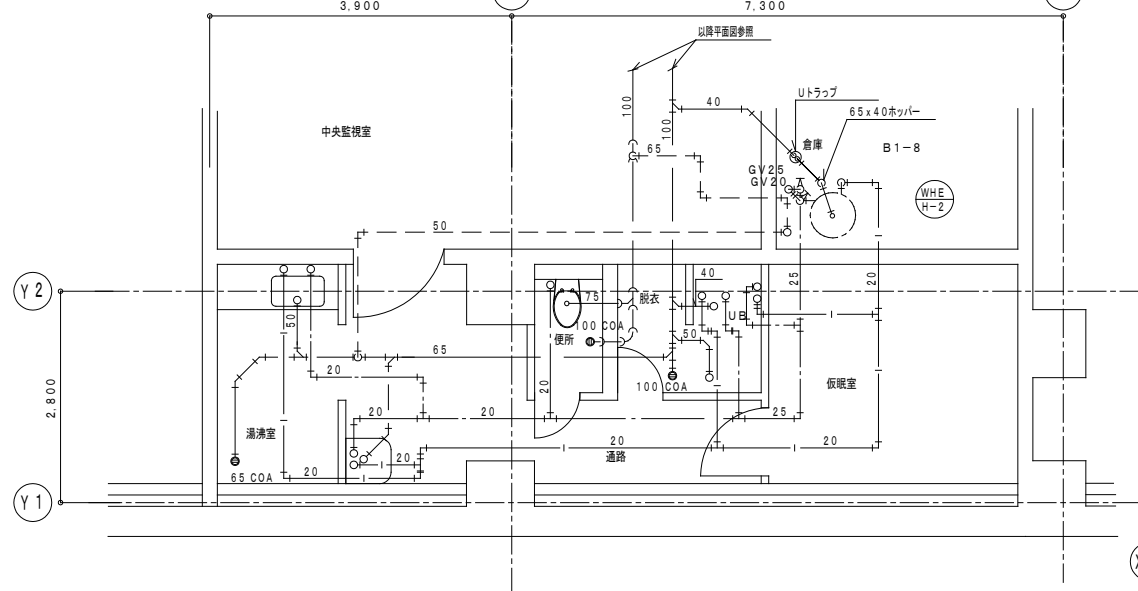
注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

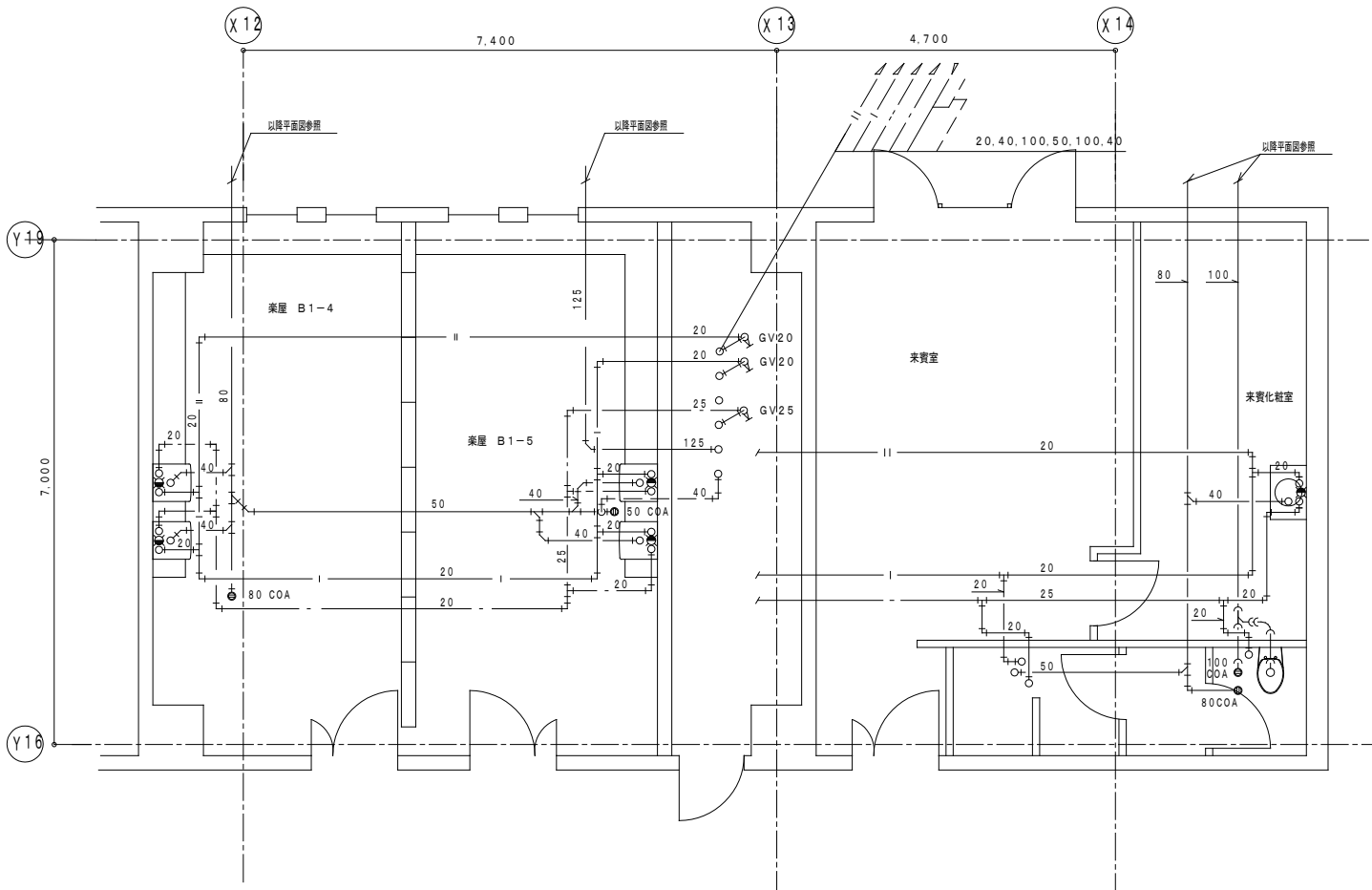
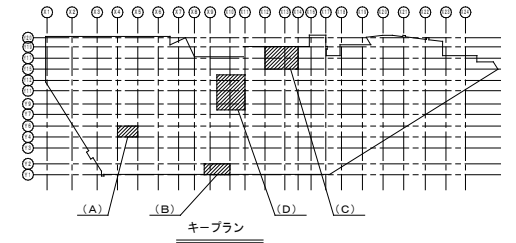
課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				給排水衛生設備 B1F便所(B1-1)事務室廻り詳細図(改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				P-11
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



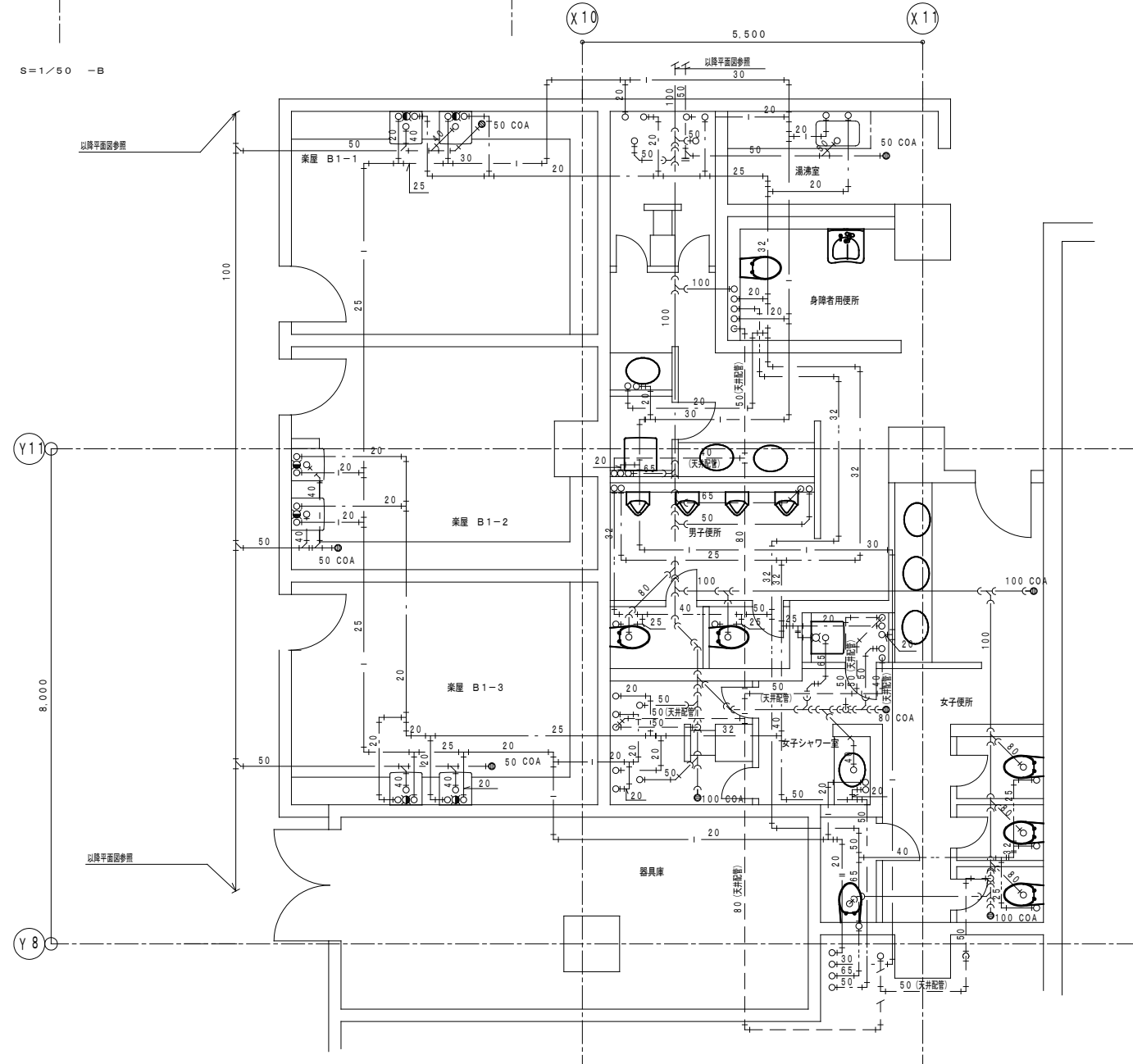
B1F身障者用便所詳細図 S=1/50 -A



B1F中央監視室詳細図 S=1/50 -B



B1F更衣室詳細図 S=1/50 -C

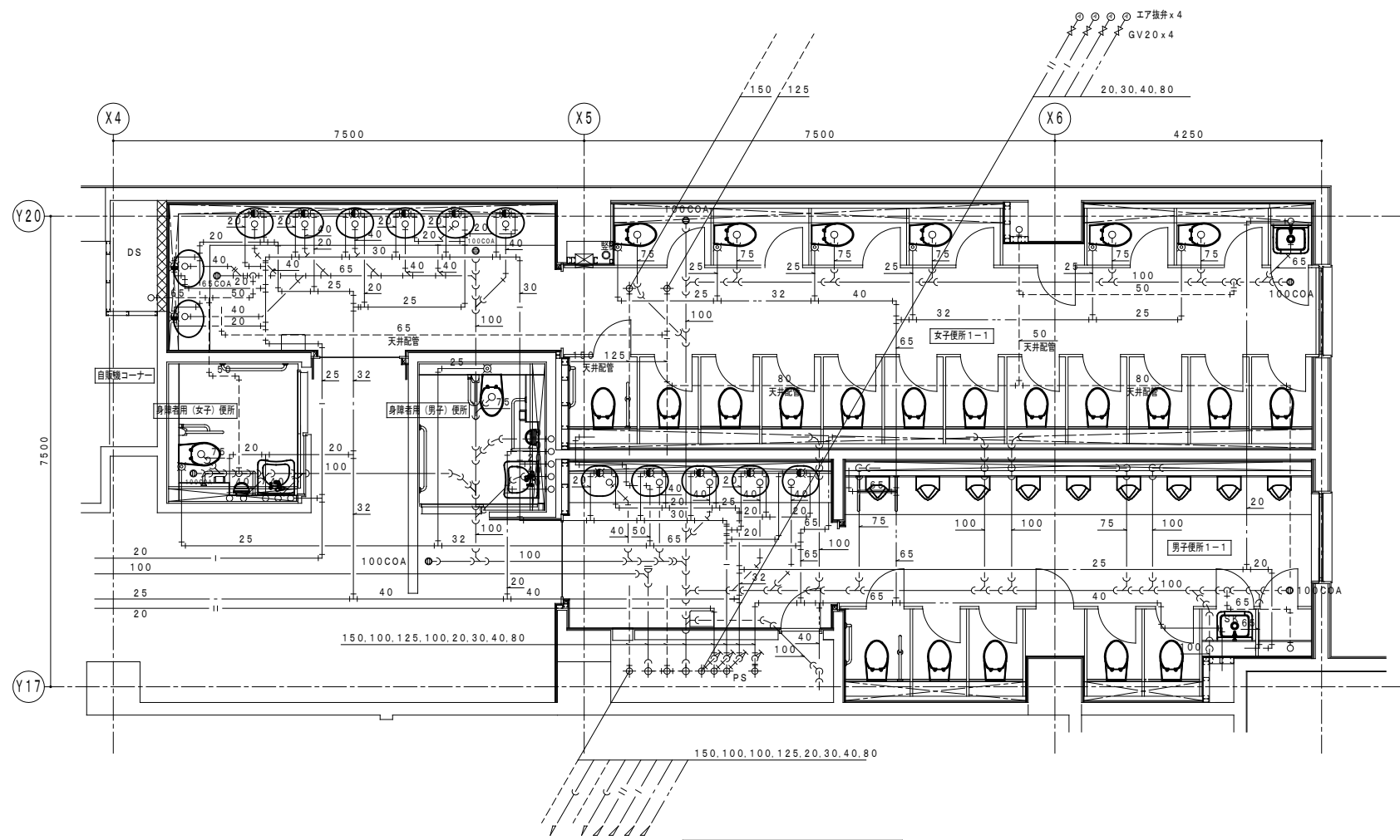


B1F更衣室B1-2詳細図 S=1/50 -D

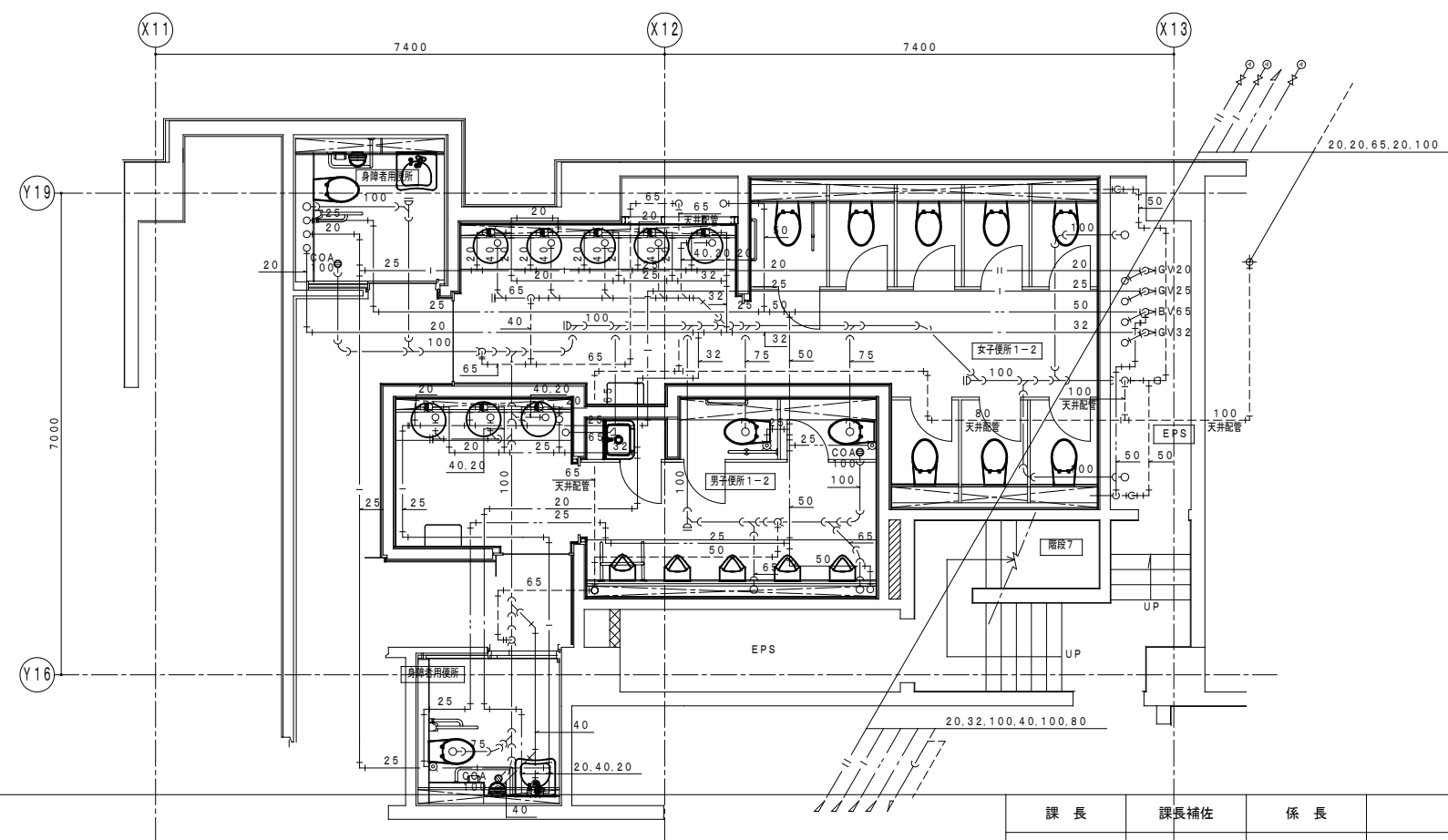
注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

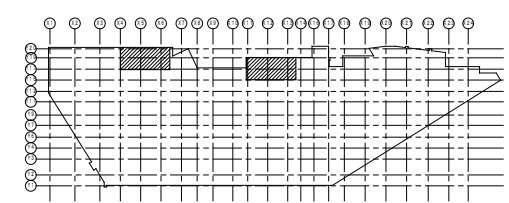
課長	課長補佐	係長	担当
			国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
給排水衛生設備 B1F身障者用便所、中央監視室、更衣室、便所 (B1-2) 廻り詳細図 (改修)			
縮尺 1:100 (A3)			
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬			



1F 便所 1-1 廻り詳細図 S=1:50 -A



1F 便所 1-2 廻り詳細図 S=1:50 -B

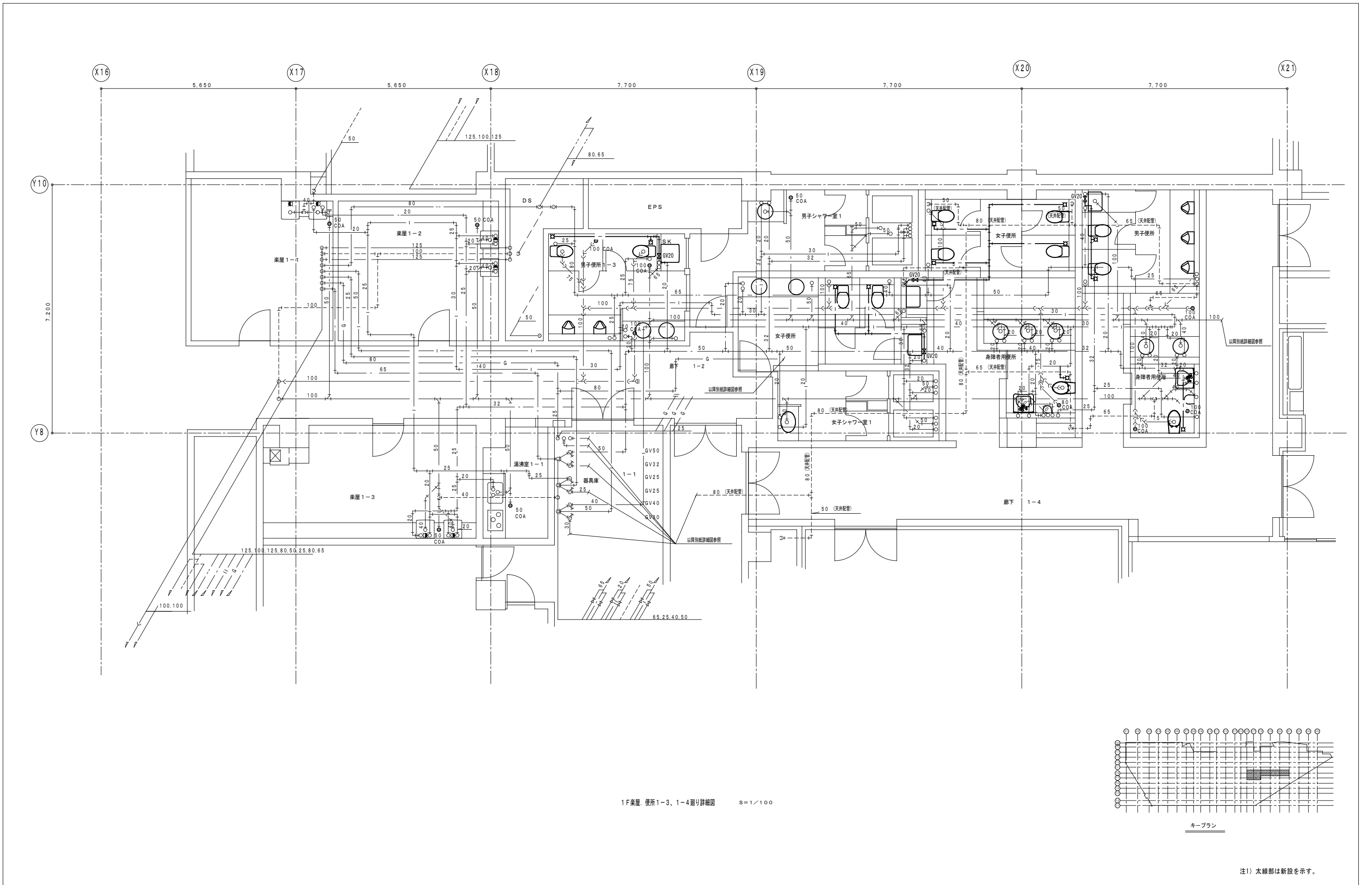


キープラン

注1) 太線部は新設を示す。

特記事項

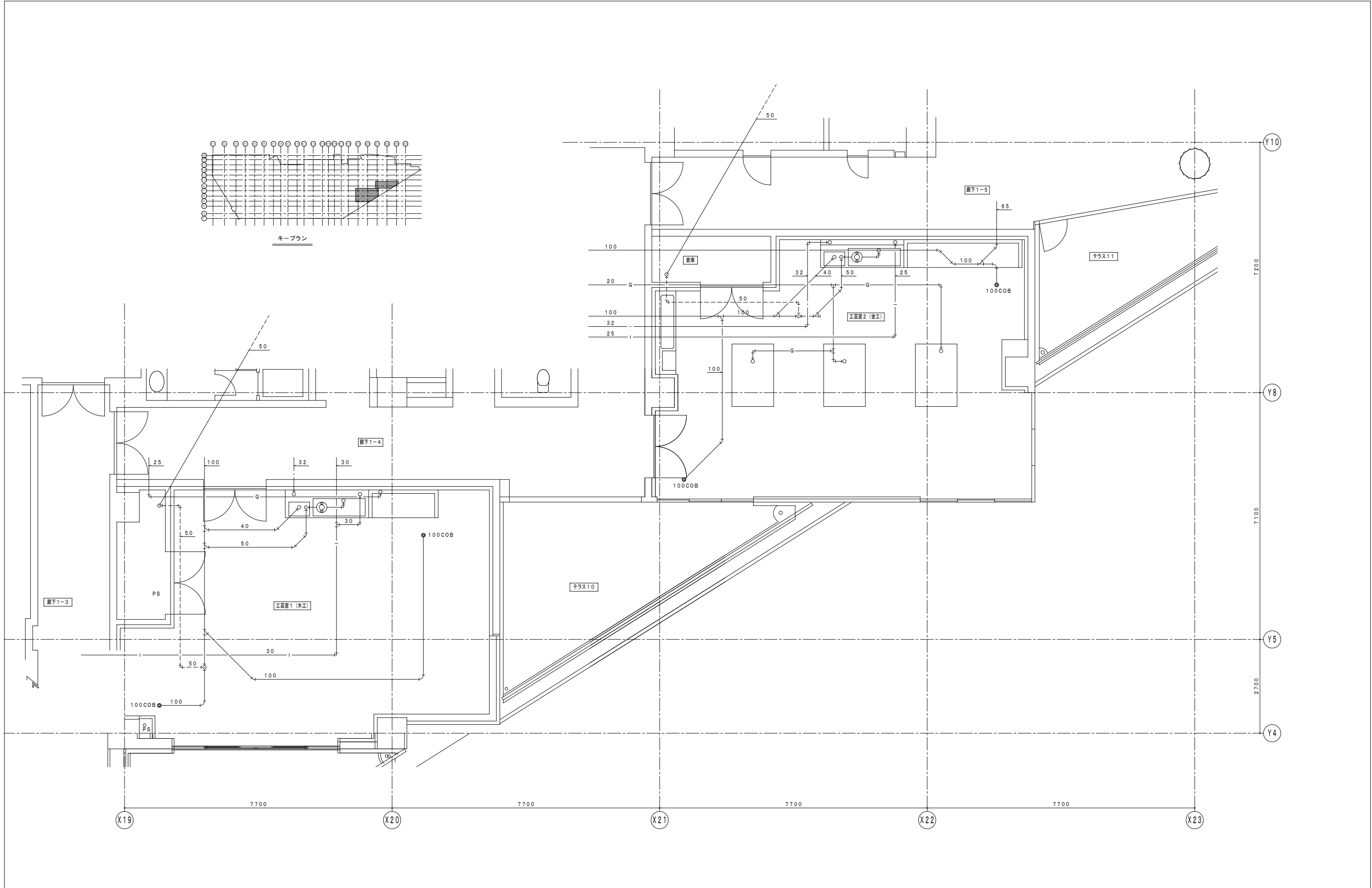
課長	課長補佐	係長	担当
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			
国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 給排水衛生設備 1F便所 (1-1) (1-2) 廻り詳細図 (改修)			
縮尺 1:100 (A3)			
			P-13
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬			



1F 菜屋、便所1-3、1-4 廻り詳細図 s=1/100

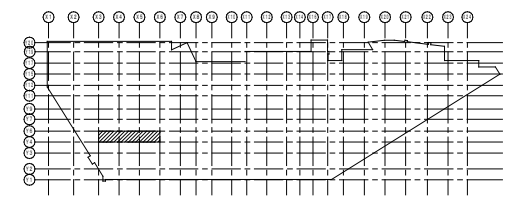
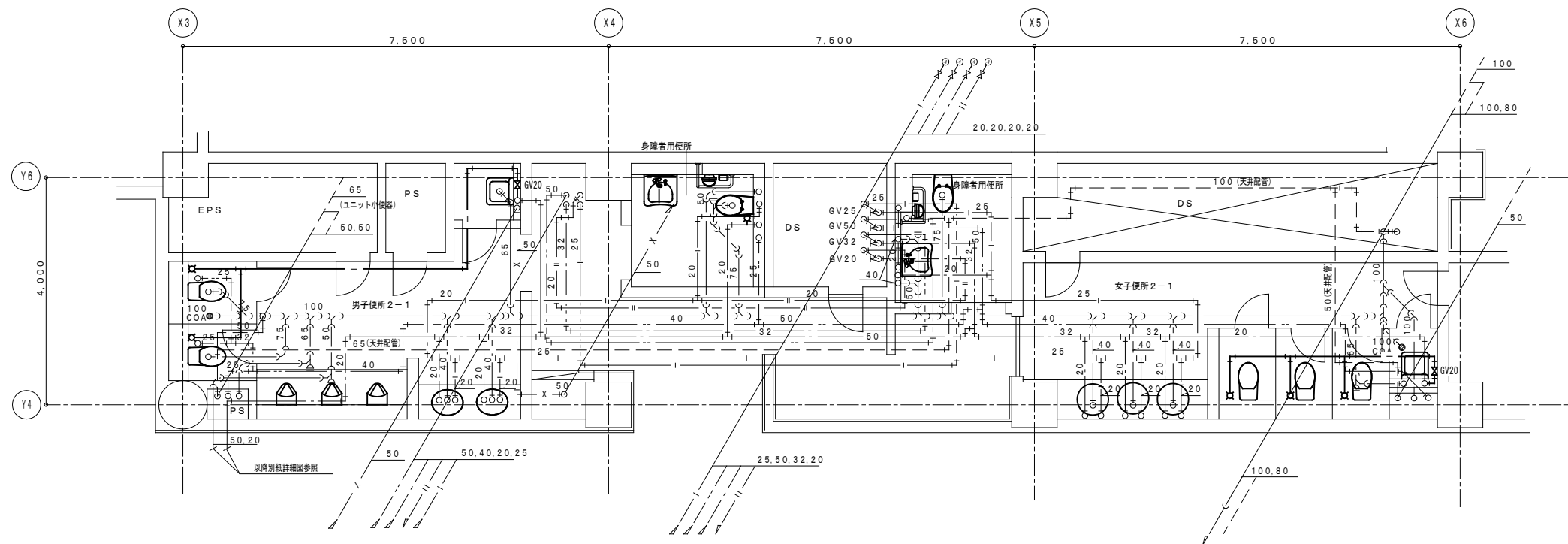
注1) 太線部は新設を示す。

特記事項	課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
					給排水衛生設備 1F菜屋、便所(1-3)(1-4)廻り詳細図(改修)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1:100 (A3)
	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 業務名 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬
					P-14



特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				給排水衛生設備 IF工芸室廻り詳細図(改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬
				P-15

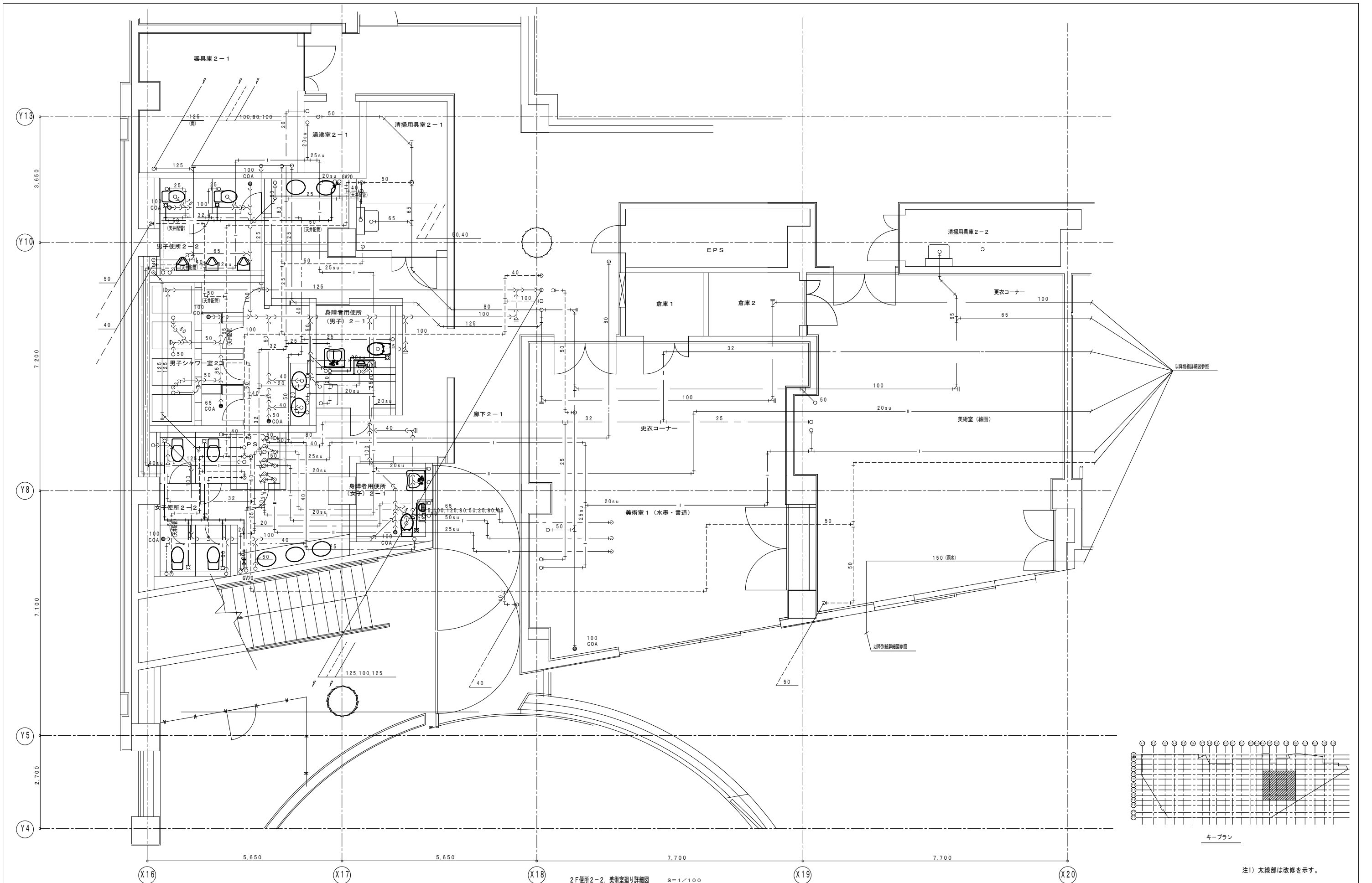


キープラン

注1) 太線部は改修を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事
				給排水衛生設備 2F便所(2-1)廻り詳細図(改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1:100 (A3)
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬
				P-16



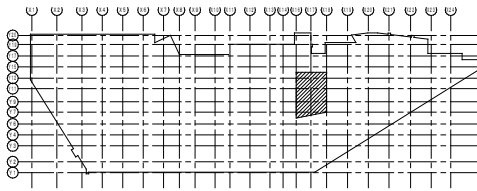
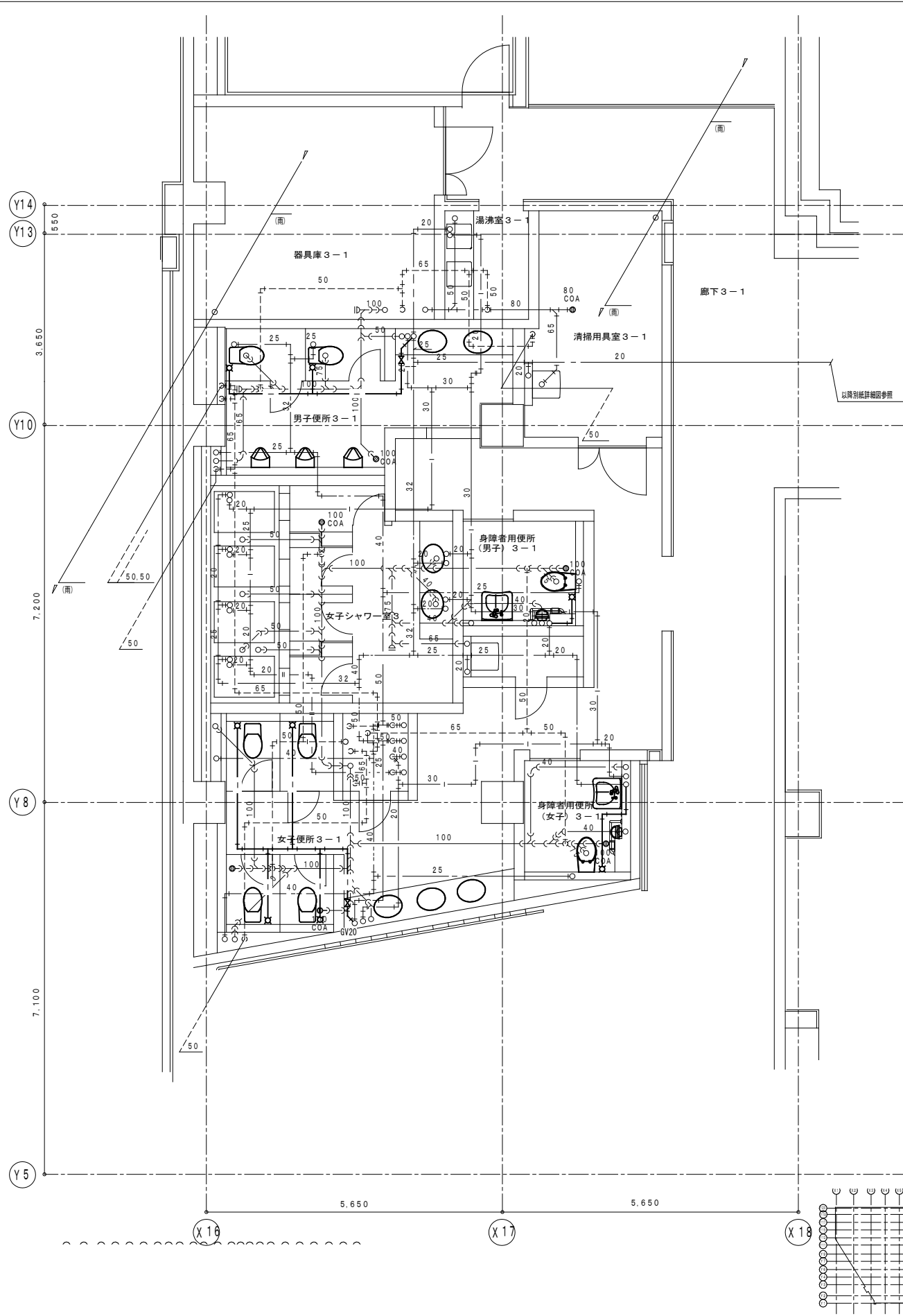
2F便所2-2・美術室廻り詳細図 s=1/100

注1) 太線部は改修を示す。

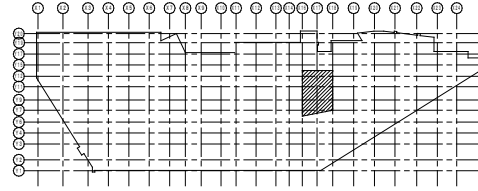
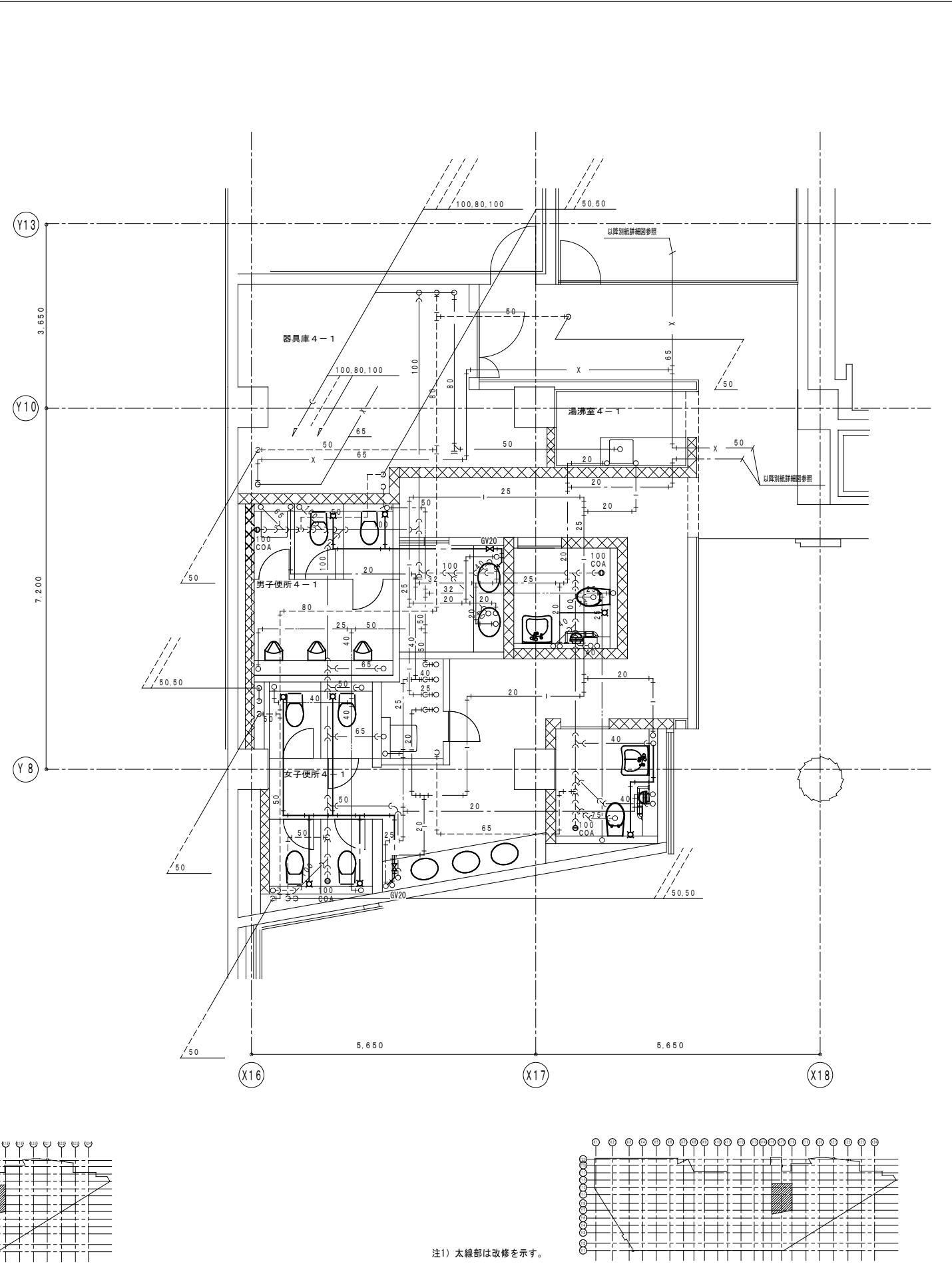
特記事項	
------	--

課長	課長補佐	係長	担当
独立行政法人 国立青少年教育振興機構			
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)			

国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事	
給排水衛生設備 2F便所(2-2)・美術室廻り詳細図(改修)	
縮尺 1:100 (A3)	
	P-17
株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬	



キープラン

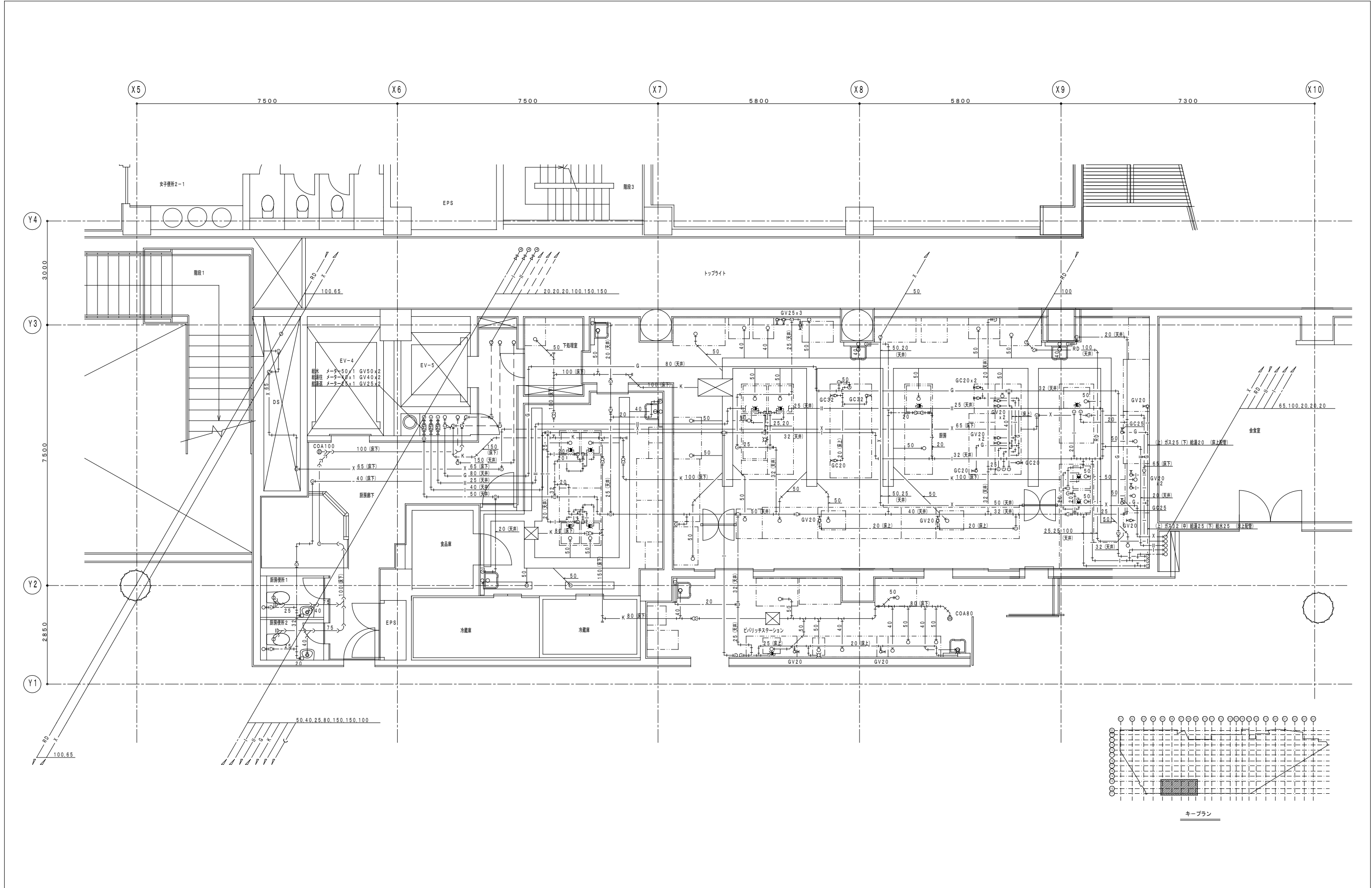


キープラン

注1) 太線部は改修を示す。

特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 給排水衛生設備 3・4F便所(3-1)(4-1)廻り詳細図(改修)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				縮尺 1:100 (A3)
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				P-18
株式会社 総合設備計画				一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬



特記事項

課長	課長補佐	係長	担当	国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟改修機械設備工事 給排水衛生設備 2F厨房廻り詳細図(改修)
				縮尺 1:100 (A3)
独立行政法人 国立青少年教育振興機構				P-19
業務名 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟他機能改善整備設計業務(設備)				株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都) 第12961号 一級建築士第347435号 小松敬